

平成25年度

各種報告書

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

第4次マスタープラン

答申書

平成 26 年 3 月 9 日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文 様

第 4 次マスタープラン策定委員会

委員長 富永 博夫
副委員長 梶山 広美
委員 堤 玲子
柴田 綾子
藤本 一満
宮原 祥子
松本 祐之
下田 勝二
上原 昭浩
岩上 みゆき
大澤 智彦
担当理事 丸茂 美幸
担当事務局 篠崎 隆男

第 4 次マスタープラン答申書

第 4 次マスタープラン策定委員会は、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会会長の諮問に基づき、「一般社団法人日本臨床衛生検査技師会倫理綱領」の基本理念を実現するため、それぞれの戦略目標を設定し、臨床検査技師が臨床検査の質の向上及び安心して働き続ける環境づくりを推進し、また、国民の健康増進及び疾病予防、公衆衛生の向上に寄与すると共に、制度改革や政策提言等の政策形成、社会貢献をより充実させるための将来像について検討を行った。そして、当会の事業運営の充実を図り、学術・技術の向上支援、組織互助・福利厚生、女性技師の活躍を応援し、臨床検査技師の職能意識・地位の更なる向上を図ることなど、あらゆる視点から目標として取り纏めたものである。

ここに「第 4 次マスタープラン答申書」を提出し、提言する。

本委員会は臨床検査技師が求める「理想の仕事像」の目標に向けたビジョンや戦略、行動計画を取り纏めたものであり、あくまで現時点での提言である。執行部は行動計画を策定し、会員相互・会益になる業務の執行を確実に遂行されることを願う。

第 4 次マスタープランの策定は、平成 22 年度の「第 3 次マスタープラン検証報告書」、「女性部会提言書」を基に策定された「第 4 次マスタープラン要綱（案）」、平成 24 年度の「未来構想策定に関する検討委員会」及び、「学術組織再構築に関する検討委員会」「チーム医療推進に関する検討委員会」の答申書も加味したものである。

委員会の開催

- 1 第 1 回委員会：平成 25 年 7 月 6 日（土） 日臨技会館 第 1 会議室 B
- 2 第 2 回委員会：平成 25 年 9 月 28 日（土） 日臨技会館 第 1 会議室 B
- 3 第 3 回委員会：平成 25 年 11 月 30 日（土） 日臨技会館 第 2 会議室
- 4 第 4 回委員会：平成 26 年 3 月 1 日（土） 日臨技会館 第 3 会議室

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

第4次マスタープラン

I. 【基本目標（使命）】

～臨床検査技師が国民に貢献するために～

「国民の健康に貢献する医学検査の実践と普及」

臨床検査技師の使命は、「医学検査」の専門家として、国民の医療、健康維持に貢献することである。使命を達成するため必要なことは、臨床検査を利用される全ての方々に安全で正確なデータを提供すること、検査を受ける方の利便性を考慮した業務評価を行ない、信頼性の高い業務の充実を図ることである。

臨床検査技師の職能意識や地位を更に高めるためには、学術・技術の向上支援、組織互助・福利厚生の実施、女性技師の活躍支援などの事業運営を積極的に推進する必要がある。

そのためにはまず、「臨床検査技師等に関する制度・法制の整備」が急務であり、臨床検査に関する社会的な広報と関係省庁および関連団体・学会との連携を強化していくことが重要である。また、国民が医学検査の意義や臨床検査技師の存在を十分に理解するための事業を企画・推進していくことで、社会における認知度を高めていくことも重要である。

更に、医療行政等の変革によって医療職種の高い専門性を前提に業務認証が見直され、チーム医療や在宅医療の中で個々の職種が果たす役割も見直されている。そのような社会情勢の下、臨床検査技師の高い専門性を活かす時がきている。これからは、学術・研究等の知識習得だけでなく、検査説明・相談、検体採取、検査所見など検査のすべての過程に責任をもつ総合的な検査力を身につけることが必要となっている。

一方、臨床検査技師の中には管理能力が高くジェネラルマネージャーとして活躍する者もある。近い将来、専門性にとらわれない人財が輩出されることを期待したい。

日臨技は会員（人）で成り立っている組織である。基盤の強化はもちろんのこと、国際人の育成と女性技師が生涯を通じて活躍する場面の創出が必要である。

II. 【基本理念（活動理念）】

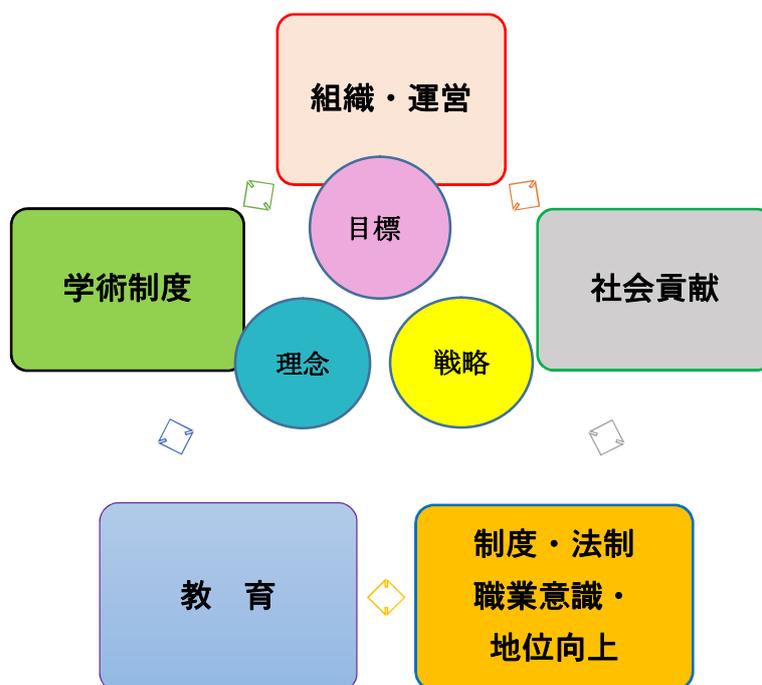
<日臨技倫理綱領>

- 学術の研鑽に励み、高い専門性を維持することに努める。
- 適切な臨床検査情報の提供と管理に努め、人権の尊重に徹する。
- 医療人として、医療従事者相互の調和に努め、社会福祉に貢献する。
- 組織人として、会の発展と豊かな人間性の涵養に努め、国民の信望を高める。

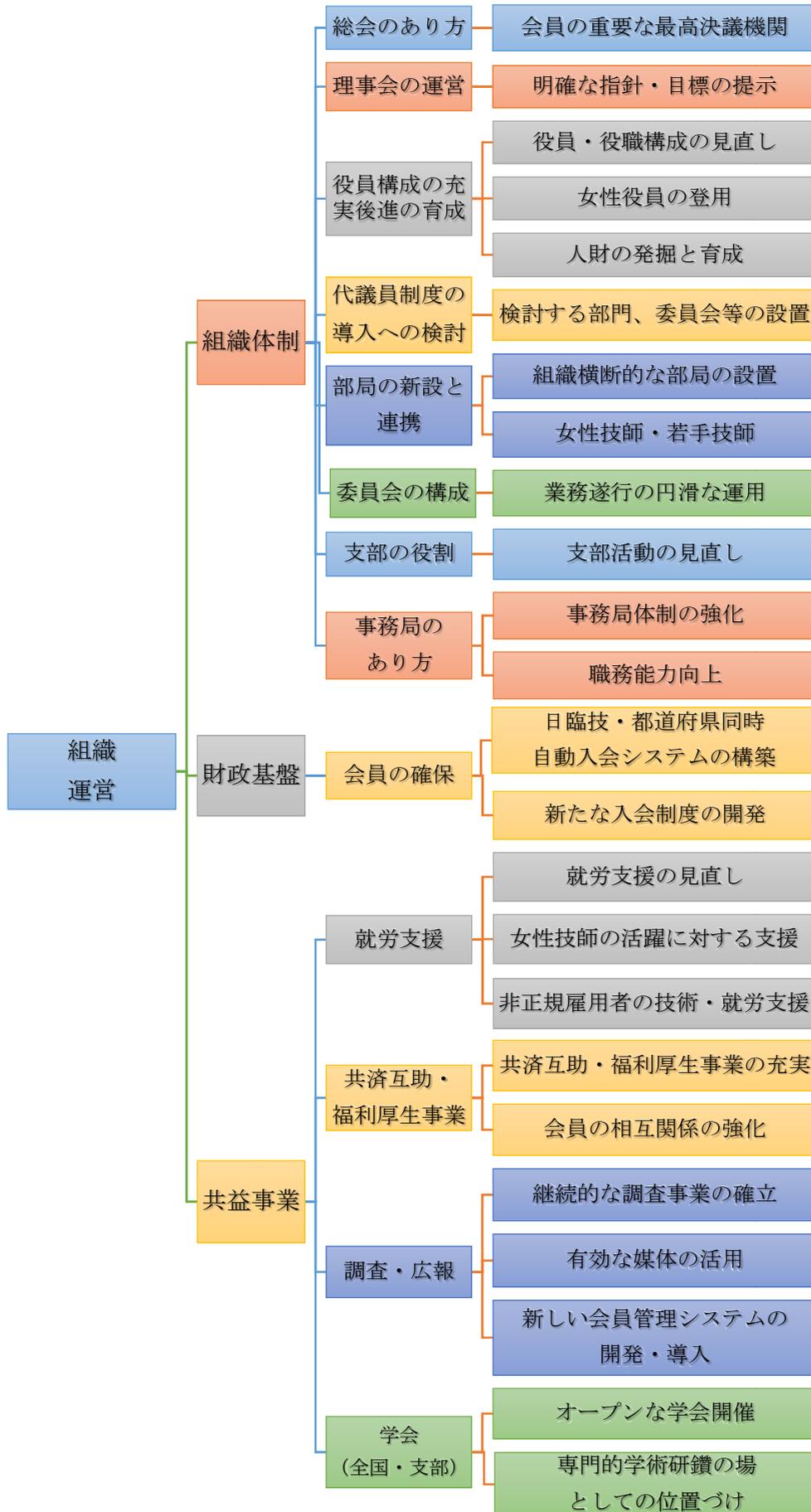
Ⅲ.【基本的戦略】

臨床検査技師の「理想の仕事像」の視点からビジョンや戦略、行動計画を策定する。
 具体的には組織の将来のあり方やビジョンを示し、5つの視点から達成に向けた戦略目標を提示して、重要成功要因と達成度を示す評価指標・目標を設定し、具体的な行動計画に結びつける。

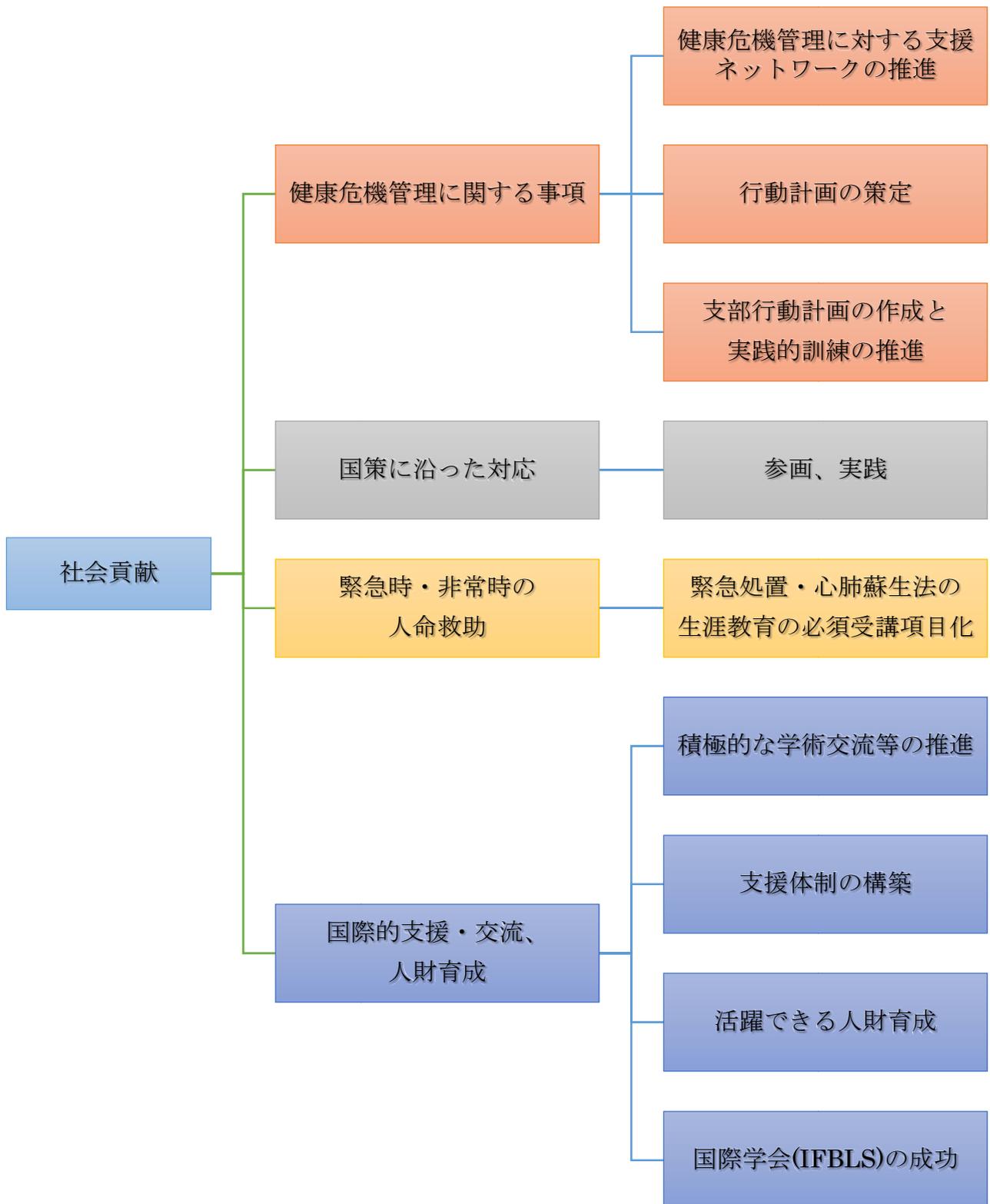
項目	戦略的目標
1. 組織・運営	
(1)組織体制	機能的な組織と適正な会運営を果たす。
(2)財政基盤	会員の確保や安定的な財政基盤の構築を図る。
(3)共益事業	会員の福利厚生、共済・互助事業の推進を図る。
2. 社会貢献	臨床検査を通して国民の健康増進及び疾病予防、公衆衛生の向上に寄与する人材を育成する。更に、国際支援・交流、国際的に対応できる人材育成に尽力する。
3. 制度・法制の充実、 職能意識、地位の向上	法人としての社会的理念と姿勢を明確化する。 職業意識、地位の向上による職場の安定化を推進させる。
4. 教育	臨床検査の現場を経験し、知識、技術を備えた技師による学校での技師教育と指定校への移行を推進する。生涯教育制度の充実、及び履修率の向上を図る。
5. 学術制度	会員の資質向上と認定技師制度の充実、専門性の高い技師を育成し専門技師制度の導入を図る。
6. マスタープラン管理	第4次マスタープランの事業展開を評価する。



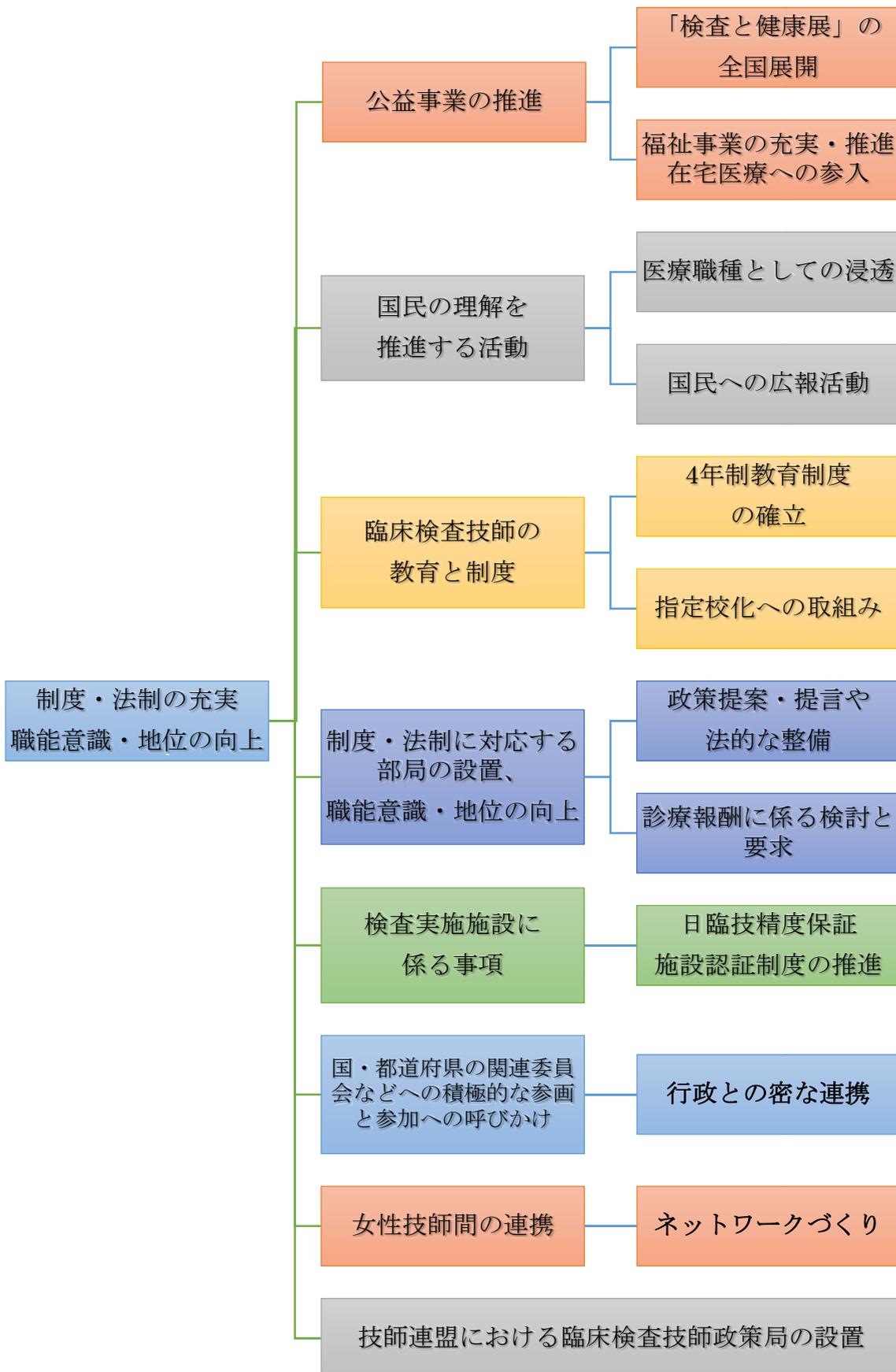
1 組織・運営



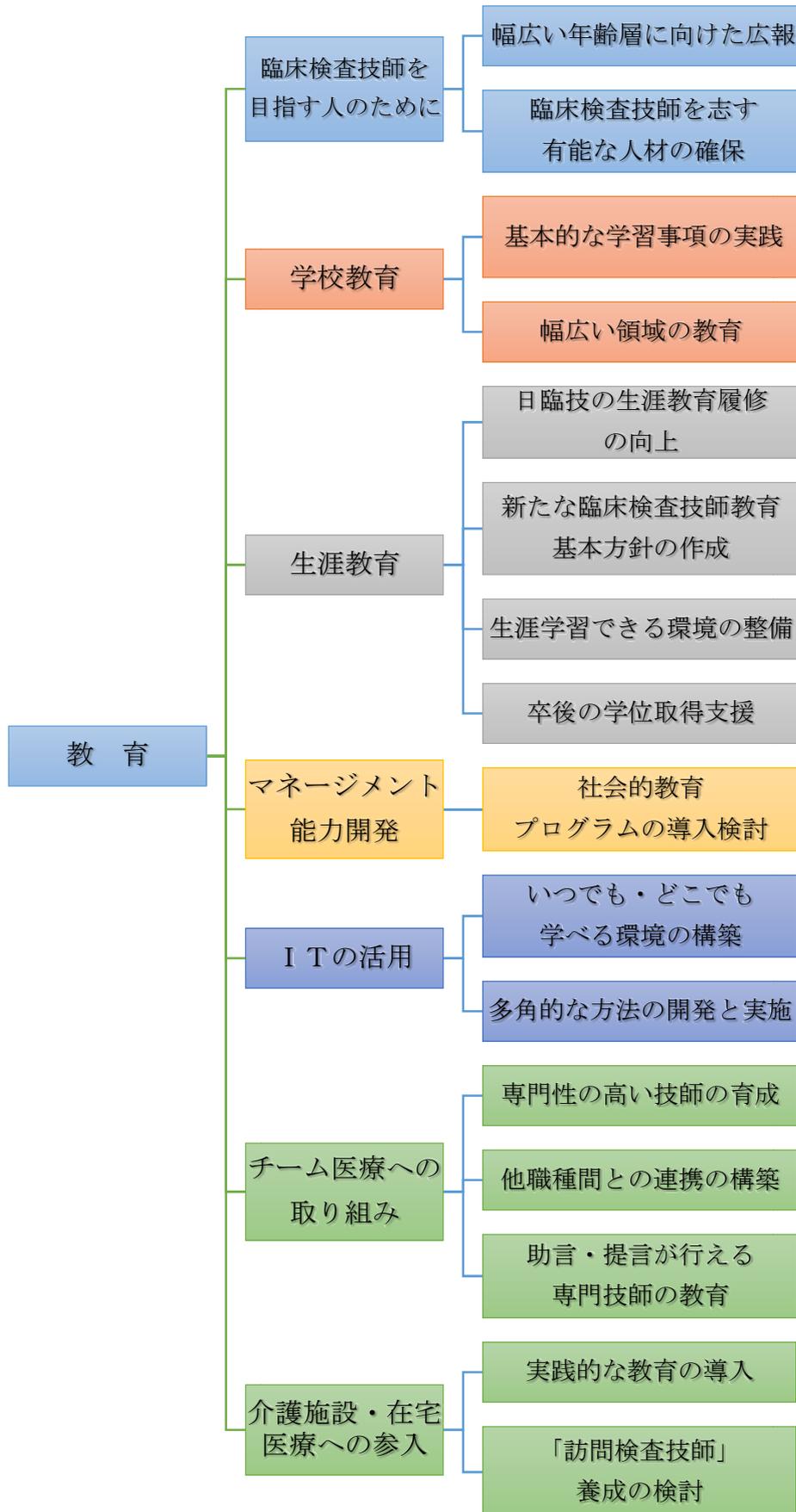
2 社会貢献



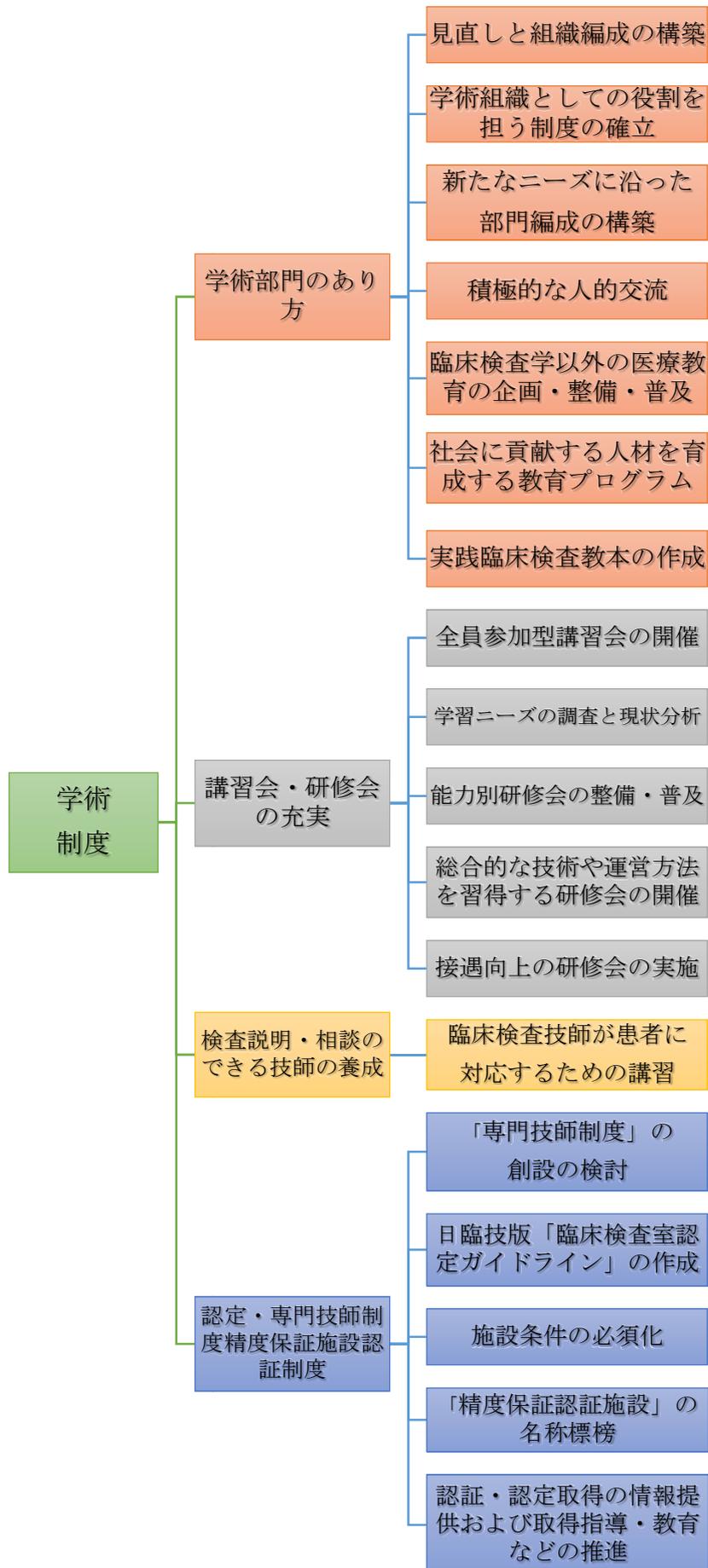
3 制度・法制の充実、職能意識・地位の向上



4 教育



5 学術制度



6 マスタープラン管理

提言した第4次マスタープランが時代に沿ったものであるか、定期的に検証する部門を設置する。短期的には4年を目途に中間的な検証と報告を行い、時代や環境の状況に合わせて、必要に応じて修正を行う。

第4次マスタープランは8～10年を目標の終期に考え、総合的な検証と報告を行う。そして、新たなマスタープランの策定することが肝要である。

IV. 最後に

平成16年に作成された第3次マスタープラン要綱が示されて10年経過した。医療行政や社会環境が大きく変化している中で、将来の変化を的確に予測することが困難になっている。しかし、我々は現状を直視して情報分析を行い、臨床検査技師の職能を見極め、関係省庁・関連団体と連携することによって、業務の向上と安定が得られると信じている。

本委員会は、第4次マスタープランを策定したが、あくまで現時点での提言であり、この提言を具体化し行動計画を策定するのは執行部である。会員相互・会益になる業務の執行を確実に遂行されることをお願いしたい。

各種調査報告

平成25年度組織実態調査報告

検査部門の実態調査結果

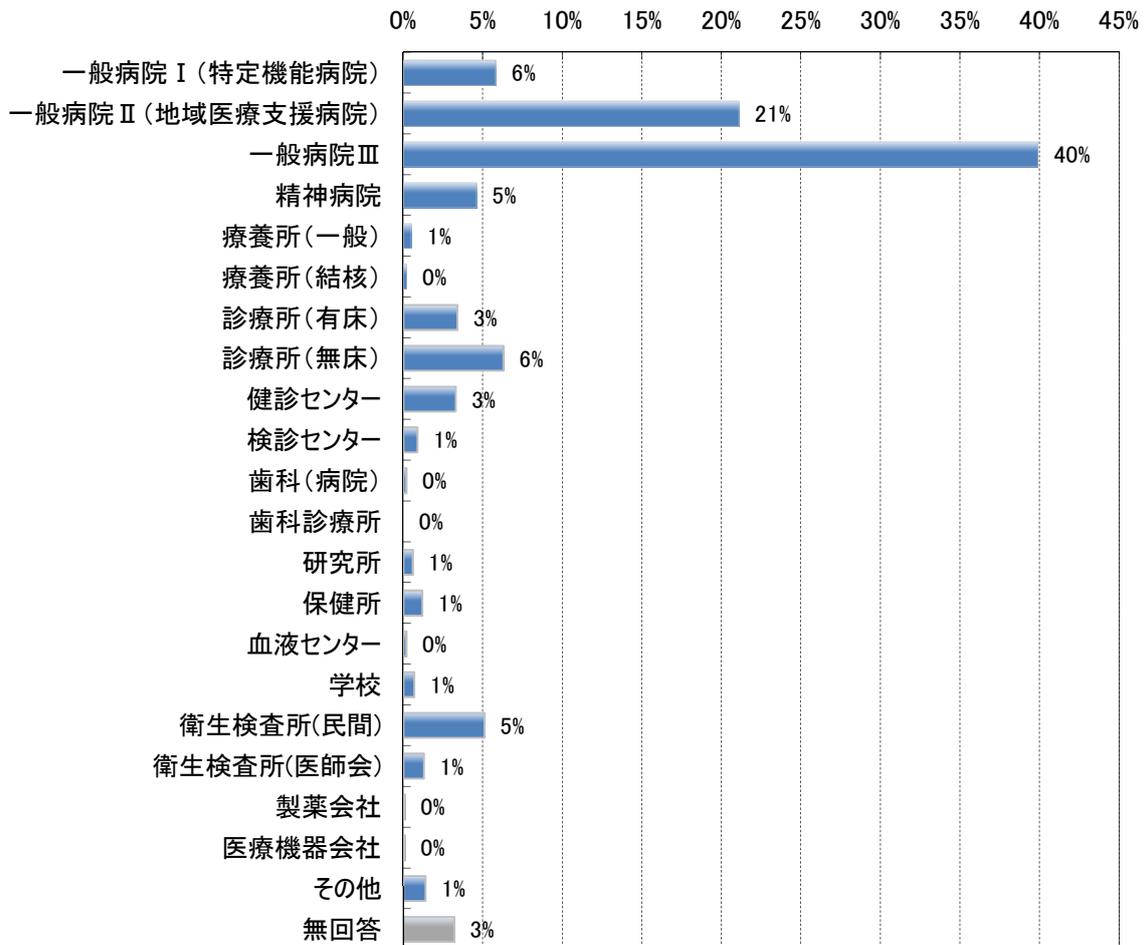
目 次

A 施設分類	1
B 業務実施状況	2
B 業務実施状況 詳細	3~5
C 経営主体	6
D 病床数 E 全従事者数 F 全検査技師	7
G 臨時職員数 H 人材派遣	8
検査技師数 【正規職員の年齢構成】 20代~40代	9
検査技師数 【正規職員の年齢構成】 50代~60代	10
検査技師数 【臨時職員(アルバイト・パート等)の年齢構成】 20代~40代	11
検査技師数 【臨時職員(アルバイト・パート等)の年齢構成】 50代~60代	12
検査技師正規職員 【年齢別平均的年収】 臨床検査技師(専門・短大卒)	13
検査技師正規職員 【年齢別平均的年収】 臨床検査技師(大卒)	14
検査技師正規職員 【平均諸手当】 住宅手当、通勤手当、時間外呼出手当	15
検査技師正規職員 【平均諸手当】 危険手当、その他手当	16
検査技師正規職員 【平均諸手当】 役職手当	17
検査技師臨時職員 (アルバイト・パート等) 時間給	18
I. 検査部門の管理体制について	
問1. 検査部部長の職種をお尋ねします	19
問2. 臨床検査技師の責任者(技師長等)が、運営会議・経営会議等に参画できます	19
問3. 臨床検査技師が、次に示す関連会議に参加していますか	20~21
問4. 貴施設においてどのようなチーム医療へ参画していますか	22
問5. 貴施設において将来どのようなチーム医療へ参画を計画していますか	23
問6. 貴施設において非会員の方は、全検査技師数のうち何人いますか	24
II. 学会・研修会の参加状況について	
問7. 貴施設の日本医学検査学会への参加	25
問8. 「問7」で4又は5と回答した施設の方	25
問9. 支部医学検査学会(全国7支部)への参加	26
問10. 各都道府県単位の医学検査学会への参加	26
問11. 医学検査学会あるいは支部学会に参加する場合にはどのような制約がありますか	27
問12. 他団体の学会に参加していますか	27
問13. 学会・研修会参加費の施設負担について 出張費を施設で負担してもらえる項目をお答えください	28
問14. 施設の学会・研修会参加費負担について	28
問15. 認定取得などの取得に関わる経費の内、施設で負担してもらえる項目	29
III. 貴施設において臨床検査技師が採血に携わる内容について	
問16. 臨床検査技師が採血をしていますか	30
問17. 「問16」で「1」と回答した施設の方 採血業務のために早出出勤(フレックス制)を導入していますか	30
問18. 「問16」で「1」と回答した施設の方 採血の対象者は、どのような人ですか	31
問19. 中央採血室が設置されていますか	32
問20. 「問19」で「1」と回答した施設の方 どのような職種の方が、配属されていますか	32
問21. 「問19」で「1」と回答した施設の方 採血総スタッフ(1日のピーク時)の人数	33
問22. 「問19」で「1」と回答した施設の方 何人の臨床検査技師が採血していますか(1日のピーク時の技師数)	34
問23. 「問18」で「1」と回答した施設の方 外来採血室の一日当たりの平均採血患者数	34
問24. 「問18」で「1」と回答した施設の方 外来採血室におけるピーク時の待ち時間	35

問25. 「問18」で「2」と回答した施設の方 病棟採血の平均対象患者数、担当スタッフ、採血開始時間、平均採血終了時間	36～37
IV. 貴施設における臨床検査技師の卒後教育研修について	
問26. 臨床検査部門で勉強会・研修会を行っていますか	38
問27. 施設内で臨床検査技師が参加できる勉強会・研修会が行われていますか	38
問28. 貴施設の臨床検査技師の日臨技生涯教育研修会(一般教育研修課程)の 「修了証書」受領状況はこれまでにどのくらいですか	39
問29. 各種認定検査技師についてはどのように対応されていますか	39
問30. 「問29」で「5」と回答した施設の方 受験して欲しくない。その理由をお聞かせください	40
問31. 認定取得や高度な専門知識を身につけるための支援をしていますか	40
問32. どのような認定検査技師を望みますか	41
V. 臨床検査技師の採用状況について	
問33. 採用に関してお聞かせください	42
問34. 「問33」で「1または2」と回答された施設 年度替りまでの対応策をお聞かせください	43
問35. 「問33」で「2または3」と回答された施設 既卒者の採用条件についてお聞かせください	43
問36. 求人方法について	45
問37. あなたの施設では臨床検査技師の数が過去2年間にどのように変わりましたか	45
VI. 検査室認定制度について	
問38. 日臨技精度保証施設認定の取得を考えていますか	46
問39. 「問38」で「2」または「3」と回答された施設 精度保証施設認定申請の目処はいつごろに設定していますか	46
問40. 「問38」で「4」と回答された施設 精度保証施設認定取得の考えがないのはどのような理由からですか	47
問41. ISO15189の取得を考えていますか	47
問42. 「問41」で「2または3」と回答された施設 ISO15189申請の目処はいつごろに設定していますか	48
問43. 「問41」で「4」と回答された施設 ISO15189取得の考えがないのはどのような理由からですか	48
問44. ISO15189取得のメリットをどのようにお考えですか	49
VII. 休暇等の取得状況について	
問45. 育児・介護休暇など長期休暇(留学など含む)の取得支援を職場として整えていますか	50
問46. 「問45」で「1」と回答された施設 長期休暇取得状況をお聞かせください	51
問47. 産休・育児休業・病気休暇等の長期休暇に伴う職場復帰のための トレーニングについて 具体的な方法をお尋ねします	53～62
VIII. チーム医療について	
問48. チーム医療とのかかわり方について チーム医療の一員としての取り組み方をお選びください	63
問49. 「問48」で「1」と回答した施設 チーム医療の一員としての取り組み方をお選びください	63
問50. チーム医療を実践している項目をお選びください	64
IX. 臨床検査技師の業務認証、業務拡大について	
問51. 法改正(業務認証、身分確立など)の活動について	
問51-1. すでに実施している項目はありますか	65～66
問51-2. 取り組んでいきたい項目はありますか	67～68
問51-3. 「問51-1」で「実施している」と回答された施設 実施している項目の内、病院(診療科・他部署)からの要望によるもの	69～70

問51-4. 「問51-1」で「実施している」と回答された施設 実施している項目の内、検査室からの提案によるもの	71～72
X. 臨地実習の受け入れ体制について		
問53. 貴施設で臨地実習として学生を受け入れていますか	73
問54. 「問53」で「1」と回答された施設に伺います	73
問55. 「問53」で「1」と回答された施設にお聞きします 臨地実習の受入れ期間(平均)について、お選びください。	74
問56 「問53」で「1」と回答された施設にお聞きします 臨床検査技師学校養成所指定規則では、7単位(315時間)で実習時間の 三分の二以上は、病院又は診療所において行うこと.となっていますが、 貴施設が考える理想的な臨地実習期間は何時間が良いと思いますか。	74

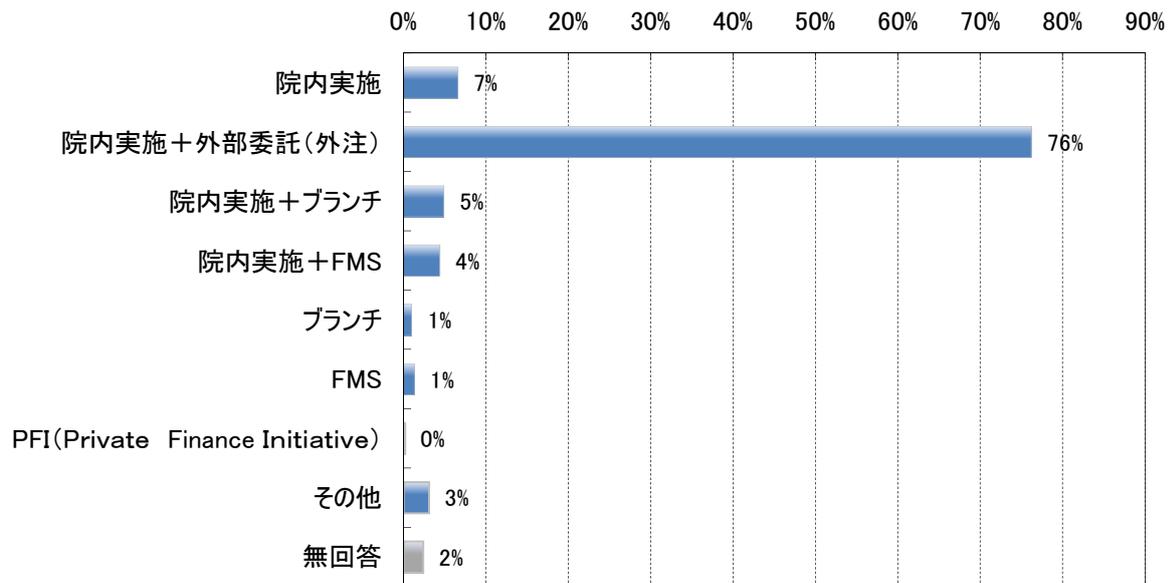
A 【施設分類】



	件数	割合
一般病院Ⅰ (特定機能病院)	203	6%
一般病院Ⅱ (地域医療支援病院)	738	21%
一般病院Ⅲ	1,396	40%
精神病院	160	5%
療養所 (一般)	18	1%
療養所 (結核)	7	0%
診療所 (有床)	120	3%
診療所 (無床)	222	6%
健診センター	115	3%
検診センター	31	1%
歯科 (病院)	7	0%
歯科診療所	0	0%
研究所	20	1%
保健所	42	1%
血液センター	7	0%
学校	24	1%
衛生検査所 (民間)	177	5%
衛生検査所 (医師会)	44	1%
製薬会社	3	0%
医療機器会社	5	0%
その他	50	1%
無回答	112	3%
全体	3,501件	100%

【コメント】
調査対象の施設分類は、「一般病院Ⅲ」が40%と最も多く、次いで、「一般病院Ⅱ (地域医療支援病院)」の21%となっている。

B 【業務実施状況】



	件数	割合
院内実施	230	7%
院内実施+外部委託(外注)	2,669	76%
院内実施+ランチ	170	5%
院内実施+FMS	153	4%
ランチ	36	1%
FMS	44	1%
PFI(Private Finance Initiative)	6	0%
その他	108	3%
無回答	85	2%
全体	3,501件	100%

【コメント】

調査対象の業務実施状況は、「院内実施+外部委託(外注)」が76%と最も多い。

B 業務実施状況

no	施設分類	業務実施状況	業務実施状況の詳細
1	一般病院Ⅰ(特定機能病院)		研究室での検査
2	一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	院内実施+ランチ	2014. 4月よりランチ、下記職員数は現時点
3	"		院内実施+ランチ+FMS(一部)
4	"	その他	院内実施・ランチ・FMS・外部委託
5	"	院内実施+FMS	院内実施+FMS+外部委託(外注)
6	"	その他	項目単価方式(院内実施)+外部委託
7	"	その他	院内実施+従量課金方式(POT)
8	"	その他	院内実施+FMS+ランチ
9	"	院内実施+ランチ	ランチの方に病院職員が出向
10	"	その他	課金方式
11	"		自主運営
12	"	院内実施+FMS	社会
13	一般病院Ⅲ	院内実施+外部委託(外注)	中津川市国民健康保険坂下病院
14	"	院内実施+外部委託(外注)	東松山市
15	"	FMS	検体(FMS) 生理検査(病院)
16	"	院内実施+外部委託(外注)	一部FMS変形
17	"	その他	院内実施+本院での実施
18	"	その他	共同運営方式
19	"	その他	院内実施+ランチ+外注
20	"	その他	生理検査のみ院内実施 検体検査はすべて検査センターへ外注
21	"	その他	FMS+院内実施+外部いたく
22	"	その他	院内実施+ランチ+外部委託
23	精神病院	その他	生理検査+外注(院内実施は3項目のみ)
24	診療所(有床)	院内実施+ランチ	他に外注もあります。
25	"	院内実施+外部委託(外注)	医療法人社団
26	診療所(無床)	その他	外部委託(外注)のみ
27	"	その他	MRI、エコー
28	健診センター	その他	血液検査については、外部委託
29	"	FMS	巡回分は外注
30	"	院内実施+外部委託(外注)	2015年移転変更予定
31	"	その他	クリニック・巡回での健康診断業務
32	"	その他	健診
33	"	その他	全て外注
34	"	その他	関連施設で検体検査を実施
35	"	その他	検診業務
36	"	その他	検体検査、巡回診察
37	研究所	その他	研究所
38	"	その他	行政検査+調査研究
39	"	その他	受注検査(衛生検査センター)
40	"	その他	非臨床試験 受託機関
41	"	その他	研究業務
42	"	その他	地方衛生研究所
43	"	その他	実施
44	"	その他	食中毒、感染症の細菌、ウイルス検査、リケッチア、性感染症に関する食品収去検査、情報企画事務、放射能、環境に関する検査
45	保健所	その他	食品検査、感染症(細菌性に限る)検査

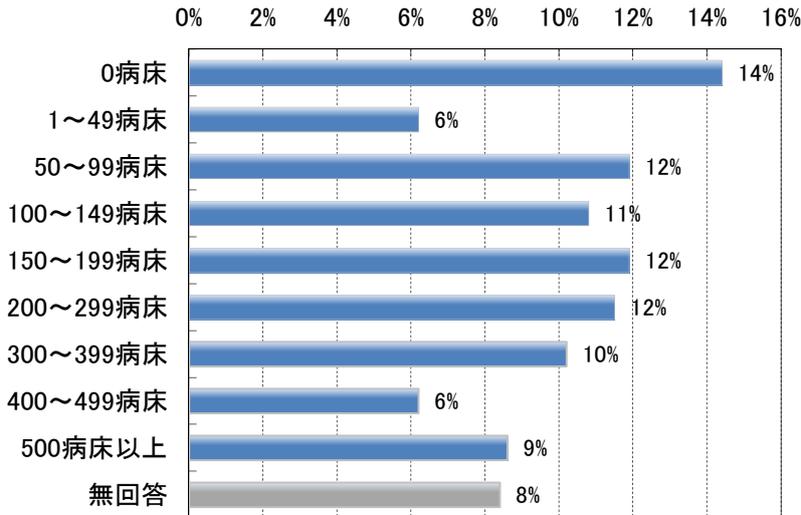
46	〃	その他	臨床検査(尿検査のみ)アルバイトによる所内実施 検査部門の関与なし
47	〃	その他	市民からと行政課から依頼があり一概に言えない。
48	血液センター		行政検査
49	〃	その他	検査なし
50	〃	その他	品質保証部門 検査部門はありません
51	〃	その他	血液センターですが検査業務のない施設です。検査技師としての業務はしていません。
52	学校	その他	臨床検査技師養成施設
53	〃	その他	教育機関のため検査業務はおこなっていない
54	〃	その他	臨床検査技師養成教育
55	〃	その他	外部委託
56	〃	その他	教育
57	〃	その他	教育・研究
58	〃	その他	臨床検査技師の育成の教育機関
59	〃	その他	教育
60	〃	その他	教育・研究
61	〃	その他	教育
62	〃	その他	教育
63	〃	その他	専門科目を中心に講義・実習を担当
64	〃	その他	外注
65	〃	その他	教育
66	衛生検査所(民間)	その他	病理検査
67	〃	その他	外注先での検査
68	〃	その他	血清分離のみ、外部委託
69	〃	その他	ラボラトリー
70	〃	その他	施設内実施+外部委託
71	〃	その他	検査センターなので該当なし
72	〃	その他	外部からの委託
73	〃	その他	衛生検査所の県(外部)営業所内検査室
74	〃	その他	検査所内+外部委託
75	〃	その他	社内実施+外部委託(外注)
76	〃	その他	再受託
77	〃	その他	CRO(主として食品)、大学研究部門より受託検査
78	〃	その他	検査センター
79	〃	その他	検査センターのため
80	〃	その他	治験の衛生検査所
81	〃	その他	委託検査業務
82	〃	その他	自施設+外部委託
83	〃	その他	登録衛生検査所
84	〃	その他	外注
85	〃	その他	社内健診
86	〃	その他	社内実施+外注
87	製薬会社	その他	研究機関
88	〃	その他	製薬会社の研究所及び品質管理室業務
89	医療機器会社	その他	ホルター再生業務、機器販売サポート、勉強会(他施設)
90	〃	その他	営業
91	その他	院内実施+外部委託(外注)	療養型
92	〃	その他	臨床施設ではありません。動物実験解析
93	〃	院内実施+外部委託(外注)	特定機能病院+精神科病棟
94	〃	その他	行政機関
95	〃	その他	大学研究室
96	〃	院内実施+外部委託(外注)	公設民営
97	〃	院内実施+FMS	精神科+療養病棟
98	〃	その他	検査所
99	〃	その他	犬猫の虫卵検査 犬猫血液生化学検査

100	〃	その他	教育研修の企画と実施
101	〃	その他	外部委託のみ
102	〃	その他	食肉に関する検査(BSE検査・牛・豚の細菌検査)
103	その他	その他	企業内の一部門として、衛生検査所登録
104	〃		保険給付 組合員の方の健康診断を実施
105			療養型
106			院内+外部委託+ランチ
107		院内実施+外部委託(外注)	療養型病院

C 経営主体

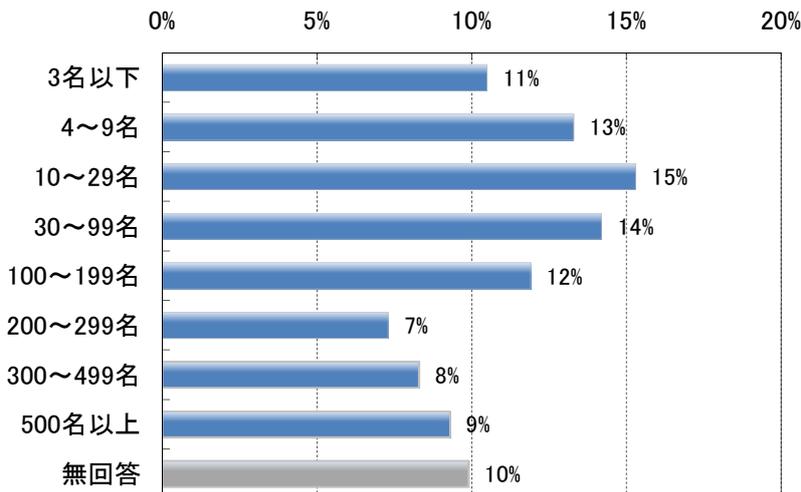
No	経営主体	件数	比率
1	医療法人	1,247	36%
2	市立・町立病院	344	10%
3	財団法人	196	6%
4	県立病院	194	6%
5	株式会社	188	5%
6	独立行政法人	171	5%
7	社団法人	129	4%
8	社会福祉法人	121	3%
9	協同組合	93	3%
10	学校法人	78	2%
11	私立病院	73	2%
12	日本赤十字社	72	2%
13	厚生連	38	1%
14	国立病院	21	1%
14	その他	50	1%
	無回答	486	14%
	合計	3,501	100%

D 【病床数】



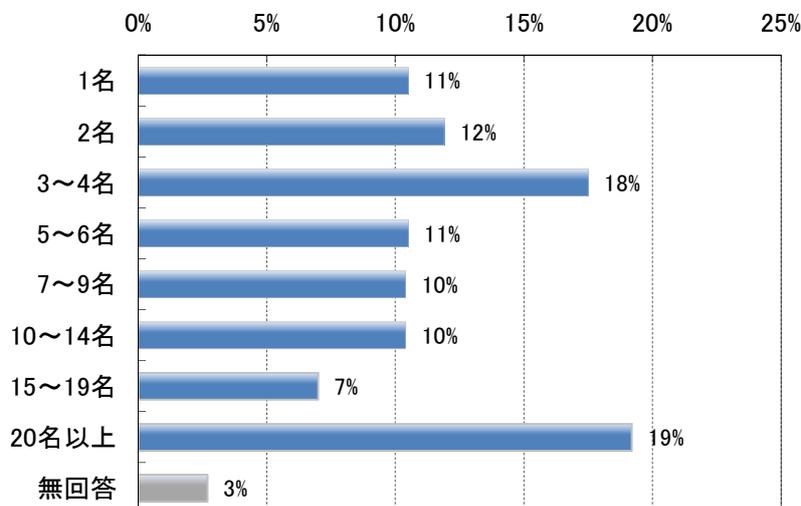
	件数	割合
0病床	505	14%
1～49病床	218	6%
50～99病床	415	12%
100～149病床	377	11%
150～199病床	415	12%
200～299病床	403	12%
300～399病床	358	10%
400～499病床	217	6%
500病床以上	300	9%
無回答	293	8%
全体	3,501件	100%

E 【全従事者数】



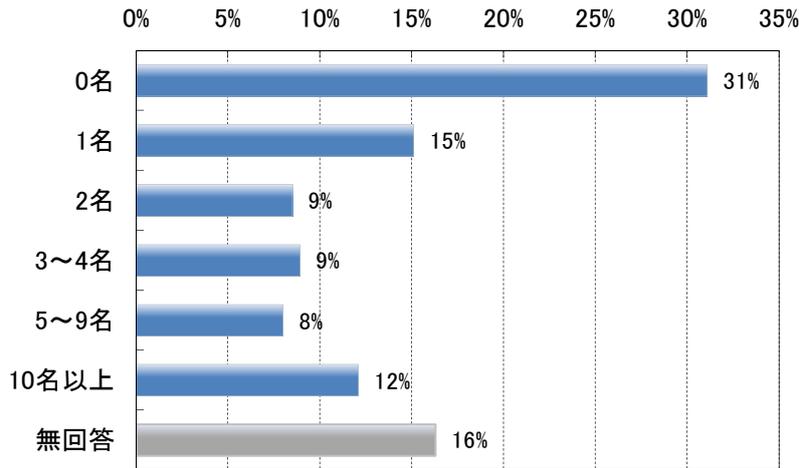
	件数	割合
3名以下	366	11%
4～9名	467	13%
10～29名	537	15%
30～99名	496	14%
100～199名	417	12%
200～299名	254	7%
300～499名	290	8%
500名以上	326	9%
無回答	348	10%
全体	3,501件	100%

F 【全検査技師数】



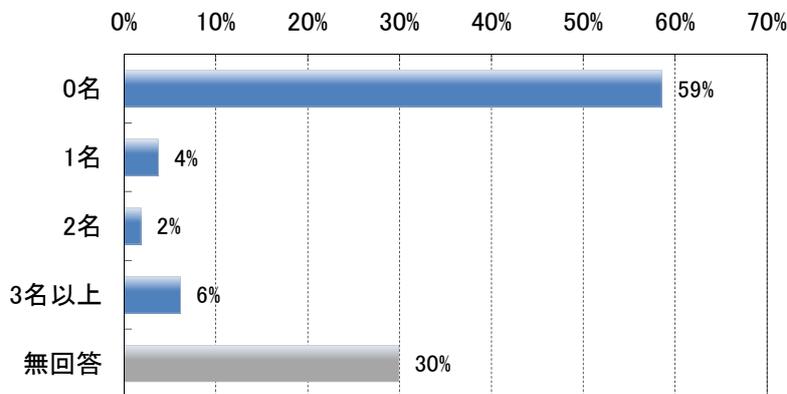
	件数	割合
1名	369	11%
2名	415	12%
3～4名	611	18%
5～6名	369	11%
7～9名	364	10%
10～14名	363	10%
15～19名	244	7%
20名以上	671	19%
無回答	95	3%
全体	3,501件	100%

G 【臨時職員数】



	件数	割合
0名	1090	31%
1名	527	15%
2名	296	9%
3~4名	313	9%
5~9名	281	8%
10名以上	425	12%
無回答	569	16%
全体	3,501件	100%

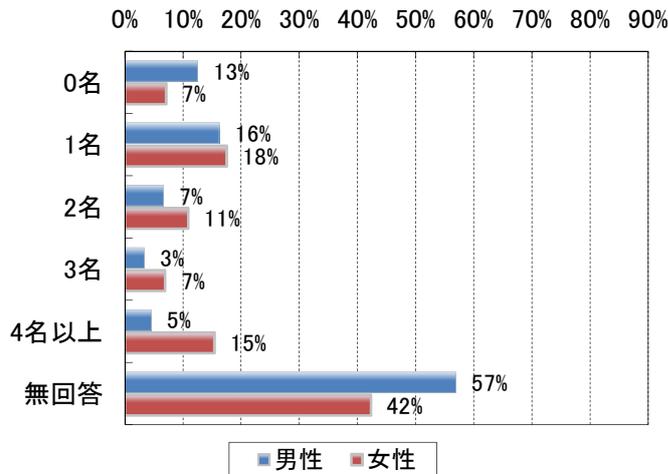
H 【人材派遣】



	件数	割合
0名	2049	59%
1名	129	4%
2名	62	2%
3名以上	214	6%
無回答	1047	30%
全体	3,501件	100%

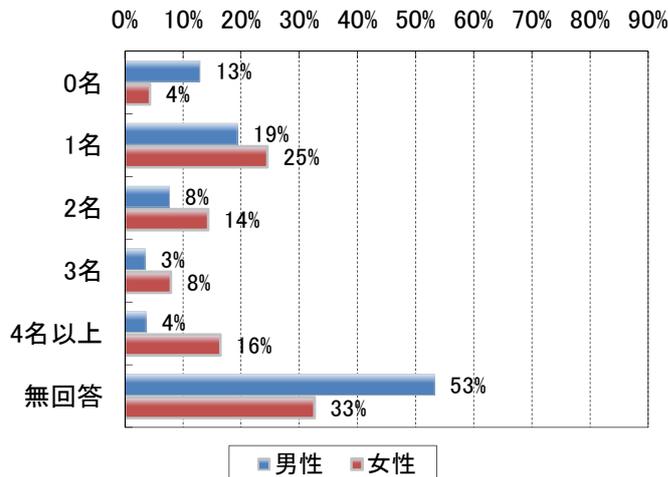
検査技師数【正規職員の年齢構成】

20代



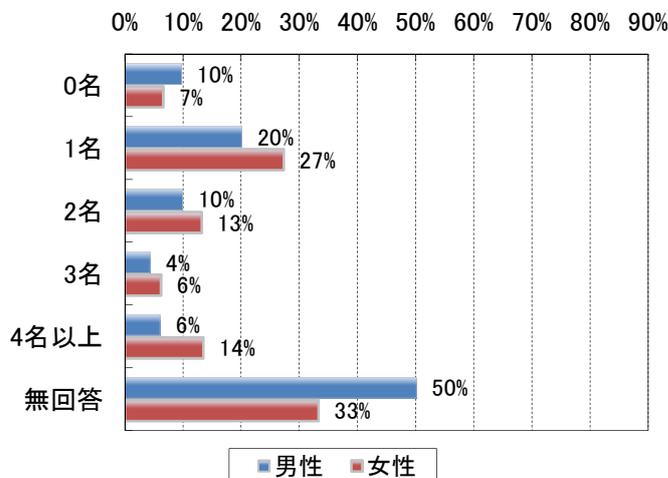
	男性		女性	
0名	438	13%	250	7%
1名	566	16%	611	18%
2名	231	7%	380	11%
3名	115	3%	241	7%
4名以上	159	5%	538	15%
無回答	1,992	57%	1,481	42%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

30代



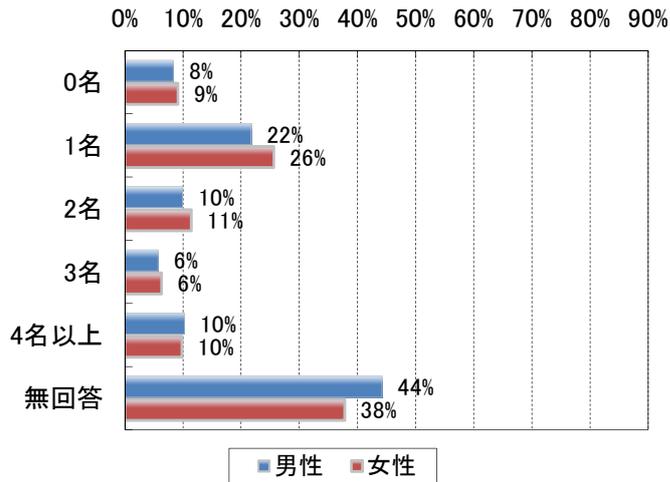
	男性		女性	
0名	451	13%	151	4%
1名	677	19%	858	25%
2名	267	8%	502	14%
3名	119	3%	275	8%
4名以上	125	4%	573	16%
無回答	1,862	53%	1,142	33%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

40代



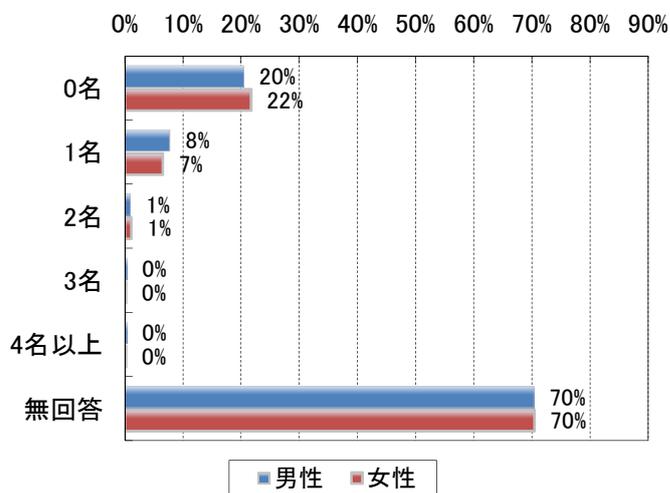
	男性		女性	
0名	339	10%	231	7%
1名	702	20%	955	27%
2名	346	10%	463	13%
3名	150	4%	216	6%
4名以上	209	6%	471	14%
無回答	1,755	50%	1,165	33%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

50代



	男性		女性	
0名	290	8%	318	9%
1名	761	22%	895	26%
2名	348	10%	400	11%
3名	198	6%	220	6%
4名以上	357	10%	343	10%
無回答	1,547	44%	1,325	38%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

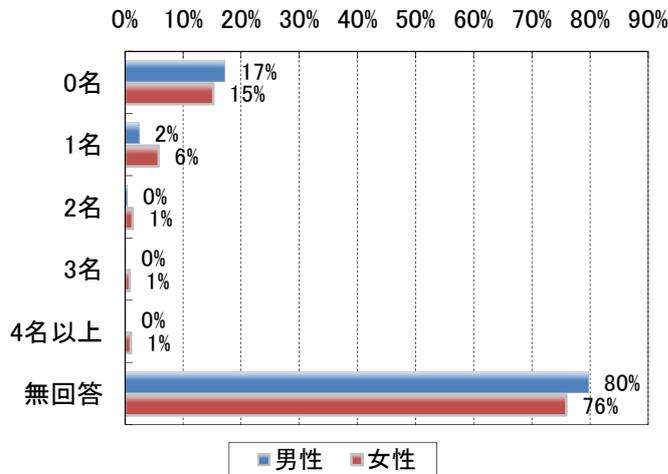
60代以上



	男性		女性	
0名	715	20%	760	22%
1名	270	8%	226	7%
2名	31	1%	38	1%
3名	12	0%	7	0%
4名以上	11	0%	7	0%
無回答	2,462	70%	2,463	70%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

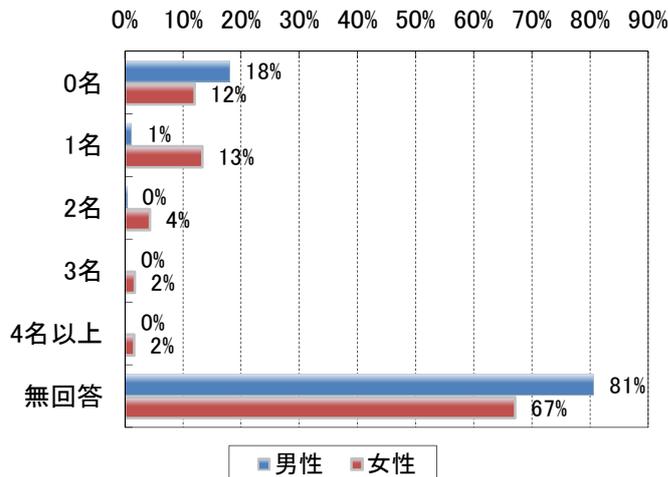
検査技師数【臨時職員(アルバイト・パート等)の年齢構成】

20代



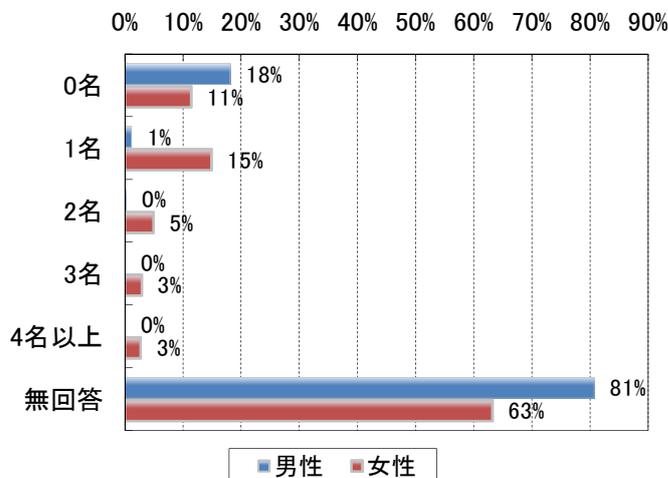
	男性		女性	
0名	602	17%	531	15%
1名	84	2%	203	6%
2名	15	0%	47	1%
3名	5	0%	29	1%
4名以上	4	0%	35	1%
無回答	2,791	80%	2,656	76%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

30代



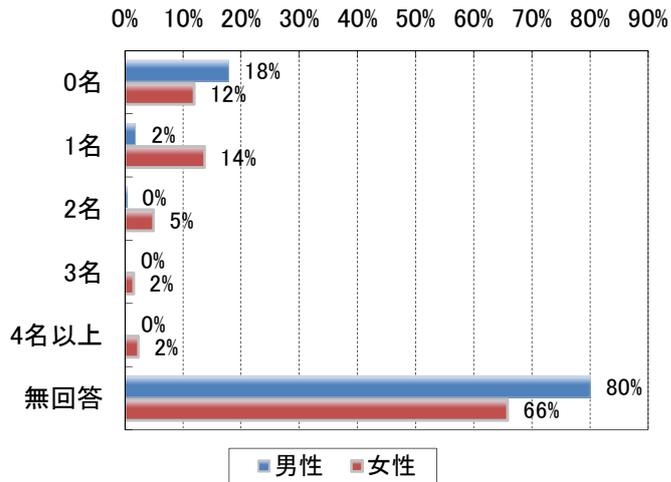
	男性		女性	
0名	629	18%	420	12%
1名	40	1%	467	13%
2名	9	0%	150	4%
3名	1	0%	59	2%
4名以上	0	0%	56	2%
無回答	2,822	81%	2,349	67%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

40代



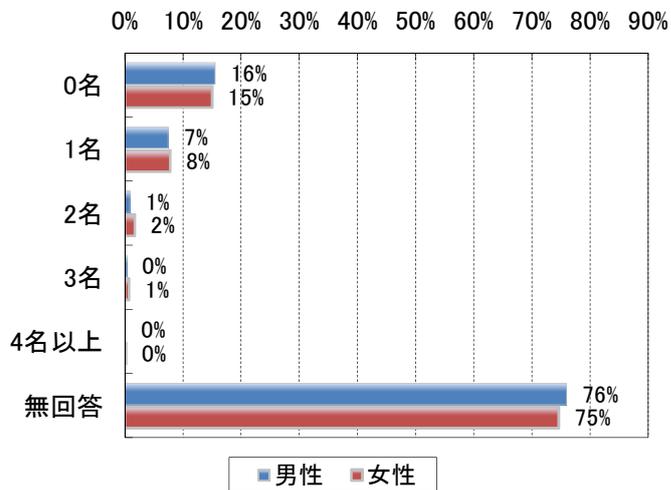
	男性		女性	
0名	633	18%	399	11%
1名	38	1%	521	15%
2名	6	0%	172	5%
3名	0	0%	100	3%
4名以上	0	0%	96	3%
無回答	2,824	81%	2,213	63%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

50代



	男性		女性	
0名	624	18%	415	12%
1名	63	2%	479	14%
2名	9	0%	171	5%
3名	0	0%	54	2%
4名以上	3	0%	80	2%
無回答	2,802	80%	2,302	66%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

60代以上

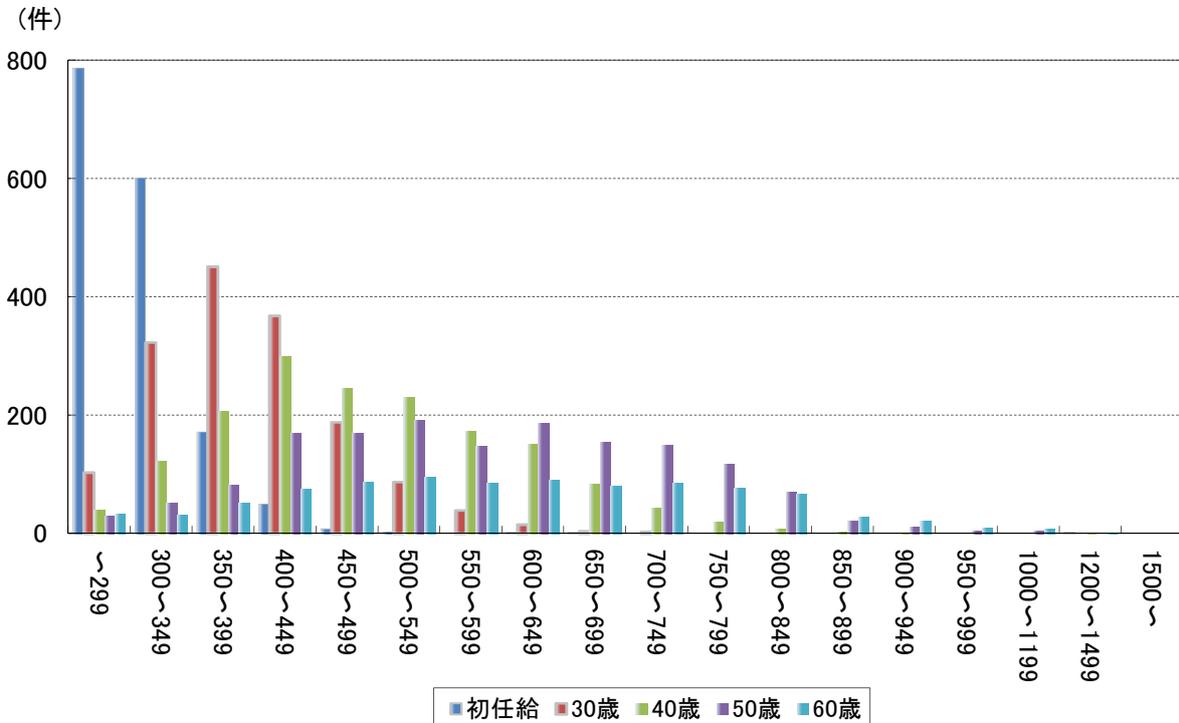


	男性		女性	
0名	542	16%	524	15%
1名	258	7%	274	8%
2名	28	1%	60	2%
3名	11	0%	23	1%
4名以上	5	0%	8	0%
無回答	2,657	76%	2,612	75%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

検査技師正規職員

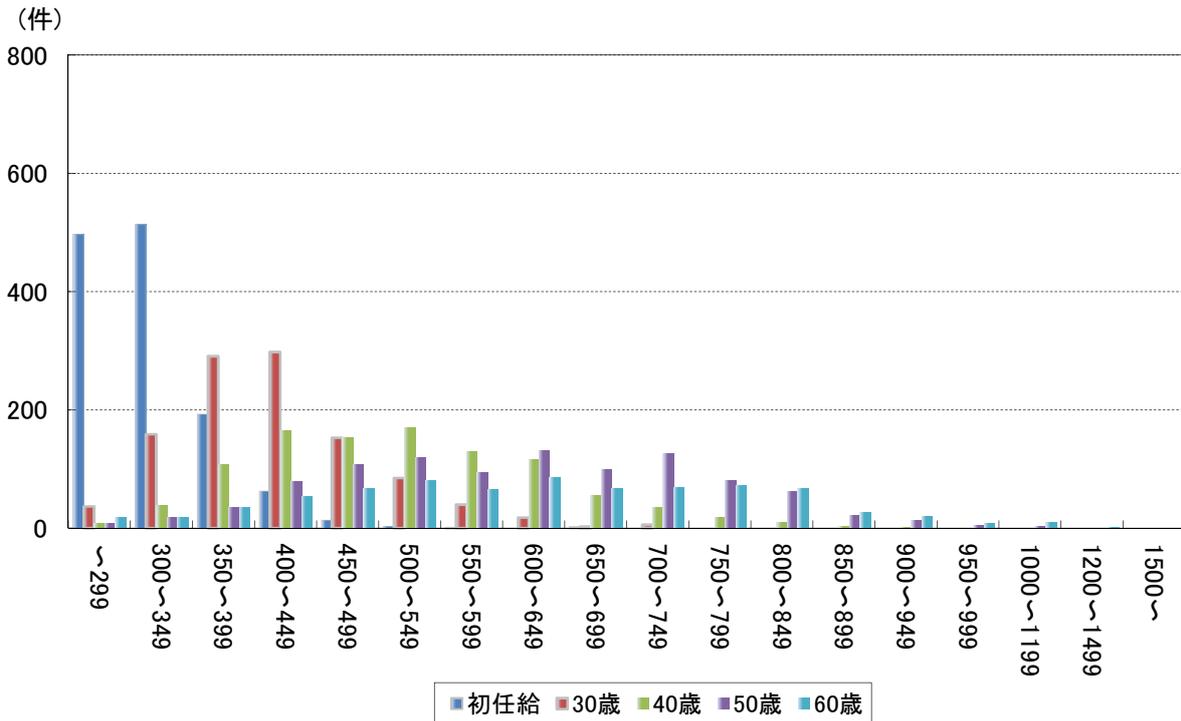
【年齢別平均の年収】

臨床検査技師(専門・短大卒)



	初任給		30歳		40歳		50歳		60歳	
~299万円	787	23%	103	3%	40	1%	30	1%	33	1%
300~349万円	601	17%	323	9%	122	4%	52	2%	32	1%
350~399万円	172	5%	451	13%	207	6%	83	2%	51	2%
400~449万円	50	1%	368	11%	300	9%	170	5%	75	2%
450~499万円	8	0%	188	5%	246	7%	169	5%	87	3%
500~549万円	3	0%	87	3%	230	7%	192	6%	95	3%
550~599万円	0	0%	39	1%	173	5%	148	4%	86	3%
600~649万円	1	0%	15	0%	152	4%	186	5%	91	3%
650~699万円	1	0%	4	0%	84	2%	155	4%	80	2%
700~749万円	0	0%	3	0%	43	1%	150	4%	86	3%
750~799万円	0	0%	0	0%	20	1%	117	3%	77	2%
800~849万円	0	0%	0	0%	8	0%	70	2%	67	2%
850~899万円	0	0%	0	0%	3	0%	22	1%	28	1%
900~949万円	0	0%	0	0%	2	0%	11	0%	21	1%
950~999万円	0	0%	0	0%	0	0%	5	0%	10	0%
1,000~1,199万円	0	0%	0	0%	0	0%	5	0%	7	0%
1,200~1,499万円	1	0%	0	0%	1	0%	0	0%	2	0%
1,500万円以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1,877	54%	1,920	55%	1,870	53%	1,936	55%	2,573	74%
全体	3,501件	100%								

臨床検査技師(大卒)

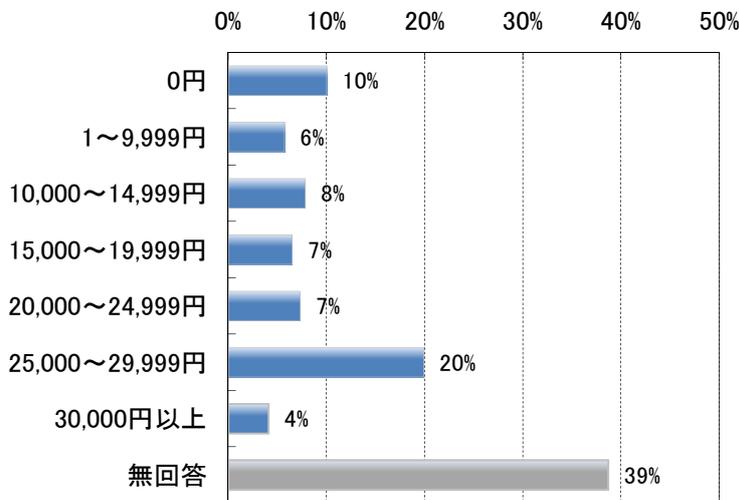


	初任給		30歳		40歳		50歳		60歳	
~299万円	497	14%	37	1%	9	0%	9	0%	19	1%
300~349万円	514	15%	159	5%	39	1%	18	1%	19	1%
350~399万円	193	6%	291	8%	108	3%	36	1%	35	1%
400~449万円	63	2%	298	9%	166	5%	79	2%	55	2%
450~499万円	14	0%	153	4%	154	4%	109	3%	67	2%
500~549万円	3	0%	85	2%	171	5%	119	3%	81	2%
550~599万円	1	0%	40	1%	130	4%	95	3%	65	2%
600~649万円	0	0%	18	1%	116	3%	132	4%	86	3%
650~699万円	2	0%	3	0%	56	2%	100	3%	67	2%
700~749万円	0	0%	6	0%	35	1%	126	4%	70	2%
750~799万円	0	0%	0	0%	19	1%	81	2%	73	2%
800~849万円	0	0%	0	0%	10	0%	62	2%	68	2%
850~899万円	0	0%	0	0%	3	0%	22	1%	28	1%
900~949万円	0	0%	0	0%	2	0%	14	0%	21	1%
950~999万円	0	0%	0	0%	0	0%	6	0%	8	0%
1,000~1,199万円	0	0%	0	0%	0	0%	4	0%	10	0%
1,200~1,499万円	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	0%
1,500万円以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2,214	63%	2,411	69%	2,483	71%	2,489	71%	2,727	78%
全体	3,501件	100%								

検査技師正規職員

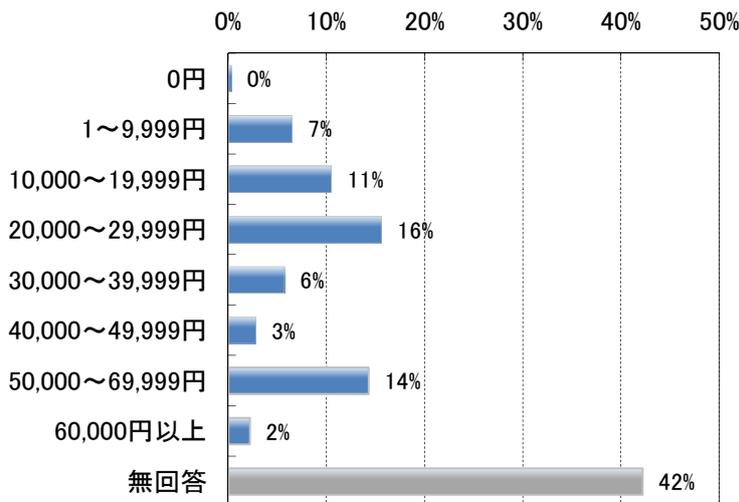
【平均諸手当】

住宅手当(上限)



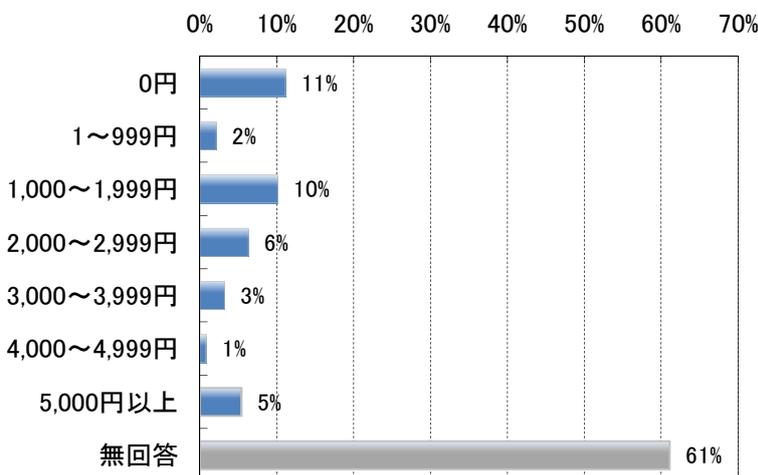
	件数	割合
0円	349	10%
1～9,999円	201	6%
10,000～14,999円	273	8%
15,000～19,999円	228	7%
20,000～24,999円	256	7%
25,000～29,999円	697	20%
30,000円以上	142	4%
無回答	1355	39%
全体	3,501件	100%

通勤手当(上限)



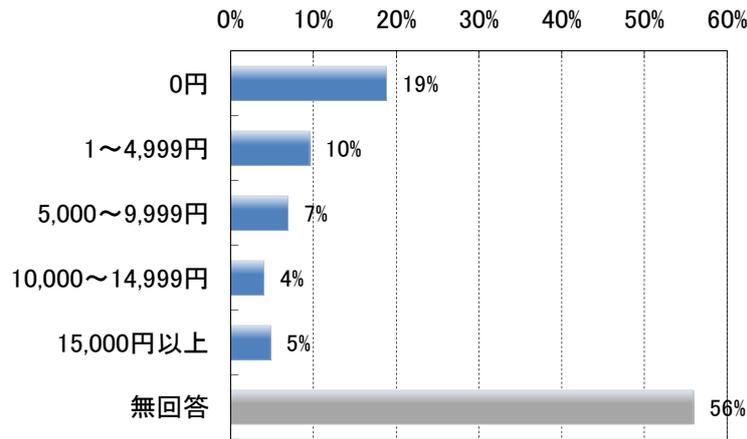
	件数	割合
0円	9	0%
1～9,999円	227	7%
10,000～19,999円	368	11%
20,000～29,999円	546	16%
30,000～39,999円	200	6%
40,000～49,999円	98	3%
50,000～59,999円	500	14%
60,000円以上	76	2%
無回答	1477	42%
全体	3,501件	100%

時間外呼出手当



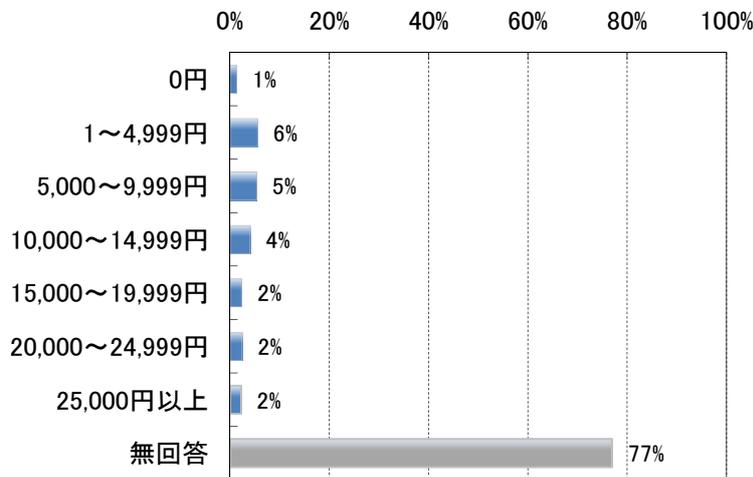
	件数	割合
0円	387	11%
1～999円	73	2%
1,000～1,999円	354	10%
2,000～2,999円	220	6%
3,000～3,999円	112	3%
4,000～4,999円	28	1%
5,000円以上	188	5%
無回答	2139	61%
全体	3,501件	100%

危険手当



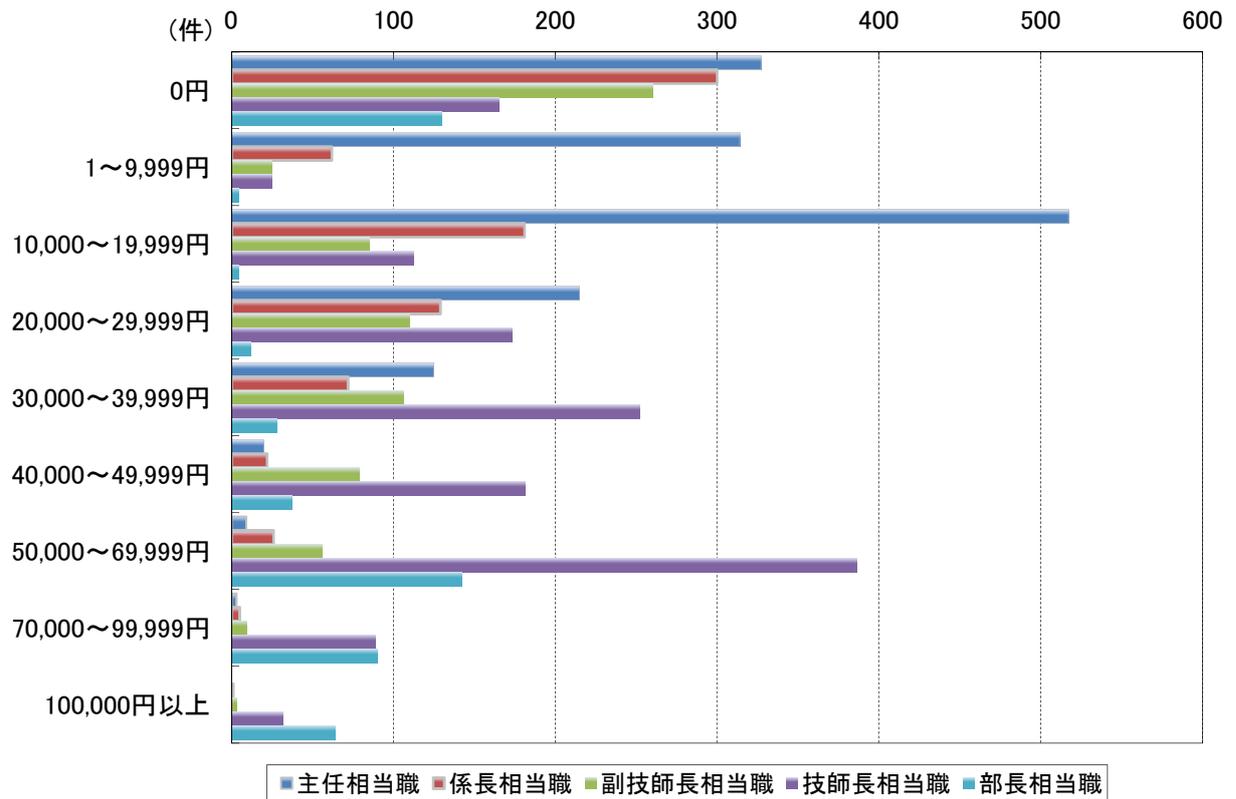
	件数	割合
0円	658	19%
1～4,999円	332	10%
5,000～9,999円	243	7%
10,000～14,999円	141	4%
15,000円以上	169	5%
無回答	1958	56%
全体	3,501件	100%

その他手当



	件数	割合
0円	46	1%
1～4,999円	194	6%
5,000～9,999円	186	5%
10,000～14,999円	140	4%
15,000～19,999円	81	2%
20,000～24,999円	84	2%
25,000円以上	76	2%
無回答	2694	77%
全体	3,501件	100%

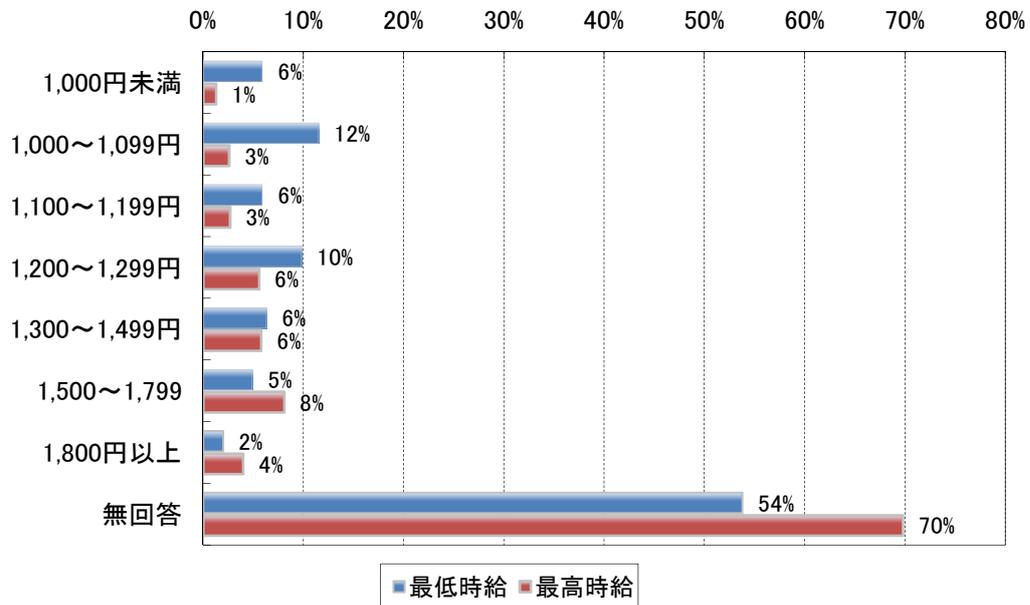
役職手当



	主任相当職		係長相当職		副技師長相当職		技師長相当職		部長相当職	
0円	327	9%	300	9%	260	7%	165	5%	130	4%
1~9,999円	314	9%	62	2%	25	1%	25	1%	4	0%
10,000~19,999円	517	15%	181	5%	85	2%	112	3%	4	0%
20,000~29,999円	215	6%	129	4%	110	3%	173	5%	12	0%
30,000~39,999円	125	4%	72	2%	106	3%	252	7%	28	1%
40,000~49,999円	20	1%	22	1%	79	2%	181	5%	37	1%
50,000~69,999円	9	0%	26	1%	56	2%	386	11%	142	4%
70,000~99,999円	3	0%	5	0%	9	0%	89	3%	90	3%
100,000円以上	0	0%	1	0%	3	0%	32	1%	64	2%
無回答	1,971	56%	2,703	77%	2,768	79%	2,086	60%	2,990	85%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%	3,501件	100%	3,501件	100%	3,501件	100%

検査技師臨時職員(アルバイト・パート等)

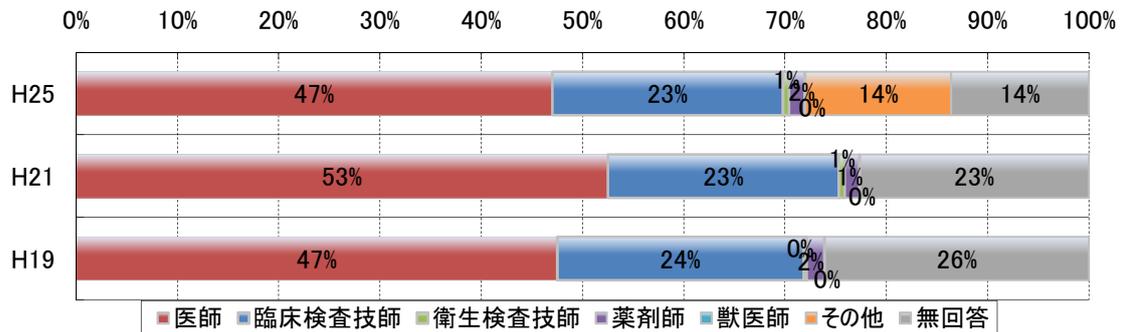
時間給



	最低時給		最高時給	
	件数	割合	件数	割合
1,000円未満	205	6%	45	1%
1,000～1,099円	401	12%	92	3%
1,100～1,199円	206	6%	95	3%
1,200～1,299円	343	10%	197	6%
1,300～1,499円	222	6%	203	6%
1,500～1,799円	170	5%	284	8%
1,800円以上	70	2%	140	4%
無回答	1,884	54%	2,445	70%
全体	3,501件	100%	3,501件	100%

I.検査部門の管理体制について

問1.検査部部長の職種をお尋ねします



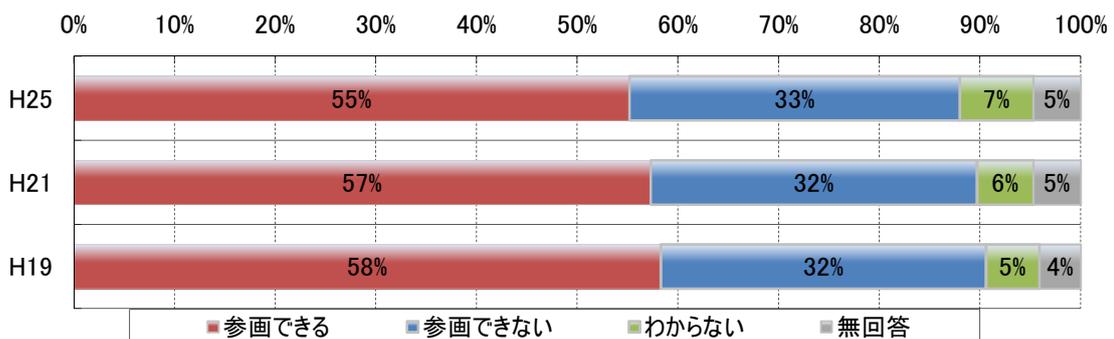
	H25	H21	H19
1 医師	1,646 47%	1,579 53%	1,598 47%
2 臨床検査技師	798 23%	687 23%	819 24%
3 衛生検査技師	20 1%	18 1%	11 0%
4 薬剤師	52 2%	43 1%	59 2%
5 獣医師	4 0%	4 0%	7 0%
6 その他	504 14%	-	-
無回答	477 14%	679 23%	878 26%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

検査部部長の職種は「医師」が47%（H21:53%、H19:47%）と全体のほぼ半数を占め最も多く、次いで、「臨床検査技師」が23%（H21:23%、H19:24%）となっている。また、「その他」（今回調査より新設）は14%となっている。

問2.臨床検査技師の責任者（技師長等）が、運営会議・経営会議等に参画できますか。

※参画:オブザーバーでも可

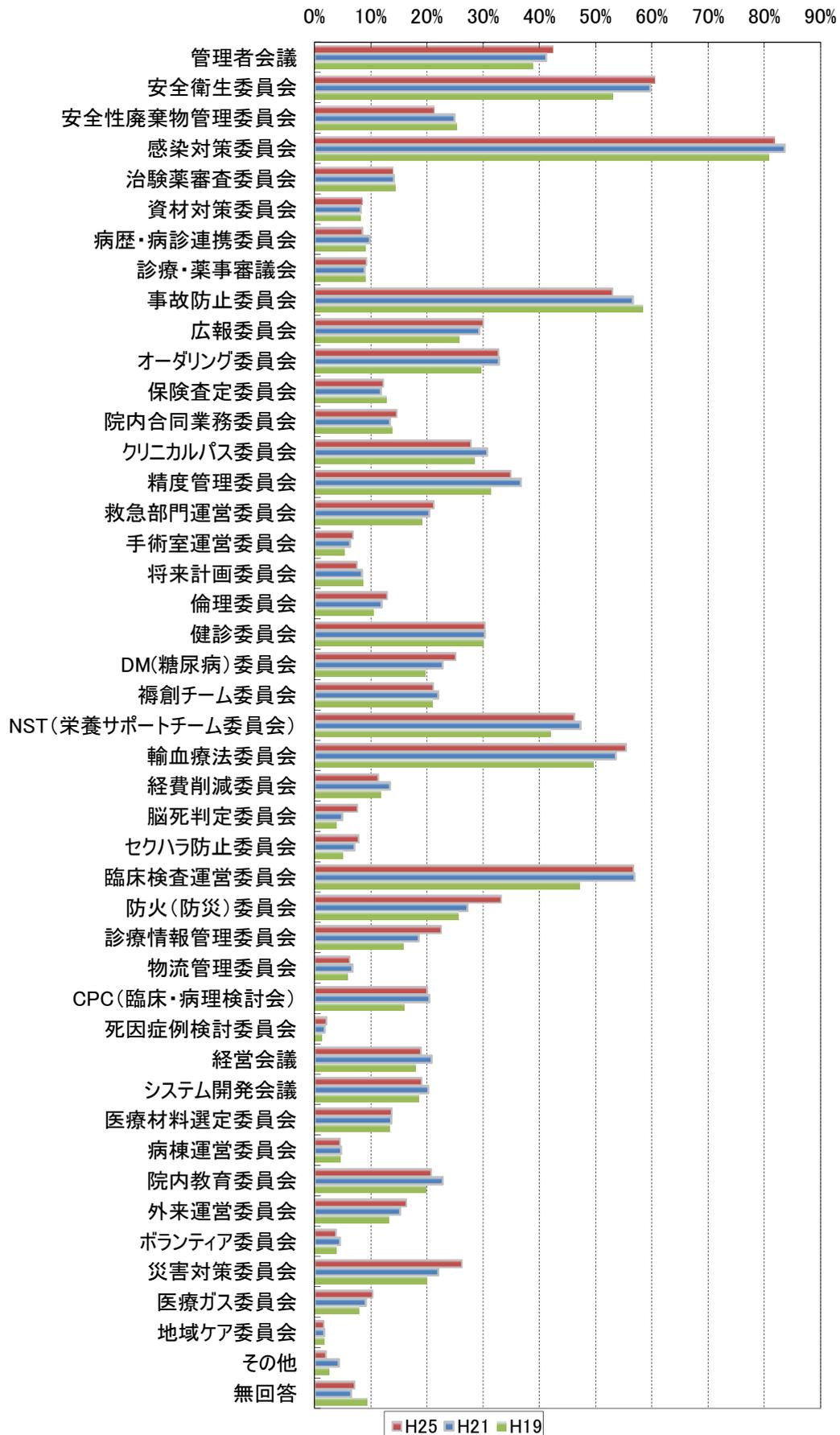


	H25	H21	H19
1 参画できる	1,931 55%	1,725 57%	1,967 58%
2 参画できない	1,150 33%	975 32%	1,090 32%
3 わからない	255 7%	168 6%	178 5%
無回答	165 5%	142 5%	137 4%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

臨床検査技師責任者（技師長等）の運営会議・経営会議等に「参画できる」施設の割合は55%であるが、H19年度は58%、H21年度は57%と微減傾向にある。一方、「参画できない」施設の割合は33%（H21:32%、H19:32%）でほぼ横ばいである。

問3. 臨床検査技師が、次に示す関連会議に参加していますか
 ※必ずしも名称が同じでなくても可



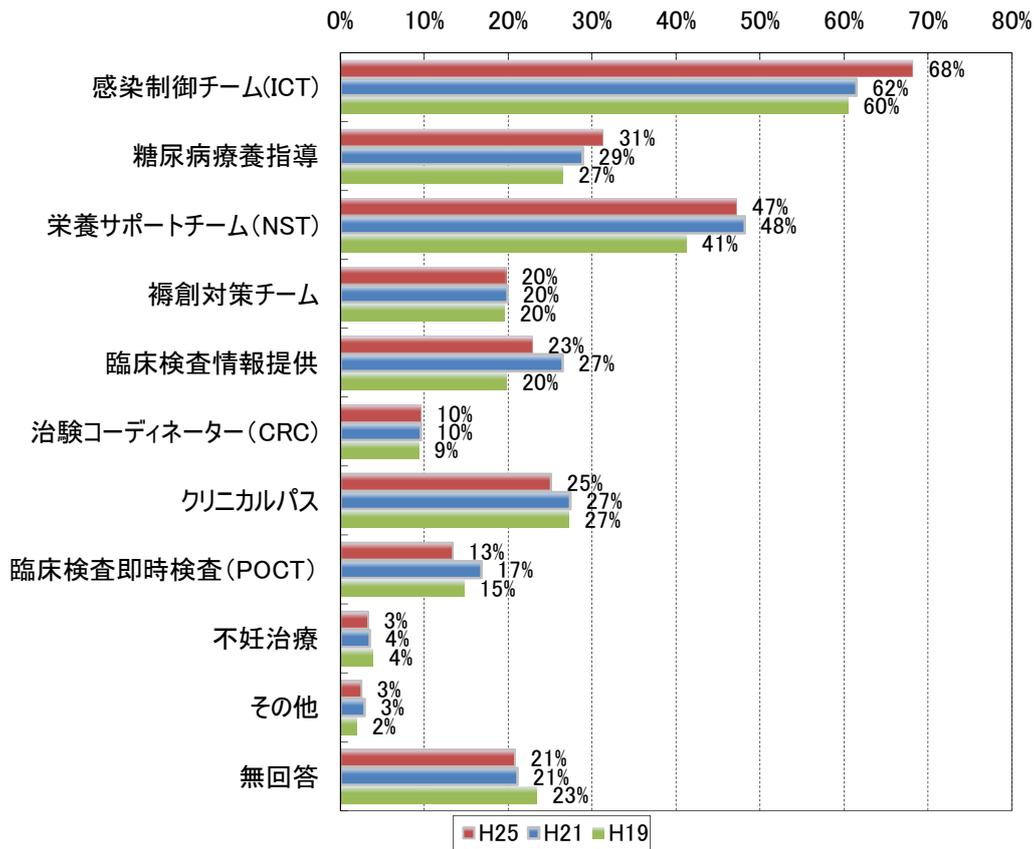
		H25		H21		H19	
1	管理者会議	1,483	42%	1,240	41%	1,308	39%
2	安全衛生委員会	2,118	61%	1,796	60%	1,786	53%
3	安全性廃棄物管理委員会	741	21%	750	25%	852	25%
4	感染対策委員会	2,861	82%	2,515	84%	2,725	81%
5	治験薬審査委員会	485	14%	423	14%	483	14%
6	資材対策委員会	295	8%	246	8%	277	8%
7	病歴・病診連携委員会	298	9%	294	10%	303	9%
8	診療・薬事審議会	323	9%	269	9%	304	9%
9	事故防止委員会	1,857	53%	1,703	57%	1,967	58%
10	広報委員会	1,049	30%	883	29%	868	26%
11	オーダリング委員会	1,144	33%	986	33%	997	30%
12	保険査定委員会	426	12%	355	12%	431	13%
13	院内合同業務委員会	511	15%	402	13%	462	14%
14	クリニカルパス委員会	975	28%	925	31%	957	28%
15	精度管理委員会	1,222	35%	1,105	37%	1,054	31%
16	救急部門運営委員会	742	21%	613	20%	639	19%
17	手術室運営委員会	239	7%	191	6%	175	5%
18	将来計画委員会	262	8%	253	8%	288	9%
19	倫理委員会	451	13%	358	12%	351	10%
20	健診委員会	1,060	30%	912	30%	1,013	30%
21	DM(糖尿病)委員会	879	25%	686	23%	665	20%
22	褥創子チーム委員会	739	21%	663	22%	709	21%
23	NST(栄養サポートチーム委員会)	1,619	46%	1,423	47%	1,416	42%
24	輸血療法委員会	1,938	55%	1,614	54%	1,672	50%
25	経費削減委員会	394	11%	402	13%	396	12%
26	脳死判定委員会	265	8%	146	5%	129	4%
27	セクハラ防止委員会	272	8%	214	7%	170	5%
28	臨床検査運営委員会	1,984	57%	1,714	57%	1,590	47%
29	防火(防災)委員会	1,164	33%	818	27%	860	26%
30	診療情報管理委員会	787	23%	556	19%	532	16%
31	物流管理委員会	218	6%	203	7%	200	6%
32	CPC(臨床・病理検討会)	699	20%	615	20%	537	16%
33	死因症例検討委員会	72	2%	54	2%	43	1%
34	経営会議	661	19%	627	21%	604	18%
35	システム開発会議	665	19%	607	20%	625	19%
36	医療材料選定委員会	479	14%	409	14%	449	13%
37	病棟運営委員会	156	5%	141	5%	151	5%
38	院内教育委員会	724	21%	685	23%	667	20%
39	外来運営委員会	569	16%	457	15%	444	13%
40	ボランティア委員会	134	4%	136	5%	128	4%
41	災害対策委員会	919	26%	661	22%	671	20%
42	医療ガス委員会	361	10%	274	9%	262	8%
43	地域ケア委員会	57	2%	51	2%	57	2%
44	その他	70	2%	128	4%	84	3%
	無回答	248	7%	197	7%	312	9%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

臨床検査技師が参加している関連会議としては、「感染対策委員会」が82%と最も多く、次いで、「安全衛生委員会」が61%、「臨床検査運営委員会」が57%、「輸血療法委員会」が55%、「事故防止委員会」が53%となっている。

「安全衛生委員会」、「臨床検査運営委員会」および「輸血療法委員会」は、H19年度から増加しているが、「事故防止委員会」は減少傾向にある。

問4. 貴施設においてどのようなチーム医療へ参画していますか

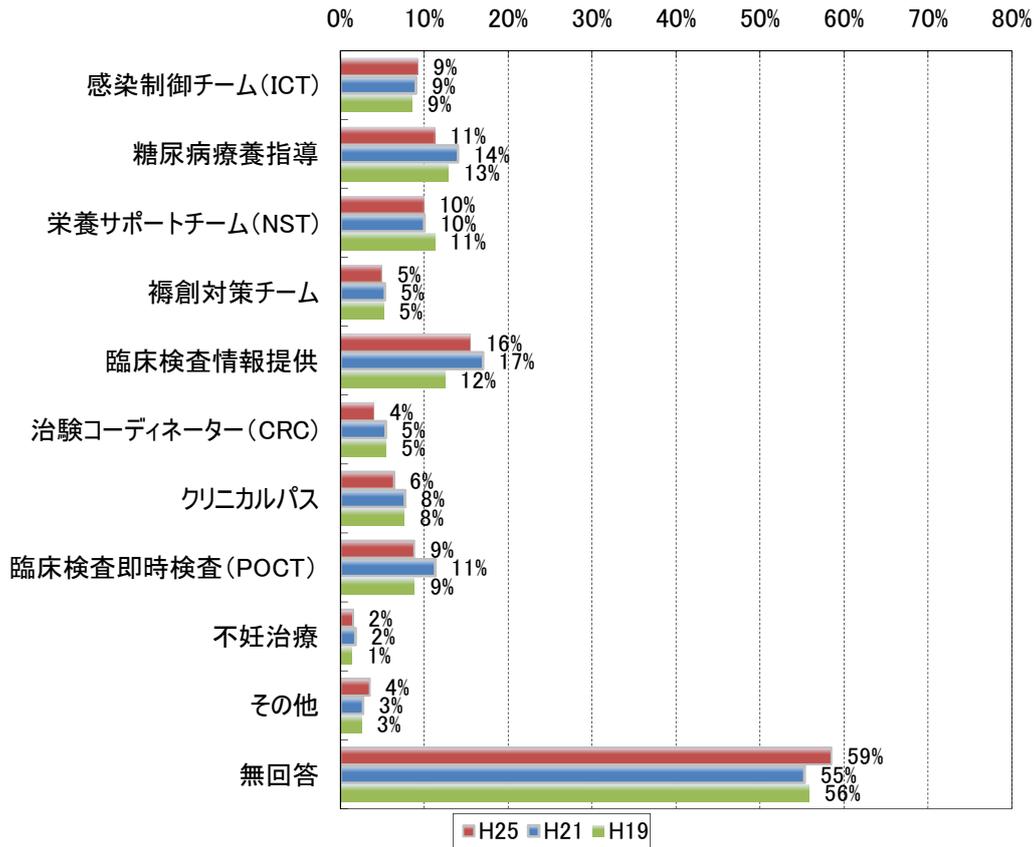


		H25		H21		H19	
1	感染制御チーム(ICT)	2,389	68%	1,851	62%	2,036	60%
2	糖尿病療養指導	1,097	31%	870	29%	893	27%
3	栄養サポートチーム(NST)	1,653	47%	1,450	48%	1,389	41%
4	褥創対策チーム	688	20%	600	20%	656	20%
5	臨床検査情報提供	802	23%	798	27%	666	20%
6	治験コーディネーター(CRC)	337	10%	290	10%	313	9%
7	クリニカルパス	880	25%	826	27%	916	27%
8	臨床検査即時検査(POCT)	468	13%	507	17%	496	15%
9	不妊治療	116	3%	104	4%	132	4%
10	その他	89	3%	86	3%	65	2%
	無回答	728	21%	635	21%	789	23%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

参画しているチーム医療は、「感染制御チーム(ICT)」が68%と最も多く3分の2以上の施設が参画している。次いで、「栄養サポートチーム(NST)」が47%、「糖尿病療養指導」が31%となっている。「感染制御チーム(ICT)」、「糖尿病療養指導」はH19年度以降増加傾向にあり、「栄養サポートチーム(NST)」はH19年度からH21年度にかけて増加し、H25年度はほぼ横ばいで推移している。

問5. 貴施設において将来どのようなチーム医療へ参画を計画していますか

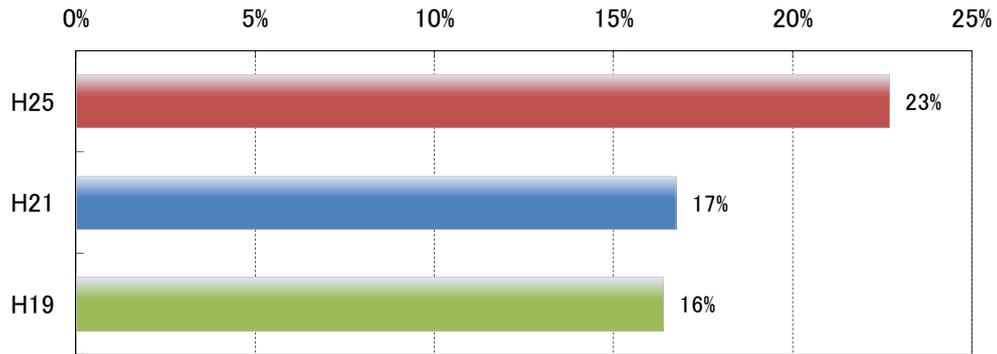


		H25		H21		H19	
1	感染制御チーム (ICT)	323	9%	272	9%	288	9%
2	糖尿病療養指導	393	11%	420	14%	432	13%
3	栄養サポートチーム (NST)	348	10%	301	10%	377	11%
4	褥創対策チーム	170	5%	161	5%	171	5%
5	臨床検査情報提供	544	16%	512	17%	419	12%
6	治験コーディネーター (CRC)	141	4%	164	5%	181	5%
7	クリニカルパス	223	6%	232	8%	257	8%
8	臨床検査即時検査 (POCT)	308	9%	341	11%	297	9%
9	不妊治療	51	2%	53	2%	44	1%
10	その他	123	4%	81	3%	83	3%
	無回答	2,047	59%	1,664	55%	1,880	56%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

将来参画を計画しているチーム医療としては、「臨床検査情報提供」が16% (H21: 17%、H19: 12%)と最も多く、次いで、「糖尿病療養指導」が11% (H21: 14%、H19: 13%)、「栄養サポートチーム (NST)」が10% (H21: 10%、H19: 11%)となっている。

問6. 貴施設において非会員の方は、全検査技師数のうち何人いますか



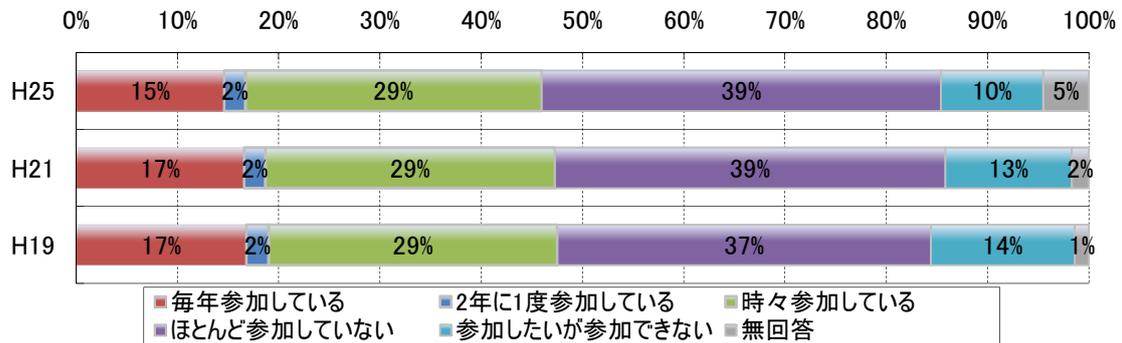
	H25		H21		H19	
全技師数	37,199		31,888		37,701	
非会員数	8,446	23%	5,339	17%	6,214	16%

【コメント】

施設内の全技師数に対する非会員数の比率は23% (H21:17%、H19:16%)であり、増加傾向にある。

II.学会・研修会の参加状況について

問7.貴施設の日本医学検査学会への参加についてお尋ねします

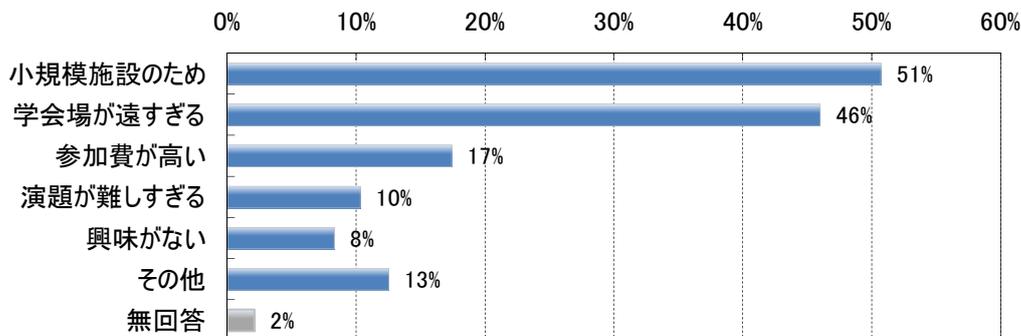


	H25	H21	H19
1 毎年参加している	510 15%	499 17%	568 17%
2 2年に1度参加している	75 2%	62 2%	75 2%
3 時々参加している	1,024 29%	860 29%	962 29%
4 ほとんど参加していない	1,378 39%	1,162 39%	1,243 37%
5 参加したいが参加できない	355 10%	376 13%	478 14%
無回答	159 5%	51 2%	46 1%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

日本医学検査学会への参加状況は、「ほとんど参加していない」が39%（H21:39%、H19:37%）と最も多く、次いで、「時々参加している」が29%（H21:29%、H19:29%）、「毎年参加している」が15%（H21:17%、H19:17%）となっている。

問8.「問7」で「4」又は「5」と回答した施設の方にご質問します（その理由）

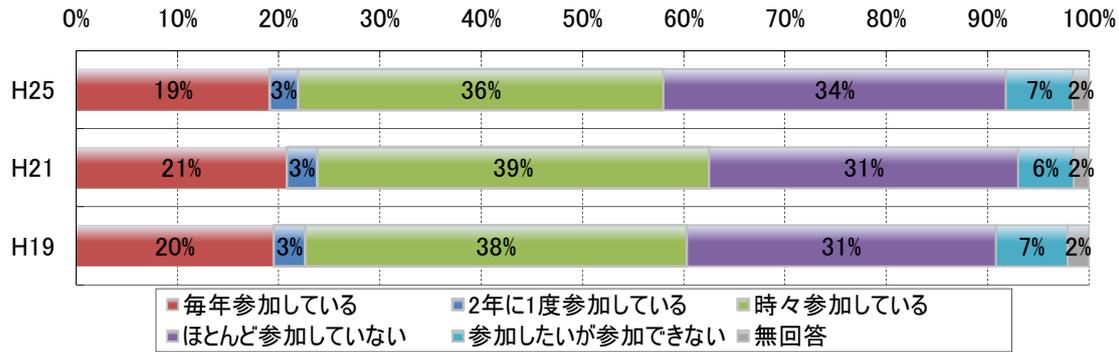


	H25
1 小規模施設のため	879 51%
2 学会場が遠すぎる	798 46%
3 参加費が高い	301 17%
4 演題が難しすぎる	178 10%
5 興味がない	143 8%
6 その他	217 13%
無回答	36 2%
全体	1,733件 100%

【コメント】

日本医学検査学会に、「ほとんど参加していない」あるいは「参加したいが参加できない」施設における参加できない理由としては、「小規模施設のため」が51%と最も多く、次いで、「学会場が遠すぎる」が46%となっている。

問9.支部医学検査学会(全国7支部)への参加についてお尋ねします

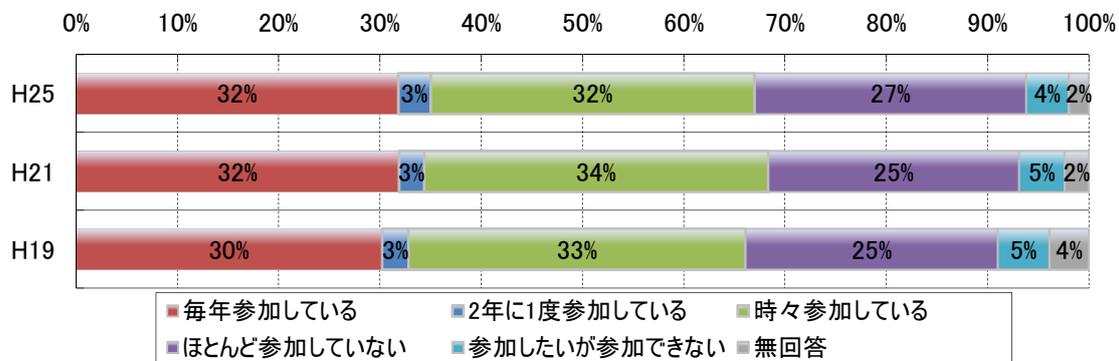


	H25		H21		H19	
1 毎年参加している	668	19%	626	21%	659	20%
2 2年に1度参加している	98	3%	90	3%	105	3%
3 時々参加している	1,264	36%	1,164	39%	1,271	38%
4 ほとんど参加していない	1,183	34%	917	31%	1,027	31%
5 参加したいが参加できない	231	7%	167	6%	240	7%
無回答	57	2%	46	2%	70	2%
全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

支部医学検査学会(全国7支部)への参加状況は、「時々参加している」が36%(H21:29%、H19:38%)と最も多く、次いで、「ほとんど参加していない」が34%(H21:31%、H19:31%)となっている。一方、「毎年参加している」は19%(H21:21%、H19:20%)にとどまっている。

問10.各都道府県単位の医学検査学会へ(県学会)の参加についてお尋ねします



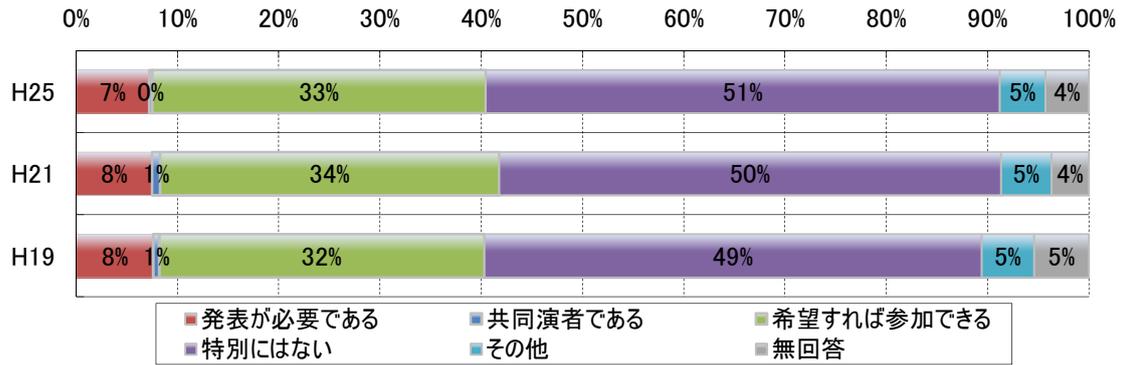
	H25		H21		H19	
1 毎年参加している	1,115	32%	959	32%	1,017	30%
2 2年に1度参加している	112	3%	74	3%	87	3%
3 時々参加している	1,119	32%	1,023	34%	1,124	33%
4 ほとんど参加していない	940	27%	747	25%	840	25%
5 参加したいが参加できない	146	4%	134	5%	172	5%
無回答	69	2%	73	2%	132	4%
全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

各都道府県単位の医学検査学会(県学会)への参加状況は、「時々参加している」が32%(H21:34%、H19:33%)、「毎年参加している」が32%(H21:32%、H19:30%)と、それぞれ全体の3分の1程度を占め、次いで、「ほとんど参加していない」が27%(H21:25%、H19:25%)となっている。

問7、9および10を比較すると、医学検査学会や支部学会より、身近な県学会の方に参加する施設が多い傾向にある。

問11.医学検査学会あるいは支部学会に参加する場合にはどのような制約がありますか

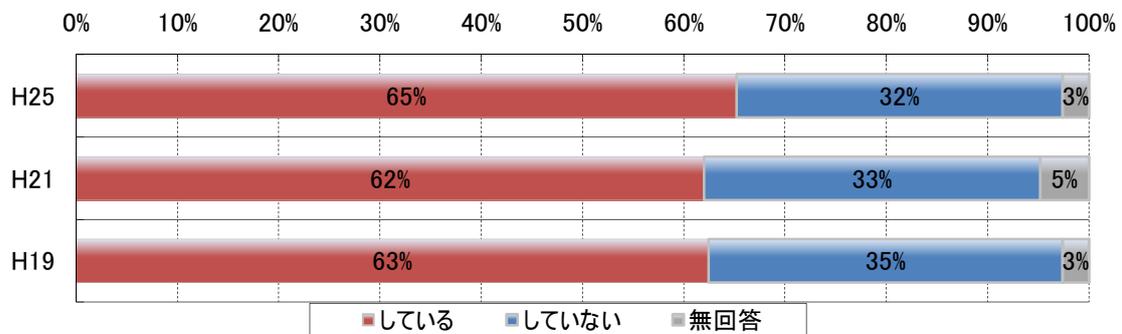


	H25	H21	H19
1 発表が必要である	251 7%	226 8%	257 8%
2 共同演者である	11 0%	23 1%	19 1%
3 希望すれば参加できる	1,153 33%	1,008 34%	1,084 32%
4 特別にはない	1,775 51%	1,492 50%	1,655 49%
5 その他	159 5%	149 5%	176 5%
無回答	152 4%	112 4%	181 5%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

医学検査学会や支部学会に参加する際の制約としては、「特別にはない」が51%（H21:50%、H19:49%）と過半数を占め、次いで、「希望すれば参加できる」が33%（H21:34%、H19:32%）となっており、具体的な制約要件はあまり認められない。

問12.他団体の学会に参加していますか

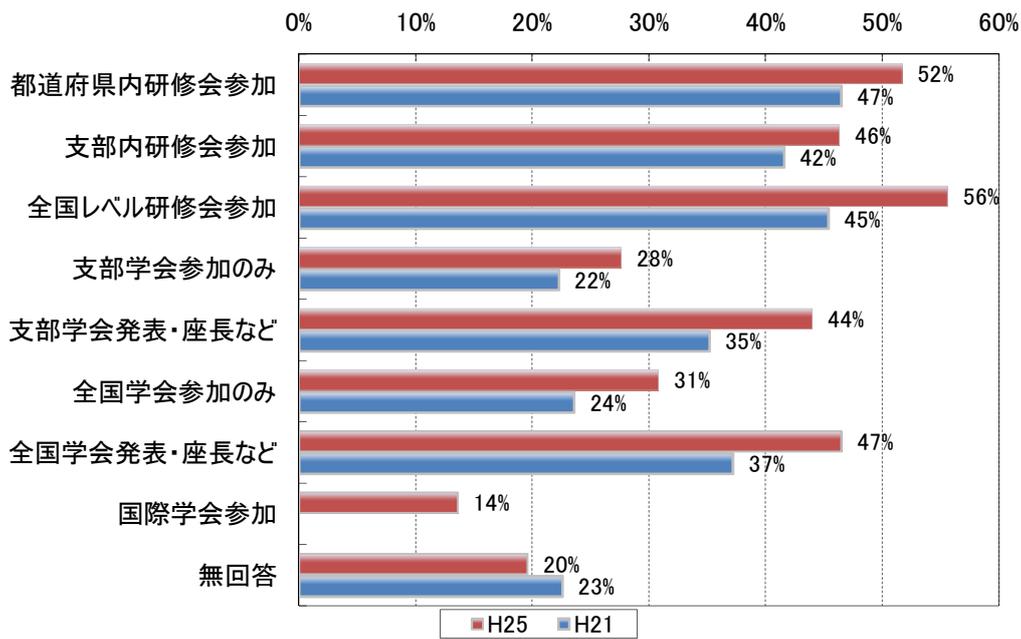


	H25	H21	H19
1 している	2,283 65%	1,866 62%	2,106 63%
2 していない	1,126 32%	1,000 33%	1,180 35%
無回答	92 3%	144 5%	86 3%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

他団体の学会に参加「している」施設は65%（H21:62%、H19:63%）とほぼ3分の2となっている。一方、参加「していない」施設は32%（H21:33%、H19:35%）でほぼ3分の1である。

問13.学会・研修会参加費の施設負担について
出張費(交通費・宿泊代)を施設で負担してもらえる項目をお答えください

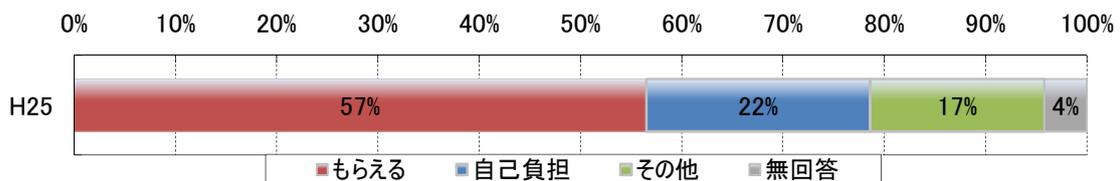


		H25		H21	
1	都道府県内研修会参加	1,811	52%	1,401	47%
2	支部内研修会参加	1,620	46%	1,252	42%
3	全国レベル研修会参加	1,948	56%	1,366	45%
4	支部学会参加のみ	966	28%	670	22%
5	支部学会発表・座長など	1,539	44%	1,060	35%
6	全国学会参加のみ	1,077	31%	710	24%
7	全国学会発表・座長など	1,629	47%	1,119	37%
8	国際学会参加	477	14%	-	-
	無回答	685	20%	680	23%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%

【コメント】

学会研修会参加費の施設負担については、「全国レベル研修会参加」の56% (H21:45%)、「都道府県内研修会参加」の52% (H21:47%)で過半数を超え、また、「全国学会発表・座長など」(47%)、「支部内研修会参加」(46%)、「支部学会発表・座長など」(44%)も多くなっている。H21年度に比べると、いずれのケースでも参加費を施設負担する比率は大きくなっている。

問14.施設の学会・研修会参加費負担について

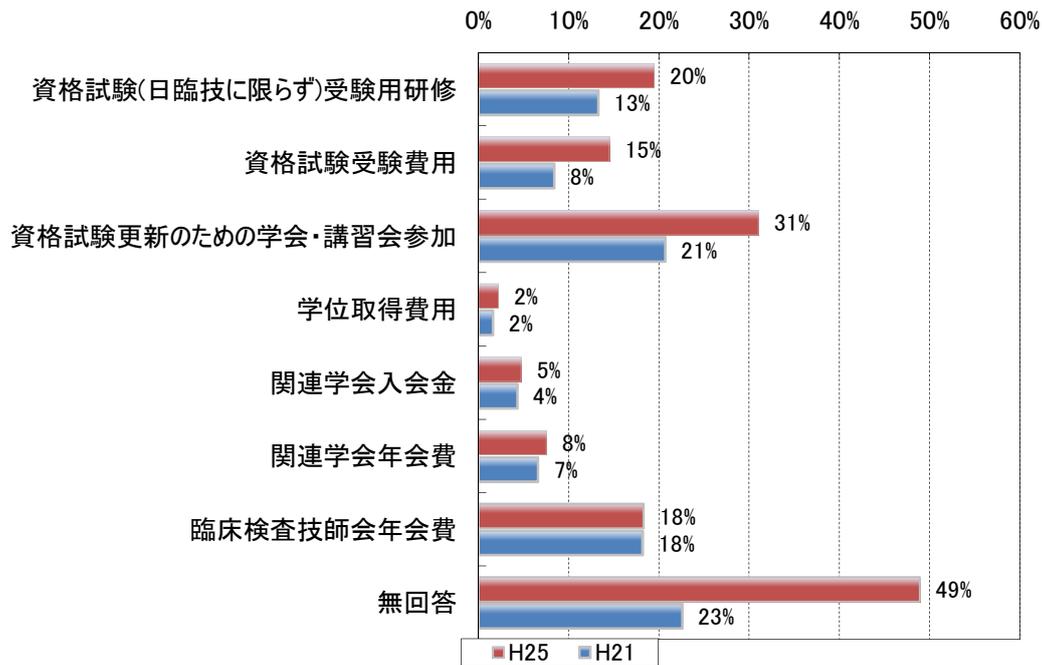


		H25	
1	もらえる	1,978	57%
2	自己負担	773	22%
3	その他	603	17%
	無回答	147	4%
	全体	3,501件	100%

【コメント】

学会・研修会参加費負担は、施設に負担して「もらえる」のが57%と過半数を占め、「自己負担」は22%となっている。

問15.認定取得などの取得に関わる経費の内、施設で負担してもらえる項目をお答えください



		H25		H21	
1	資格試験(日臨技に限らず)受験用研修	684	20%	400	13%
2	資格試験受験費用	509	15%	254	8%
3	資格試験更新のための学会・講習会参加	1,084	31%	624	21%
4	学位取得費用	78	2%	47	2%
5	関連学会入会金	166	5%	128	4%
6	関連学会年会費	264	8%	200	7%
7	臨床検査技師会年会費	639	18%	547	18%
	無回答	1,711	49%	680	23%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%

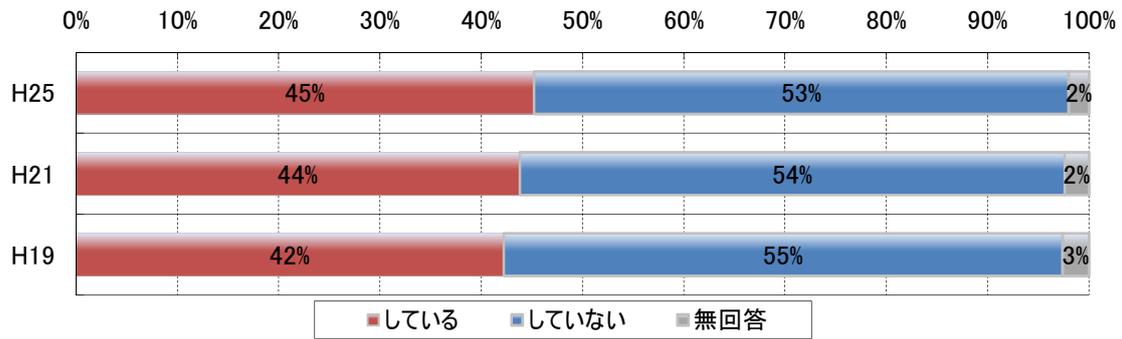
【コメント】

認定取得などの取得に関わる経費の内、施設で負担してもらえる項目は、「資格試験更新のための学会・講習会参加」の31%(H21:21%)が最も多く、次いで、「資格試験(日臨技に限らず)受験用研修」が20%(H21:13%)となっている。また、「臨床検査技師会年会費」(18%)、「資格試験受験費用」(15%)も比較的多い。

何れの項目においても、概ねH21年度に比べて、経費を負担する施設割合は拡大している。

Ⅲ.貴施設において臨床検査技師が採血に携わる内容について

問16.臨床検査技師が採血をしていますか

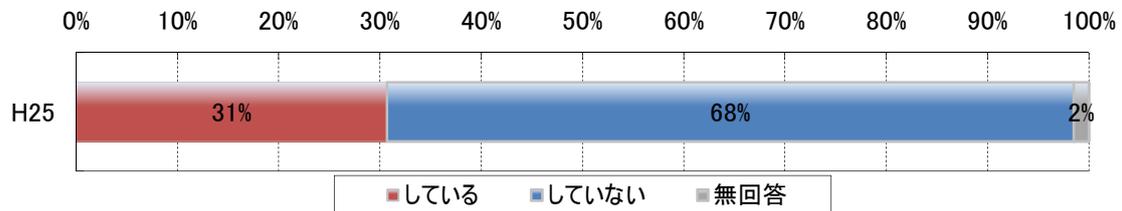


		H25		H21		H19	
1	している	1,582	45%	1,319	44%	1,422	42%
2	していない	1,848	53%	1,620	54%	1,862	55%
	無回答	71	2%	71	2%	88	3%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

臨床検査技師が採血を「している」施設は45%（H21：44%、H19：42%）、「していない」施設は53%（H21：54%、H19：55%）となっている。

問17.「問16」で「1」と回答した施設の方にご質問します。
採血業務のために早出出勤(フレックス制)を導入していますか

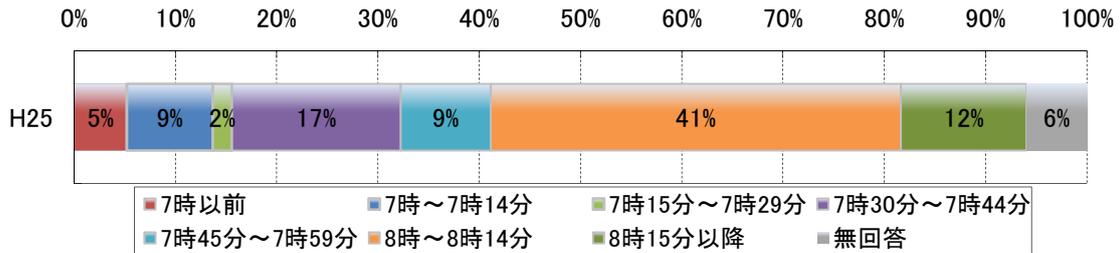


		H25	
1	している	485	31%
2	していない	1,074	68%
	無回答	23	2%
	全体	1,582件	100%

【コメント】

臨床検査技師が採血をしている施設のうち、採血業務のために早出出勤(フレックス制)を導入「している」施設は31%、「していない」施設は68%となっている。

早出出勤(フレックス制)の出勤時間

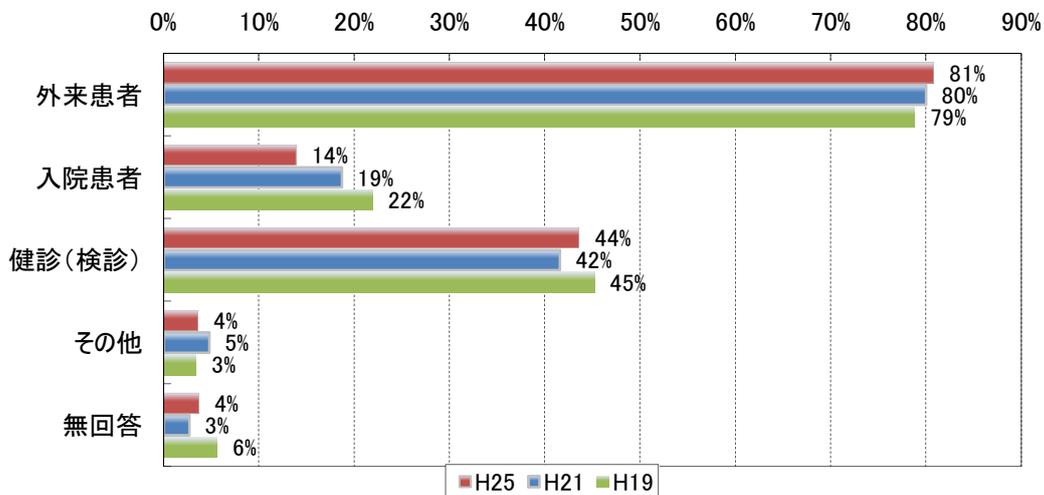


		H25	
1	7時以前	25	5%
2	7時～7時14分	41	9%
3	7時15分～7時29分	9	2%
4	7時30分～7時44分	81	17%
5	7時45分～7時59分	43	9%
6	8時～8時14分	197	41%
7	8時15分以降	60	12%
	無回答	29	6%
	全体	485件	100%

【コメント】

採血業務のために早出出勤(フレックス制)を導入している施設の出勤時間は、「8時～8時14分」が41%で最も多い。

問18.「問16」で「1」と回答した施設の方にご質問します
採血の対象者は、どのような人ですか

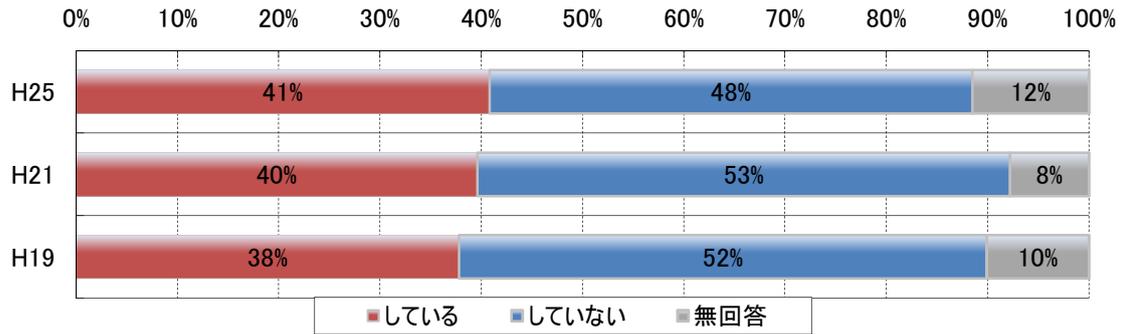


		H25		H21		H19	
1	外来患者	1,279	81%	1,055	80%	1,120	79%
2	入院患者	220	14%	246	19%	312	22%
3	健診(検診)	690	44%	549	42%	643	45%
4	その他	57	4%	63	5%	49	3%
	無回答	59	4%	35	3%	79	6%
	全体	1,582件	100%	1,319件	100%	1,422件	100%

【コメント】

臨床検査技師が採血をしている施設における採血の対象者は、「外来患者」が81%(H21:80%、H19:79%)と最も多く、次いで、「健診(検診)」が44%(H21:42%、H19:45%)となっている。

問19.中央採血室が設置されていますか

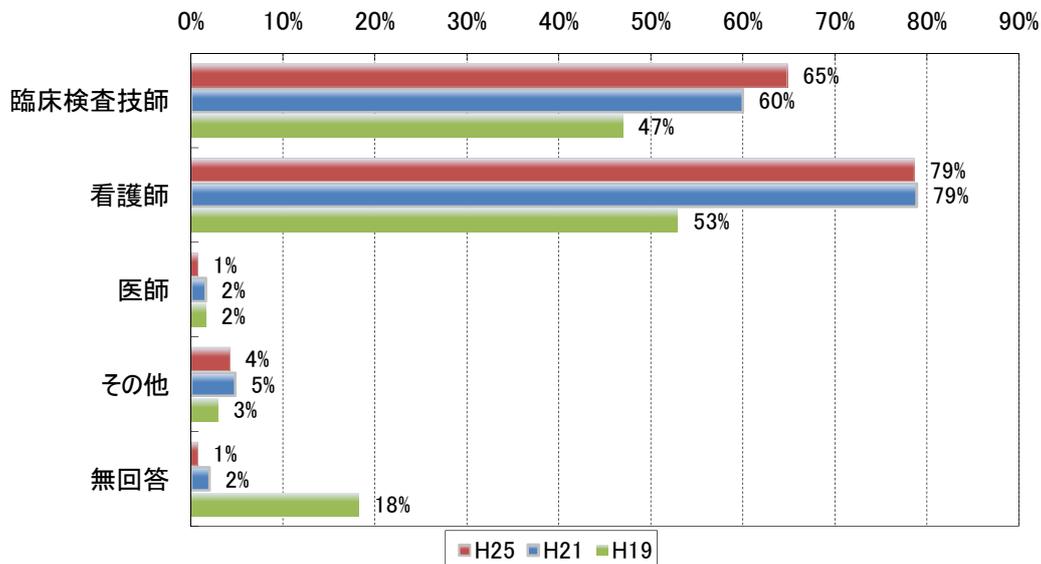


		H25		H21		H19	
1	設置している	1,427	41%	1,192	40%	1,275	38%
2	設置していない	1,670	48%	1,582	53%	1,758	52%
	無回答	404	12%	236	8%	339	10%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

中央採血室の設置を「設置している」施設は41%（H21：40%、H19：38%）と全体の4割程度であるが、経年的には増加傾向にある。

問20.「問19」で「1」と回答した施設の方にご質問します
どのような職種の方が、配属されていますか

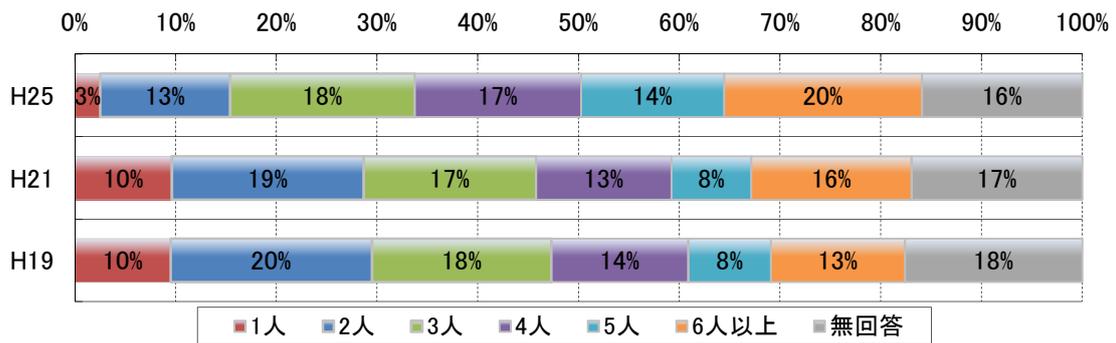


		H25		H21		H19	
1	臨床検査技師	925	65%	715	60%	598	47%
2	看護師	1,122	79%	941	79%	674	53%
3	医師	10	1%	19	2%	20	2%
4	その他	60	4%	57	5%	37	3%
	無回答	10	1%	24	2%	232	18%
	全体	1,427件	100%	1,192件	100%	1,275件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をしている施設において、中央採血室に配属されている職種は、「看護師」が79%（H21：79%、H19：53%）と最も多く、次いで、「臨床検査技師」が65%（H21：60%、H19：47%）となっている。

問21.「問19」で「1」と回答した施設の方にご質問します
採血スタッフ(1日のピーク時)の人数をお尋ねします

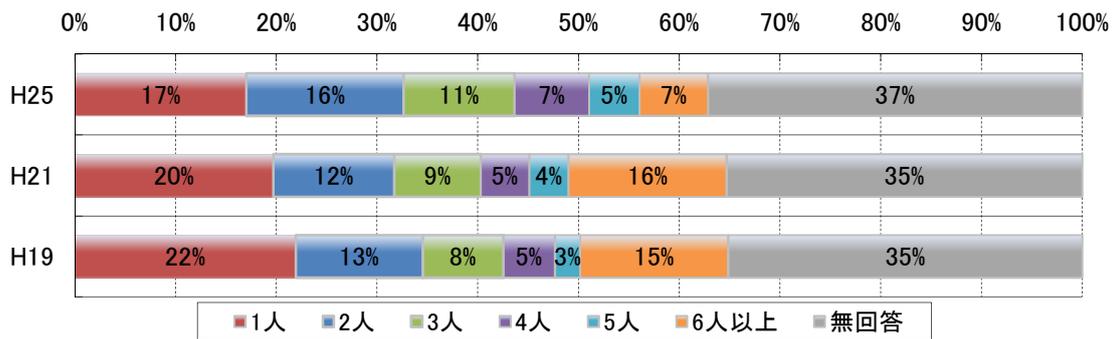


		H25		H21		H19	
1	1人	36	3%	115	10%	121	10%
2	2人	184	13%	227	19%	255	20%
3	3人	261	18%	204	17%	227	18%
4	4人	236	17%	160	13%	173	14%
5	5人	203	14%	94	8%	105	8%
6	6人以上	280	20%	190	16%	170	13%
	無回答	227	16%	202	17%	224	18%
	全体	1,427件	100%	1,192件	100%	1,275件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をしている施設における採血スタッフの人数(1日のピーク時)は、「1人」および「2人」は合わせて16%(H21:29%、H19:30%)と減少傾向にあり、「4人」、「5人」および「6人以上」は合わせて51%(H21:37%、H19:35%)と増加傾向にあり、採血スタッフ数の多い施設が増えていることがうかがえる。

問22.「問19」で「1」と回答した施設の方にご質問します
 何人の臨床検査技師が採血していますか(1日のピーク時の技師数)

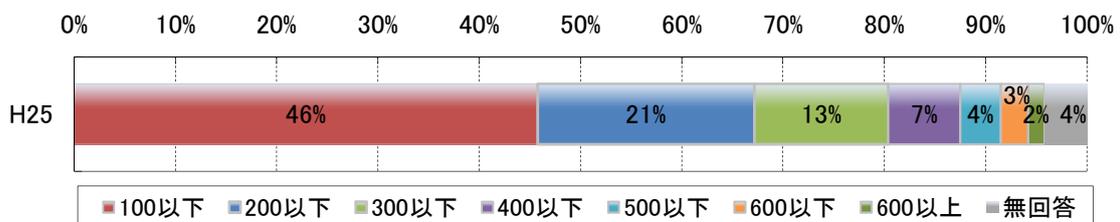


		H25		H21		H19	
1	1人	243	17%	235	20%	279	22%
2	2人	222	16%	143	12%	161	13%
3	3人	157	11%	103	9%	102	8%
4	4人	106	7%	57	5%	65	5%
5	5人	72	5%	46	4%	32	3%
6	6人以上	97	7%	187	16%	188	15%
	無回答	530	37%	421	35%	448	35%
	全体	1,427件	100%	1,192件	100%	1,275件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をしている施設において採血している臨床検査技師人数(1日のピーク時)は、「1人」が17%(H21:20%、H19:22%)が最も多く、次いで、「2人」が16%(H21:12%、H19:13%)となっている。経年的には「2人」ないし「5人」で拡大傾向にあり、「6人以上」は7%(H21:16%、H19:15%)と縮小している。

問23.「問18」で「1」と回答した施設の方にご質問します
 外来採血室の1日当たりの平均採血患者数は何人ですか

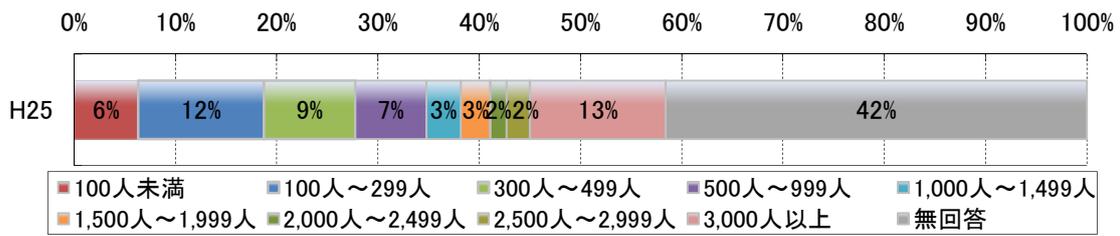


		H25	
1	100以下	585	46%
2	200以下	274	21%
3	300以下	169	13%
4	400以下	91	7%
5	500以下	51	4%
6	600以下	35	3%
7	600以上	20	2%
	無回答	54	4%
	全体	1,279件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をし、外来患者を採血の対象としている施設での、外来採血室の1日当たりの平均採血患者数は、「100以下」が46%と最も多く、次いで、「200以下」が21%となっている。

月間で外来採血患者の最大値

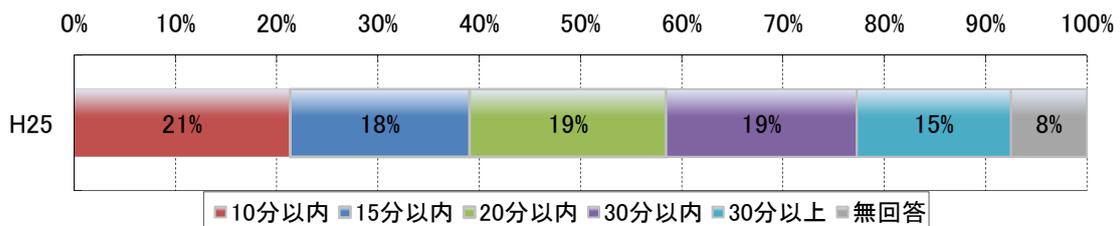


		H25	
1	100人未満	80	6%
2	100人～299人	159	12%
3	300人～499人	115	9%
4	500人～999人	90	7%
5	1,000人～1,499人	44	3%
6	1,500人～1,999人	37	3%
7	2,000人～2,499人	21	2%
8	2,500人～2,999人	30	2%
9	3,000人以上	172	13%
	無回答	531	42%
	全体	1,279件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をし、外来患者を採血の対象としている施設の、月間で外来採血患者の最大値は、「3,000人以上」が13%と最も多く、次いで、「100人～299人」が12%となるなど、二極化していることがうかがえる。

問24.「問18」で「1」と回答した施設の方にご質問します
 外来採血室におけるピーク時の待ち時間についてお尋ねします

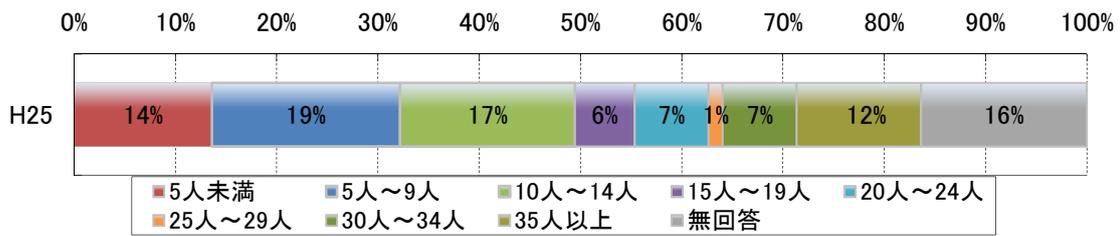


		H25	
1	10分以内	273	21%
2	15分以内	226	18%
3	20分以内	248	19%
4	30分以内	241	19%
5	30分以上	195	15%
	無回答	96	8%
	全体	1,279件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をし、外来患者を採血の対象としている施設の、外来採血室におけるピーク時の待ち時間は、「10分以内」が21%と最も多いが、「15分以内」(18%)、「20分以内」(19%)、「30分以内」(19%)も2割弱となっている。

問25.「問18」で「2」と回答した施設の方にご質問します
病棟採血の平均対象患者数

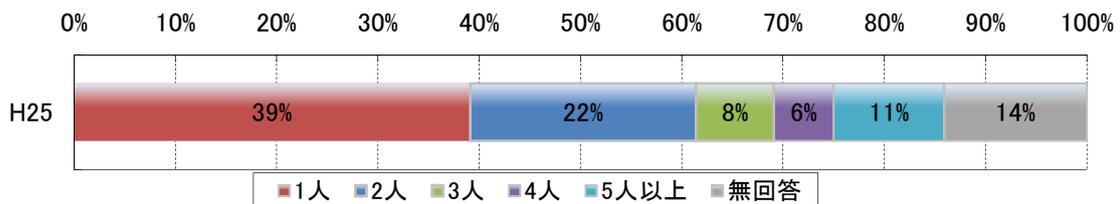


		H25	
1	5人未満	30	14%
2	5人～9人	41	19%
3	10人～14人	38	17%
4	15人～19人	13	6%
5	20人～24人	16	7%
6	25人～29人	3	1%
7	30人～34人	16	7%
8	35人以上	27	12%
	無回答	36	16%
	全体	220件	100%

【コメント】

中央採血室の設置をし、入院患者を採血の対象としている施設の、病棟採血の平均対象患者数は、「5人～9人」が19%と最も多く、次いで、「10人～14人」(17%)、「5人未満」(14%)となっており、14人以下を合わせると半数を占めている。一方、「35人以上」も12%と比較的多い。

担当スタッフ数

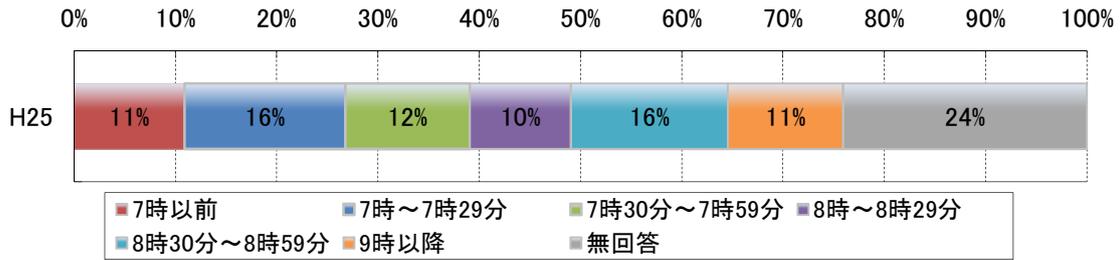


		H25	
1	1人	86	39%
2	2人	49	22%
3	3人	17	8%
4	4人	13	6%
5	5人以上	24	11%
	無回答	31	14%
	全体	220件	100%

【コメント】

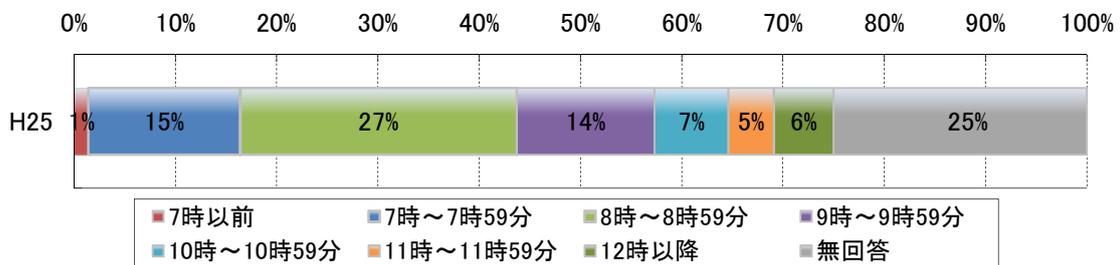
中央採血室の設置をし、入院患者を採血の対象としている施設の、担当スタッフ数は、「1人」が39%と最も多く、次いで、「2人」の22%となっている。

採血開始時間



		H25	
1	7時以前	24	11%
2	7時～7時29分	35	16%
3	7時30分～7時59分	27	12%
4	8時～8時29分	22	10%
5	8時30分～8時59分	34	16%
6	9時以降	25	11%
	無回答	53	24%
	全体	220件	100%

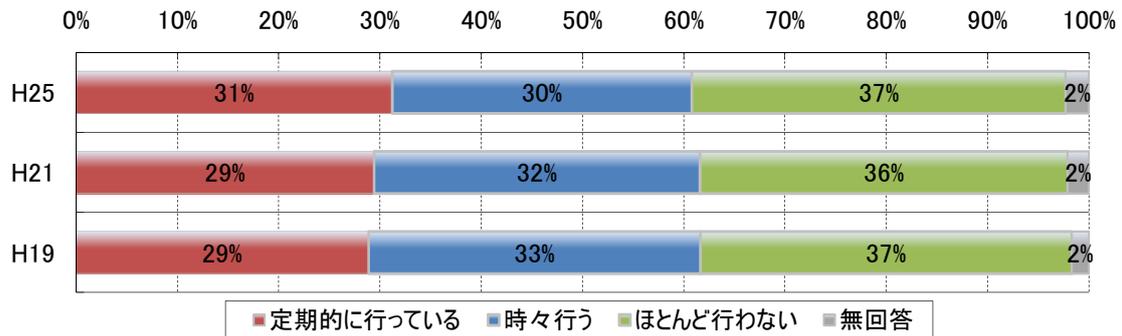
平均採血終了時間



		H25	
1	7時以前	3	1%
2	7時～7時59分	33	15%
3	8時～8時59分	60	27%
4	9時～9時59分	30	14%
5	10時～10時59分	16	7%
6	11時～11時59分	10	5%
7	12時以降	13	6%
	無回答	55	25%
	全体	220件	100%

IV. 貴施設における臨床検査技師の卒後教育研修について

問26. 臨床検査部門で勉強会・研修会を行っていますか

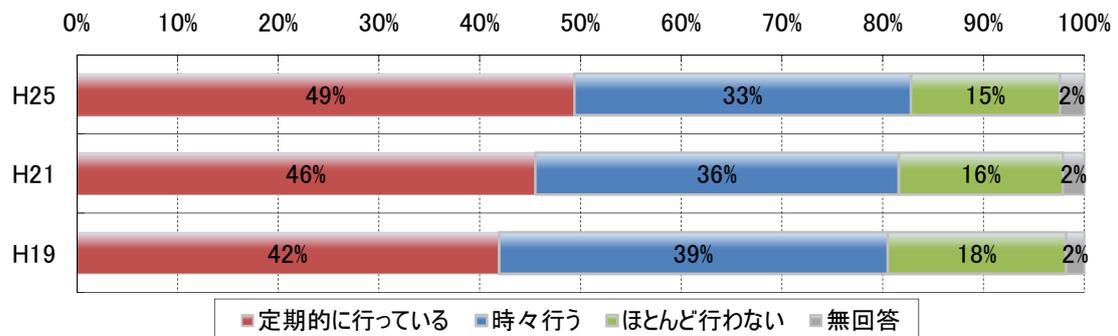


	H25	H21	H19
1 定期的に行っている	1,094 31%	884 29%	973 29%
2 時々行う	1,035 30%	970 32%	1,105 33%
3 ほとんど行わない	1,291 37%	1,092 36%	1,236 37%
無回答	81 2%	64 2%	58 2%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

臨床検査部門での勉強会・研修会は、「ほとんど行わない」が37% (H21: 36%、H19: 37%) が最も多く、次いで、「定期的に行っている」が31% (H21: 29%、H19: 29%)、「時々行う」が30% (H21: 32%、H19: 33%) となっている。頻度の差はあるものの、6割強の施設において臨床検査部門での勉強会・研修会を行っている。

問27. 施設内で臨床検査技師が参加できる勉強会・研修会が行われていますか

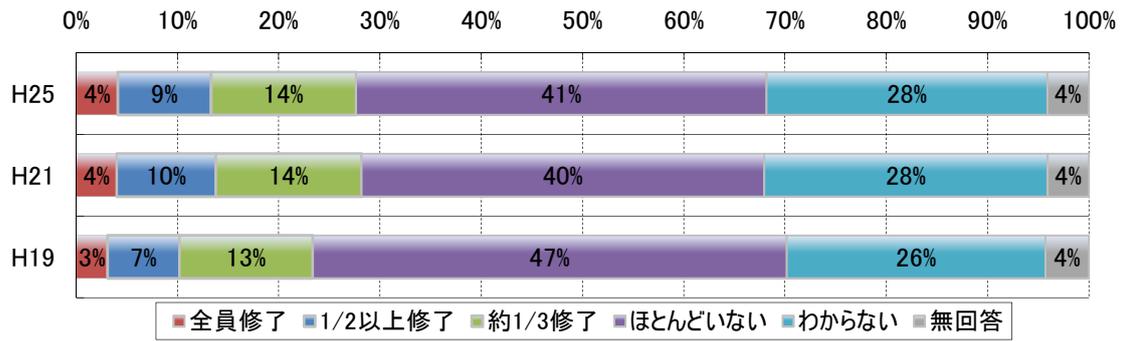


	H25	H21	H19
1 定期的に行っている	1,731 49%	1,370 46%	1,414 42%
2 時々行う	1,169 33%	1,087 36%	1,301 39%
3 ほとんど行わない	518 15%	490 16%	597 18%
無回答	83 2%	63 2%	60 2%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

施設内で臨床検査技師が参加できる勉強会・研修会は、「定期的に行っている」が49% (H21: 46%、H19: 42%) が最も多く、また増加傾向にある。次いで、「時々行う」が33% (H21: 36%、H19: 39%) となっている。頻度の差はあるものの、8割強の施設で臨床検査技師が参加できる勉強会・研修会を行っている。

問28.貴施設の臨床検査技師の日臨技生涯教育研修会(一般教育研修課程)の「修了証書」受領状況はこれまでにどのくらいですか

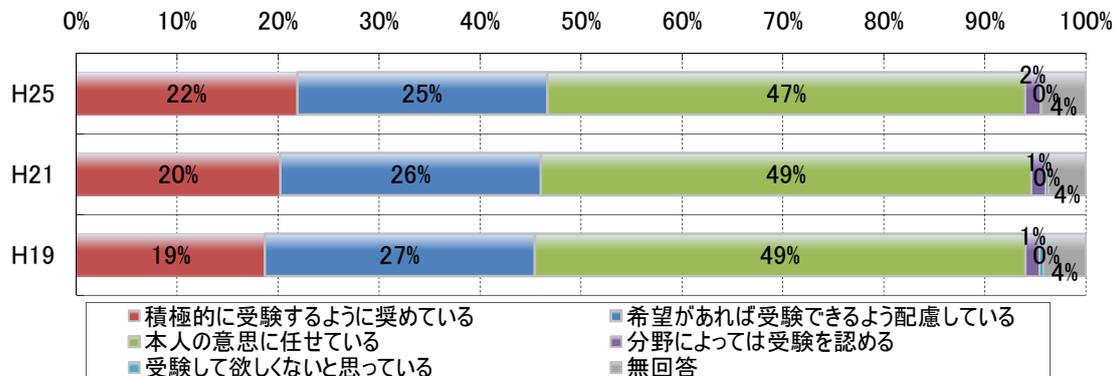


	H25	H21	H19
1 全員修了	143 4%	119 4%	103 3%
2 1/2以上修了	323 9%	295 10%	239 7%
3 約1/3修了	501 14%	432 14%	444 13%
4 ほとんどいない	1,418 41%	1,198 40%	1,580 47%
5 わからない	971 28%	844 28%	862 26%
無回答	145 4%	122 4%	144 4%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

臨床検査技師の日臨技生涯教育研修会(一般教育研修課程)の「修了証書」受領状況は、「ほとんどいない」が41%(H21:40%、H19:47%)が最も多く、次いで、「約1/3修了」が14%(H21:14%、H19:13%)となっている。

問29.各種認定検査技師についてはどのように対応されていますか

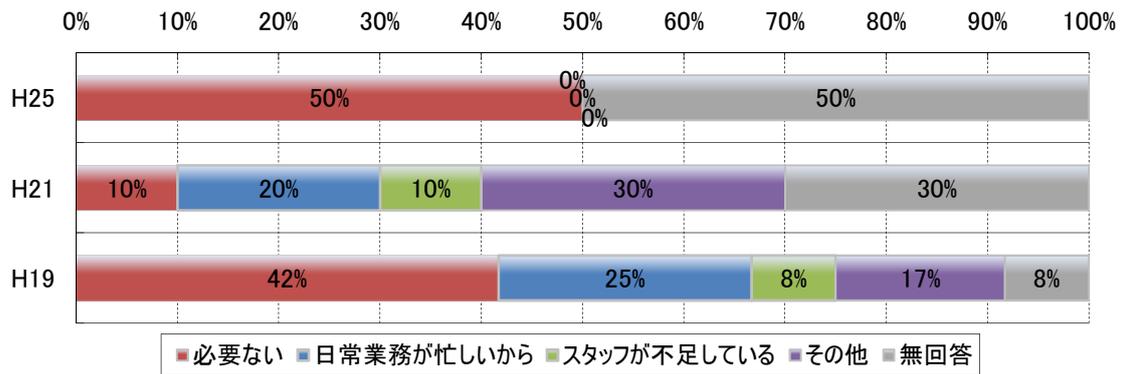


	H25	H21	H19
1 積極的に受験するように奨めている	765 22%	608 20%	630 19%
2 希望があれば受験できるよう配慮している	869 25%	776 26%	903 27%
3 本人の意思に任せている	1,658 47%	1,463 49%	1,641 49%
4 分野によっては受験を認める	52 2%	41 1%	46 1%
5 受験して欲しくないと思っている	2 0%	10 0%	12 0%
無回答	155 4%	112 4%	140 4%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

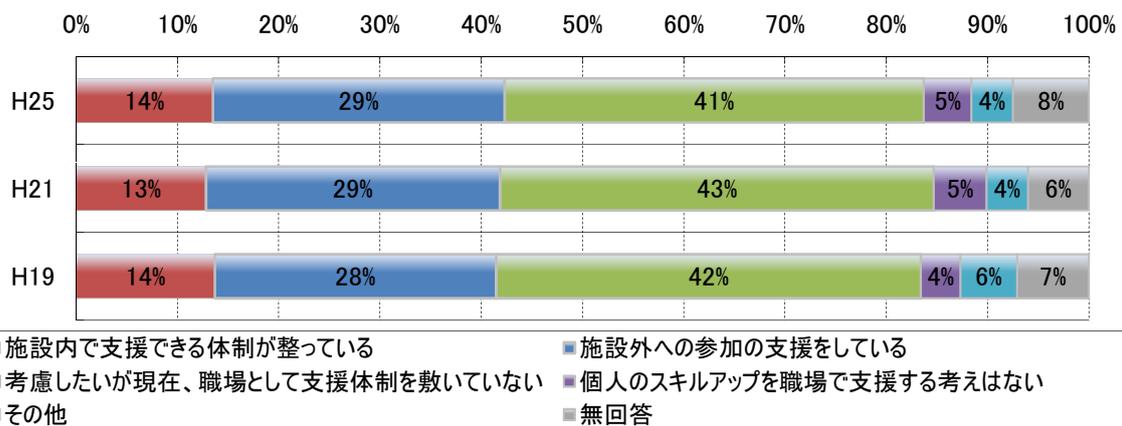
各種認定検査技師についての対応としては、「本人の意思に任せている」が47%(H21:49%、H19:49%)が最も多く、ほぼ半数となっている。次いで、「希望があれば受験できるよう配慮している」が25%(H21:26%、H19:27%)、「積極的に受験するように奨めている」が22%(H21:20%、H19:19%)となっている。

問30.「問29」で「5」と回答した施設の方にご質問します
受験して欲しくない。その理由をお聞かせください



		H25		H21		H19	
1	必要ない	1	50%	1	10%	5	42%
2	日常業務が忙しいから	0	0%	2	20%	3	25%
3	スタッフが不足している	0	0%	1	10%	1	8%
4	その他	0	0%	3	30%	2	17%
	無回答	1	50%	3	30%	1	8%
	全体	2件	100%	10件	100%	12件	100%

問31.認定取得や高度な専門知識を身につけるための支援をしていますか

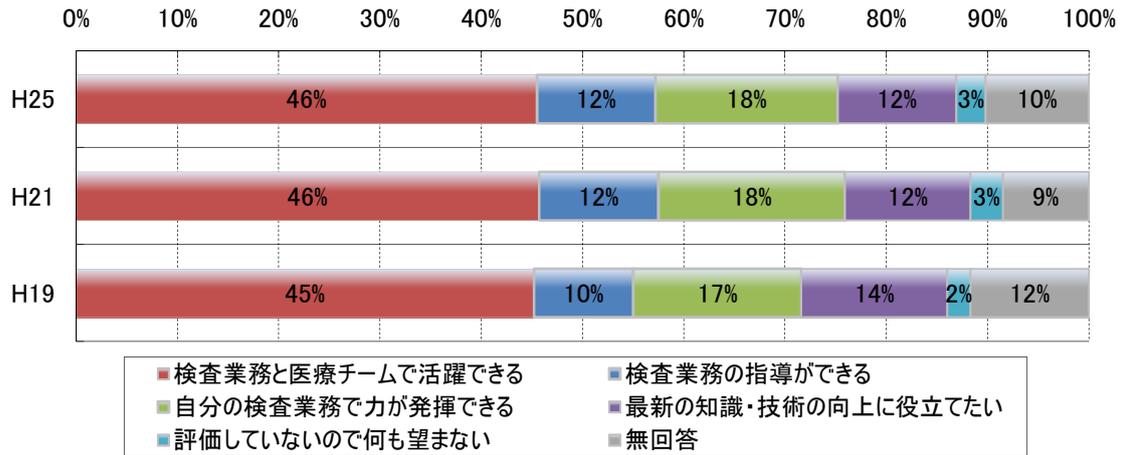


		H25		H21		H19	
1	施設内で支援できる体制が整っている	471	14%	385	13%	462	14%
2	施設外への参加の支援をしている	1,010	29%	874	29%	936	28%
3	考慮したいが現在、職場として支援体制を敷いていない	1,449	41%	1,288	43%	1,417	42%
4	個人のスキルアップを職場で支援する考えはない	164	5%	158	5%	130	4%
5	その他	144	4%	123	4%	188	6%
	無回答	263	8%	182	6%	239	7%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

認定取得や高度な専門知識を身につけるための支援については、「考慮したいが現在、職場として支援体制を敷いていない」が41%（H21:43%、H19:42%）が最も多く、次いで、「施設外への参加の支援をしている」が29%（H21:29%、H19:28%）となっている。

問32.どのような認定検査技師を望みますか。



	H25	H21	H19
1 検査業務と医療チームで活躍できる	1,594 46%	1,377 46%	1,524 45%
2 検査業務の指導ができる	411 12%	354 12%	330 10%
3 自分の検査業務で力が発揮できる	629 18%	555 18%	559 17%
4 最新の知識・技術の向上に役立てたい	409 12%	374 12%	486 14%
5 評価していないので何も望まない	102 3%	95 3%	77 2%
無回答	356 10%	255 9%	396 12%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

【コメント】

希望する認定検査技師としては、「検査業務と医療チームで活躍できる」が46%（H21:46%、H19:45%）が最も多く、次いで、「自分の検査業務で力が発揮できる」が18%（H21:18%、H19:17%）となっている。

V.臨床検査技師の採用状況について

問33.採用に関してお聞かせください



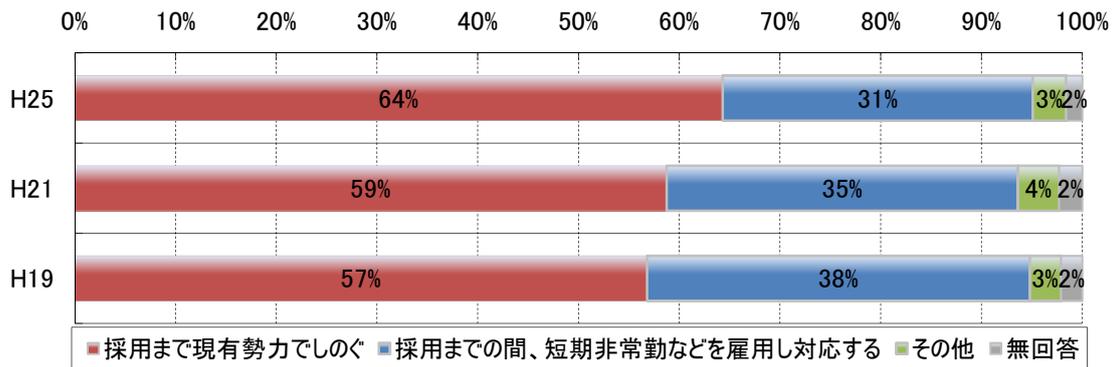
- 年度替りに新卒を優先して採用する
- 年度替りの採用であるが免許取得者(経験者)を優先して採用する
- 年度替りに関係なく必要時にその都度免許取得者を採用する
- その他
- 無回答

		H25		H21		H19	
1	年度替りに新卒を優先して採用する	812	23%	590	20%	585	17%
2	年度替りの採用であるが免許取得者(経験者)を優先して採用する	133	4%	147	5%	162	5%
3	年度替りに関係なく必要時にその都度免許取得者を採用する	1,755	50%	1,545	51%	1,770	53%
4	その他	574	16%	549	18%	672	20%
	無回答	227	7%	179	6%	183	5%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

採用では、「年度替りに関係なく必要時にその都度免許取得者を採用する」が50%(H21:51%、H19:53%)が最も多く過半数を占めている。次いで、「年度替りに新卒を優先して採用する」が23%(H21:20%、H19:17%)となっている。

問34.「問33」で「1」または「2」と回答された施設にお聞きします
年度替りまでの対応策をお聞かせください

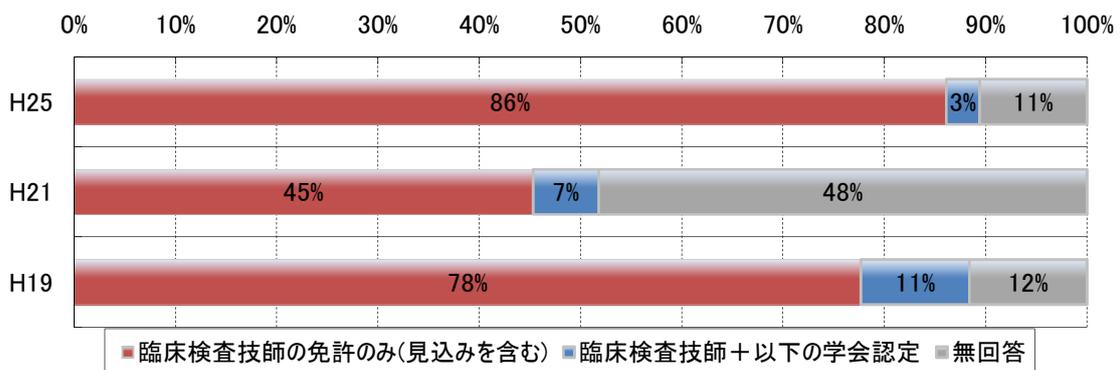


		H25		H21		H19	
1	採用まで現有勢力でしのぐ	608	64%	433	59%	424	57%
2	採用までの間、短期非常勤などを雇用し対応する	291	31%	257	35%	284	38%
3	その他	31	3%	30	4%	23	3%
	無回答	15	2%	17	2%	16	2%
	全体	945件	100%	737件	100%	747件	100%

【コメント】

年度替りに採用を行う施設における年度替りまでの対応策としては、「採用まで現有勢力でしのぐ」が64%（H21:59%、H19:57%）が過半数を占め、経年的にも増加傾向にある。一方、「採用までの間、短期非常勤などを雇用し対応する」は31%（H21:35%、H19:38%）と減少傾向にある。

問35.「問33」で「2」または「3」と回答された施設にお聞きします
既卒者の採用条件についてお聞かせください

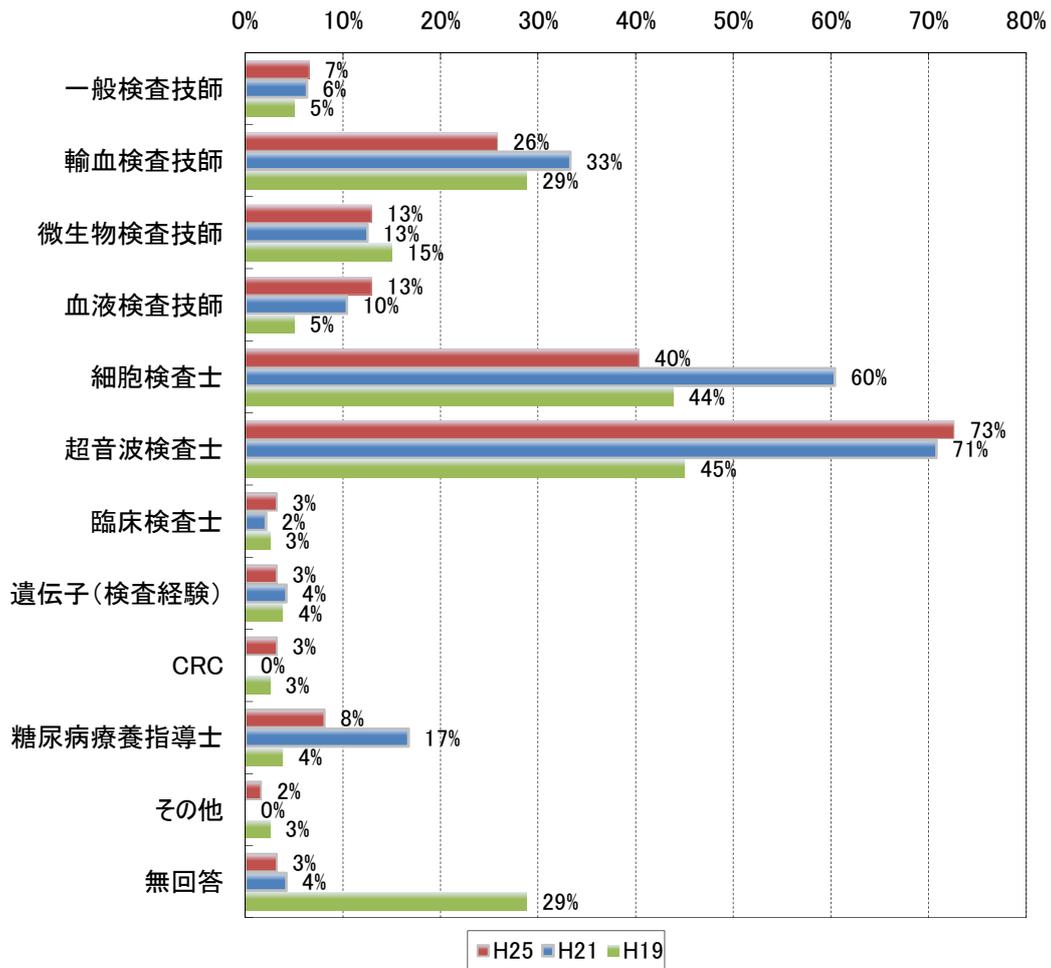


		H25		H21		H19	
1	臨床検査技師の免許のみ(見込みを含む)	1,626	86%	334	45%	580	78%
2	臨床検査技師+以下の学会認定	62	3%	48	7%	80	11%
	無回答	200	11%	355	48%	87	12%
	全体	1,888件	100%	737件	100%	747件	100%

【コメント】

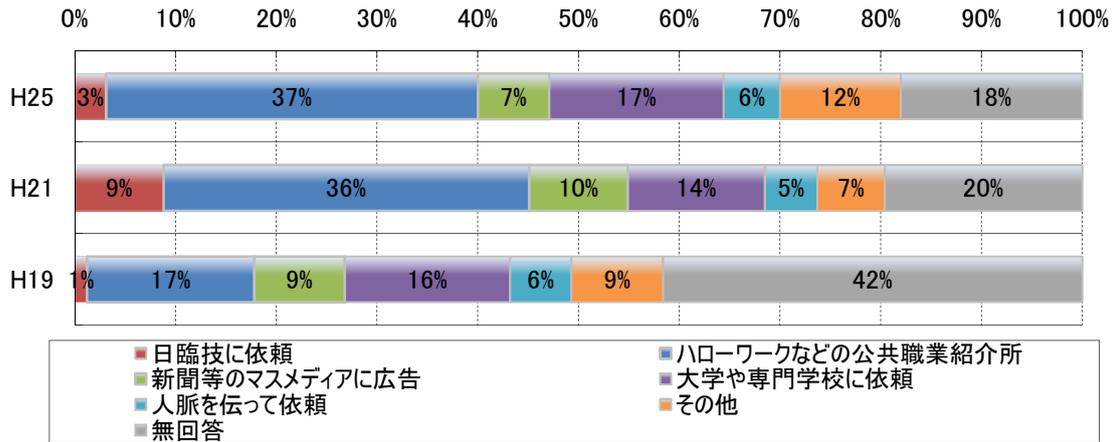
免許取得者を優先して採用を行う施設における既卒者の採用条件は、「臨床検査技師の免許のみ(見込みを含む)」が86%（H21:45%、H19:78%）が大半を占めている。

問35.既卒の採用条件(臨床検査技師+学会認定)



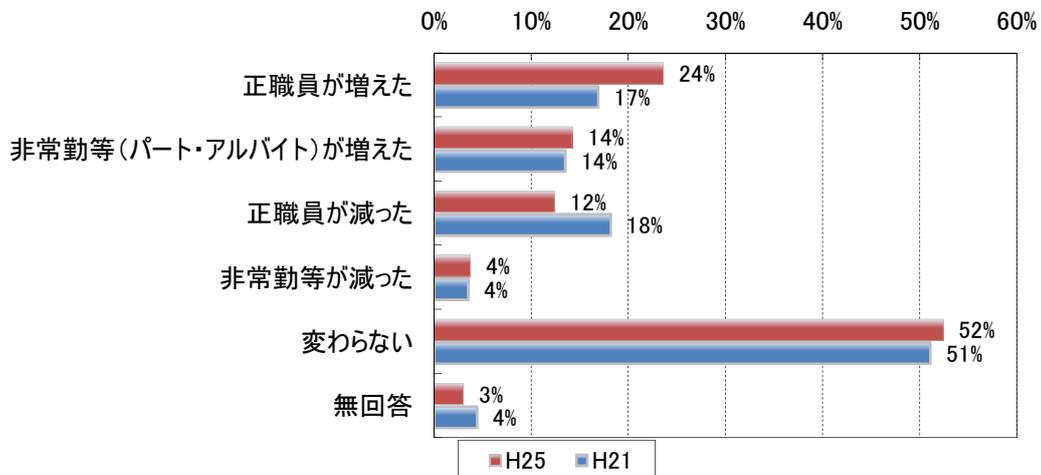
		H25		H21		H19	
1	一般検査技師	4	7%	3	6%	4	5%
2	輸血検査技師	16	26%	16	33%	23	29%
3	微生物検査技師	8	13%	6	13%	12	15%
4	血液検査技師	8	13%	5	10%	4	5%
5	細胞検査士	25	40%	29	60%	35	44%
6	超音波検査士	45	73%	34	71%	36	45%
7	臨床検査士	2	3%	1	2%	2	3%
8	遺伝子(検査経験)	2	3%	2	4%	3	4%
9	CRC	2	3%	0	0%	2	3%
10	糖尿病療養指導士	5	8%	8	17%	3	4%
11	その他	1	2%	0	0%	2	3%
	無回答	2	3%	2	4%	23	29%
	全体	62件	100%	48件	100%	80件	100%

問36.求人方法についてお聞きします



	H25	H21	H19
1 日臨技に依頼	107 3%	265 9%	42 1%
2 ハローワークなどの公共職業紹介所	1,291 37%	1,093 36%	560 17%
3 新聞等のマスメディアに広告	250 7%	294 10%	302 9%
4 大学や専門学校に依頼	606 17%	408 14%	553 16%
5 人脈を伝って依頼	196 6%	158 5%	205 6%
6 その他	421 12%	201 7%	308 9%
無回答	630 18%	591 20%	1,402 42%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%	3,372件 100%

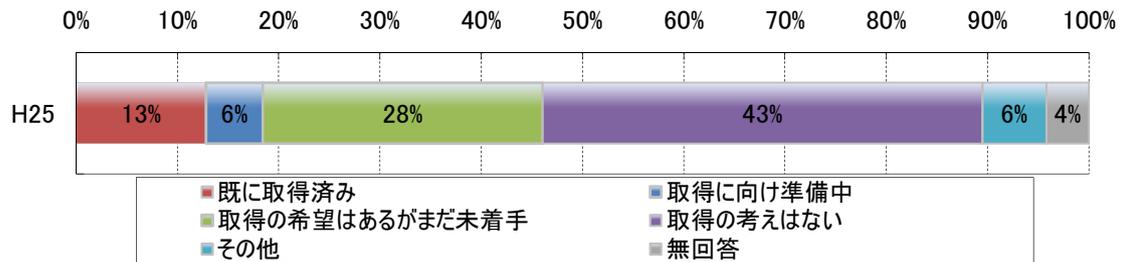
問37.あなたの施設では臨床検査技師の数が過去2年間にどのように変わりましたか



	H25	H21
1 正職員が増えた	827 24%	508 17%
2 非常勤等(パート・アルバイト)が増えた	496 14%	405 14%
3 正職員が減った	435 12%	547 18%
4 非常勤等が減った	131 4%	105 4%
5 変わらない	1,834 52%	1,539 51%
無回答	104 3%	132 4%
全体	3,501件 100%	3,010件 100%

VI.検査室認定制度について

問38.日臨技精度保証施設認定の取得を考えていますか

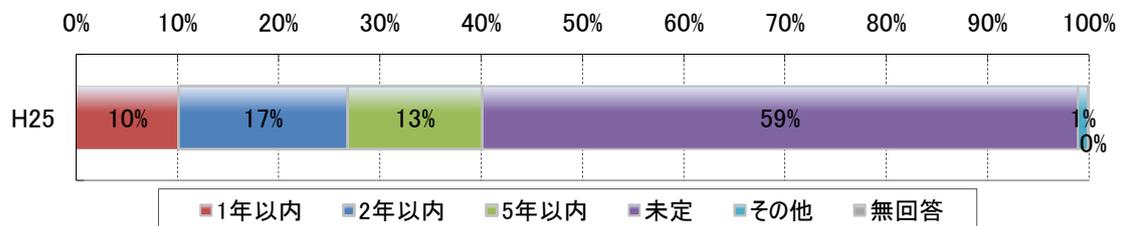


		H25	
1	既に取得済み	449	13%
2	取得に向け準備中	197	6%
3	取得の希望はあるがまだ未着手	968	28%
4	取得の考えはない	1,518	43%
5	その他	222	6%
	無回答	147	4%
	全体	3,501件	100%

【コメント】

日臨技精度保証施設認定の取得については、「取得の考えはない」が43%と最も多く、次いで、「取得の希望はあるがまだ未着手」の28%となっている。

問39.「問38」で「2」または「3」と回答された施設にお聞きします
精度保証施設認定申請の目処はいつごろに設定していますか

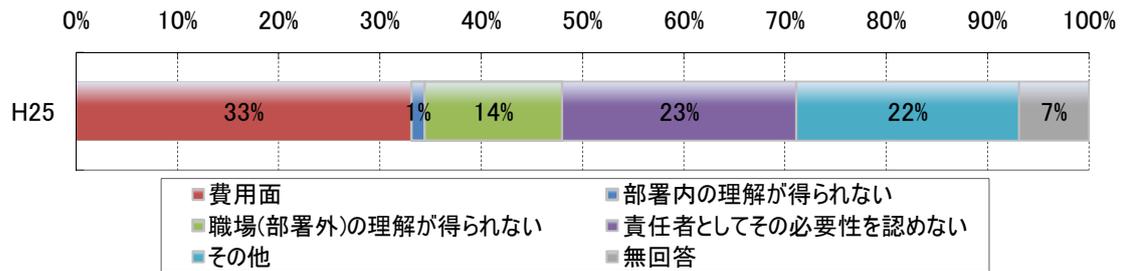


		H25	
1	1年以内	118	10%
2	2年以内	194	17%
3	5年以内	155	13%
4	未定	685	59%
5	その他	12	1%
	無回答	1	0%
	全体	1,165件	100%

【コメント】

日臨技精度保証施設認定の取得の準備中または希望がある施設の申請の目処は、「未定」が59%と最も多い。

問40.「問38」で「4」と回答された施設にお聞きします
 精度保証施設認定取得の考えがないのはどのような理由からですか

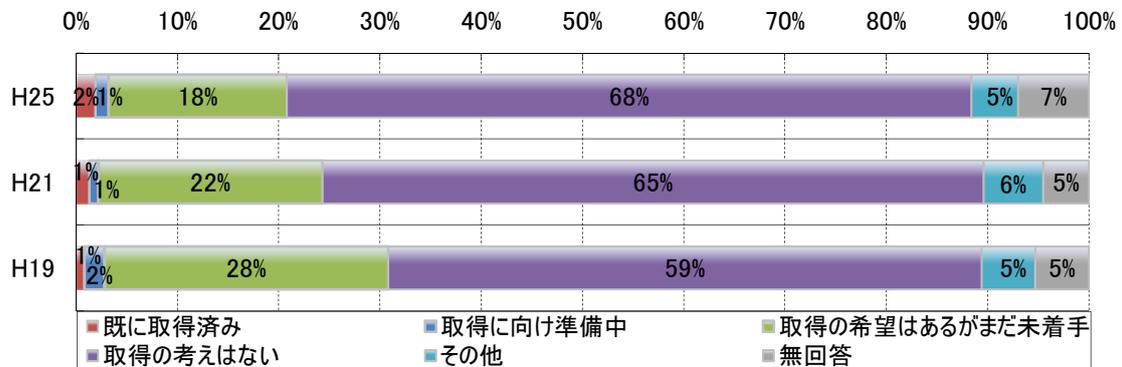


		H25	
1	費用面	502	33%
2	部署内の理解が得られない	20	1%
3	職場(部署外)の理解が得られない	206	14%
4	責任者としてその必要性を認めない	351	23%
5	その他	334	22%
	無回答	105	7%
	全体	1,518件	100%

【コメント】

日臨技精度保証施設認定の取得を考えていない施設の理由としては、「費用面」が33%と最も多く、次いで、「責任者としてその必要性を認めない」が23%、「その他」が22%となっている。

問41.ISO15189の取得を考えていますか

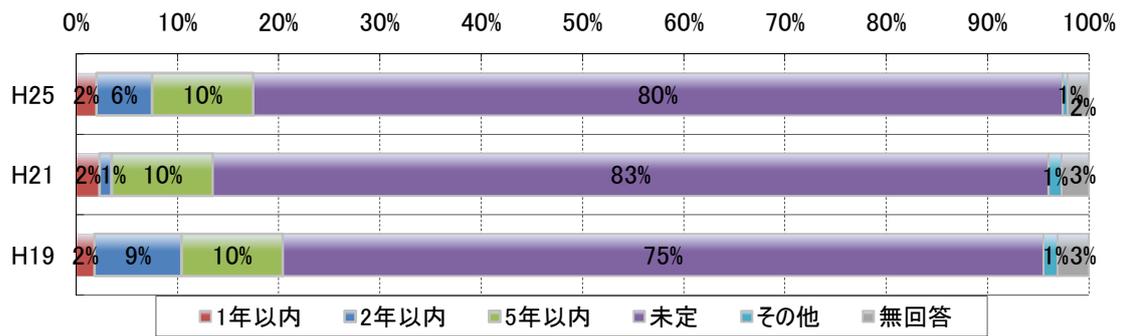


		H25		H21		H19	
1	既に取得済み	67	2%	40	1%	28	1%
2	取得に向け準備中	45	1%	28	1%	67	2%
3	取得の希望はあるがまだ未着手	615	18%	665	22%	943	28%
4	取得の考えはない	2,367	68%	1,964	65%	1,975	59%
5	その他	161	5%	179	6%	180	5%
	無回答	246	7%	134	5%	179	5%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

ISO15189の取得については、「取得の考えはない」が68%（H21:65%、H19:59%）と最も多く、また経年的にも増加傾向にある。次いで、「取得の希望はあるがまだ未着手」が18%（H21:22%、H19:28%）となっている。

問42.「問41」で「2」または「3」と回答された施設にお聞きします
ISO15189申請の目処はいつごろに設定していますか

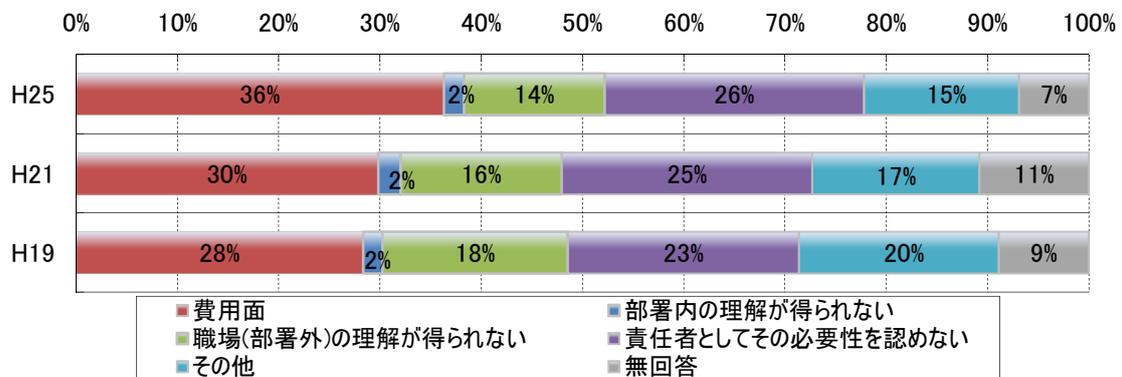


		H25		H21		H19	
1	1年以内	13	2%	16	2%	18	2%
2	2年以内	36	6%	8	1%	87	9%
3	5年以内	66	10%	69	10%	101	10%
4	未定	528	80%	572	83%	759	75%
5	その他	3	1%	9	1%	14	1%
無回答		14	2%	19	3%	31	3%
全体		660件	100%	693件	100%	1,010件	100%

【コメント】

ISO15189の取得の準備中または希望がある施設の申請の目処は、「未定」が80%（H21:83%、H19:75%）と最も多く、大半を占めている。

問43.「問41」で「4」と回答された施設にお聞きします
ISO15189取得の考えがないのはどのような理由からですか

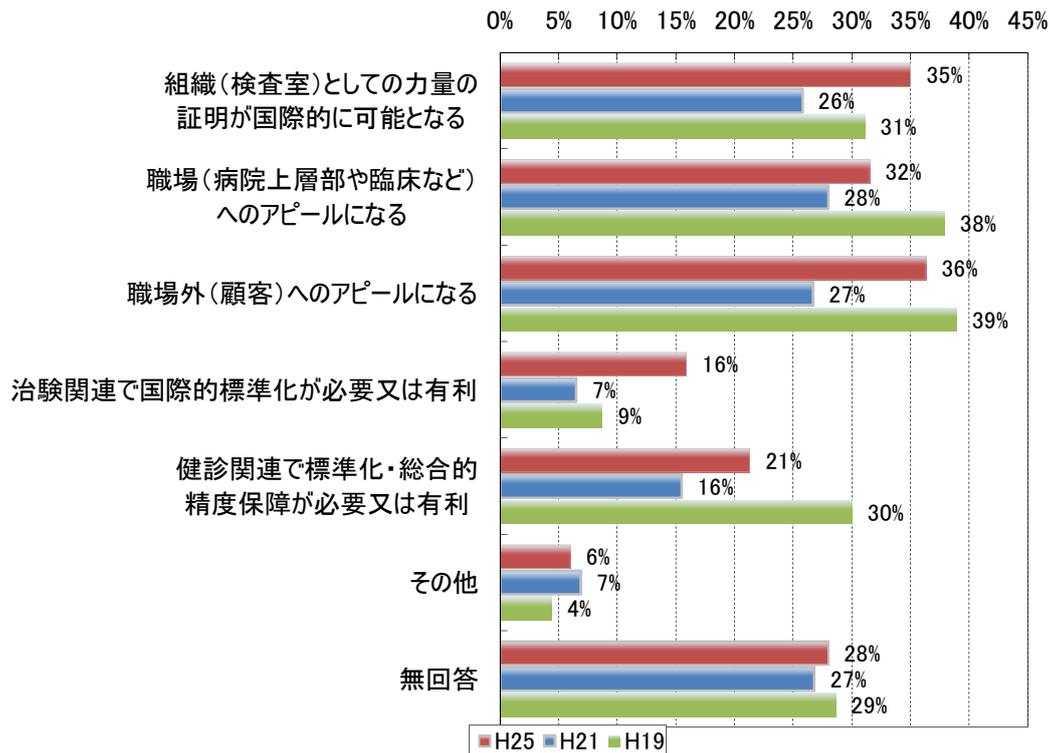


		H25		H21		H19	
1	費用面	860	36%	585	30%	558	28%
2	部署内の理解が得られない	48	2%	44	2%	38	2%
3	職場(部署外)の理解が得られない	329	14%	313	16%	362	18%
4	責任者としてその必要性を認めない	605	26%	486	25%	451	23%
5	その他	362	15%	324	17%	390	20%
無回答		163	7%	212	11%	176	9%
全体		2,367件	100%	1,964件	100%	1,975件	100%

【コメント】

ISO15189の取得の考えがない施設の理由は、「費用面」が36%（H21:30%、H19:28%）と最も多く、次いで、「責任者としてその必要性を認めない」が26%（H21:25%、H19:23%）となっている。

問44.ISO15189取得のメリットをどのようにお考えですか



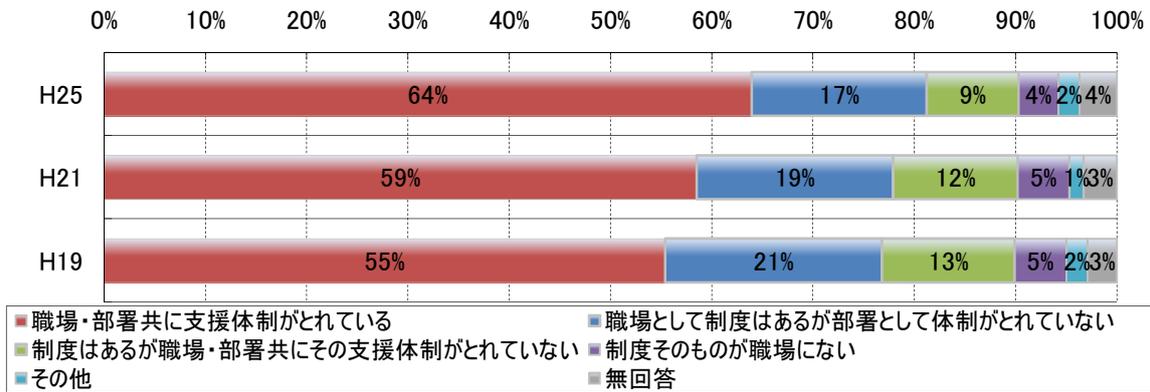
		H25		H21		H19	
1	組織(検査室)としての力量の証明が国際的に可能となる	1,225	35%	776	26%	1,050	31%
2	職場(病院上層部や臨床など)へのアピールになる	1,103	32%	842	28%	1,277	38%
3	職場外(顧客)へのアピールになる	1,271	36%	804	27%	1,313	39%
4	治験関連で国際的標準化が必要又は有利	558	16%	196	7%	295	9%
5	健診関連で標準化・総合的精度保障が必要又は有利	747	21%	467	16%	1,011	30%
6	その他	211	6%	209	7%	147	4%
	無回答	980	28%	808	27%	965	29%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

ISO15189の取得のメリットは、「職場外(顧客)へのアピールになる」が36%(H21:27%、H19:39%)と最も多く、次いで、「組織(検査室)としての力量の証明が国際的に可能となる」が35%(H21:26%、H19:31%)、「職場(病院上層部や臨床など)へのアピールになる」が32%(H21:28%、H19:38%)となっている。

Ⅶ. 休暇等の取得状況について

問45. 育児・介護休暇など長期休暇(留学など含む)の取得支援を職場として整えていますか

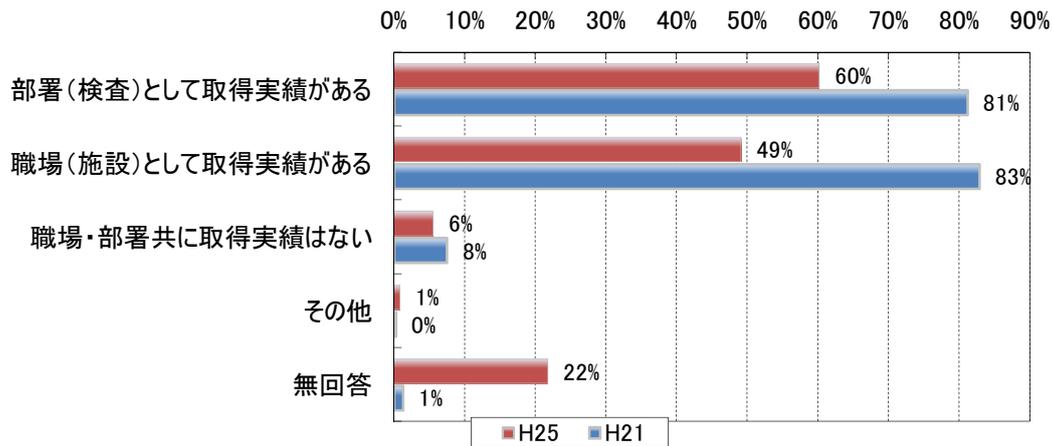


		H25		H21		H19	
1	職場・部署共に支援体制がとれている	2,239	64%	1,762	59%	1,868	55%
2	職場として制度はあるが部署として体制がとれていない	604	17%	585	19%	721	21%
3	制度はあるが職場・部署共にその支援体制がとれていない	318	9%	370	12%	442	13%
4	制度そのものが職場にない	138	4%	153	5%	171	5%
5	その他	72	2%	42	1%	72	2%
	無回答	130	4%	98	3%	98	3%
	全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

育児・介護休暇など長期休暇(留学など含む)の取得支援に関しては、「職場・部署共に支援体制がとれている」が64%(H21:59%、H19:55%)と3分の2以上の施設で整備されており、経年的にも増加してきている。

問46.「問45」で「1」と回答した施設の方にご質問します
 長期休暇取得状況をお聞かせください

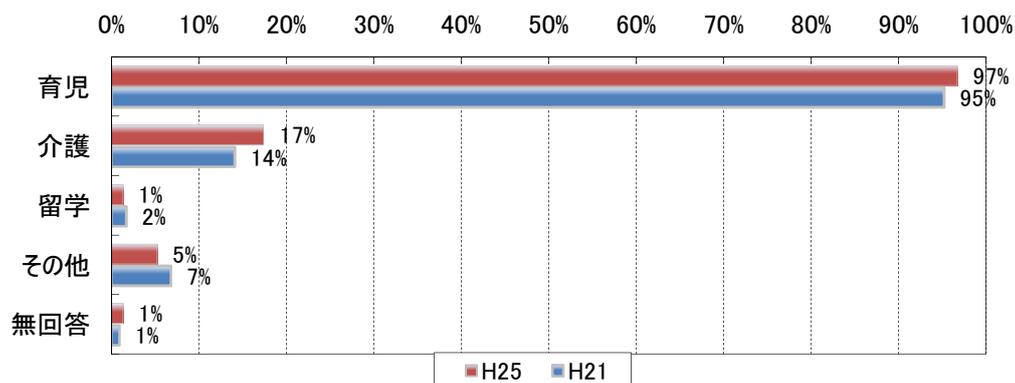


	H25		H21	
1 部署(検査)として取得実績がある	1,348	60%	1,430	81%
2 職場(施設)として取得実績がある	1,099	49%	1,460	83%
3 職場・部署共に取得実績はない	123	6%	133	8%
4 その他	18	1%	5	0%
無回答	487	22%	23	1%
全体	2,239件	100%	1,762件	100%

【コメント】

育児・介護休暇など長期休暇の取得支援が整備されている施設での長期休暇取得状況は、「部署(検査)として取得実績がある」が60%(H21:81%)が最も多く、次いで、「職場(施設)として取得実績がある」が49%(H21:83%)となっている。

部署(検査)取得実績

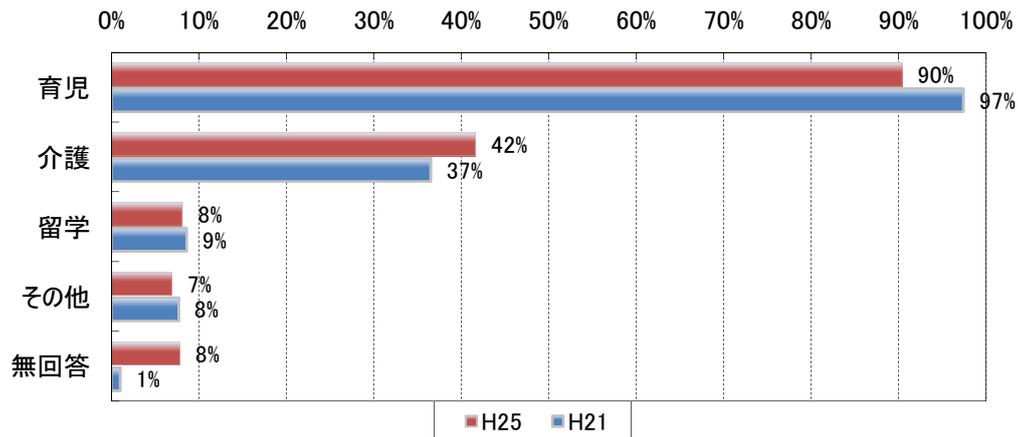


	H25		H21	
1 育児	1,303	97%	1,361	95%
2 介護	235	17%	202	14%
3 留学	18	1%	24	2%
4 その他	70	5%	97	7%
無回答	17	1%	13	1%
全体	1,348件	100%	1,430件	100%

【コメント】

育児・介護休暇など長期休暇の取得支援が整備されている施設における、検査部署の取得実績は、「育児」が圧倒的に多く97%(H21:95%)となっており、次いで、「介護」が17%(H21:14%)となっている。

職場(施設)取得実績

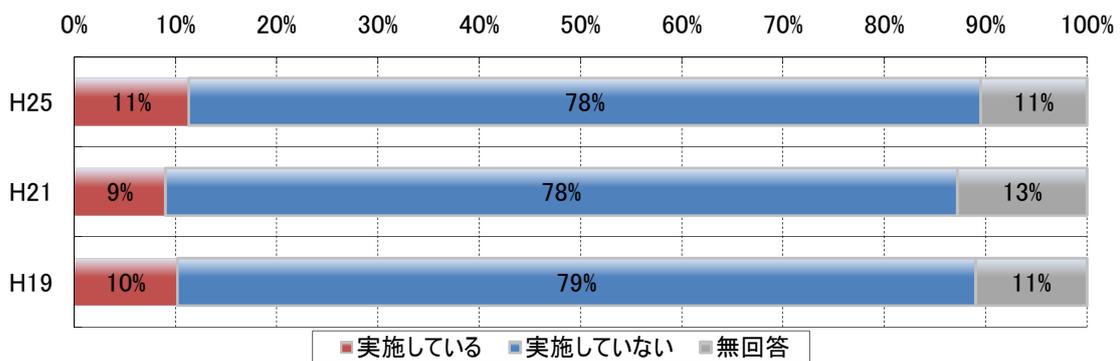


	H25		H21	
1 育児	994	90%	1,422	97%
2 介護	457	42%	533	37%
3 留学	89	8%	125	9%
4 その他	76	7%	113	8%
無回答	86	8%	15	1%
全体	1,099件	100%	1,460件	100%

【コメント】

育児・介護休暇など長期休暇の取得支援が整備されている施設の取得実績は、やはり「育児」が圧倒的に多く90%(H21:97%)となっており、次いで、「介護」が42%(H21:37%)となっている。

問47.産休・育児休業・病気休暇等の長期休暇に伴う
職場復帰のためのトレーニングについてお聞きます



	H25		H21		H19	
1 実施している	394	11%	272	9%	343	10%
2 実施していない	2,739	78%	2,354	78%	2,659	79%
無回答	368	11%	384	13%	370	11%
全体	3,501件	100%	3,010件	100%	3,372件	100%

【コメント】

産休・育児休業・病気休暇等の長期休暇に伴う職場復帰のためのトレーニングを「実施している」施設は11%(H21:9%、H19:10%)に過ぎず、「実施していない」施設が78%(H21:78%、H19:79%)と大半を占めている。

問47 産休・育児休業・病気休暇等の長期休暇に伴う職場復帰のための
トレーニングを実施している方 具体的な方法をお尋ねします

no	施設分類	業務実施状況	長期休暇に伴う職場復帰のためのトレーニングについての具体的な方法
1	一般病院Ⅰ(特定機能病院)	院内実施	夜勤・休日勤務用のトレーニング
2	"	院内実施+ランチ	一部の病気休暇の場合は、トレーニング制度あり。
3	"	院内実施+外部委託(外注)	職場復帰時、時間外勤務について1ヶ月のトレーニングを行う。
4	"	院内実施	採血、日常業務、日直業務のトレーニング
5	"	院内実施+外部委託(外注)	新人採用時と同じ研修プログラムを実施
6	"	院内実施+外部委託(外注)	復職プログラムの作成、勤務時間の短縮
7	"	院内実施	定められたメニューによる力量評価の実施
8	"	院内実施+外部委託(外注)	研修期間をもうけている
9	"	院内実施+外部委託(外注)	職場復帰支援(リワーク支援)プログラムの利用
10	"	院内実施+外部委託(外注)	一週間程各部署をローテーションしてトレーニングする
11	"	FMS	半日勤務からスタートしている
12	"	院内実施+外部委託(外注)	部署内での業務トレーニングと当直夜勤用トレーニング(関連部署で)
13	"	院内実施+外部委託(外注)	夜間・休日の検査への対応
14	"	院内実施+外部委託(外注)	病気休暇後の復職時に産業カウンセラーが介入する
15	"	院内実施	復帰日より先行し研修を行う。研修マニュアルを整備しておく。
16	"	院内実施+外部委託(外注)	日当直のトレーニング
17	"	院内実施+外部委託(外注)	1か月間で日当直トレーニング実施
18	"	院内実施+外部委託(外注)	直前にトレーニング期間を設けている
19	"	院内実施	1~2ヶ月間は午前だけの業務でカンを取りもどす
20	"	院内実施+外部委託(外注)	教育プログラムに準じて実施(施設、部署共にある)
21	"	院内実施+外部委託(外注)	再研修(ルーチンから当直業務まで)
22	"	院内実施+ランチ	日当直業務について復習
23	一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	院内実施+外部委託(外注)	研修期間をもうける
24	"	院内実施+外部委託(外注)	実施計画に基づき実施している。
25	"	院内実施+外部委託(外注)	内部及び外部研修を実施
26	"	院内実施+FMS	時給で全部署2Wごとにまわる。自分で不安な部署をもっと時間かけても良い。
27	"	院内実施+ランチ	マンツーマンで指導する
28	"	院内実施+外部委託(外注)	病気療休暇後専門医師を混えて(産業医)とともにプラン計画(案)提出中
29	"	院内実施	夜勤に供なう検査を一定期間トレーニング
30	"	FMS	一定の研修期間を設定
31	"	院内実施+外部委託(外注)	各検査室に短期間ずつの研修
32	一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	院内実施+外部委託(外注)	OJT

33	〃	院内実施	宿日直の再トレーニング
34	〃	院内実施+外部委託 (外注)	一定期間、各検査担当者のもとで業ム確認の研修をして状況判断により、ルーチン業務にかかわる。
35	〃	院内実施+FMS	しばらく宿直からははずす
36	〃	院内実施	個人的な心配り
37	〃	院内実施+外部委託 (外注)	取得休暇によって異なる
38	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日当直業務
39	〃	院内実施+外部委託 (外注)	原則として現状復帰・緊急検査・日当直検査等について復帰時に行なっている。(3~6ヶ月間)
40	〃	院内実施+外部委託 (外注)	資料等の事前配布、事前就業の実際eto
41	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短時間勤務による事前トレーニング
42	〃	院内実施+FMS	職場復帰プログラムを実施
43	〃	院内実施+外部委託 (外注)	いきなり現場復帰しないで少しトレーニングしてから復帰する
44	〃	院内実施+外部委託 (外注)	時間外勤務(夜勤等のトレーニング)
45	〃	院内実施+外部委託 (外注)	休暇中に変化があったところは研修する
46	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰後、1ヶ月間、午後中のみ。宿直・日直の研修を積む
47	〃	院内実施+外部委託 (外注)	面談
48	〃	院内実施+外部委託 (外注)	緊急当番に必要な検査業務を1ヶ月間トレーニングする
49	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各セクションで緊急検査のトレーニング
50	〃	院内実施+外部委託 (外注)	交替制・日勤に対応出来る様6ヶ月のトレーニング(復職)行い、部のリーダーが内容を確認している。子供が修学までは(夜勤なし)
51	〃	院内実施+外部委託 (外注)	研修等を行っている
52	〃	院内実施	緊急検査の対応
53	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日当直業務のトレーニング
54	〃	院内実施+外部委託 (外注)	面談・負担の軽い仕事からの復帰・補助等
55	〃	院内実施+外部委託 (外注)	時間外検査(当日直)のトレーニング
56	〃	院内実施	当直があるため緊急検査トレーニング1カ月実施(復帰後)
57	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰支援プログラム
58	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰後3ヶ月間各部門をローテーションする。
59	〃	院内実施+外部委託 (外注)	休業前の業務につかせる。1ヶ月は当番から外す。
60	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1週間前より午前中職場にくる。
61	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1ヶ月前より、職場復帰プログラムを執行する。
62	〃	院内実施+外部委託 (外注)	輸血、細菌、血液、生化学、一般検査を1ヶ月かけてまわります。(当直用)
63	一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	院内実施+ランチ	職場復帰プログラムの活用

64	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰後一定期間は待機勤務を外し日勤のみで、ルーチンを見直す
65	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部門でトレーニング(当直業務等)
66	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1~2ヶ月程度の研修を組んで実施。(内容は本人の前歴や休職の長さで変わる)
67	〃	院内実施+FMS	病気休職からの復帰の場合、時短等の試し勤務(休職扱い)が可能
68	〃	院内実施	緊急検査についてのみ実施。
69	〃	院内実施+ランチ	職場復帰支援プログラムがある。
70	〃	院内実施+ランチ	新人と同様のあつかい
71	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部門での研修を行っている
72	〃	院内実施+外部委託 (外注)	2~3ヶ月かけて、ローテーション(月ごと)し、仕事内容の確認をもらう
73	〃	院内実施	復帰のために時間休の使用によって負担軽減を行っている。
74	〃	院内実施+外部委託 (外注)	スケジュール作成しトレーニング期間を設ける。
75	〃	院内実施+外部委託 (外注)	業務マニュアル、部署の責任者及び分析器機担当者との業務確認当1日直業務を中心としたトレーニング
76	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各セクションのやり方にまかせて。(特別なきまりは無い)
77	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日当直も育休後1年間は免除して、その間にトレーニングする。
78	〃	院内実施+外部委託 (外注)	部門内ローテーションプログラムを準用して、一定水準評価に応じたもの。ただし、疾病等により準用しないものもある。(メンタルでは別途)
79	〃	その他	復帰対象者に合わせて考える。
80	〃	院内実施+外部委託 (外注)	O. J. TIにて各部署をめぐる
81	〃	院内実施+ランチ	・休暇中の変更事項を資料としてまとめてある ・本人の自信がつくまでスタッフが付いて検査手技などの確認をする
82	〃	FMS	人について、行なう。
83	〃	院内実施+外部委託 (外注)	ローテーションによる研修
84	〃	院内実施+外部委託 (外注)	職場復帰支援プログラムに基づき、支援対象となる職員ごとに主治医や産業医と相談の上具体的な職場復帰支援プランを作成(病気休暇)
85	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部門ローテーション業務確認
86	〃	院内実施+ランチ	育休後1ヶ月間のローテーションで当直研修実施
87	〃	院内実施+外部委託 (外注)	チェックシートを用いて必要な業務の習得及び確認を行っている
88	〃	院内実施	研修会
89	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1ヶ月間のルーチンローテーション
90	〃	FMS	業務中に個人的に時間を作って復帰後トレーニングを実施
91	〃	院内実施+外部委託 (外注)	約1ヵ月、日直、呼び出し、交換勤務等に入れるよう、基礎研修の再確認を行う。
92	〃	院内実施+外部委託 (外注)	本人と面談し、不安に思っている事を吸上げ、解消にむけて対応
93	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日・当直業務トレーニング
94	一般病院Ⅱ(地域医療支援病院)	院内実施+外部委託 (外注)	決まった計画表はないが宿直があるので数週間午后に各部門

95	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短時間勤務の導入
96	〃	院内実施+外部委託 (外注)	OJT
97	〃	院内実施	休業終了前にオリエンテーション実施
98	〃	院内実施+ランチ	再教育期間を作る
99	〃	院内実施+ランチ	各部門主任技師による評価と指導
100	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1～3ヶ月間はローテーションを行い実務可能と室長が判断後配置を決める
101	〃	院内実施+外部委託 (外注)	ルーチン業務
102	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日・当直で行っている検査を中心に2～3ヶ月実施
103	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰プログラムがある
104	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日当直業務に関連する部門での実習
105	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰時期が近づいた頃に、配属予定部署において実務指導
106	〃	院内実施	復帰してからの教育プログラムあり
107	〃	院内実施+外部委託 (外注)	他の人といっしょにしばらくは業務を行う
108	〃	院内実施+外部委託 (外注)	当直業務の指導
109	〃	院内実施+FMS	取り組み易い業務から助々に難度の高いものへと取り組んで貰う。
110	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰後1ヵ月位トレーニングにあてる
111	〃	院内実施+外部委託 (外注)	部署内ローテーション
112	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短期間で面談。本人の要望を聞きだして会話
113	〃	院内実施+外部委託 (外注)	検査科内復帰者育成プログラムに従い、トレーニングを実施する。該当者の休暇期間や、休暇前の業務レベルによりスケジュールは、科内育成会議で決定する。
114	〃	院内実施+外部委託 (外注)	病気休暇には職場復帰プログラムがある
115	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部署にてトレーニング
116	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短期間(1ヶ月程度)で全部門にて研修
117	〃	院内実施+外部委託 (外注)	業務量の調整(少しずつ増していく)
118	〃	院内実施+外部委託 (外注)	休暇中の情報提供(2ヶ月毎)復帰後研修4日間
119	〃	院内実施+外部委託 (外注)	仕事量、責任量を少なくし(3ヶ月)指導する
120	〃	院内実施+ランチ	2週間から1ヶ月かけて休暇前の仕事の確認トレーニング
121	〃	院内実施	検体受付及び検体処理等を行ってから
122	〃	ランチ	休業以前との変更点を中心に技術レベル評価し適宜行っている
123	一般病院Ⅲ	院内実施+外部委託 (外注)	職場としてあるので
124	〃	院内実施+外部委託 (外注)	専任者による再トレーニング
125	〃	院内実施+外部委託 (外注)	約1ヵ月間で各部署を周り復習させる

126	〃	院内実施+外部委託 (外注)	新人同様マニュアルに沿った検査ができるかを確認
127	〃	院内実施+外部委託 (外注)	事務の人事担当よりマニュアル渡されていたようです。詳細は不明。
128	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各セクションをローテーションで復習している。トレーニング
129	〃	院内実施+外部委託 (外注)	カウンセリング(専門医による)
130	〃	院内実施+外部委託 (外注)	期間を決めて、2名体制で実施(変更点や基本の再指導を行う)
131	一般病院Ⅲ	院内実施+外部委託 (外注)	4週間トレーニング期間があり就業時間も4時間、6時間、8時間に延長し様子を見る
132	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短期間の各部署のトレーニング
133	〃	院内実施+外部委託 (外注)	院内情報の定期発信、復職前研修実施等
134	〃	院内実施+外部委託 (外注)	産後4W以降より毎月レポート提出をしてもらっている
135	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰前に短時間のトレーニングについて対象者とリーダーで計画書を作成し、実行
136	〃	院内実施+外部委託 (外注)	育休中に少しの時間出勤してもらうように(いきなりフルタイムでなく)
137	〃	院内実施+外部委託 (外注)	個々にトレーニングを作成
138	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各業務で「先生」をつけて研修を行なう
139	〃	院内実施+外部委託 (外注)	エコーではダブルチェックを行って確認している
140	〃	院内実施	ローテーションによるマンツーマン業務
141	〃	院内実施	復帰前講習を3回、休暇前の担当チームにて実
142	〃	院内実施+外部委託 (外注)	ルーチン業務を指導
143	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1~2Weekは業務のサポートにまわってもらっている
144	〃	院内実施+外部委託 (外注)	職場はメンタルヘルス研修会を開催している。検査科は復帰日より前もって研修を実施している
145	〃	院内実施+FMS	本人の希望により時間外急検査全般を。
146	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰直前の慣らし出勤。復帰後の業務・緊急検査トレーニング及び習得情報調査
147	〃	院内実施+外部委託 (外注)	教育ラダーにより復帰トレーニング(2ヶ月間)
148	〃	院内実施+外部委託 (外注)	職場復帰6ヶ月前よりレポート提出
149	〃	院内実施+外部委託 (外注)	OJTプログラム
150	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1ヶ月程度のトレーニング期間と当直業務などの再訓練
151	〃	院内実施+外部委託 (外注)	再研修
152	〃	院内実施+外部委託 (外注)	職場復帰後、再指導をしている。(日当直に向けて)
153	〃	院内実施+外部委託 (外注)	実施研修
154	一般病院Ⅲ	院内実施+外部委託 (外注)	休業中の情報提供、復帰後の業務相談を前後で
155	〃	院内実施+外部委託 (外注)	事前に半日以下の勤務でトレーニング
156	〃	院内実施+ランチ	復帰後に、研修して行く

157	〃	院内実施+外部委託 (外注)	日当直当番用のトレーニング
158	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1ヵ月ぐらい各部門をまわっている。
159	〃	院内実施+外部委託 (外注)	当直業務を中心に3ヶ月トレーニング
160	〃	院内実施+FMS	産休・育休は、復帰前に本人と話し、プログラム作成する。病気休暇後の復帰プログラムは、病気により異なり必要に応じて、プログラム作成し産業医の許可を得て復帰している。
161	〃	院内実施+外部委託 (外注)	今のところ実績がない
162	〃	院内実施+外部委託 (外注)	OJT
163	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短期間での部署内ローテーション
164	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1ヶ月程度で実務研修を行っている
165	〃	院内実施+外部委託 (外注)	病気からの復帰の場合、短時間勤務、隔日出勤等、状態に応じて実施
166	〃	院内実施+外部委託 (外注)	勤務時間を短縮。夜勤なし。
167	〃	院内実施+外部委託 (外注)	レベルに応じて研修からルチンへうつる
168	〃	院内実施+外部委託 (外注)	職場復帰プログラムを作成し、実施している
169	〃	院内実施+外部委託 (外注)	当番のために各関連部署で再研修を行う
170	〃	院内実施+外部委託 (外注)	OJT
171	〃	院内実施+外部委託 (外注)	全ての業務について1ヶ月間で研修、復習を実施
172	〃	院内実施+外部委託 (外注)	勤務時間短縮。ルーチン業務再研修などのフォロー。
173	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部門を1週単位で指導者のもとでトレーニングする。
174	〃	院内実施+外部委託 (外注)	トレーニング中は通常の勤務時間を短縮している
175	〃	院内実施+外部委託 (外注)	育休復帰プログラムにもとづいて
176	〃	院内実施+外部委託 (外注)	院内、外の研修参加
177	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部門担当技師から検査方法のレクチャーを受け、第3者がチェックポイントを設け評価する
178	〃	院内実施+外部委託 (外注)	産休、育休時の変わった事とか数日かけてトレーニングしてもらう
179	〃	院内実施+外部委託 (外注)	育休後、半月程研修を行なう。
180	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰直前後の5日間、3～4時間程度実地トレーニング
181	〃	院内実施+外部委託 (外注)	各部署一定期間トレーニングする
182	〃	院内実施+外部委託 (外注)	休職期間、内容により個別対応
183	〃	院内実施+ランチ	徐々に慣れてもらう。
184	〃	院内実施+外部委託 (外注)	OJT
185	〃	院内実施+ランチ	マニュアル

186	〃	院内実施+外部委託 (外注)	短時間勤務等
187	〃	院内実施+外部委託 (外注)	更新機器があった場合は、トレーニング等
188	〃	院内実施+外部委託 (外注)	時短勤務から開始する等
189	〃	院内実施+外部委託 (外注)	宿日直トレーニング
190	〃	院内実施+外部委託 (外注)	トレーニング用のチェックシートを利用
191	〃	院内実施+外部委託 (外注)	当直勤務に対応できるトレーニング
192	一般病院Ⅲ	院内実施+外部委託 (外注)	資料の配希
193	〃	院内実施+FMS	時短
194	〃	院内実施+外部委託 (外注)	パートの期間をへてから正職員に戻る事ができる。
195	〃	院内実施+外部委託 (外注)	マニュアルを見てもらう
196	〃	院内実施+外部委託 (外注)	1~2週ほど検査業務のリハビリトレーニングを行なう
197	〃	院内実施+ランチ	無理せず、自分のペースで仕事をしてもらう様にしています。休み、仕事内容も考慮しています
198	精神病院	院内実施+外部委託 (外注)	約1ヶ月の復帰トレーニング期間を設け、復帰マニュアルをもとに全検査を研修している。
199	〃	院内実施+外部委託 (外注)	半日勤務から始め、定期的に面接などを行い、勤務状況を確認しながら、時間を延ばしていった
200	〃	院内実施+外部委託 (外注)	過去に実績がなく解答不可
201	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰時に(短期間での)ローテーションを実施
202	〃	院内実施+外部委託 (外注)	復帰後、数日はダブルで仕事をする。(業務内容によって期間はまちまち)
203	〃	院内実施+外部委託 (外注)	負担にならない部門から復帰してもらう。
204	診療所(有床)	院内実施+外部委託 (外注)	病欠における長期休暇の場合人事課と相談のもと、本人の体調に合わせ半日からのリハビリ復帰を行っている
205	〃	院内実施+外部委託 (外注)	時間外勤務の為にトレーニングが重要である
206	〃	院内実施+外部委託 (外注)	超音波検査に関してダブルチェックを行っている
207	〃	院内実施+外部委託 (外注)	精子処理の再トレーニング
208	〃	院内実施+外部委託 (外注)	技術チェックリストを用いて評価する
209	診療所(無床)	院内実施+外部委託 (外注)	一定期間プリセプターをつける。
210	〃	院内実施+外部委託 (外注)	院内トレーニング
211	〃	院内実施+外部委託 (外注)	エコー時、一緒(2人で)実施する期間を設定しているのみです。(約2週間です)
212	診療所(無床)	院内実施+外部委託 (外注)	マニュアルの作成
213	〃	院内実施+外部委託 (外注)	育休の職員に対し、月に1回1時間くらいのプログラムを実施。主にミーティングの議事録や部門内の研修会の資料を用いて行なっている
214	〃	院内実施+外部委託 (外注)	本人の希望、状況を考慮し、研修

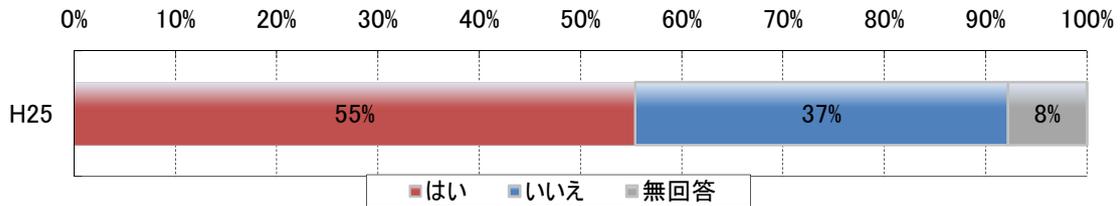
215	健診センター	院内実施+外部委託 (外注)	日常業務に慣れるまで、新人研修の半分位をめぐりに、本人の技量をみながら、研修期間を設ける。
216	"	院内実施+外部委託 (外注)	職場復帰プログラムによる研修を行う
217	"	その他	本人の様子をみながら必要であれば。
218	"	院内実施	復帰プログラムを作成し、研修している。
219	"	院内実施+外部委託 (外注)	エコー検査など、他施設の協力も得て、研修を起こっている
220	"	院内実施+外部委託 (外注)	人員増もしくは、配置で対応
221	"	院内実施+外部委託 (外注)	スタッフ同志の採血実習や超音波、眼底、眼圧などの見学や実施トレーニング
222	健診センター	院内実施+外部委託 (外注)	期間をもうけ実習
223	"	その他	フォローできるスタッフがつき再教育
224	"	院内実施+外部委託 (外注)	育休中の研修制度、育休後の研修(必要に応じて)
225	"	院内実施+外部委託 (外注)	病気休暇等において、最初短時間業務から始め徐々に時間を永くして復帰していく体制
226	"	院内実施+外部委託 (外注)	徐々に慣らしていく程度なので「2」かもしれません
227	"	院内実施+外部委託 (外注)	内部研修
228	"	院内実施+ランチ	復帰1ヶ月～2ヶ月はサポートをつけている
229	"	院内実施+外部委託 (外注)	エコーの練習
230	"	院内実施+外部委託 (外注)	1ヵ月前のオリエンテーション。復帰直後数日間のフォロー、時間的配慮含む。
231	"	院内実施+FMS	1ヶ月～3ヶ月の期間を余裕のもてる業務に配置する。
232	"	その他	復帰前ヒアリング、復帰後ヒアリング、手技確認、
233	"	院内実施+ランチ	2～4週程度の見習い制度
234	"	院内実施+外部委託 (外注)	復帰前に出勤して、休暇中の変更事項を確認してもらう。復帰後必要なら、他のスタッフがついて業務を行う。
235	"	院内実施+外部委託 (外注)	教育や必要書類の送付と復帰近くの時期の再教育とトレーニング
236	歯科(病院)	院内実施+外部委託 (外注)	週交替ですべての部門の検査
237	研究所	院内実施	復帰後はすぐにフルタイムにせず徐々に慣している
238	保健所		ためし出勤
239	"	院内実施	負担の少ない職場に配置してトレーニングしてもら
240	"	院内実施+外部委託 (外注)	病気休暇の場合は、産業医の指導のもと、時間短縮などによりウォーミングUPを図っている。
241	"	院内実施+外部委託 (外注)	産業医、衛生管理者のカウンセリング、勤務時間短縮
242	"	院内実施	県庁全体で実施している。
243	血液センター	院内実施	時短出勤
244	衛生検査所(民間)	院内実施+外部委託 (外注)	ダブルチェック体制等
245	"		研修を数日行う
246	"	院内実施+外部委託 (外注)	当直研修
247	"	院内実施+外部委託 (外注)	希望する時間に、短時間でトレーニングをしている。
248	"	院内実施+外部委託 (外注)	時間短縮をしての復帰トレーニング

249	衛生検査所(民間)	ランチ	復帰後、数ヶ月の間は原則残業なしとして、休暇中の補充職員との業務引き継ぎ兼、研修実施。役職者は業務に慣れてから役職者としての業務を担当
250	"	院内実施+外部委託(外注)	業務感覚がもどるまで支援する。
251	"		復帰前に数日
252	"	院内実施+外部委託(外注)	トレーニング計画を組む
253	"	院内実施+外部委託(外注)	OJT
254	"	院内実施+外部委託(外注)	OJT
255	"		教育訓練作業書に沿って
256	"	院内実施+外部委託(外注)	業務感覚がもどるまで支援し、確認後一人作業となる。
257	衛生検査所(民間)	院内実施+外部委託(外注)	OJT研修
258	"	院内実施+外部委託(外注)	OJT研修
259	"		業務手順の再確認を含め一連の作業工程を確認
260	"	その他	既知標本を用いて鏡検していく。正式な復帰前に少しずつ時間を増やし、作業に参加する。
261	"	院内実施+外部委託(外注)	休暇前の部署への復帰と、人員を厚くしての業務軽減
262	"	院内実施+外部委託(外注)	マニュアルの確認等
263	"	その他	OJT
264	"	院内実施+外部委託(外注)	約1~2週間の研修を実施
265	"		復帰にむけてトレーニング(研修)有、1~2週間
266	"	院内実施	業務への円滑な復帰の為、短期間のトレーニング期間を採用
267	"	その他	OJTによる技術確認
268	"	院内実施	細胞検査士の場合は、ダブルチェック期間を設け
269	"	院内実施+外部委託(外注)	復帰教育プログラムによって
270	"	院内実施	復帰後部署内にてSOPN実地を研修
271	医師会(衛生検査所)	院内実施+外部委託(外注)	1カ月前より出勤可能日を設定し、復職に必要な内容のトレーニング実施
272	"	院内実施+外部委託(外注)	業務感覚が戻るまで、確認者が1名つく。
273	"	院内実施+外部委託(外注)	新人教育プログラムの期間短縮版
274	"	院内実施+外部委託(外注)	休業中の連絡等
275	その他	その他	外部クリニックでのメンタルヘルスの復職トレーニングの受診(傷病欠勤)
276	"	院内実施+外部委託(外注)	トレーニング期間を請け、スタッフがついている。
277	"		助々に体を慣らす。勤ム時間を短縮している
278		院内実施+FMS	1カ月は各部門について感覚をとり戻してもらう
279		院内実施	全体的な検査の流れの再確認など
280		院内実施+外部委託(外注)	病休:勤務時間制限、残業なし
281		院内実施+外部委託(外注)	ルーチン検査(緊急時の検査オーダー)を行う。
282			プログラムに基づいて
283		院内実施	休業中の復帰前のトレーニング出勤(本人の都合に合わせて)

284		院内実施+ランチ	フォローアップ面談を実施
285		院内実施+外部委託 (外注)	業務を単独で行わず、様子を見ながら行なう。

VIII. チーム医療について

問48. チーム医療とのかかわり方についてお訪ねします。チーム医療において、直接、患者・医師に対して、チーム医療の一員としての取り組みをしていますか

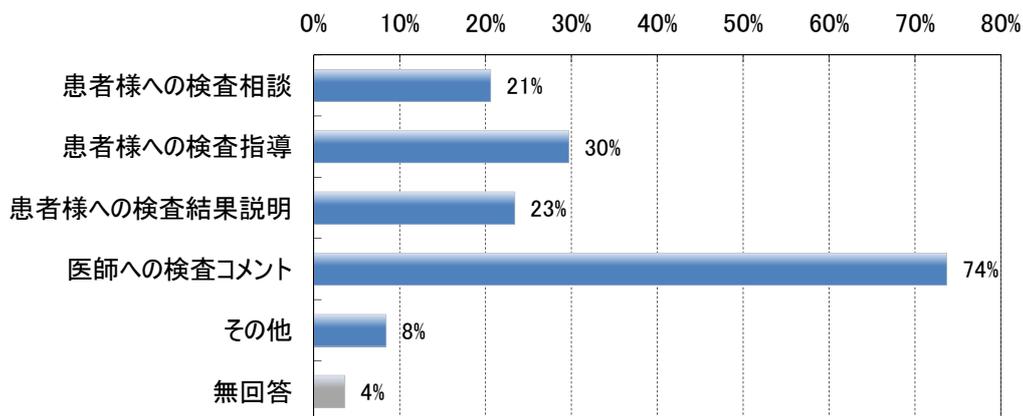


		H25	
1	はい	1,940	55%
2	いいえ	1,288	37%
	無回答	273	8%
	全体	3,501件	100%

【コメント】

直接、患者・医師に対して、チーム医療の一員として取り組んでいる施設は55%と過半数を占める。

問49. 「問48」で「1」と回答した施設の方にご質問します。
チーム医療の一員としての取り組み方をお選びください

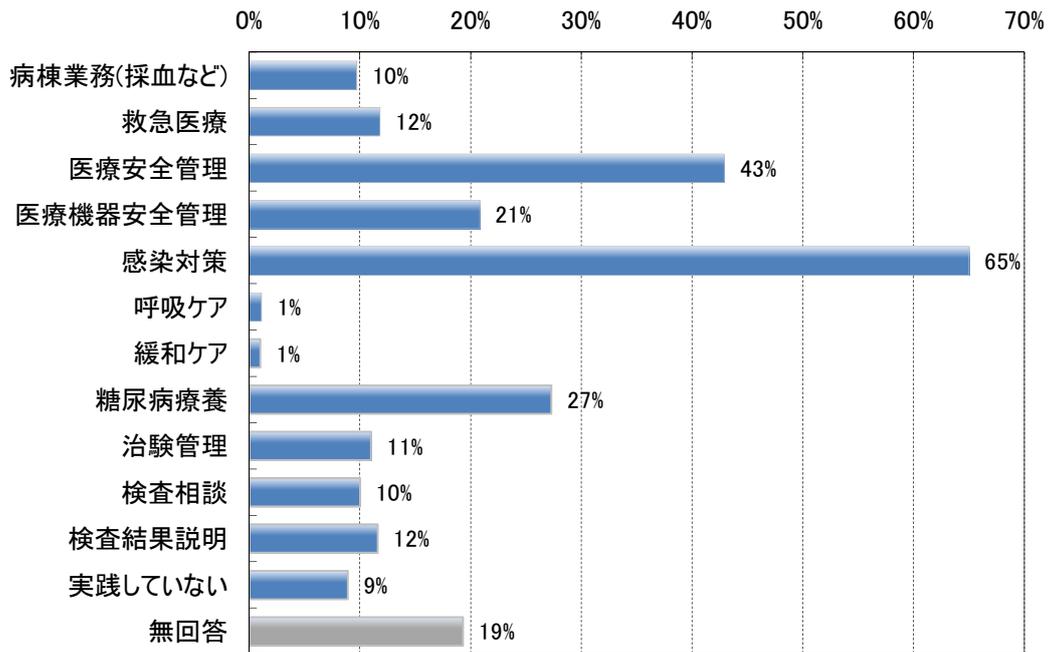


		H25	
1	患者様への検査相談	399	21%
2	患者様への検査指導	576	30%
3	患者様への検査結果説明	453	23%
4	医師への検査コメント	1,429	74%
5	その他	162	8%
	無回答	70	4%
	全体	1,940件	100%

【コメント】

直接、患者・医師に対して、チーム医療の一員として取り組んでいる施設の、チーム医療の一員としての取り組み方としては、「医師への検査コメント」が74%と大半の施設で実施している。

問50.チーム医療を実践している項目をお選びください



		H25	
1	病棟業務(採血など)	339	10%
2	救急医療	414	12%
3	医療安全管理	1,502	43%
4	医療機器安全管理	729	21%
5	感染対策	2,276	65%
6	呼吸ケア	40	1%
7	緩和ケア	34	1%
8	糖尿病療養	957	27%
9	治験管理	385	11%
10	検査相談	350	10%
11	検査結果説明	405	12%
12	実践していない	313	9%
	無回答	677	19%
	全体	3,501件	100%

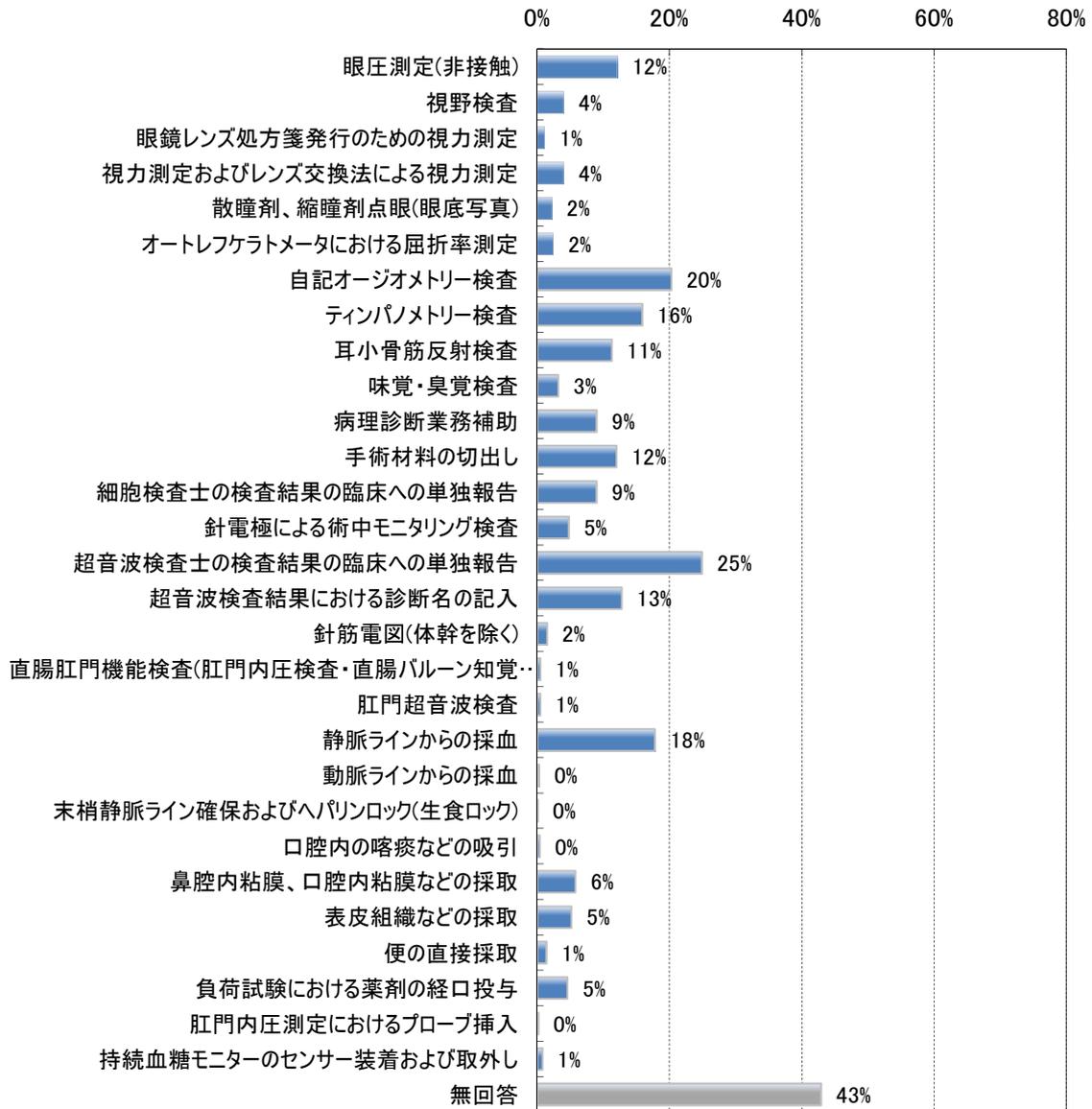
【コメント】

チーム医療を実践している項目としては、「感染対策」が65%と最も多く、次いで、「医療安全管理」(43%)、「糖尿病療養」(27%)、「医療機器安全管理」(21%)となっている。

Ⅸ.臨床検査技師の業務認証、業務拡大について

問51.法改正(業務認証、身分確立など)活動について
 今後、臨床検査技師の業務認証拡大への活動で取り組んでほしい
 業務内容についてご質問します

問51-1.すでに実施している項目はありますか



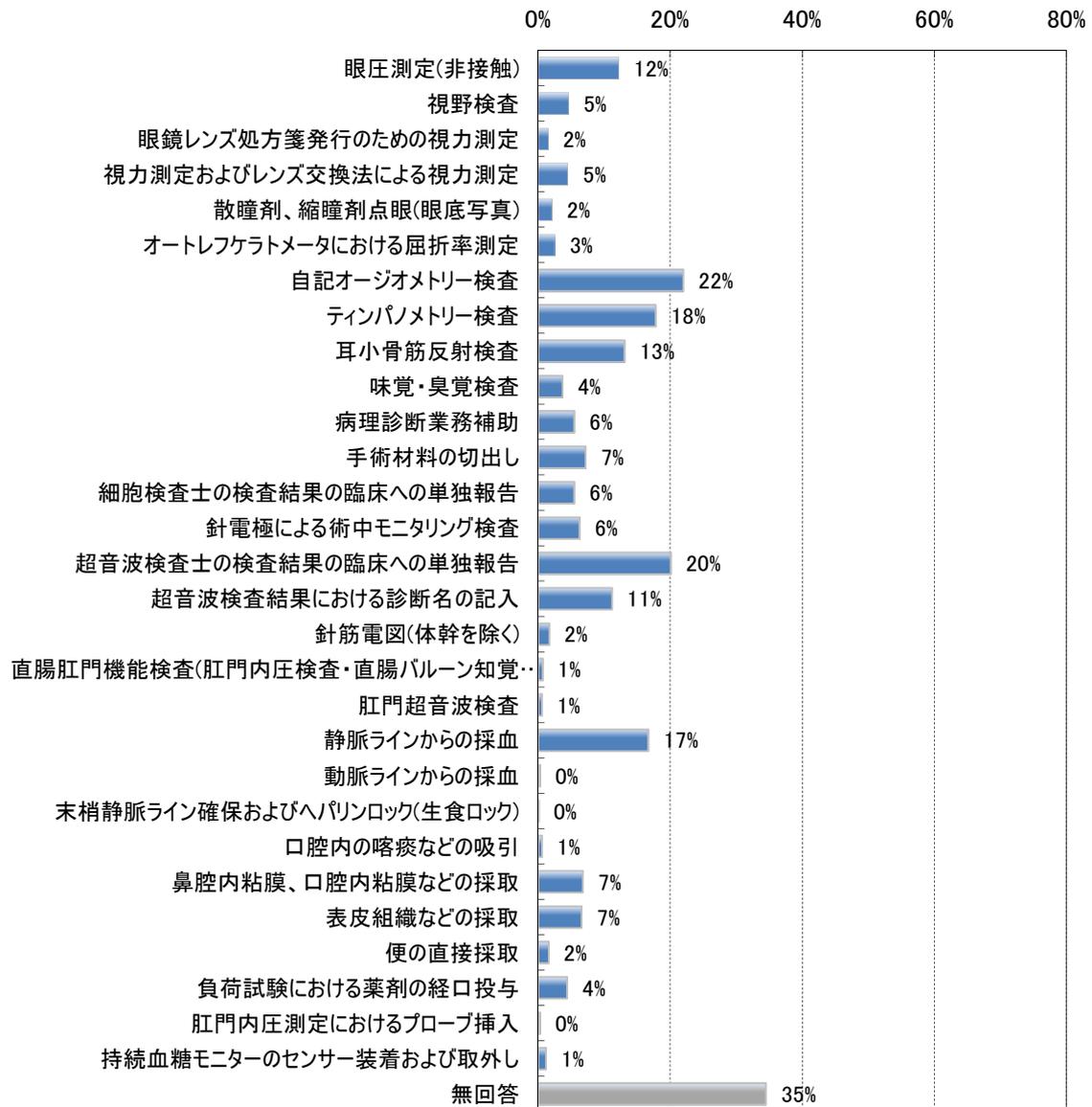
		H25		
眼科領域	1	眼圧測定(非接触)	425	12%
	2	視野検査	140	4%
	3	眼鏡レンズ処方箋発行のための視力測定	40	1%
	4	視力測定およびレンズ交換法による視力測定	141	4%
	5	散瞳剤、縮瞳剤点眼(眼底写真)	78	2%
	6	オートレフケラトメータにおける屈折率測定	85	2%
耳鼻科領域	7	自記オーディオメトリー検査	709	20%
	8	ティンパノメトリー検査	556	16%
	9	耳小骨筋反射検査	397	11%
	10	味覚・臭覚検査	111	3%
病理関連	11	病理診断業務補助	315	9%
	12	手術材料の切出し	421	12%
	13	細胞検査士の検査結果の臨床への単独報告	315	9%
生理検査領域	14	針電極による術中モニタリング検査	167	5%
	15	超音波検査士の検査結果の臨床への単独報告	871	25%
	16	超音波検査結果における診断名の記入	447	13%
	17	針筋電図(体幹を除く)	51	2%
	18	直腸肛門機能検査(肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査)	17	1%
	19	肛門超音波検査	17	1%
医療行為関連	20	静脈ラインからの採血	623	18%
	21	動脈ラインからの採血	10	0%
	22	末梢静脈ライン確保およびヘパリンロック(生食ロック)	4	0%
	23	口腔内の喀痰などの吸引	13	0%
	24	鼻腔内粘膜、口腔内粘膜などの採取	203	6%
	25	表皮組織などの採取	182	5%
	26	便の直接採取	48	1%
	27	負荷試験における薬剤の経口投与	162	5%
	28	肛門内圧測定におけるプローブ挿入	7	0%
	29	持続血糖モニターのセンサー装着および取外し	27	1%
		無回答	1,503	43%
		全体	3,501件	100%

問51-2. 取り組んでいきたい項目はありますか



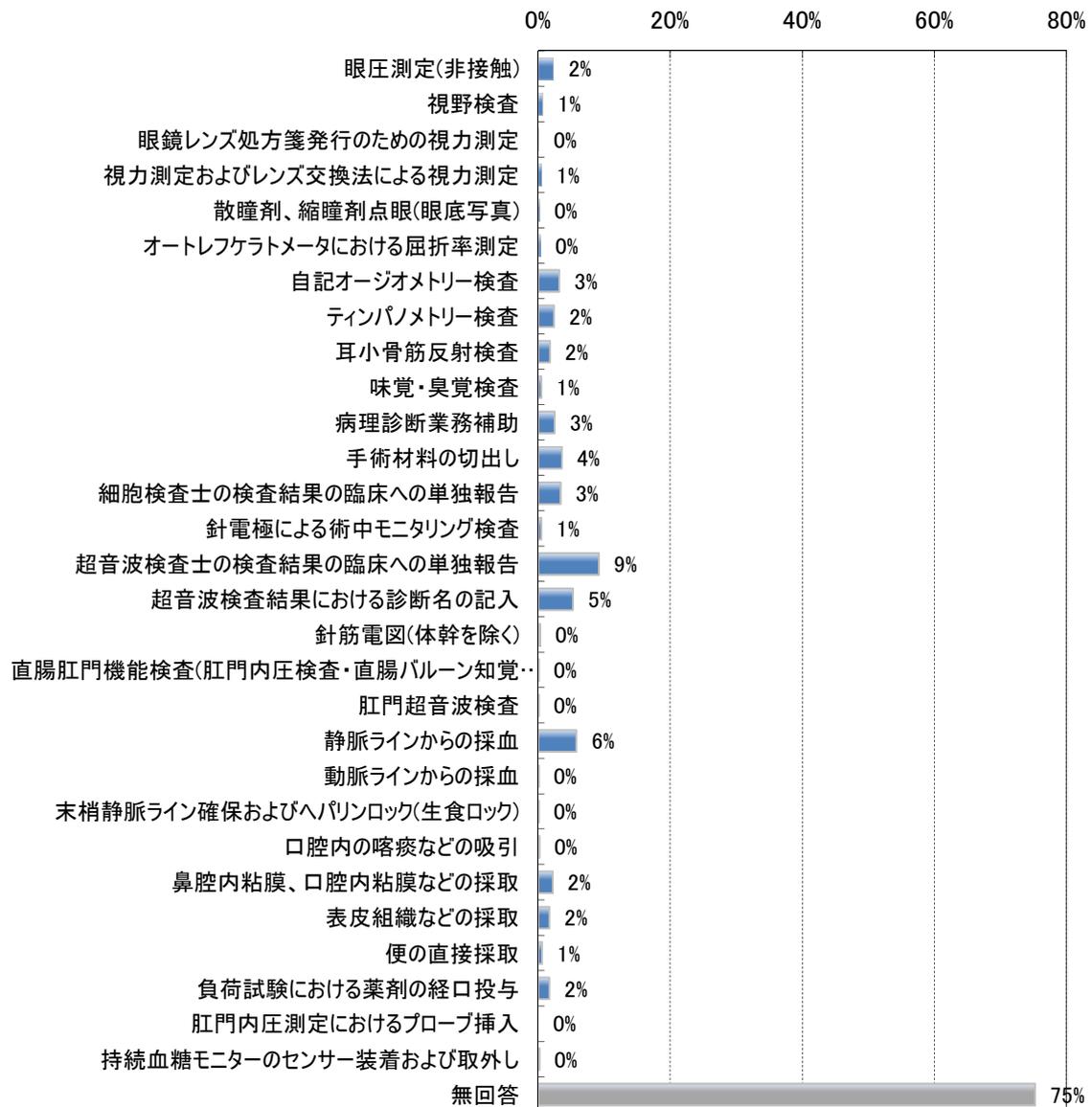
		H25		
眼科領域	1	眼圧測定(非接触)	195	6%
	2	視野検査	129	4%
	3	眼鏡レンズ処方箋発行のための視力測定	50	1%
	4	視力測定およびレンズ交換法による視力測定	59	2%
	5	散瞳剤、縮瞳剤点眼(眼底写真)	99	3%
	6	オートレフケラトメータにおける屈折率測定	44	1%
耳鼻科領域	7	自記オーディオメトリー検査	85	2%
	8	ティンパノメトリー検査	52	2%
	9	耳小骨筋反射検査	47	1%
	10	味覚・臭覚検査	102	3%
病理関連	11	病理診断業務補助	105	3%
	12	手術材料の切出し	84	2%
	13	細胞検査士の検査結果の臨床への単独報告	116	3%
生理検査領域	14	針電極による術中モニタリング検査	55	2%
	15	超音波検査士の検査結果の臨床への単独報告	245	7%
	16	超音波検査結果における診断名の記入	211	6%
	17	針筋電図(体幹を除く)	45	1%
	18	直腸肛門機能検査(肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査)	19	1%
	19	肛門超音波検査	32	1%
医療行為関連	20	静脈ラインからの採血	193	6%
	21	動脈ラインからの採血	54	2%
	22	末梢静脈ライン確保およびヘパリンロック(生食ロック)	76	2%
	23	口腔内の喀痰などの吸引	98	3%
	24	鼻腔内粘膜、口腔内粘膜などの採取	284	8%
	25	表皮組織などの採取	155	4%
	26	便の直接採取	92	3%
	27	負荷試験における薬剤の経口投与	137	4%
	28	肛門内圧測定におけるプローブ挿入	23	1%
	29	持続血糖モニターのセンサー装着および取外し	106	3%
		無回答	2,496	71%
		全体	3,501件	100%

問51-3.「問51-1」で「実施している」と回答された施設にご質問します
 実施している項目の内、病院(診療科・他部署)からの要望によるもの



		H25		
眼科領域	1	眼圧測定(非接触)	244	12%
	2	視野検査	92	5%
	3	眼鏡レンズ処方箋発行のための視力測定	29	2%
	4	視力測定およびレンズ交換法による視力測定	90	5%
	5	散瞳剤、縮瞳剤点眼(眼底写真)	41	2%
	6	オートレフケラトメータにおける屈折率測定	49	3%
耳鼻科領域	7	自記オーディオメトリー検査	440	22%
	8	ティンパノメトリー検査	356	18%
	9	耳小骨筋反射検査	262	13%
	10	味覚・臭覚検査	73	4%
病理関連	11	病理診断業務補助	110	6%
	12	手術材料の切出し	143	7%
	13	細胞検査士の検査結果の臨床への単独報告	110	6%
生理検査領域	14	針電極による術中モニタリング検査	125	6%
	15	超音波検査士の検査結果の臨床への単独報告	401	20%
	16	超音波検査結果における診断名の記入	224	11%
	17	針筋電図(体幹を除く)	33	2%
	18	直腸肛門機能検査(肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査)	14	1%
	19	肛門超音波検査	11	1%
医療行為関連	20	静脈ラインからの採血	333	17%
	21	動脈ラインからの採血	6	0%
	22	末梢静脈ライン確保およびヘパリンロック(生食ロック)	2	0%
	23	口腔内の喀痰などの吸引	12	1%
	24	鼻腔内粘膜、口腔内粘膜などの採取	136	7%
	25	表皮組織などの採取	131	7%
	26	便の直接採取	31	2%
	27	負荷試験における薬剤の経口投与	87	4%
	28	肛門内圧測定におけるプローブ挿入	6	0%
	29	持続血糖モニターのセンサー装着および取外し	24	1%
		無回答	690	35%
		全体	1,998件	100%

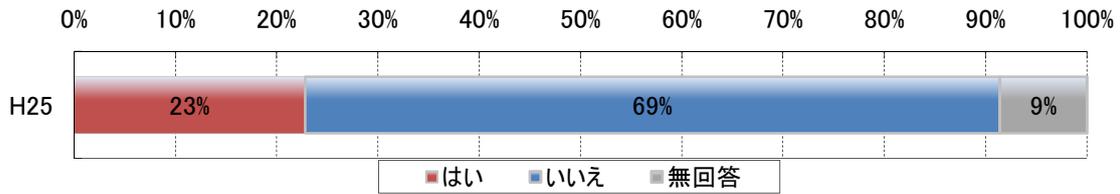
問51-4.「問51-1」で「実施している」と回答された施設にご質問します
実施している項目の内、検査室からの提案によるもの



		H25		
眼科領域	1	眼圧測定(非接触)	46	2%
	2	視野検査	14	1%
	3	眼鏡レンズ処方箋発行のための視力測定	2	0%
	4	視力測定およびレンズ交換法による視力測定	10	1%
	5	散瞳剤、縮瞳剤点眼(眼底写真)	3	0%
	6	オートレフケラトメータにおける屈折率測定	5	0%
耳鼻科領域	7	自記オージオメトリー検査	63	3%
	8	ティンパノメトリー検査	48	2%
	9	耳小骨筋反射検査	35	2%
	10	味覚・臭覚検査	10	1%
病理関連	11	病理診断業務補助	49	3%
	12	手術材料の切出し	72	4%
	13	細胞検査士の検査結果の臨床への単独報告	67	3%
生理検査領域	14	針電極による術中モニタリング検査	10	1%
	15	超音波検査士の検査結果の臨床への単独報告	184	9%
	16	超音波検査結果における診断名の記入	106	5%
	17	針筋電図(体幹を除く)	5	0%
	18	直腸肛門機能検査(肛門内圧検査・直腸バルーン知覚検査)	1	0%
	19	肛門超音波検査	1	0%
医療行為関連	20	静脈ラインからの採血	115	6%
	21	動脈ラインからの採血	1	0%
	22	末梢静脈ライン確保およびヘパリンロック(生食ロック)	2	0%
	23	口腔内の喀痰などの吸引	4	0%
	24	鼻腔内粘膜、口腔内粘膜などの採取	43	2%
	25	表皮組織などの採取	33	2%
	26	便の直接採取	11	1%
	27	負荷試験における薬剤の経口投与	33	2%
	28	肛門内圧測定におけるプローブ挿入	0	0%
	29	持続血糖モニターのセンサー装着および取外し	3	0%
		無回答	1,502	75%
		全体	1,998件	100%

X. 臨地実習の受け入れ体制について

問53. 貴施設で臨地実習として学生を受け入れていますか

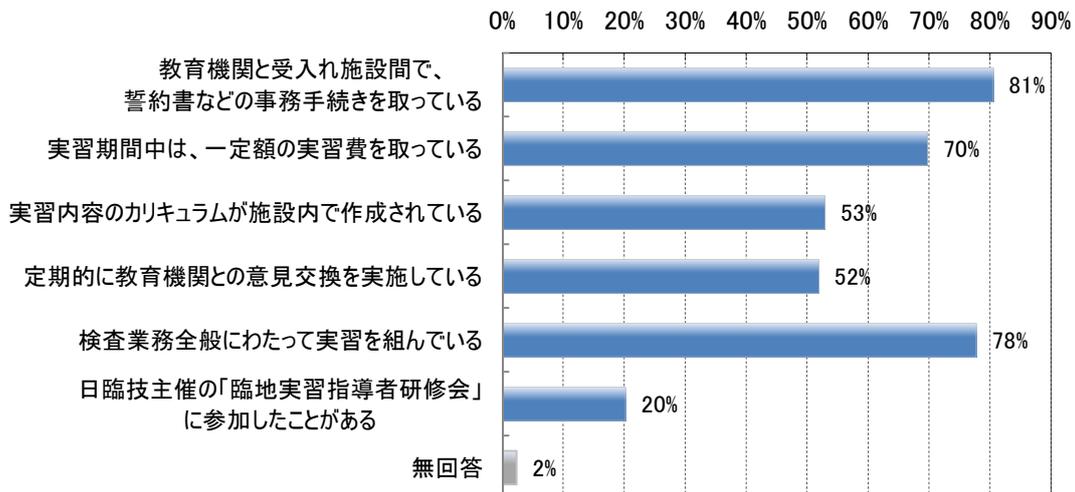


		H25	
1	はい	798	23%
2	いいえ	2,402	69%
	無回答	301	9%
	全体	3,501件	100%

【コメント】

臨地実習として学生を受け入れている施設は23%であり、受け入れている施設(69%)が多い。

問54. 「問53」で「1」と回答された施設に伺います

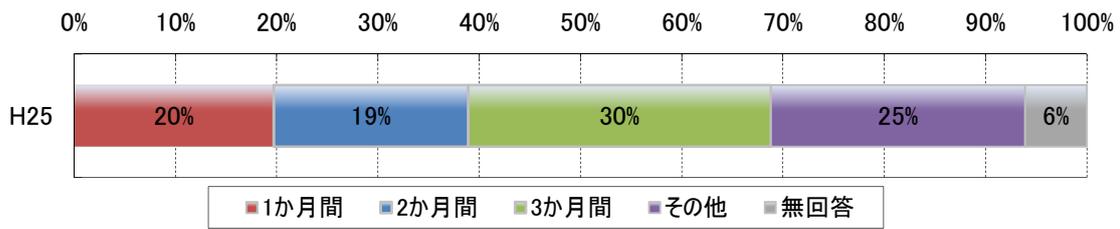


		H25	
1	教育機関と受入れ施設間で、誓約書などの事務手続きを取っている	642	81%
2	実習期間中は、一定額の実習費を取っている	556	70%
3	実習内容のカリキュラムが施設内で作成されている	422	53%
4	定期的に教育機関との意見交換を実施している	414	52%
5	検査業務全般にわたって実習を組んでいる	620	78%
6	日臨技主催の「臨地実習指導者研修会」に参加したことがある	161	20%
	無回答	18	2%
	全体	798件	100%

【コメント】

臨地実習として学生を受け入れている施設のうち、「教育機関と受入れ施設間で、誓約書などの事務手続きを取っている」施設は81%で最も多く、次いで、「検査業務全般にわたって実習を組んでいる」(78%)、「実習期間中は、一定額の実習費を取っている」(70%)となっている。

問55.「問53」で「1」と回答された施設にお聞きします
 臨地実習の受入れ期間(平均)について、お選びください

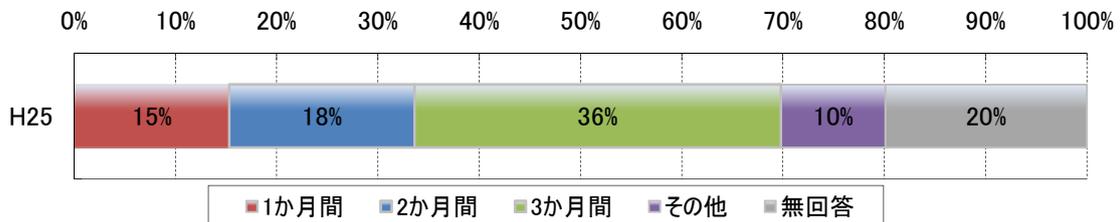


		H25	
1	1か月間	157	20%
2	2か月間	153	19%
3	3か月間	239	30%
4	その他	200	25%
	無回答	49	6%
	全体	798件	100%

【コメント】

臨地実習として学生を受け入れている施設の臨地実習の受入れ期間(平均)は、「3か月間」が30%と最も多く、次いで、「その他」の25%となっている。

問56.「問53」で「1」と回答された施設にお聞きします
 臨床検査技師学校養成所指定規則では、7単位(315時間)で実習時間の三分の二以上は、
 病院又は診療所において行うこと。となっていますが、
 貴施設が考える理想的な臨地実習期間は何時間が良いと思いますか



		H25	
1	1か月間	122	15%
2	2か月間	146	18%
3	3か月間	289	36%
4	その他	82	10%
	無回答	159	20%
	全体	798件	100%

【コメント】

臨地実習として学生を受け入れている施設の理想的な臨地実習期間は、「3か月間」が36%と最も多い。

会 員 意 識 調 査 結 果

目 次

属性		
都道府県別回収状況	1
性別・結婚	2
扶養家族・年齢	3
担当業務	4
役職	5
最終学歴	6

I. 社団法人 日本臨床衛生検査技師会が関連する活動について

1. 参加の状況について

問1. 定期総会(年1回)	7
問2. 日本医学検査学会	8
問3. ○○支部医学検査学会	9
問4. ○○支部研修会	9
問5. 臨地実習指導講習会	10
問6. 医学安全管理者講習会	10
問7. 日臨技臨床検査精度管理調査(コントロールサーベイ)	11

2. 事業等の内容について

問8. 全国幹事会(年1回開催)	12
問9. 支部幹事会	12
問10. 各種表彰(永年職務精励者、学術関連表彰等)	13
問11. 無料職業紹介事業	13
問12. 会員のための補償制度	14
問13. 共済に関する事業(リンクス)	14
問13. 各都道府県技師会への助成会	15
問14. 国際交流事業(IFBLS, AAMLS)	15
問15. 臨床検査精度管理事業(データの共有化等を含む)	16
問16. 出版事業(図書の発行)	16
問17. 診療報酬点数改正に関する取組み	17
問18. 施設認証制度	17
問19. 認定検査技師機構の設立	18
問20. 生涯教育研修事業(一般教育課程)	18
問21. 日臨技認定センター	19

II. 会報「JAMT」について

問22. 会報「JAMT」を読めますか。	20
問23. 「問22」で「1. 以外の回答をされた方」にご質問します。 会報「JAMT」のどのコーナーに興味があって読んでいますか。	20
問24. 会報「JAMT」で新たに提起してもらいたい記事はありますか。	21
問25. 「1. 」と答えた方におたずねします。 どのような内容の記事か具体的に記載してください。	21

III. 会誌「医学検査」について

問26. 「医学検査」の掲載内容をどのくらい読んでいますか。	22
問27. 興味のある内容	22
問28. 日臨技定時総会等の議案書・議事録	23
問29. 日臨技研修会・支部学会のお知らせ	23
問30. 認定技師関連のお知らせ	24
問31. 「医学検査」に投稿したことがありますか。	24
問32. 「問35」で「3. 」を選んだ方	25

IV.	日臨技ホームページについて	
	問33. 日臨技ホームページを見たことがありますか。……………	26
	問34. よく見るページはどこですか。……………	26
	問35. 支部ホームページが開設されたことをご存知ですか。	27
V.	生涯教育研修制度について	
	問37. 生涯教育研修制度を必要と思いますか。……………	28
	問38. 「問37」で「1.」を選んだ方は、なぜそのように思いますか。	29
	問39. 「問37」で「2.」を選んだ方は、なぜそのように思いますか。	30
VI.	認定センターについて	
	問40. 貴方は認定検査技師のうち何の認定を取得していますか。	31
	問41. 認定技師制度でどのような認定を望みますか。……………	32
	問42. 認定取得によるメリットとして何を望みますか。……………	33
	問43. 認定センターでの認定対象者について、 他資格者(臨床検査技師以外)の認定も行うべきだと 思いますか。	34
	問44. 認定センターでの認定対象者について、 日臨技の非会員に対しても認定を行うべきだと思いますか。	34
VII.	他団体学会・研修会(国内・海外)参加について	
	問45. 他団体の学会に参加していますか。……………	35
	問46. どのような学会に参加されていますか。……………	36
	問47. 国際交流経験(研修・留学・学会参加)等についておたずね します。海外研修、留学、学会参会の経験がありますか。	37
	問48. 「問47」で「1または2」と回答された方におたずねします。	37
	問49. 「問47」で「3」と回答された方におたずねします。……………	37
VIII.	渉外活動についておたずねします	
	問50. 法改正(業務認証、身分確立)運動の推進……………	38
	問51. 診療報酬点数の改正に向けての行動。……………	38
IX.	休暇等・転職について	
	問52. 育児・介護休暇など長期休暇(留学など含む)の 取得状況をお聞かせください。……………	39
	問53. 職場では「有給休暇」を取得しやすい環境ですか。……………	39
	問54. 仕事をする上で男女の格差を感じますか。……………	40
	問55. 転職・再就職を希望する際の問題点は何ですか。……………	40
	問56. 転職を考えたことがありますか。……………	41
	問57. 転職を考えたことがある方、あるいは転職された方、 その理由をお答えください。	42
	問58. 転職するならば、どのようなところがいいですか。……………	43
	問59. 現在のあなたの賃金について……………	43
	問60. 「問59」で、「3または4」と回答された方に伺います。……………	44
X.	女性会員への方におたずねします	
	問61. 現在会員の6割以上が女性技師で、今後ますます女性技師の 割合が高くなります。女性技師が都道府県技師会や日臨技役 員として参画する必要性を感じますか。	45
	問62. 都道府県技師会役員や日臨技師会として要請があれば 協力できますか。	45
	問63. 女性会員が増えている中で、女性部会は必要だと思いますか。	46
	問64. 女性技師として取り上げて欲しいことがありますか。	42
	問65. 職場では「育児休暇」は規定どおり取得できていますか。	47
	問66. 「育児休暇」後、職場に復帰する場合に不安がありますか。	47
	問67. 育児支援がありますか。……………	48
	問68. 問67で「ある」と回答された方にお聞きします。 どのような育児支援がありますか。……………	48
	問69. 「休暇」期間でも、研修会・勉強会に参加したいと思いますか。	49

問70.	産・育児中に知識・技術の維持に不安を感じたことはあります ますか。	49 49
問71.	育児休暇中もしくは復帰後、知識・技術維持に関する支援が ありますか。	50
問72.	問71で「ある」と回答された方にお聞きします。…………… ある場合どのような支援ですか。	50
問73.	女性技師に対する特別な支援の必要性があるとおもいますか	51
問74.	子育てをしながら働くうえで、どのような点が障害になると考 えますか。	51
問75.	女性が育児休暇等で休暇をとることにより、役職(昇進)に影響 があると感じますか。	52

【回収状況】

「都道府県別回収状況」

今回(25年度)

今回(21年度)

前回(19年度)

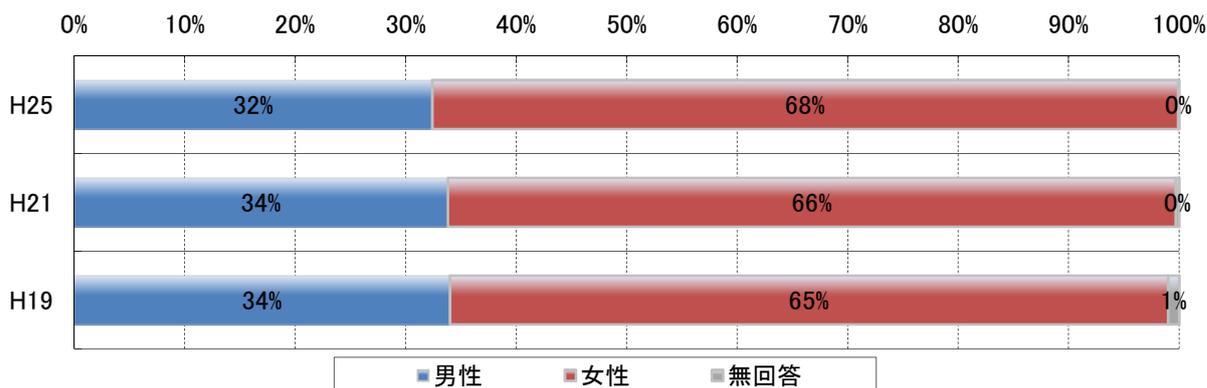
※会員数は平成25年10月30日現在

※会員数は平成21年11月30日現在

※会員数は平成19年7月31日現在

都道府県名	会員数	回答数	回答率	都道府県名	会員数	回答数	回答率	都道府県名	会員数	回答数	回答率
北海道	2,675	1,688	63%	北海道	2,827	1,368	48%	北海道	2,835	1,445	51%
青森県	569	346	61%	青森県	569	342	60%	青森県	595	346	58%
岩手県	519	311	60%	岩手県	543	207	38%	岩手県	541	258	48%
宮城県	885	582	66%	宮城県	919	424	46%	宮城県	911	534	59%
秋田県	582	378	65%	秋田県	616	311	50%	秋田県	622	358	58%
山形県	566	343	61%	山形県	563	351	62%	山形県	578	374	65%
福島県	995	723	73%	福島県	985	595	60%	福島県	979	615	63%
茨城県	1,038	675	65%	茨城県	1,010	512	51%	茨城県	971	597	61%
栃木県	771	507	66%	栃木県	793	407	51%	栃木県	791	494	62%
群馬県	833	486	58%	群馬県	850	421	50%	群馬県	835	438	52%
埼玉県	2,053	1,174	57%	埼玉県	2,061	869	42%	埼玉県	1,981	1,050	53%
千葉県	1,566	996	64%	千葉県	1,573	734	47%	千葉県	1,435	788	55%
東京都	3,732	1,925	52%	東京都	3,987	1,589	40%	東京都	3,857	1,826	47%
神奈川県	2,533	1,515	60%	神奈川県	2,646	1,158	44%	神奈川県	2,564	1,296	51%
新潟県	1,207	863	71%	新潟県	1,220	718	59%	新潟県	1,196	750	63%
富山県	505	340	67%	富山県	522	340	65%	富山県	530	331	62%
石川県	626	388	62%	石川県	645	378	59%	石川県	622	385	62%
福井県	329	206	63%	福井県	366	216	59%	福井県	373	231	62%
山梨県	394	266	68%	山梨県	391	231	59%	山梨県	396	237	60%
長野県	1,167	744	64%	長野県	1,137	665	58%	長野県	1,116	612	55%
岐阜県	704	466	66%	岐阜県	721	404	56%	岐阜県	712	389	55%
静岡県	1,363	986	72%	静岡県	1,454	765	53%	静岡県	1,433	797	56%
愛知県	2,546	1,711	67%	愛知県	2,508	1,443	58%	愛知県	2,407	1,595	66%
三重県	611	444	73%	三重県	610	352	58%	三重県	590	329	56%
滋賀県	459	215	47%	滋賀県	531	231	44%	滋賀県	513	265	52%
京都府	762	407	53%	京都府	934	332	36%	京都府	888	412	46%
大阪府	2,199	1,095	50%	大阪府	3,039	1,276	42%	大阪府	2,967	1,265	43%
兵庫県	1,430	725	51%	兵庫県	1,974	1,001	51%	兵庫県	1,945	1,061	55%
奈良県	485	287	59%	奈良県	559	318	57%	奈良県	517	266	51%
和歌山県	296	219	74%	和歌山県	334	168	50%	和歌山県	335	172	51%
鳥取県	288	196	68%	鳥取県	306	176	58%	鳥取県	292	172	59%
島根県	410	296	72%	島根県	408	274	67%	島根県	422	277	66%
岡山県	1,167	813	70%	岡山県	1,134	660	58%	岡山県	1,110	607	55%
広島県	1,430	1,008	70%	広島県	1,464	861	59%	広島県	1,431	780	55%
山口県	681	490	72%	山口県	705	431	61%	山口県	724	517	71%
徳島県	382	241	63%	徳島県	371	183	49%	徳島県	370	242	65%
香川県	583	430	74%	香川県	552	331	60%	香川県	536	345	64%
愛媛県	699	499	71%	愛媛県	694	343	49%	愛媛県	714	431	60%
高知県	559	382	68%	高知県	575	256	45%	高知県	569	310	54%
福岡県	2,580	1,334	52%	福岡県	2,584	1,227	47%	福岡県	2,508	1,283	51%
佐賀県	276	142	51%	佐賀県	284	91	32%	佐賀県	266	107	40%
長崎県	698	488	70%	長崎県	690	367	53%	長崎県	659	418	63%
熊本県	971	583	60%	熊本県	915	415	45%	熊本県	896	516	58%
大分県	630	420	67%	大分県	663	309	47%	大分県	597	234	39%
宮崎県	391	224	57%	宮崎県	359	214	60%	宮崎県	375	186	50%
鹿児島県	482	236	49%	鹿児島県	454	186	41%	鹿児島県	426	181	42%
沖縄県	599	255	43%	沖縄県	573	174	30%	沖縄県	542	174	32%
無記入		158		無記入		35		その他			
合計	47,226	29,206	62%	合計	49,618	24,659	50%	合計	48,472	26,296	54%

性別

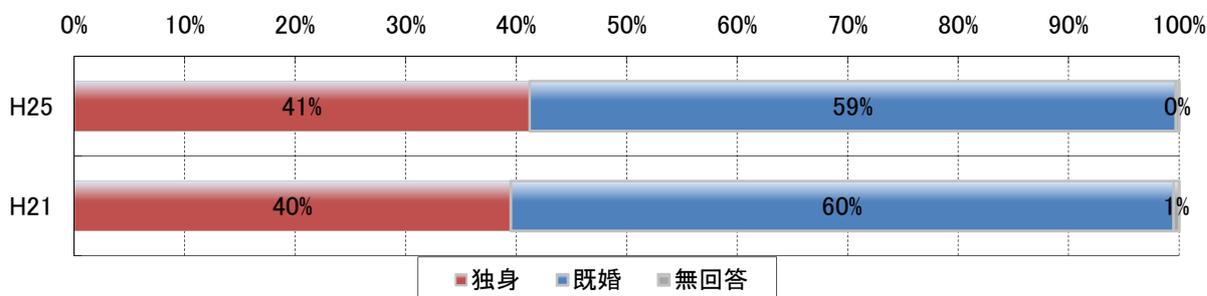


	H25		H21		H19	
男性	9,460	32%	8,335	34%	8,823	34%
女性	19,728	68%	16,246	66%	17,167	
無回答	18	0%	78	0%	306	1%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%	26,296件	100%

【コメント】

回答者の性別は、「男性」が32%（H21:34%、H19:34%）、「女性」が68%（H21:66%、H19:65%）であり、女性がほぼ3分の2を占める。

結婚

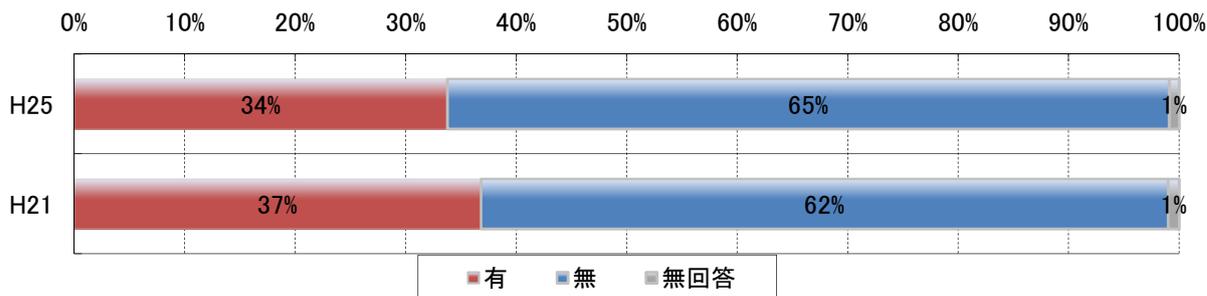


	H25		H21	
独身	12,030	41%	9,744	40%
既婚	17,095	59%	14,788	60%
無回答	81	0%	127	1%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%

【コメント】

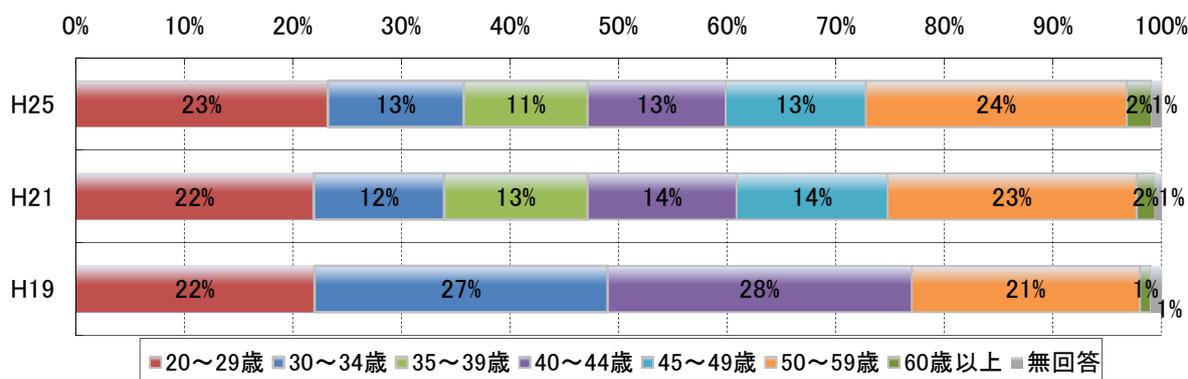
回答者の結婚の状況は、「独身」が41%（H21:40%）、「既婚」が59%（H21:60%）でとなっている。

扶養家族



	H25		H21	
有	9,859	34%	9,066	37%
無	19,087	65%	15,348	62%
無回答	260	1%	245	1%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%

年齢

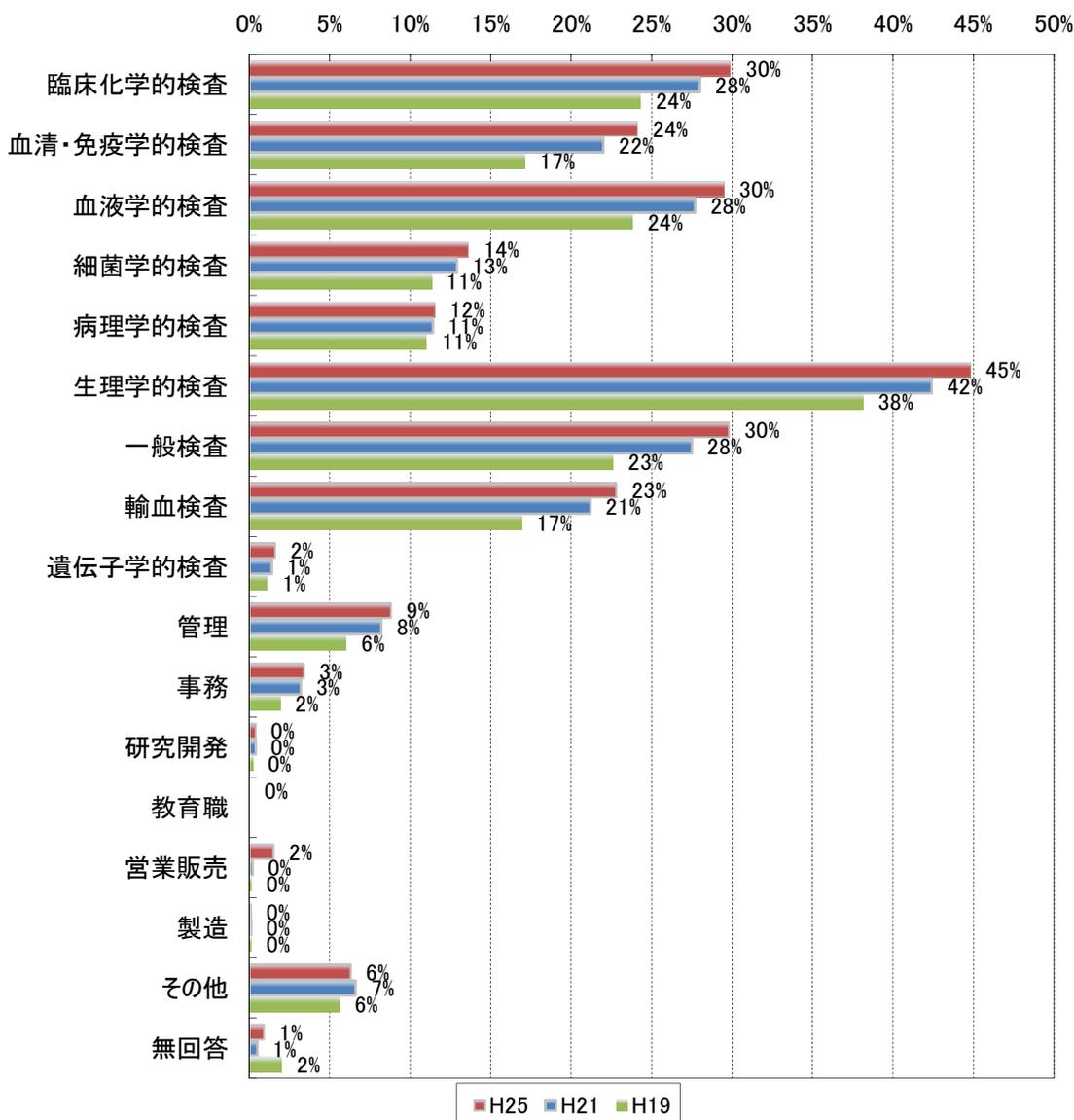


	H25		H21		H19	
20~29歳	6,779	23%	5,405	22%	5,694	22%
30~34歳	3,658	13%	2,959	12%	7,105	27%
35~39歳	3,344	11%	3,266	13%		
40~44歳	3,722	13%	3,388	14%	7,607	28%
45~49歳	3,761	13%	3,433	14%		
50~59歳	6,995	24%	5,652	23%	5,479	21%
60歳以上	684	2%	415	2%	211	1%
無回答	263	1%	141	1%	200	1%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%	26,296件	100%

【コメント】

回答者の年齢は、20代(「20~29歳」)が23%(H21:22%、H19:22%)、30代(「30~34歳」および「35~39歳」)が24%(H21:25%、H19:27%)、40代(「40~44歳」および「45~49歳」)が26%(H21:28%、H19:28%)、50代(「50~59歳」)が24%(H21:23%、H19:21%)となっており、60歳未満では各年代がほぼ均等になっている。

担当業務

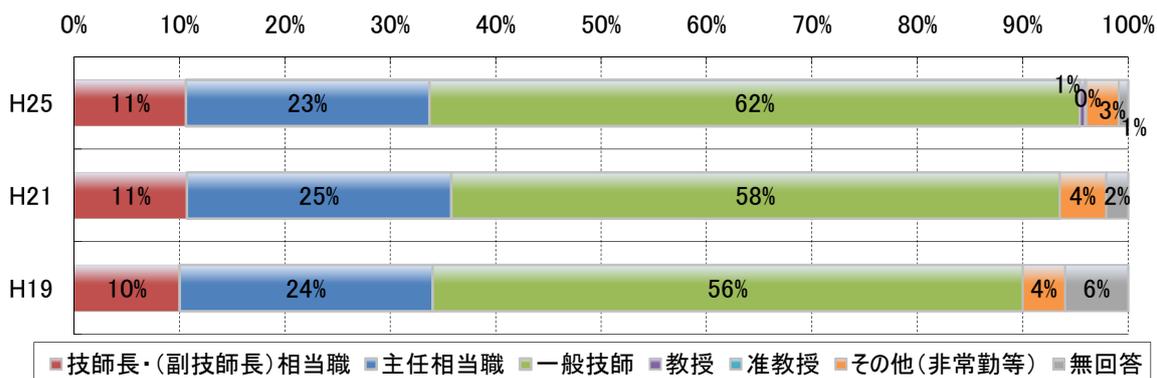


	H25		H21		H19	
臨床化学的検査	8,718	30%	6,905	28%	6,384	24%
血清・免疫学的検査	7,049	24%	5,415	22%	4,488	17%
血液学的検査	8,626	30%	6,823	28%	6,259	24%
細菌学的検査	3,966	14%	3,191	13%	2,970	11%
病理学的検査	3,366	12%	2,805	11%	2,896	11%
生理学的検査	13,089	45%	10,452	42%	10,027	38%
一般検査	8,710	30%	6,769	28%	5,935	23%
輸血検査	6,669	23%	5,240	21%	4,435	17%
遺伝子学的検査	459	2%	345	1%	298	1%
管理	2,563	9%	2,022	8%	1,571	6%
事務	983	3%	792	3%	488	2%
研究開発	110	0%	106	0%	59	0%
教育職	0	0%	-	-	-	-
営業販売	439	2%	41	0%	27	0%
製造	18	0%	27	0%	28	0%
その他	1,831	6%	1,625	7%	1,465	6%
無回答	257	1%	111	1%	535	2%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%	26,296件	100%

【コメント】

回答者の担当業務をみると、「生理学的検査」が45%（H21:42%、H19:38%）と最も多く、次いで、「臨床化学的検査」が30%（H21:28%、H19:24%）、「一般検査」が30%（H21:28%、H19:23%）、「血液学的検査」が30%（H21:28%、H19:24%）となっている。また、経年的にはほぼすべての業務で増加傾向にあり、一人で複数の業務を担当する状況が増えてきていることがうかがえる。

役職

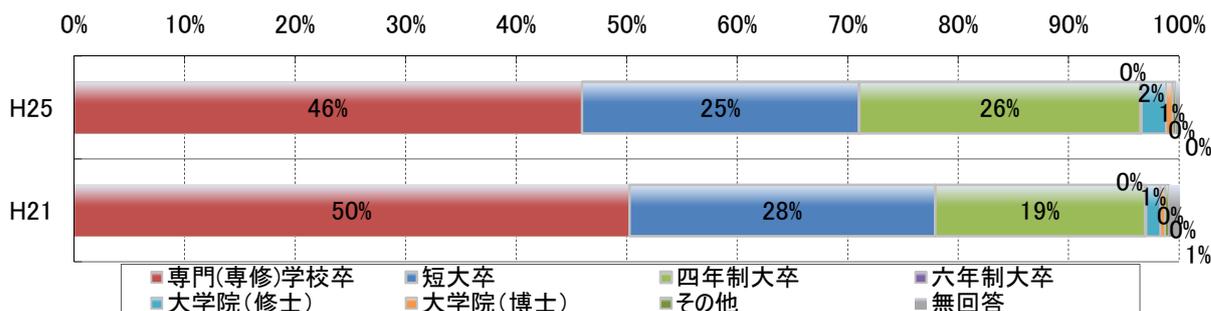


	H25		H21		H19	
技師長・(副技師長)相当職	3,107	11%	2,628	11%	2,581	10%
主任相当職	6,734	23%	6,180	25%	6,231	24%
一般技師	18,018	62%	14,241	58%	14,717	56%
教授	139	1%	-	-	-	-
准教授	34	0%	-	-	-	-
その他(非常勤等)	905	3%	1,091	4%	1,165	4%
無回答	269	1%	519	2%	1,602	6%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%	26,296件	100%

【コメント】

回答者の役職は、「一般技師」が62%（H21:58%、H19:56%）と最も多く過半数を占めている。次いで、「主任相当職」が23%（H21:25%、H19:24%）となっている。

最終学歴



	H25		H21	
専門(専修)学校卒	13,421	46%	12,409	50%
短大卒	7,323	25%	6,820	28%
四年制大卒	7,435	26%	4,685	19%
六年制大卒	39	0%	22	0%
大学院(修士)	639	2%	326	1%
大学院(博士)	168	1%	96	0%
その他	85	0%	89	0%
無回答	96	0%	212	1%
全体	29,206件	100%	24,659件	100%

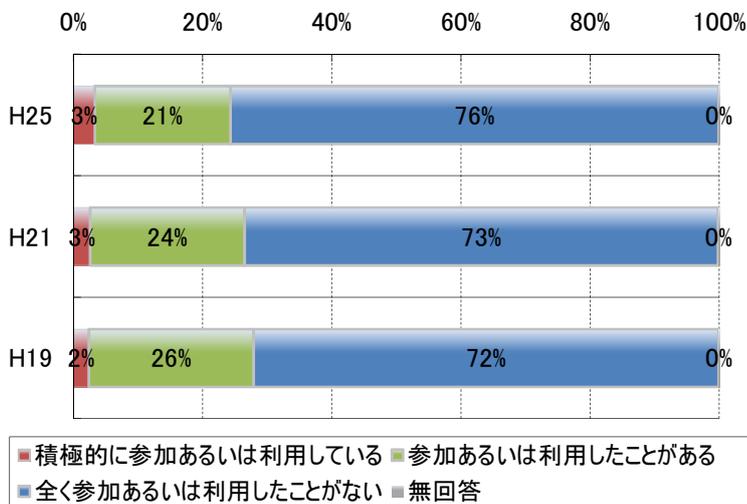
【コメント】

回答者の最終学歴は、「専門(専修)学校卒」が46%(H21:50%)と最も多く、ほぼ半数となっている。次いで、「四年制大卒」が26%(H21:19%)、「短大卒」が25%(H21:28%)となっている。経年的には、「四年制大卒」の比率が拡大している。

I.一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会の活動について

1.参加の状況について

問1.定時総会(年1回)



「積極的に参加あるいは利用している&参加あるいは利用したことがある」の内訳

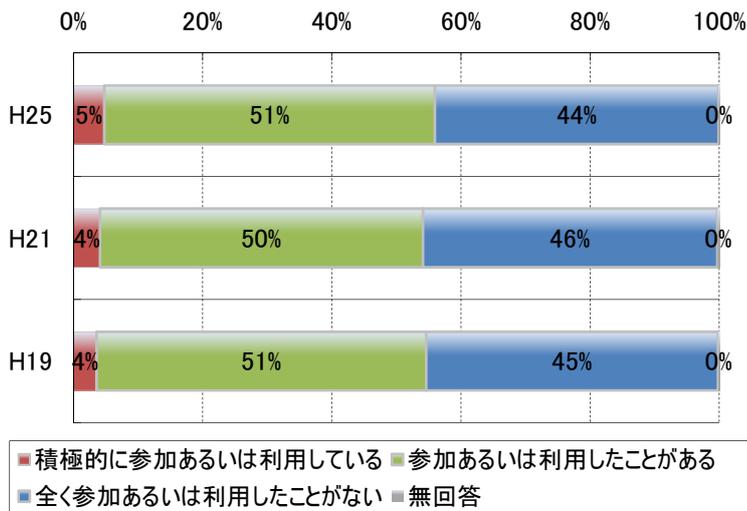
		H25	H21	H19
性別	男性	32%	36%	37%
	女性	21%	22%	23%
役職	技師長	45%	49%	52%
	主任	32%	35%	38%
	一般技師	18%	19%	20%
	教授	43%	-	-
	准教授	62%	-	-
	非常勤	23%	23%	19%
年齢	20代	13%	12%	12%
	30代	16%	16%	19%
	40代		31%	32%
	50代	41%	45%	48%
	60代以上	52%	54%	57%

【コメント】

定時総会(年1回)の参加状況は、「全く参加あるいは利用したことがない」が76%(H21: 73%、H19: 72%)と最も多く7割を超えている。

「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では「技師長」、「教授」、「准教授」等の上位者、年齢では「50代」、「60代」等の年長者で多くなっている。

問2.日本医学検査学会



「積極的に参加あるいは利用している&参加あるいは利用したことがある」の内訳

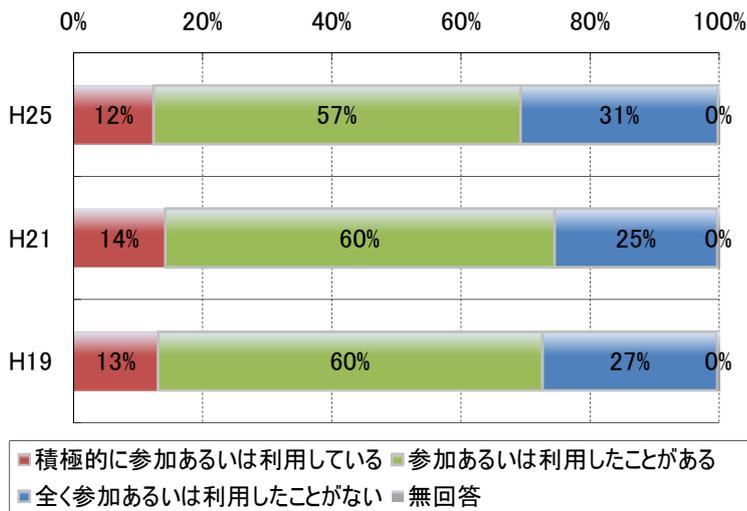
		H25	H21	H19
性別	男性	66%	66%	67%
	女性	51%	48%	48%
役職	技師長	80%	81%	82%
	主任	72%	70%	72%
	一般技師	46%	44%	44%
	教授	69%	-	-
	准教授	91%	-	-
	非常勤	45%	38%	33%
年齢	20代	34%	26%	23%
	30代	49%	46%	48%
	40代	63%	65%	67%
	50代	75%	75%	78%
	60代以上	78%	82%	78%

【コメント】

日本医学検査学会の参加状況は、「参加あるいは利用したことがある」が51%（H21:50%、H19:51%）と最も多く、ほぼ半数となっている。次いで、「全く参加あるいは利用したことがない」が44%（H21:46%、H19:45%）で半数弱をしめている。

「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、やはり性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がうかがえる。

問3.〇〇支部医学検査学会



「積極的に参加あるいは利用している & 参加あるいは利用したことがある」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	78%	83%	82%
	女性	65%	71%	68%
役職	技師長	86%	91%	91%
	主任	82%	86%	86%
	一般技師	62%	68%	65%
	教授	73%	-	-
	准教授	88%	-	-
	非常勤	56%	63%	56%
年齢	20代	53%	53%	47%
	30代	65%	71%	71%
	40代	74%	83%	83%
	50代	82%	88%	88%
	60代以上	82%	89%	87%

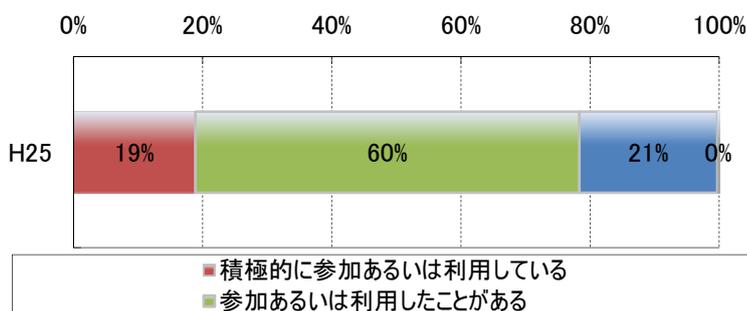
【コメント】

支部医学検査学会の参加状況は、「参加あるいは利用したことがある」が57%（H21:60%、H19:60%）と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く参加あるいは利用したことがない」が31%（H21:25%、H19:27%）となっている。

「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向があるが、何れの属性でも過半数に参加経験がある。

定時総会や日本医学検査学会に比べ、より身近な支部医学検査学会への参加が顕著である。

問4.〇〇支部研修会



「積極的に参加あるいは利用している & 参加あるいは利用したことがある」の内訳

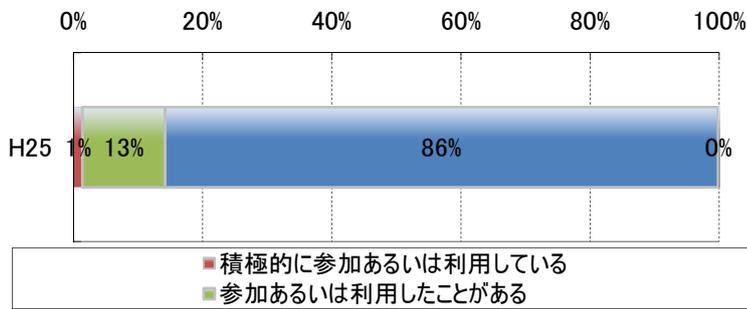
		H25
性別	男性	82%
	女性	77%
役職	技師長	89%
	主任	88%
	一般技師	74%
	教授	75%
	准教授	88%
	非常勤	67%
年齢	20代	64%
	30代	77%
	40代	83%
	50代	88%
	60代以上	86%

【コメント】

支部研修会の参加状況は、「参加あるいは利用したことがある」が60%と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く参加あるいは利用したことがない」が21%、「積極的に参加あるいは利用している」が19%となっている。

「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、何れの属性でも6割以上に参加経験がある。

問5.臨地実習指導者講習会



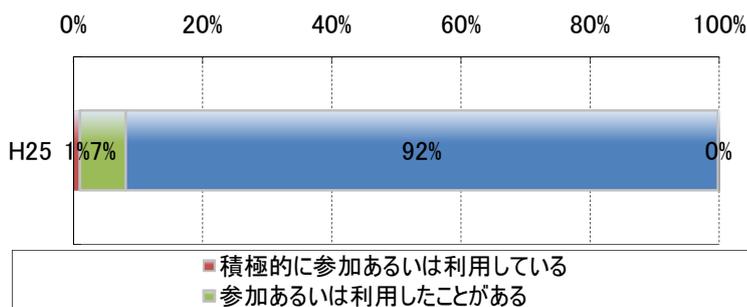
「積極的に参加あるいは利用している&参加あるいは利用したことがある」の内訳

		H25
性別	男性	19%
	女性	12%
役職	技師長	26%
	主任	19%
	一般技師	11%
	教授	17%
	准教授	26%
	非常勤	13%
年齢	20代	6%
	30代	10%
	40代	16%
	50代	23%
	60代以上	31%

【コメント】

臨地実習指導者講習会の参加状況は、「全く参加あるいは利用したことがない」が86%と大半を占めている。次いで、「参加あるいは利用したことがある」が13%となっている。「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で比較的多い傾向があるが、全体的にその比率は低くなっている。

問6.医療安全管理者研修会



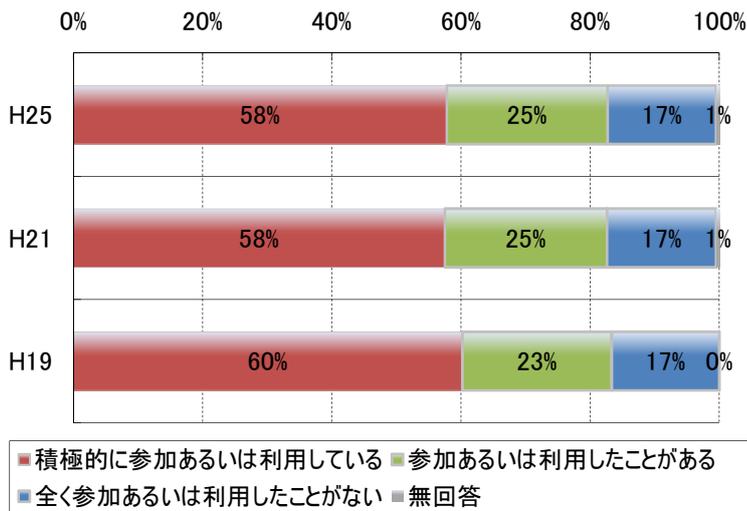
「積極的に参加あるいは利用している&参加あるいは利用したことがある」の内訳

		H25
性別	男性	12%
	女性	6%
役職	技師長	23%
	主任	11%
	一般技師	5%
	教授	12%
	准教授	18%
	非常勤	9%
年齢	20代	3%
	30代	4%
	40代	8%
	50代	16%
	60代以上	23%

【コメント】

医療安全管理者研修会の参加状況は、「全く参加あるいは利用したことがない」が92%と大半を占めている。次いで、「参加あるいは利用したことがある」が7%となっている。「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で比較的多い傾向があるが、全体的にその比率は低くなっている。

問7.日臨技臨床検査精度管理調査(コントロールサーベイ)



「積極的に参加あるいは利用している&参加あるいは利用したことがある」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	85%	85%	86%
	女性	81%	82%	82%
役職	技師長	88%	88%	87%
	主任	88%	88%	88%
	一般技師	81%	81%	81%
	教授	64%	—	—
	准教授	56%	—	—
	非常勤	72%	71%	73%
年齢	20代	74%	75%	75%
	30代	84%	83%	84%
	40代	86%	86%	86%
	50代	86%	87%	87%
	60代以上	82%	84%	83%

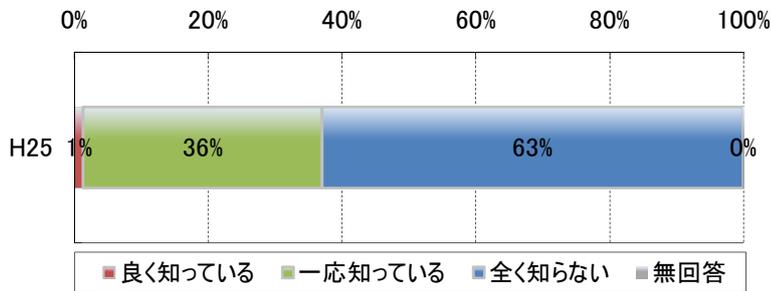
【コメント】

日臨技臨床検査精度管理調査(コントロールサーベイ)の参加状況は、「積極的に参加あるいは利用している」が58%(H21:58%、H19:60%)と最も多く、過半数を占めている。次いで、「参加あるいは利用したことがある」が25%(H21:25%、H19:23%)となっている。

「積極的に参加あるいは利用している」あるいは「参加あるいは利用したことがある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向があるが、何れの属性でも大半に参加経験がある。

2.事業等の内容について

問8.全国幹事会(年1回開催)



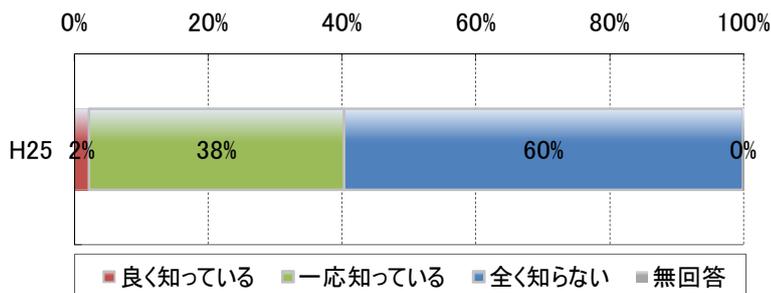
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25
性別	男性	40%
	女性	36%
役職	技師長	58%
	主任	47%
	一般技師	29%
	教授	54%
	准教授	68%
	非常勤	37%
年齢	20代	18%
	30代	30%
	40代	43%
	50代	54%
	60代以上	

【コメント】

全国幹事会(年1回開催)の認知状況は、「全く知らない」が63%と最も多く、過半数を占めている。次いで、「一応知っている」が36%となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問9.支部幹事会



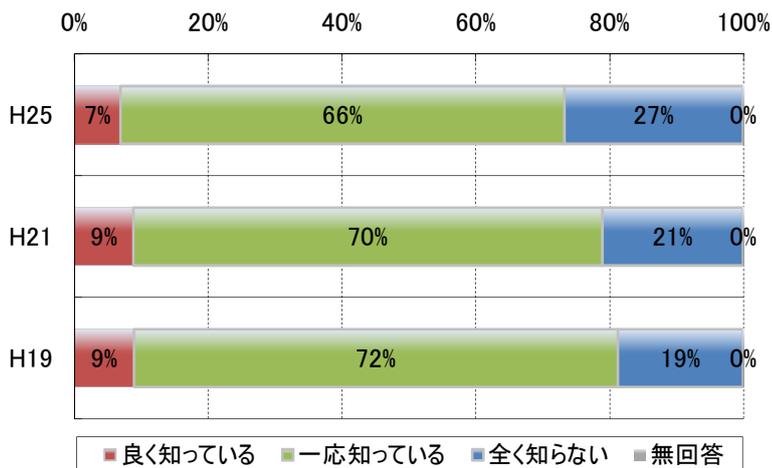
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25
性別	男性	44%
	女性	39%
役職	技師長	63%
	主任	52%
	一般技師	32%
	教授	57%
	准教授	74%
	非常勤	40%
年齢	20代	19%
	30代	32%
	40代	47%
	50代	59%
	60代以上	68%

【コメント】

支部幹事会の認知状況は、「全く知らない」が60%と最も多く、過半数を占めている。次いで、「一応知っている」が38%となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問10.各種表彰(永年職務精励者、学術関連表彰等)



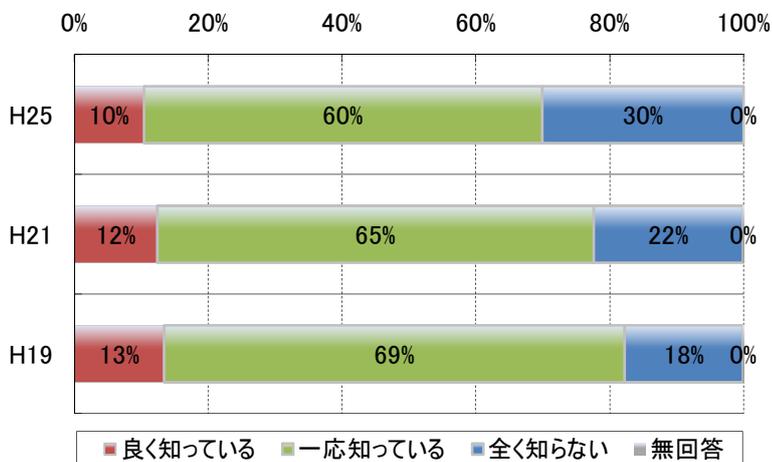
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25
性別	男性	77%
	女性	72%
役職	技師長	93%
	主任	88%
	一般技師	65%
	教授	86%
	准教授	85%
	非常勤	70%
年齢	20代	45%
	30代	69%
	40代	84%
	50代	91%
	60代以上	91%

【コメント】

各種表彰(永年職務精励者、学術関連表彰等)の認知状況は、「一応知っている」が66%(H21:70%、H19:72%)と最も多く、全体の3分の2以上を占めている。次いで、「全く知らない」が27%(H21:21%、H19:19%)となっている。
「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度が高い。

問11.無料職業紹介事業



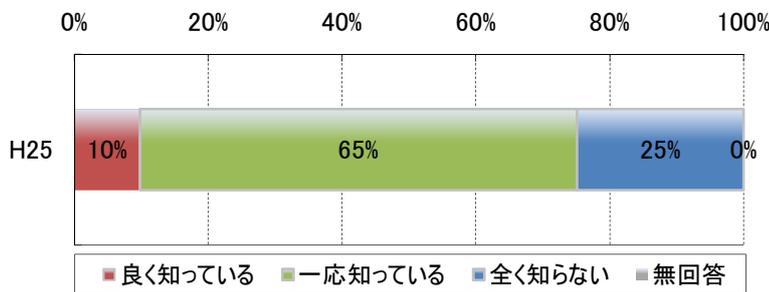
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	73%	81%	84%
	女性	68%	76%	82%
役職	技師長	92%	94%	95%
	主任	87%	89%	90%
	一般技師	60%	70%	77%
	教授	86%	-	-
	准教授	76%	-	-
	非常勤	69%	73%	75%
年齢	20代	33%	47%	61%
	30代	69%	81%	85%
	40代	85%	88%	90%
	50代	89%	90%	91%
	60代以上	85%	92%	97%

【コメント】

無料職業紹介事業の認知状況は、「一応知っている」が60%(H21:65%、H19:69%)と最も多く、全体の3分の2以上を占めている。次いで、「全く知らない」が30%(H21:22%、H19:18%)となっている。経年的には「全く知らない」者の比率が拡大している。
「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度が高い。

問12. 会員のための補償制度



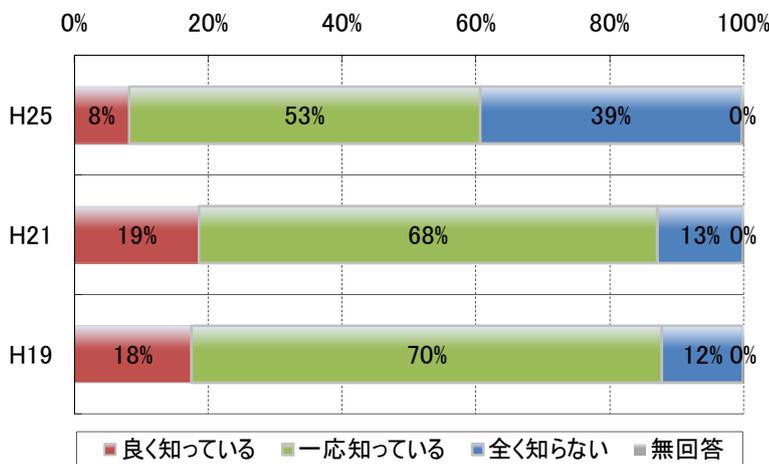
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25
性別	男性	78%
	女性	74%
役職	技師長	92%
	主任	86%
	一般技師	68%
	教授	83%
	准教授	79%
	非常勤	72%
年齢	20代	54%
	30代	73%
	40代	84%
	50代	88%
	60代以上	85%

【コメント】

会員のための補償制度の認知状況は、「一応知っている」が65%と最も多く、全体のほぼ3分の2となっている。次いで、「全く知らない」が25%となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、何れの属性でも認知度が高い。

問13. 共済に関する事業(リンクス)



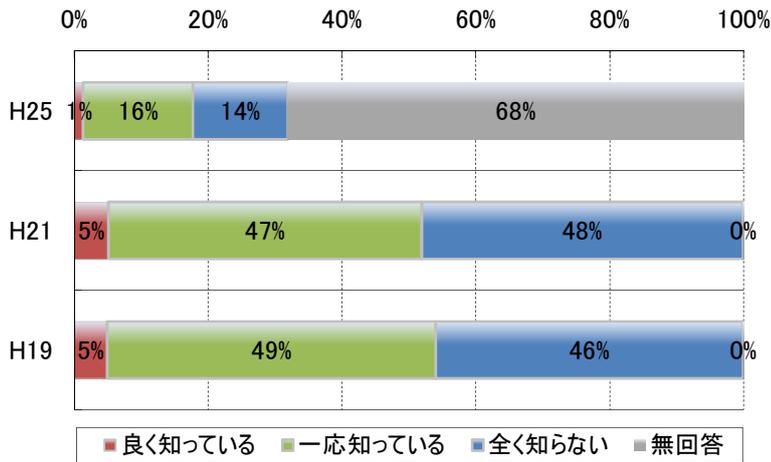
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	67%	88%	89%
	女性	58%	87%	87%
役職	技師長	86%	96%	97%
	主任	78%	94%	94%
	一般技師	50%	83%	84%
	教授	74%	-	-
	准教授	71%	-	-
	非常勤	48%	82%	80%
年齢	20代	27%	68%	71%
	30代	58%	89%	90%
	40代	76%	94%	94%
	50代	79%	95%	95%
	60代以上	75%	94%	97%

【コメント】

共済に関する事業(リンクス)の認知状況は、「一応知っている」が53%(H21:68%、H19:70%)と最も多く、次いで、「全く知らない」が39%(H21:13%、H19:12%)となっている。経年的には、H25年度になって「全く知らない」者の比率が大幅に拡大している。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度が高い。

問13.各都道府県技師会への助成金



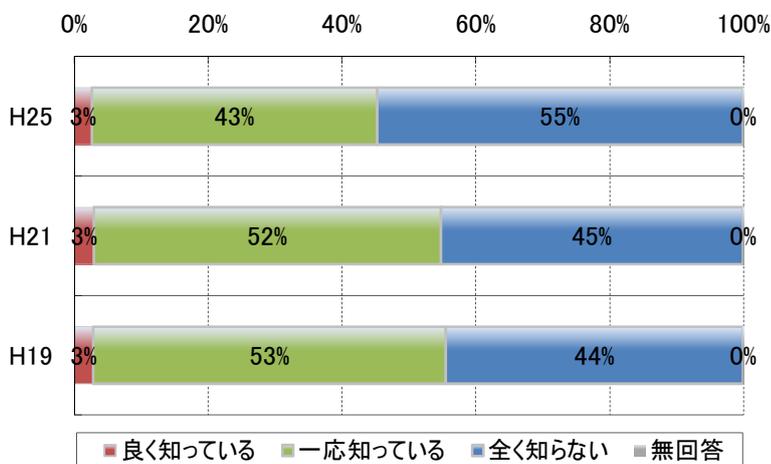
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	20%	60%	61%
	女性	17%	48%	50%
役職	技師長	27%	75%	78%
	主任	24%	64%	65%
	一般技師	14%	43%	46%
	教授	21%	-	-
	准教授	29%	-	-
	非常勤	15%	43%	41%
年齢	20代	8%	29%	34%
	30代	15%	47%	51%
	40代	22%	59%	61%
	50代	25%	68%	69%
	60代以上	24%	75%	78%

【コメント】

各都道府県技師会への助成金の認知状況は、「一応知っている」が16% (H21:47%、H19:49%)と最も多く、次いで、「全く知らない」が14% (H21:48%、H19:46%)となっている。

問14.国際交流事業 (IFBLS,AAMLS)



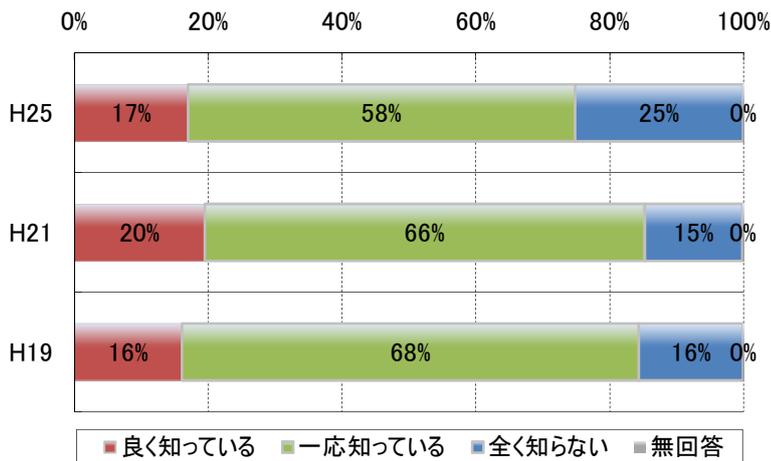
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	52%	60%	60%
	女性	42%	52%	53%
役職	技師長	71%	77%	77%
	主任	60%	65%	66%
	一般技師	36%	47%	48%
	教授	63%	-	-
	准教授	77%	-	-
	非常勤	38%	47%	42%
年齢	20代	19%	27%	31%
	30代	39%	53%	54%
	40代	56%	64%	65%
	50代	64%	71%	70%
	60代以上	68%	76%	80%

【コメント】

国際交流事業 (IFBLS,AAMLS)の認知状況は、「全く知らない」が55% (H21:45%、H19:44%)と最も多く、次いで、「一応知っている」が43% (H21:52%、H19:53%)となっている。経年的には、H25年度になって「全く知らない」比率が拡大し、過半数となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向がある。

問15 臨床検査精度管理事業(データの共有化等を含む)



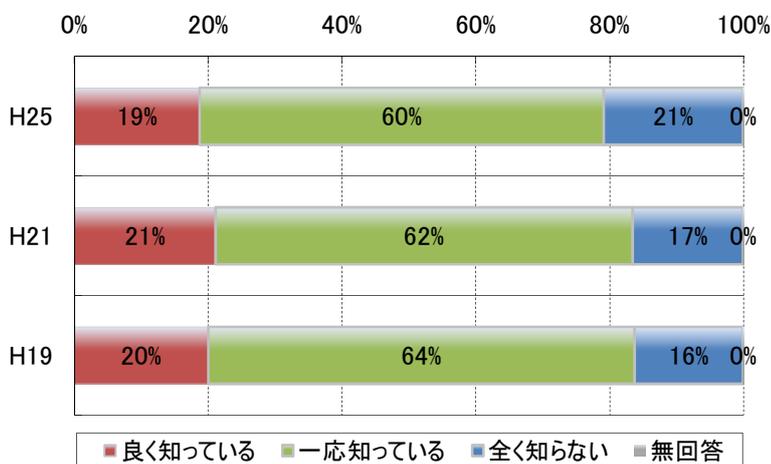
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	78%	89%	87%
	女性	73%	84%	83%
役職	技師長	92%	96%	96%
	主任	86%	92%	91%
	一般技師	68%	81%	80%
	教授	81%	-	-
	准教授	85%	-	-
	非常勤	67%	81%	77%
年齢	20代	55%	70%	70%
	30代	72%	85%	85%
	40代	83%	91%	90%
	50代	87%	93%	92%
	60代以上	88%	96%	95%

【コメント】

臨床検査精度管理事業(データの共有化等を含む)の認知状況は、「一応知っている」が58%(H21:66%、H19:68%)と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が25%(H21:15%、H19:16%)、「良く知っている」が17%(H21:20%、H19:16%)となっている。経年的には、H25年度になって「全く知らない」者の比率が拡大している。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度が高い。

問16.出版事業(図書の発行)



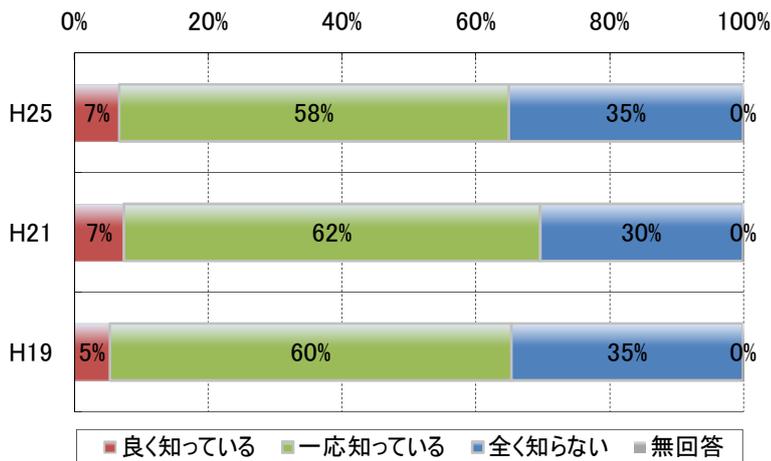
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	81%	86%	86%
	女性	78%	82%	83%
役職	技師長	94%	94%	94%
	主任	89%	90%	90%
	一般技師	73%	79%	80%
	教授	90%	-	-
	准教授	85%	-	-
	非常勤	74%	81%	78%
年齢	20代	59%	67%	70%
	30代	78%	84%	84%
	40代	88%	89%	89%
	50代	90%	91%	90%
	60代以上	89%	89%	94%

【コメント】

出版事業(図書の発行)の認知状況は、「一応知っている」が60%(H21:62%、H19:64%)と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が21%(H21:17%、H19:16%)、「良く知っている」が19%(H21:21%、H19:20%)となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度がかなり高い。

問17.診療報酬点数改正に関する取組み



「良く知っている&一応知っている」の内訳

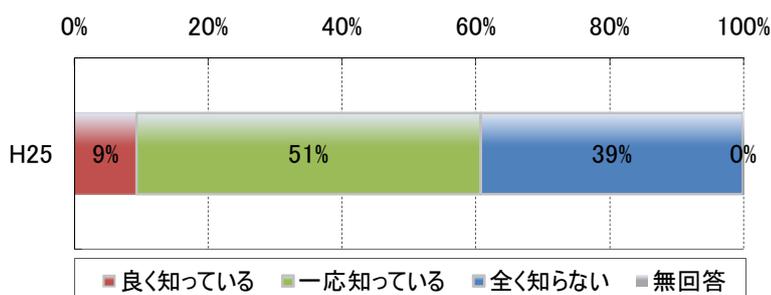
		H25	H21	H19
性別	男性	72%	76%	73%
	女性	61%	66%	61%
役職	技師長	89%	89%	86%
	主任	80%	81%	76%
	一般技師	56%	62%	59%
	教授	79%	-	-
	准教授	71%	-	-
	非常勤	57%	60%	50%
年齢	20代	39%	45%	44%
	30代	62%	70%	65%
	40代	75%	78%	73%
	50代	81%	82%	77%
	60代以上	81%	85%	88%

【コメント】

診療報酬点数改正に関する取組みの認知状況は、「一応知っている」が58%（H21:62%、H19:60%）と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が35%（H21:30%、H19:35%）となっている。

「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、年齢が「20代」の場合を除いて何れの属性でも認知度が高い。

問18.施設認証制度



「良く知っている&一応知っている」の内訳

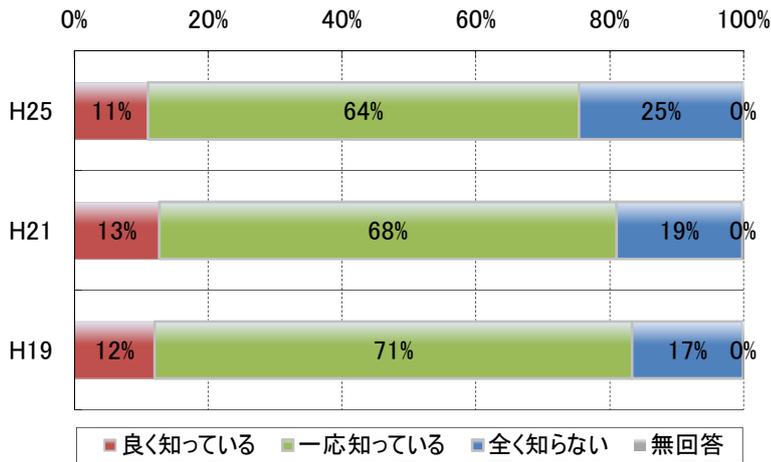
		H25
性別	男性	70%
	女性	56%
役職	技師長	86%
	主任	73%
	一般技師	52%
	教授	65%
	准教授	62%
	非常勤	52%
年齢	20代	42%
	30代	56%
	40代	68%
	50代	74%
	60代以上	73%

【コメント】

施設認証制度は、「一応知っている」が51%と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が39%となっている。

「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向がある。

問19.認定検査技師機構の設立



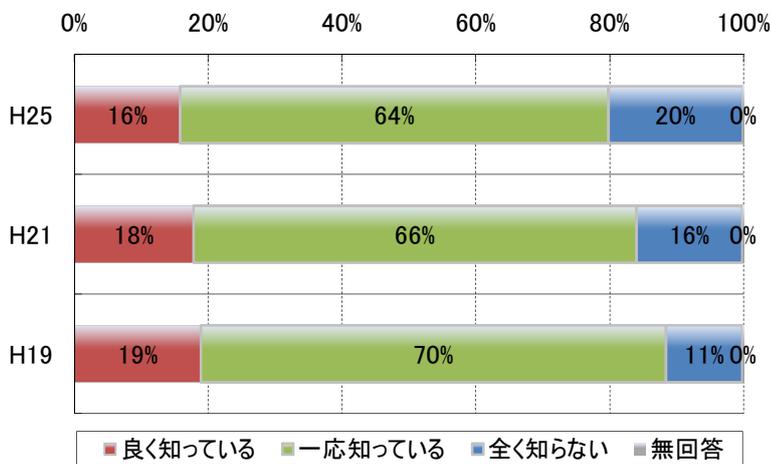
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	79%	83%	85%
	女性	74%	80%	83%
役職	技師長	88%	89%	90%
	主任	83%	86%	88%
	一般技師	71%	78%	81%
	教授	76%	-	-
	准教授	82%	-	-
	非常勤	70%	77%	77%
年齢	20代	61%	68%	74%
	30代	75%	83%	85%
	40代	82%	85%	86%
	50代	83%	87%	87%
	60代以上	82%	87%	90%

【コメント】

認定検査技師機構の設立の認知状況は、「一応知っている」が64%（H21:68%、H19:71%）と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が25%（H21:19%、H19:17%）となっている。経年的には、「全く知らない」者の比率が拡大傾向にある。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、何れの属性でも認知度が高い。

問20 生涯教育研修事業（一般教育課程）



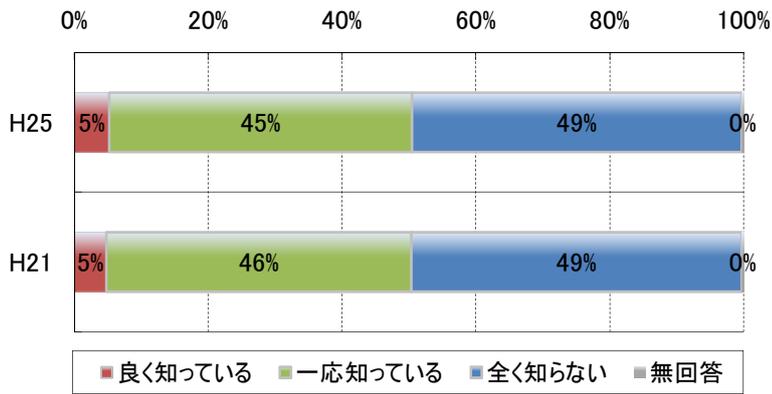
「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	84%	88%	92%
	女性	78%	82%	87%
役職	技師長	96%	96%	97%
	主任	91%	93%	96%
	一般技師	73%	79%	85%
	教授	88%	-	-
	准教授	88%	-	-
	非常勤	74%	76%	80%
年齢	20代	56%	61%	70%
	30代	79%	86%	91%
	40代	90%	93%	95%
	50代	92%	94%	96%
	60代以上	92%	97%	96%

【コメント】

生涯教育研修事業（一般教育課程）の認知状況は、「一応知っている」が64%（H21:66%、H19:70%）と最も多く、過半数を占めている。次いで、「全く知らない」が20%（H21:16%、H19:11%）となっている。経年的には、「全く知らない」者の比率が拡大傾向にある。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向があるが、何れの属性でも認知度が高い。

問21.日臨技認定センター



「良く知っている&一応知っている」の内訳

		H25	H21
性別	男性	57%	55%
	女性	47%	48%
役職	技師長	65%	64%
	主任	58%	55%
	一般技師	45%	46%
	教授	51%	-
	准教授	62%	-
	非常勤	48%	49%
年齢	20代	38%	39%
	30代	49%	50%
	40代	56%	55%
	50代	58%	56%
	60代以上	57%	60%

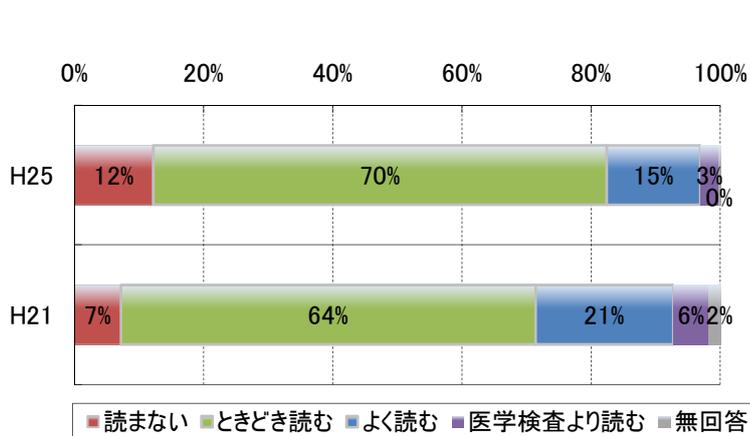
【コメント】

日臨技認定センターの認知状況は、「全く知らない」が49%（H21：49%）と最も多く、次いで、「一応知っている」が45%（H21：46%）となっている。

「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向がある。

Ⅱ.会報「JAMT」について

問22.会報「JAMT」を読まれますか



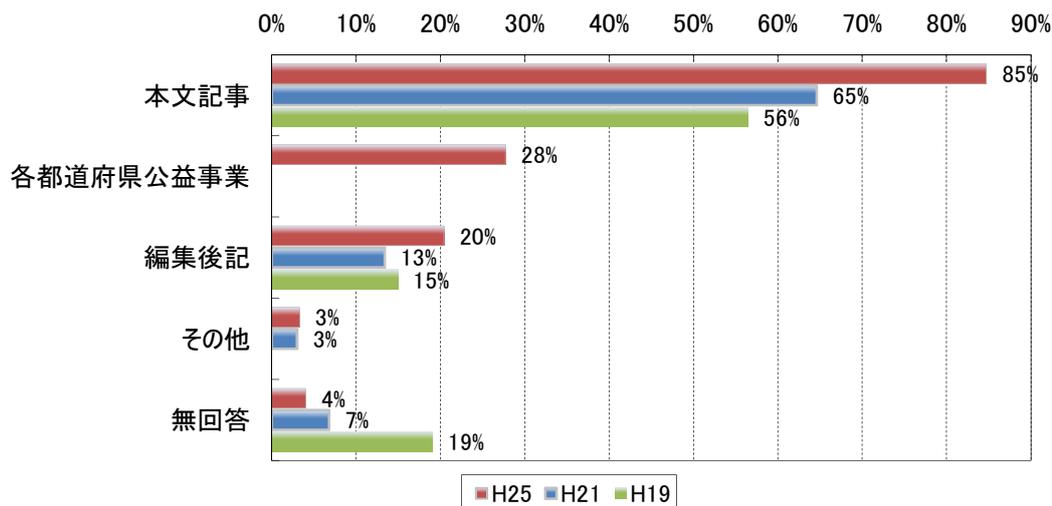
「よく読む&ときどき読む」の内訳

		H25	H21
性別	男性	85%	87%
	女性	85%	87%
役職	技師長	90%	88%
	主任	89%	89%
	一般技師	82%	86%
	教授	89%	-
	准教授	79%	-
	非常勤	84%	88%
年齢	20代	75%	84%
	30代	85%	87%
	40代	89%	88%
	50代	89%	89%
	60代以上	89%	88%

【コメント】

会報「JAMT」の購読状況は、「ときどき読む」が70%（H21:64%）と最も多く、大半を占めている。次いで、「よく読む」が15%（H21:21%）、「読まない」が12%（H21:7%）となっている。経年的には、「読まない」の比率が拡大し、「よく読む」は縮小している。「よく読む」あるいは「ときどき読む」との回答者の属性をみると、性別による違いはなく、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向がある。

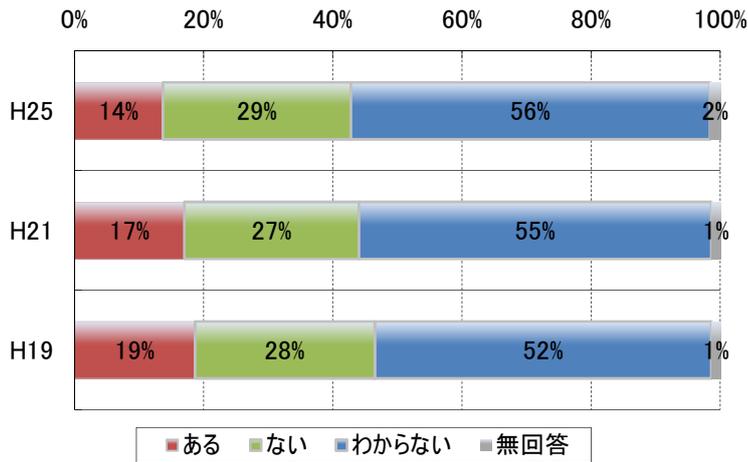
問23.「問22」で「読まない」以外の回答をされた方にご質問します
会報「JAMT」のどのコーナーに興味があつて読んでいますか



【コメント】

会報「JAMT」を購読する方のうち、「本文記事」を読んでいるのは85%（H21:65%、H19:56%）と最も多く、大半を占めている。

問24.会報「JAMT」で新たに提起してもらいたい記事はありますか



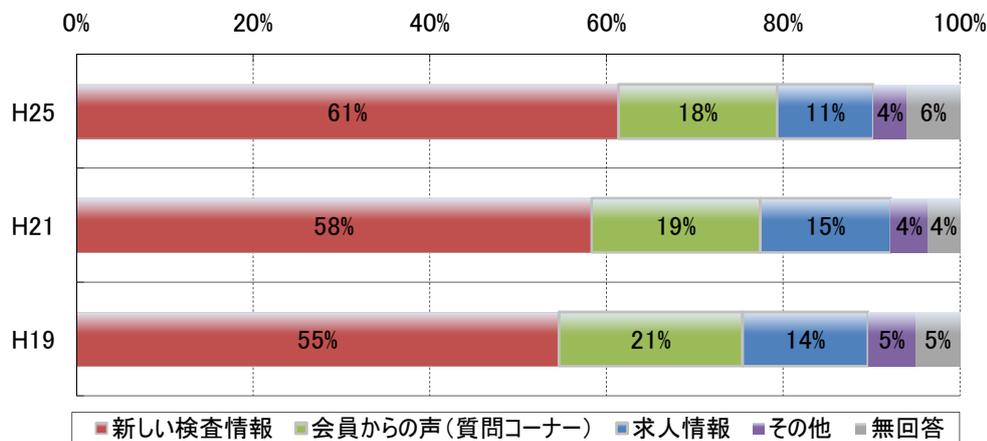
「ある」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	17%	19%	22%
	女性	12%	16%	17%
役職	技師長	24%	24%	28%
	主任	15%	18%	20%
	一般技師	12%	16%	18%
	教授	17%	-	-
	准教授	18%	-	-
	非常勤	12%	17%	17%
年齢	20代	9%	16%	17%
	30代	14%	18%	20%
	40代	15%	17%	19%
	50代	16%	19%	21%
	60代以上	18%	20%	25%

【コメント】

会報「JAMT」で新たに提起してもらいたい記事の有無は、「わからない」が56%（H21:55%、H19:52%）と最も多く、過半数を占めている。次いで、「ない」が29%（H21:27%、H19:28%）となっている。
「ある」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向があるが、何れの属性でもその比率は低い。

問25.「問24で「ある」と回答をされた方にご質問します
どのような内容の記事が具体的にお答えください

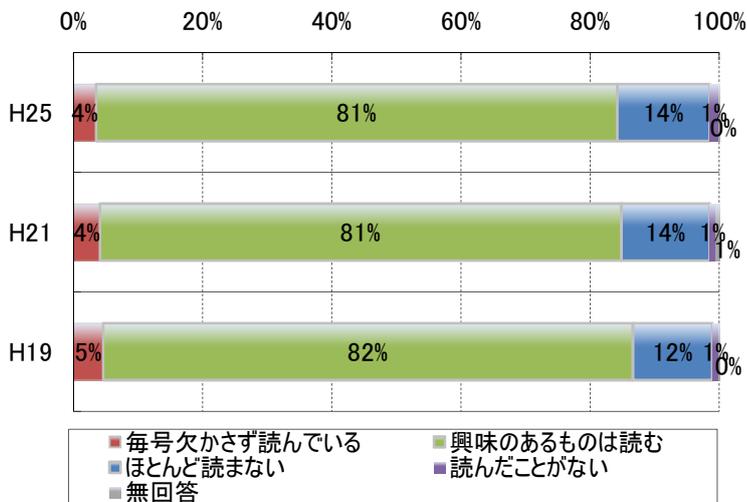


【コメント】

会報「JAMT」で新たに提起してもらいたい記事が「ある」場合の具体的な内容は、「新しい検査情報」が61%（H21:58%、H19:55%）と最も多く、過半数を占めている。

Ⅲ.会誌「医学検査」について

問26.「医学検査」の掲載内容をどのくらい読んでいますか



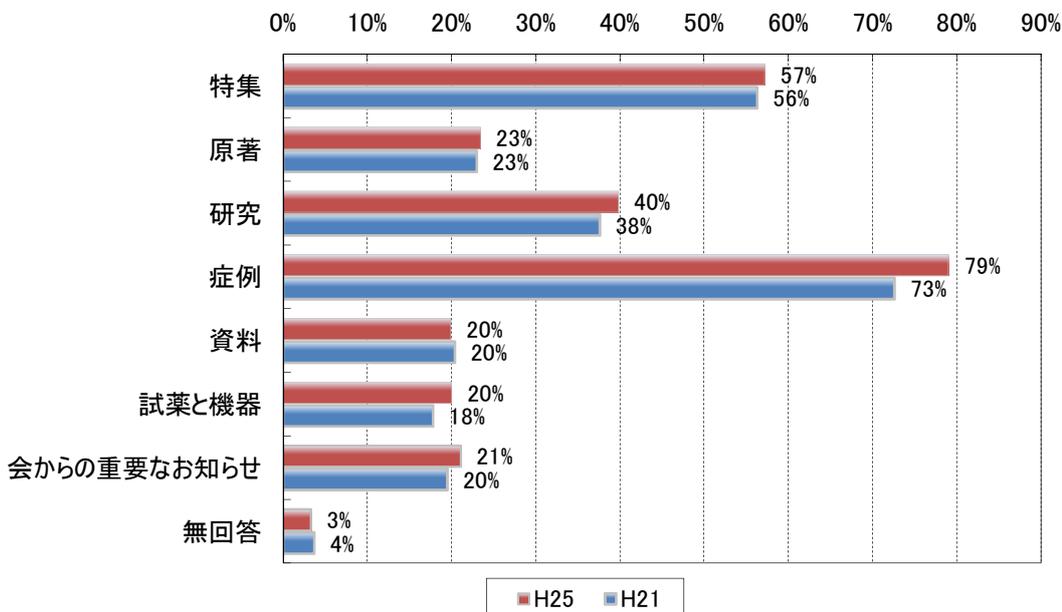
「欠かさず&興味のあるものは読む」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	85%	85%	86%
	女性	84%	85%	87%
役職	技師長	89%	90%	91%
	主任	88%	88%	88%
	一般技師	82%	84%	86%
	教授	83%	-	-
	准教授	88%	-	-
	非常勤	82%	84%	85%
年齢	20代	77%	80%	84%
	30代	85%	86%	87%
	40代	87%	87%	88%
	50代	87%	87%	88%
	60代以上		89%	91%

【コメント】

「医学検査」の掲載内容の購読状況は、「興味のあるものは読む」が81%（H21：81%、H19：82%）と最も多く、大部分を占めている。
「毎号欠かさず読んでいる」あるいは「興味のあるものは読む」との回答者の属性をみると、何れの属性でも購読されている。

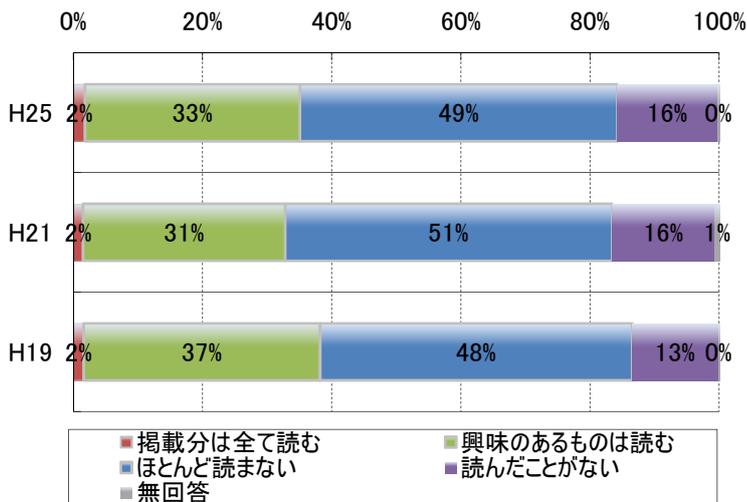
問27.興味のある内容についてお尋ねします



【コメント】

興味のある内容は、「症例」が79%（H21：73%）と最も多く、次いで、「特集」が57%（H21：56%）、「研究」が40%（H21：38%）となっている。

問28.日臨技定期総会等の議案書・議事録



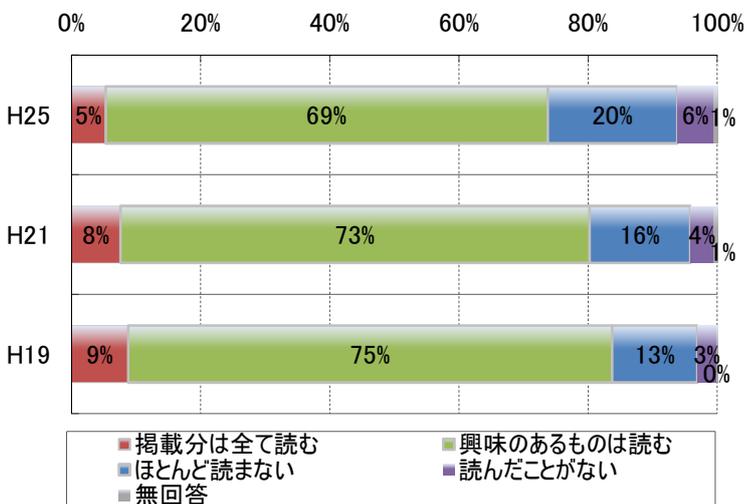
「掲載分は全て読む & 興味のあるものは読む」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	41%	40%	44%
	女性	32%	30%	35%
役職	技師長	56%	54%	59%
	主任	42%	38%	42%
	一般技師	29%	27%	33%
	教授	44%	-	-
	准教授	53%	-	-
	非常勤	34%	31%	33%
年齢	20代	20%	20%	28%
	30代	31%	29%	36%
	40代	41%	37%	41%
	50代	46%	44%	47%
	60代以上	52%	54%	58%

【コメント】

「日臨技定期総会等の議案書・議事録」の購読状況は、「ほとんど読まない」が49% (H21:51%、H19:48%)と最も多く、次いで、「興味のあるものは読む」が33% (H21:31%、H19:37%)となっている。「掲載分は全て読む」あるいは「興味のあるものは読む」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問29.日臨技研修会・支部学会のお知らせ



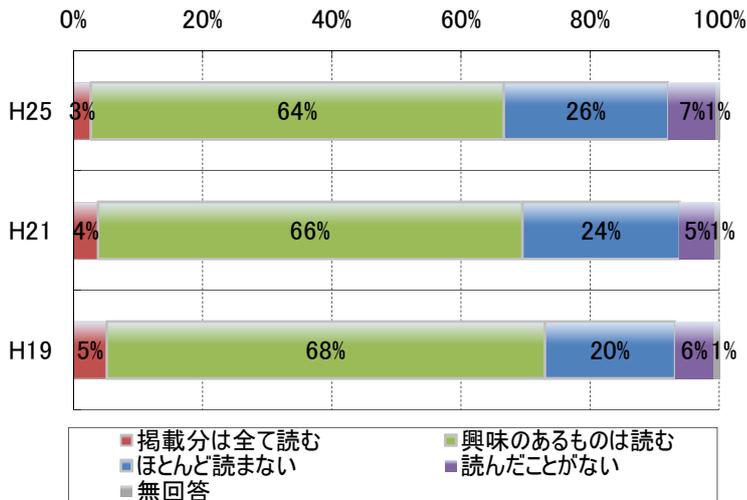
「掲載分は全て読む & 興味のあるものは読む」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	75%	80%	83%
	女性	73%	81%	84%
役職	技師長	86%	89%	91%
	主任	81%	85%	87%
	一般技師	69%	78%	82%
	教授	78%	-	-
	准教授	71%	-	-
	非常勤	69%	76%	78%
年齢	20代	62%	71%	76%
	30代	72%	81%	84%
	40代	79%	85%	87%
	50代	81%	85%	87%
	60代以上	81%	84%	86%

【コメント】

「日臨技研修会・支部学会のお知らせ」の購読状況は、「興味のあるものは読む」が69% (H21:73%、H19:75%)と最も多く、次いで、「ほとんど読まない」が20% (H21:16%、H19:13%)となっている。経年的には、「ほとんど読まない」者の比率が拡大傾向にある。「掲載分は全て読む」あるいは「興味のあるものは読む」との回答者の属性をみると、性別による違いは顕著ではなく、役職では上位者、年齢では年長者で、概ね多い傾向がある。

問30.認定技師関連のお知らせ



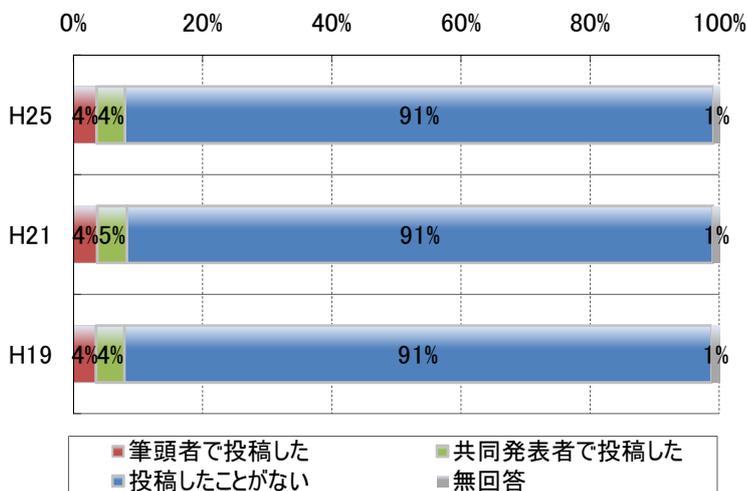
「掲載分は全て読む & 興味のあるものは読む」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	68%	71%	75%
	女性	66%	70%	74%
役職	技師長	75%	76%	80%
	主任	71%	71%	76%
	一般技師	64%	69%	73%
	教授	58%	-	-
	准教授	59%	-	-
	非常勤	60%	65%	68%
年齢	20代	59%	66%	73%
	30代	70%	74%	77%
	40代	70%	71%	75%
	50代	67%	68%	72%
	60代以上	65%	65%	75%

【コメント】

「認定技師関連のお知らせ」の購読状況は、「興味のあるものは読む」が64%（H21：66%、H19：68%）と最も多く、次いで、「ほとんど読まない」が26%（H21：24%、H19：20%）となっている。経年的には、「ほとんど読まない」者の比率が少しずつ拡大している。「掲載分は全て読む」あるいは「興味のあるものは読む」との回答者の属性をみると、属性による違いは顕著ではない。

問31.あなたは「医学検査」に投稿したことがありますか



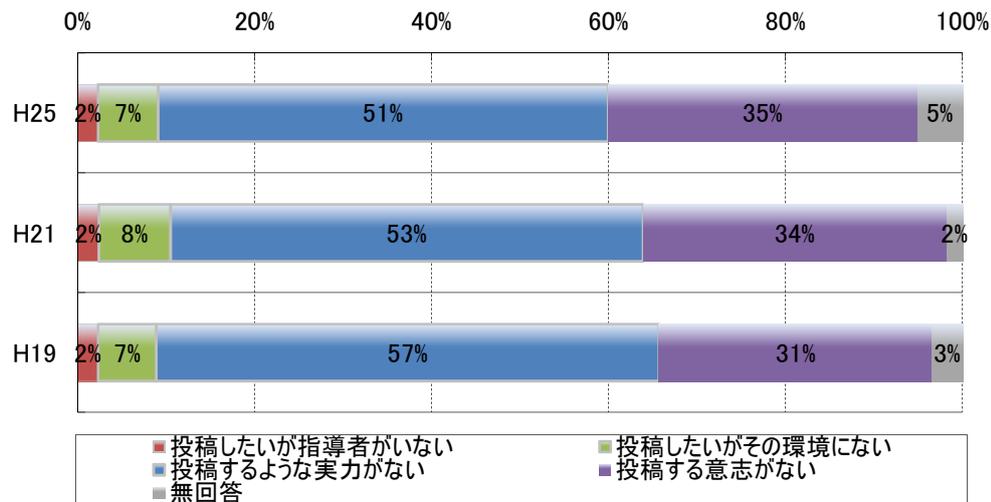
「筆頭者で投稿した & 共同発表者で投稿した」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	13%	14%	14%
	女性	6%	5%	5%
役職	技師長	18%	19%	17%
	主任	11%	12%	12%
	一般技師	5%	5%	5%
	教授	30%	-	-
	准教授	44%	-	-
	非常勤	8%	7%	4%
年齢	20代	3%	2%	2%
	30代	5%	5%	5%
	40代	9%	11%	11%
	50代	14%	14%	14%
	60代以上	19%	24%	19%

【コメント】

「医学検査」への投稿実績は、「投稿したことがない」が91%（H21：91%、H19：91%）と大部分を占めている。「筆頭者で投稿した」あるいは「共同発表者で投稿した」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問32.「問31」で「投稿したことがない」を選んだ方にご質問します

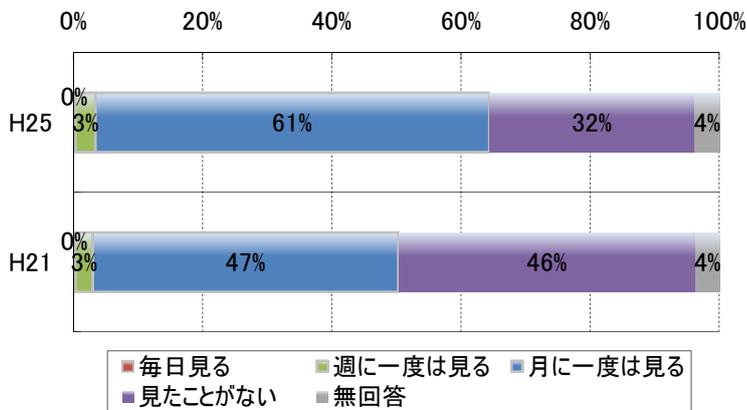


【コメント】

「医学検査」への投稿実績がない場合の理由としては、「投稿するような実力がない」が51% (H21:53%、H19:57%)と最も多く、過半数を占めている。次いで、「投稿する意志がない」が35% (H21:34%、H19:31%)となっている。

IV.日臨技ホームページについて

問33.日臨技ホームページを見たことがありますか



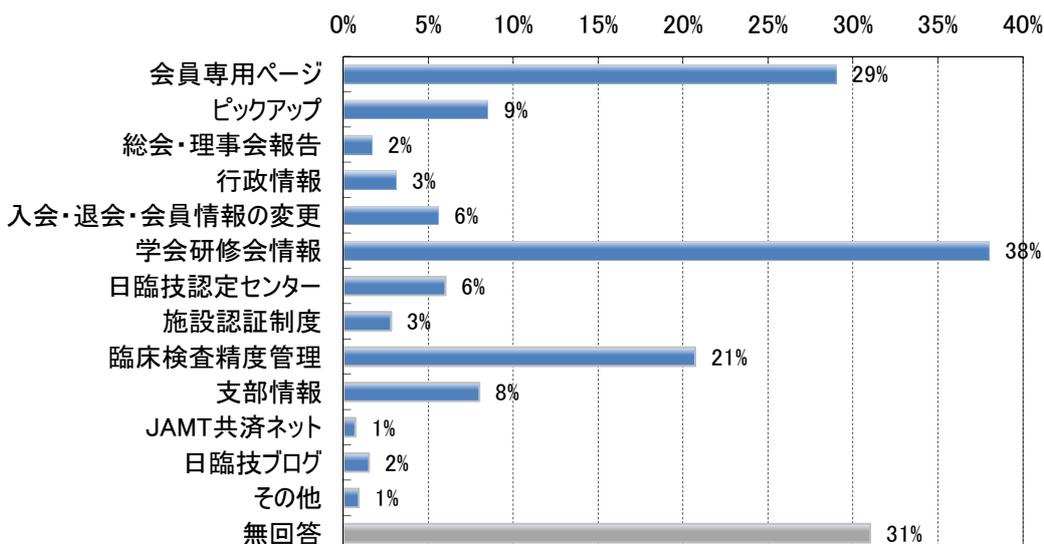
「毎日見る&週に一度は見る
&月に一度は見る」の内訳

	H25	H21
性別	男性	61%
	女性	45%
役職	技師長	77%
	主任	66%
	一般技師	62%
	教授	59%
	准教授	79%
	非常勤	53%
年齢	20代	66%
	30代	67%
	40代	64%
	50代	62%
	60代以上	41%

【コメント】

日臨技ホームページの閲覧経験は、「月に一度は見る」が61%（H21:47%）と最も多く、次いで、「見たことがない」が32%（H21:46%）となっている。
経年的には、「見たことがない」者の比率が縮小している。会報「JAMT」や「医学検査」のいくつかの記事では、購読率が縮小傾向にあることを勘案すると、情報収集の媒体が活字からネットへと移行しつつあることがうかがえる。
「毎日見る」、「週に一度は見る」、「月に一度は見る」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者で、概ね多い傾向がある。一方、年齢では「60代以上」を除いて差異はあまりないが、むしろ若年層の比率が若干高い。

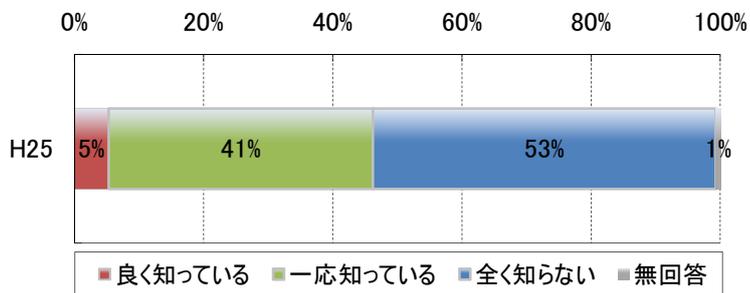
問34.よく見るページはどこですか



【コメント】

日臨技ホームページのうちよく見るページは、「学会研修会情報」が38%と最も多く、次いで、「会員専用ページ」の29%、「臨床検査精度管理」の21%などとなっている。

問35.支部ホームページが開設されたことをご存知ですか



「良く知っている&一応知っている」の内訳

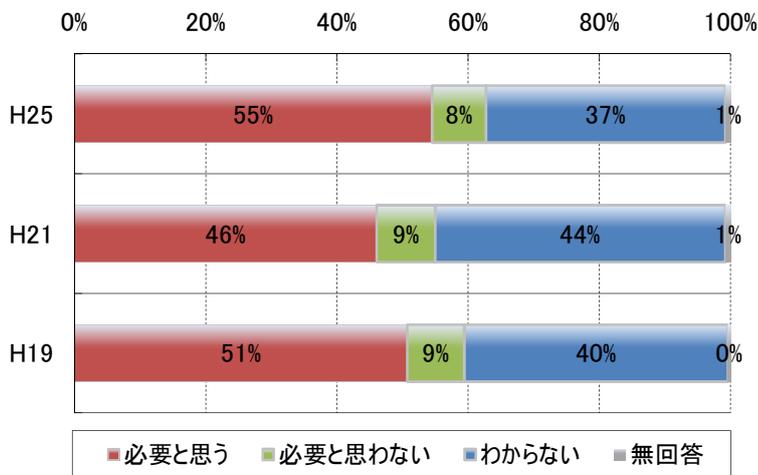
		H25
性別	男性	53%
	女性	43%
役職	技師長	62%
	主任	51%
	一般技師	42%
	教授	57%
	准教授	56%
	非常勤	43%
年齢	20代	37%
	30代	42%
	40代	49%
	50代	55%
	60代以上	58%

【コメント】

支部ホームページが開設されたことの認知状況は、「全く知らない」が53%と最も多く、過半数を占め、次いで、「一応知っている」が41%となっている。「良く知っている」あるいは「一応知っている」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者で、年齢では年長者で多い傾向がある。

V.生涯教育研修制度について

問37.生涯教育研修制度を必要と思いますか



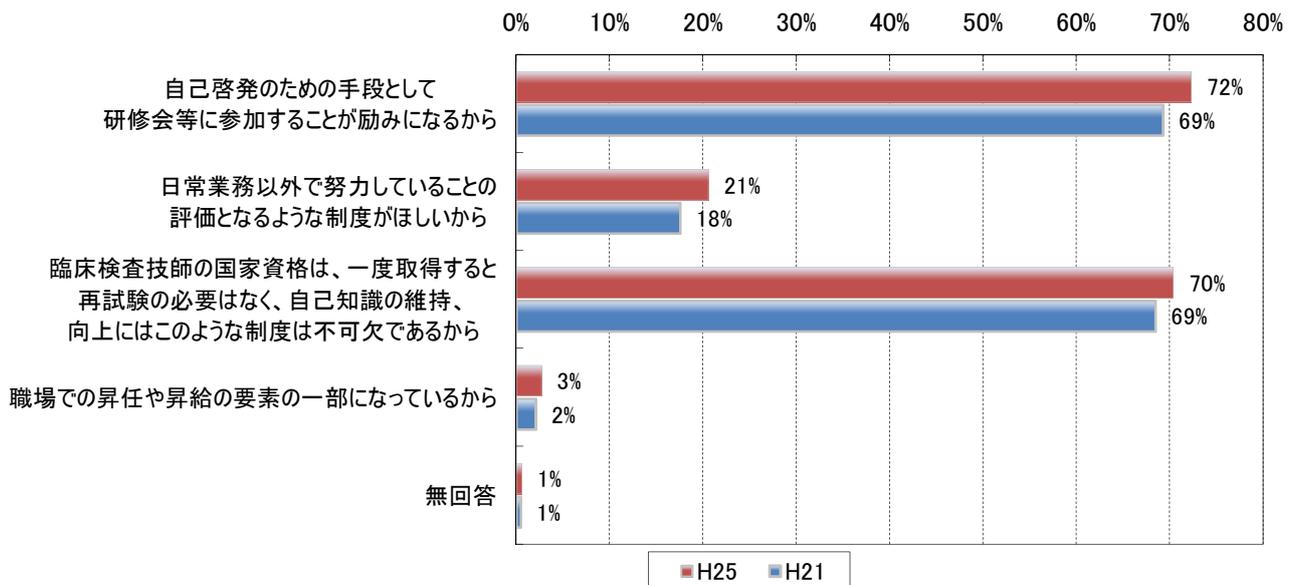
「必要と思う」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	58%	51%	55%
	女性	53%	44%	49%
役職	技師長	70%	64%	69%
	主任	59%	52%	55%
	一般技師	50%	41%	46%
	教授	71%	—	—
	准教授	74%	—	—
	非常勤	59%	46%	48%
年齢	20代	46%	34%	41%
	30代	49%	43%	48%
	40代	55%	48%	52%
	50代	65%	58%	63%
	60代以上	73%	72%	75%

【コメント】

生涯教育研修制度に関しては、「必要と思う」が55%（H21：46%、H19：51%）と最も多く、次いで、「わからない」が37%（H21：44%、H19：40%）となっている。
 「必要と思う」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問38.「問37」で「必要と思う」と回答された方は、なぜそのように思いますか

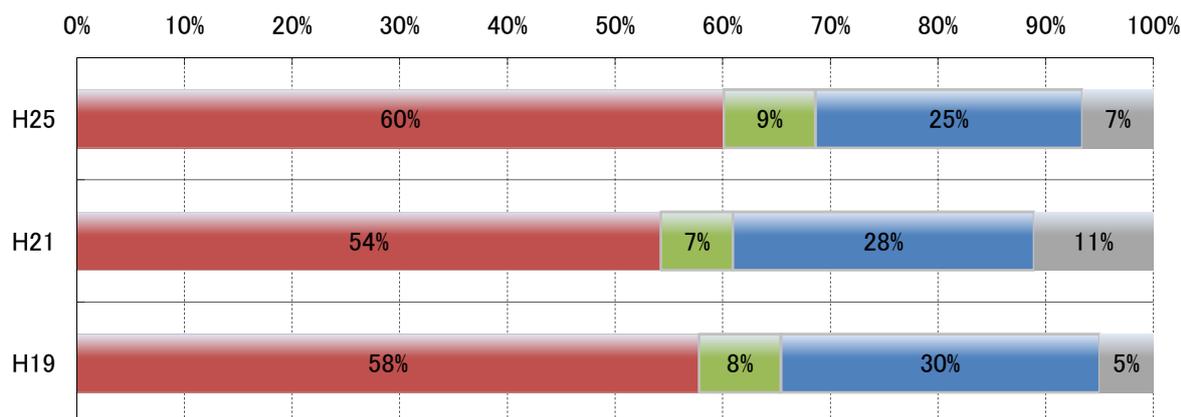


		自己啓発		日常業務 以外の評価		自己知識の 維持・向上		職場での評価	
		H25	H21	H25	H21	H25	H21	H25	H21
性別	男性	74%	71%	27%	22%	70%	69%	4%	3%
	女性	72%	69%	17%	15%	71%	69%	2%	2%
役職	技師長	77%	71%	28%	21%	76%	74%	4%	2%
	主任	74%	72%	21%	19%	72%	69%	2%	2%
	一般技師	71%	69%	19%	17%	68%	67%	3%	2%
	教授	67%	—	18%	—	77%	—	1%	—
	准教授	60%	—	16%	—	72%	—	0%	—
	非常勤	70%	64%	18%	15%	72%	76%	2%	2%
年齢	20代	67%	66%	20%	18%	66%	64%	4%	3%
	30代	72%	71%	22%	19%	70%	67%	2%	2%
	40代	74%	70%	20%	18%	71%	71%	2%	2%
	50代	75%	71%	21%	17%	74%	71%	2%	2%
	60代	71%	64%	18%	17%	76%	76%	3%	2%
	70代以上	—	—	—	—	—	—	—	—

【コメント】

生涯教育研修制度を「必要と思う」場合の理由としては、「自己啓発のための手段として研修会等に参加することが励みになるから」が72%（H21:69%）、「臨床検査技師の国家資格は、一度取得すると再試験の必要はなく、自己知識の維持、向上にはこのような制度は不可欠であるから」が70%（H21:69%）が挙げられており、属性による差異は顕著ではない。

問39.「問37」で「必要と思わない」と回答された方は、なぜそのように思いますか



- 「修了証書」がなんら具体的な意味を持たないから
- 「修了証書」を必要とする制度ができた時点で研修制度を活用すればよいから
- 臨床検査技師の国家試験がある以上、研修などの参加は個人の自由にすべきで、新たに制度を設ける必要はないから
- 無回答

		具体的な意味がない			必要とする制度ができた時点で活用			新たな制度は必要ない		
		H25	H21	H19	H25	H21	H19	H25	H21	H19
性別	男性	60%	55%	56%	9%	8%	8%	25%	28%	32%
	女性	60%	54%	59%	8%	6%	7%	25%	28%	28%
役職	技師長	59%	49%	58%	9%	7%	9%	23%	30%	27%
	主任	61%	53%	56%	9%	7%	8%	25%	29%	31%
	一般技師	60%	57%	59%	8%	6%	7%	25%	27%	30%
	教授	73%	—	—	0%	—	—	18%	—	—
	准教授	20%	—	—	0%	—	—	60%	—	—
	非常勤	63%	63%	60%	3%	9%	9%	28%	23%	20%
年齢	20代	55%	56%	56%	10%	5%	10%	28%	29%	30%
	30代	65%	62%	64%	8%	6%	7%	21%	21%	23%
	40代	64%	55%	58%	9%	7%	7%	22%	28%	30%
	50代	54%	47%	51%	8%	7%	8%	30%	33%	35%
	60代	60%	49%	39%	7%	9%	8%	28%	30%	54%

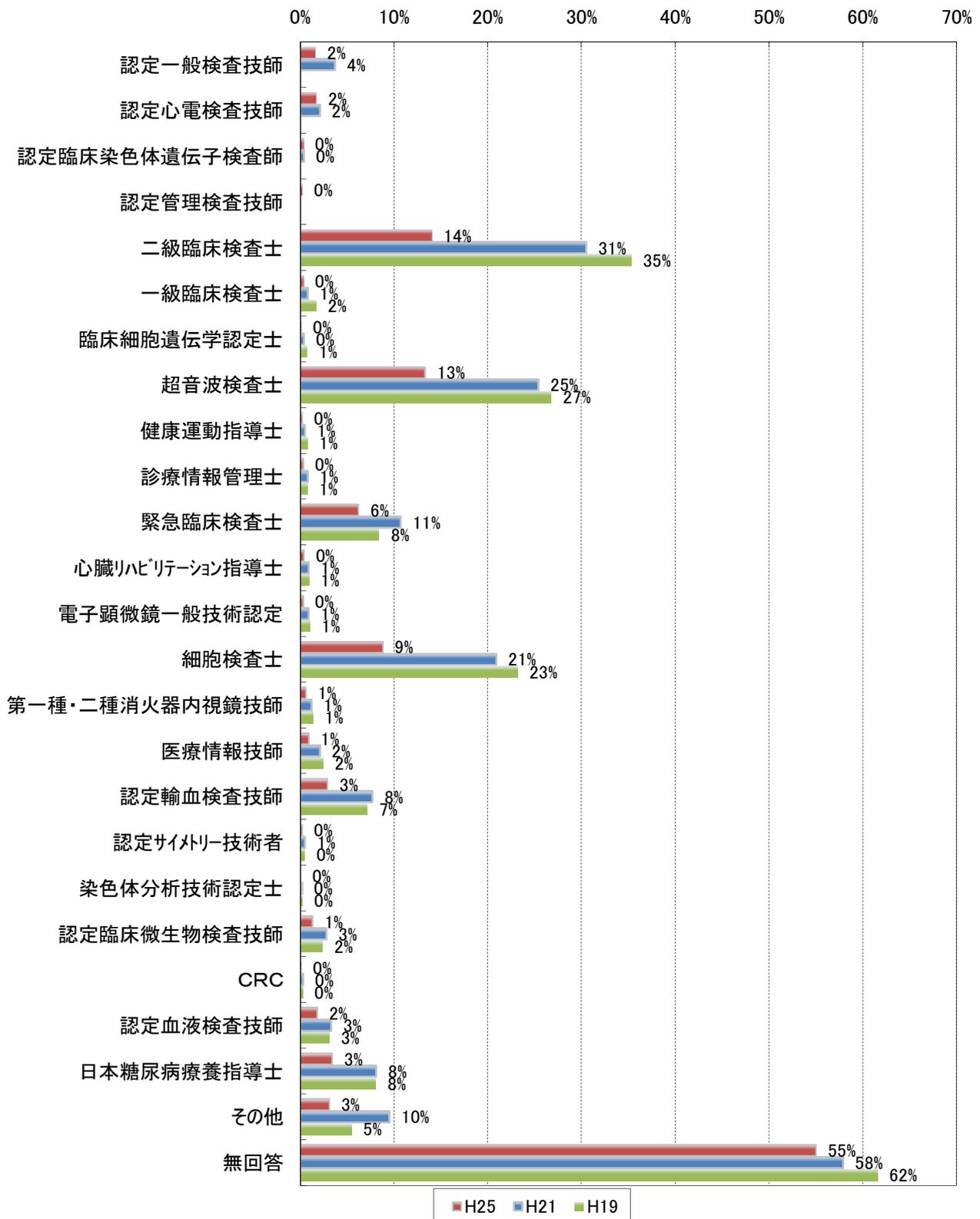
【コメント】

生涯教育研修制度を「必要と思わない」場合の理由としては、「「修了証書」がなんら具体的な意味を持たないから」が60%（H21:54%、H19:58%）と最も多く過半数以上を占めており、次いで、「臨床検査技師の国家試験がある以上、研修などの参加は個人の自由にすべきで、新たに制度を設ける必要はないから」が25%（H21:28%、H19:30%）となっている。

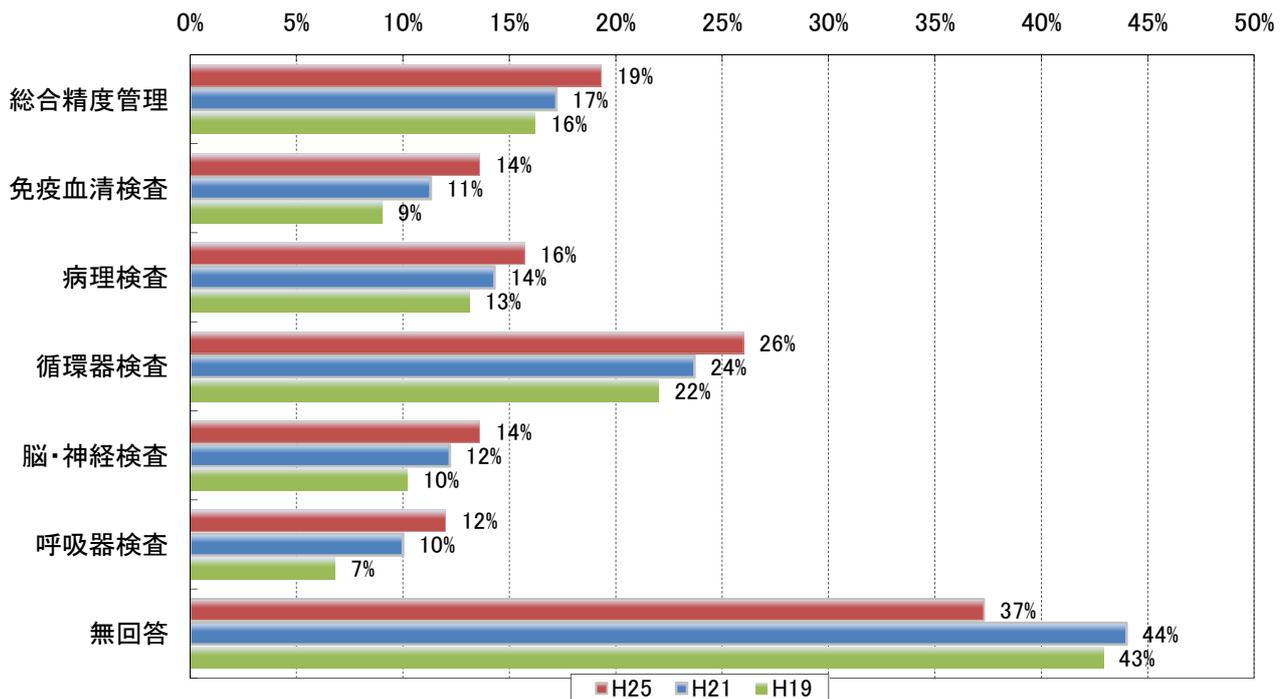
なお、属性による差異は顕著ではない。

VI.認定センターについて

問40.貴方は認定検査技師のうち何の認定を取得していますか



問41. 認定技師制度でどのような認定を望みますか



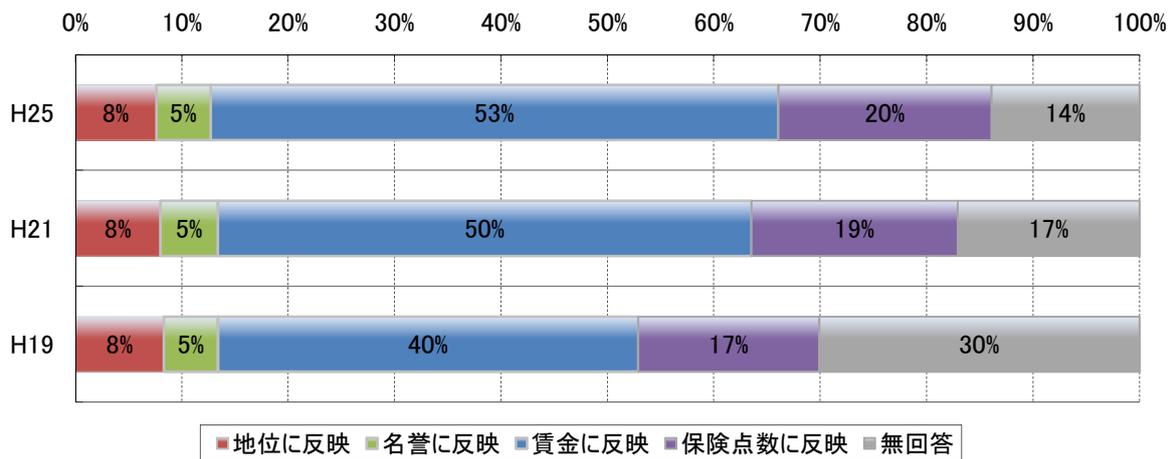
		総合制度管理			免疫血清検査			病理検査		
		H25	H21	H19	H25	H21	H19	H25	H21	H19
性別	男性	27%	25%	23%	16%	13%	9%	20%	17%	16%
	女性	15%	13%	13%	12%	10%	9%	14%	13%	12%
役職	技師長	33%	31%	29%	13%	11%	8%	17%	14%	12%
	主任	22%	19%	19%	10%	9%	7%	14%	13%	12%
	一般技師	16%	14%	13%	15%	12%	10%	16%	15%	14%
	教授	26%	-	-	12%	-	-	16%	-	-
	准教授	15%	-	-	21%	-	-	24%	-	-
	非常勤	16%	12%	12%	12%	13%	12%	17%	17%	15%
年齢	20代	15%	14%	13%	21%	18%	15%	19%	19%	17%
	30代	18%	17%	15%	14%	11%	9%	16%	14%	14%
	40代	20%	18%	17%	10%	9%	6%	14%	13%	12%
	50代	24%	20%	20%	11%	9%	6%	15%	12%	10%
	60代以上	25%	23%	22%	10%	9%	7%	14%	16%	14%

		循環器検査			脳・神経検査			呼吸器検査		
		H25	H21	H19	H25	H21	H19	H25	H21	H19
性別	男性	22%	20%	18%	13%	11%	10%	11%	10%	6%
	女性	28%	26%	24%	14%	13%	11%	13%	10%	7%
役職	技師長	22%	19%	17%	14%	12%	10%	14%	10%	7%
	主任	21%	19%	17%	13%	11%	9%	12%	9%	6%
	一般技師	29%	27%	25%	14%	13%	11%	12%	10%	7%
	教授	16%	-	-	12%	-	-	9%	-	-
	准教授	12%	-	-	9%	-	-	9%	-	-
	非常勤	25%	25%	28%	14%	14%	11%	13%	13%	10%
年齢	20代	33%	34%	32%	14%	14%	13%	13%	12%	8%
	30代	31%	27%	26%	14%	13%	11%	12%	10%	7%
	40代	23%	20%	18%	13%	11%	9%	11%	9%	6%
	50代	19%	16%	13%	14%	11%	9%	12%	9%	7%
	60代以上	17%	12%	13%	14%	8%	8%	12%	9%	5%

【コメント】

認定技師制度で希望する認定に関しては、「循環器検査」が26%（H21:24%、H19:22%）と最も多く、次いで、「総合精度管理」が19%（H21:17%、H19:16%）となっている。
 属性別にみると、「循環器検査」は、性別では「女性」、役職では下位者、年齢では若年者で、概ね多い傾向がある。一方、「総合精度管理」は、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

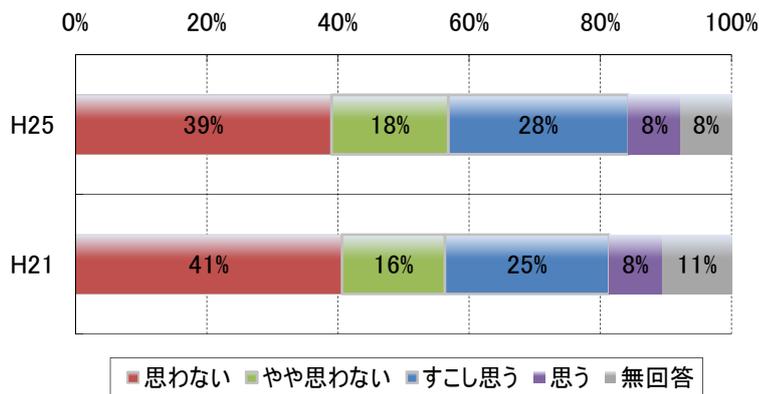
問42.認定取得によるメリットとして何を望みますか



【コメント】

認定取得した際に望むメリットとしては、「賃金に反映」が53%（H21:50%、H19:40%）と最も多く、次いで、「保険点数に反映」が20%（H21:19%、H19:17%）となっている。
 経年的には、「賃金に反映」の比率が拡大傾向にある。

問43.認定センターでの認定対象者に対し、他資格者(臨床検査技師以外)の認定を行うべきか



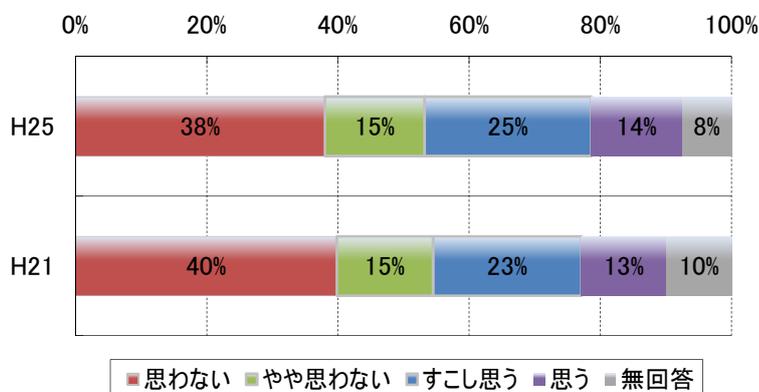
「思わない&やや思わない」の内訳

		H25	H21
性別	男性	56%	55%
	女性	57%	57%
役職	技師長	60%	57%
	主任	58%	57%
	一般技師	56%	56%
	教授	58%	-
	准教授	59%	-
	非常勤	53%	56%
年齢	20代	54%	54%
	30代	57%	58%
	40代	59%	59%
	50代	58%	54%
	60代以上	53%	51%

【コメント】

認定センターでの認定対象者に対する、他資格者(臨床検査技師以外)の認定を行うべきだと、「思わない」が39%(H21:41%)と最も多く、次いで、「少し思う」が28%(H21:25%)となっている。
「思わない」あるいは「やや思わない」との回答者については、属性による差は顕著ではな

問44.認定センターでの認定対象者に対し、日臨技の非会員に対して認定を行うべきか



「思わない&やや思わない」の内訳

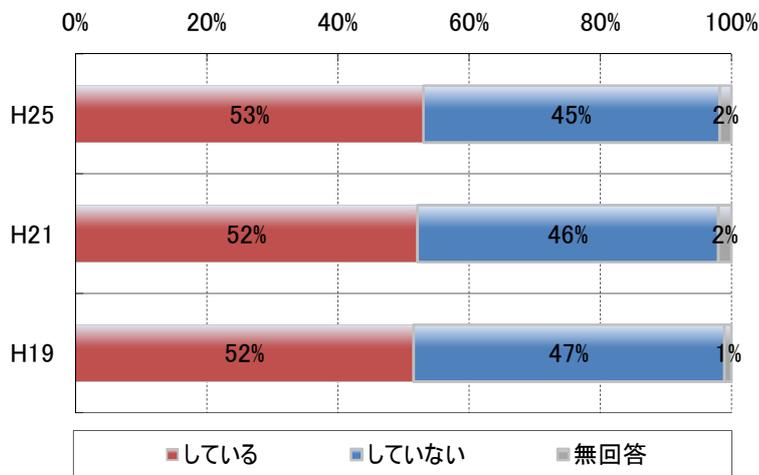
		H25	H21
性別	男性	57%	57%
	女性	51%	53%
役職	技師長	63%	62%
	主任	59%	60%
	一般技師	50%	52%
	教授	55%	-
	准教授	65%	-
	非常勤	45%	48%
年齢	20代	44%	45%
	30代	53%	54%
	40代	57%	59%
	50代	59%	58%
	60代以上	55%	53%

【コメント】

認定センターでの認定対象者に対する、他資格者(臨床検査技師以外)の認定を行うべきだと、「思わない」が39%(H21:41%)と最も多く、次いで、「少し思う」が28%(H21:25%)となっている。
「思わない」あるいは「やや思わない」との回答者については、属性による際は顕著ではない。

VII.他団体学会・研修会(国内・海外)参加について

問45.他団体の学会に参加していますか



「している」の内訳

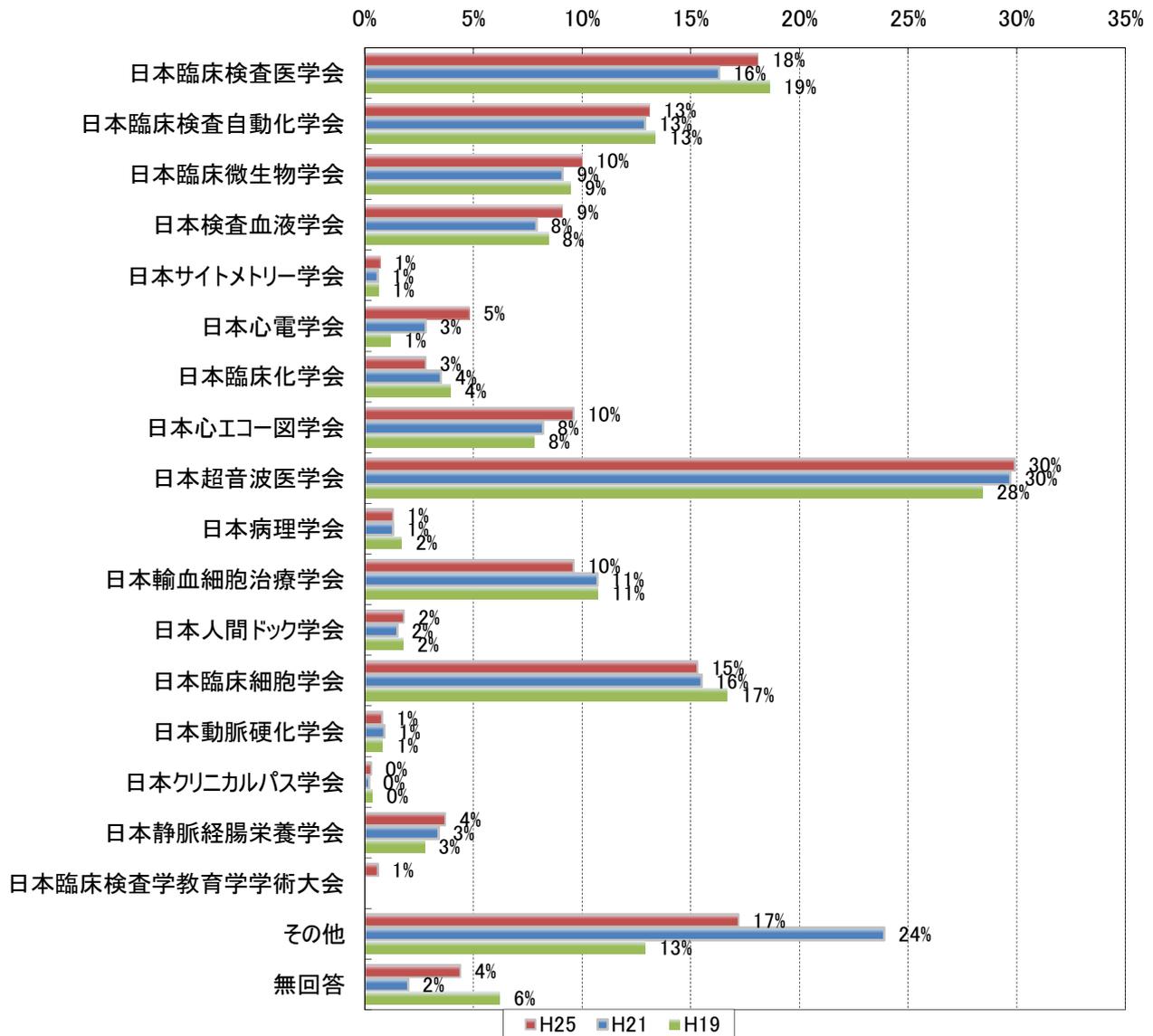
		H25	H21	H19
性別	男性	59%	61%	61%
	女性	50%	49%	48%
役職	技師長	67%	67%	65%
	主任	64%	64%	63%
	一般技師	47%	47%	47%
	教授	60%	—	—
	准教授	77%	—	—
	非常勤	36%	38%	32%
年齢	20代	38%	36%	34%
	30代	57%	55%	55%
	40代	60%	62%	61%
	50代	57%	58%	56%
	60代以上	48%	54%	50%

【コメント】

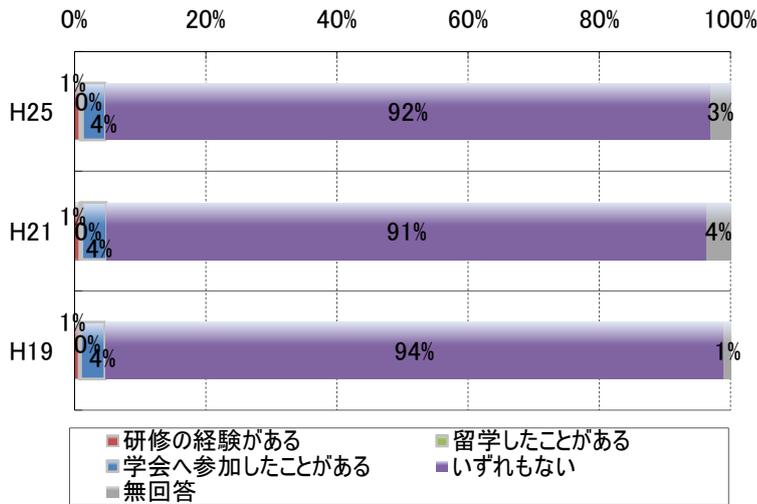
他団体の学会への参加の有無は、「している」が53%（H21:52%、H19:52%）と過半数を占め、「していない」は45%（H21:46%、H19:47%）となっている。

「している」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では「30代」、「40代」、「50代」で多い傾向がある。

問46.どのような学会に参加されていますか(他団体に参加している方)



問47.国際交流経験(研修・留学・学会参加)等についておたずねします
海外研修、留学、学会参加の経験がありますか



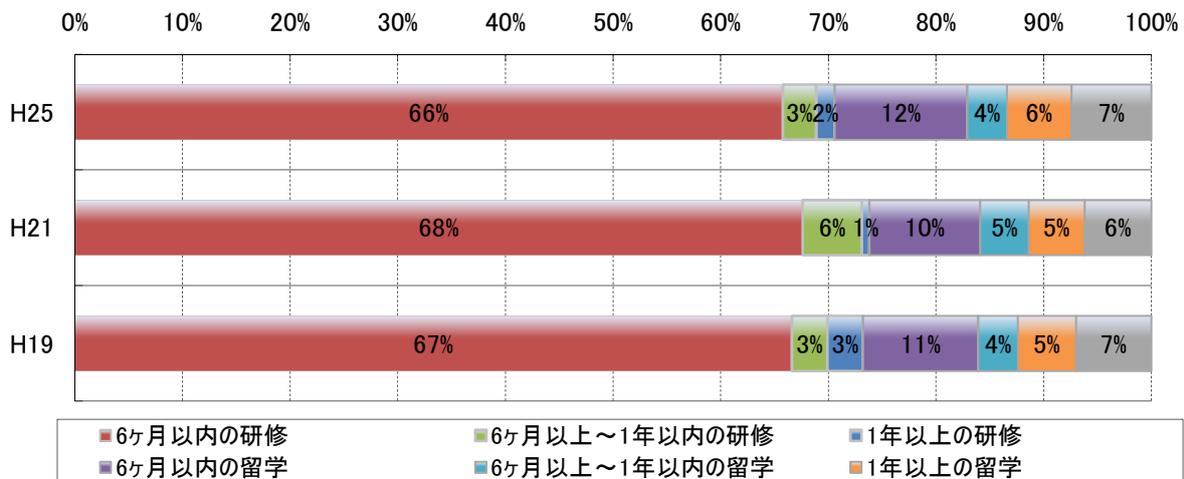
「研修の経験がある&留学したことがある」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	2%	2%	1%
	女性	1%	1%	1%
役職	技師長	2%	3%	2%
	主任	1%	1%	1%
	一般技師	1%	1%	1%
	教授	9%	-	-
	准教授	12%	-	-
	非常勤	1%	2%	1%
年齢	20代	1%	1%	1%
	30代	1%	1%	1%
	40代	1%	1%	1%
	50代	1%	2%	1%
	60代以上	3%	2%	3%

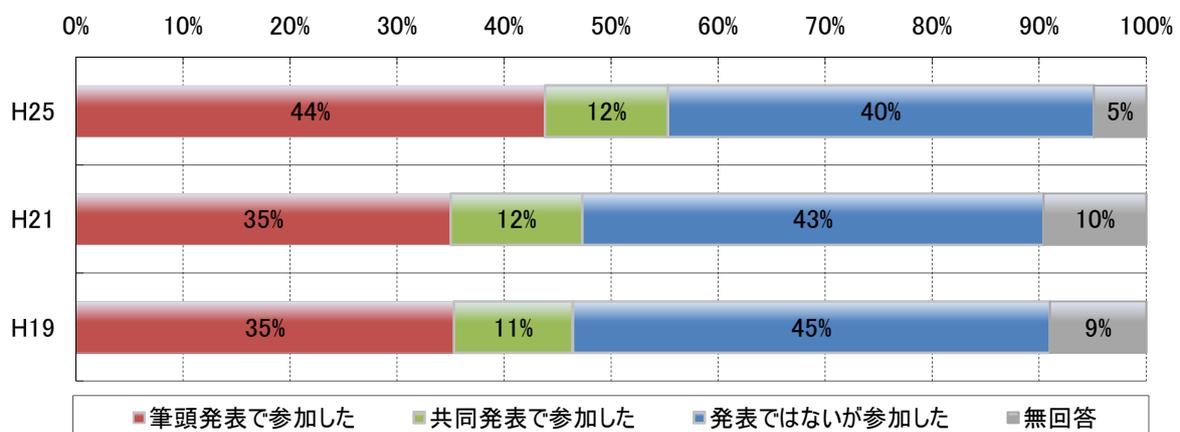
【コメント】

海外研修、留学、学会参加の経験の有無は、研修、留学および学会参加の「いずれもない」が92% (H21:91%、H19:94%)と大部分を占めてい

問48.「問47」で「研修への経験がある」または「留学したことがある」と回答された方にご質問します

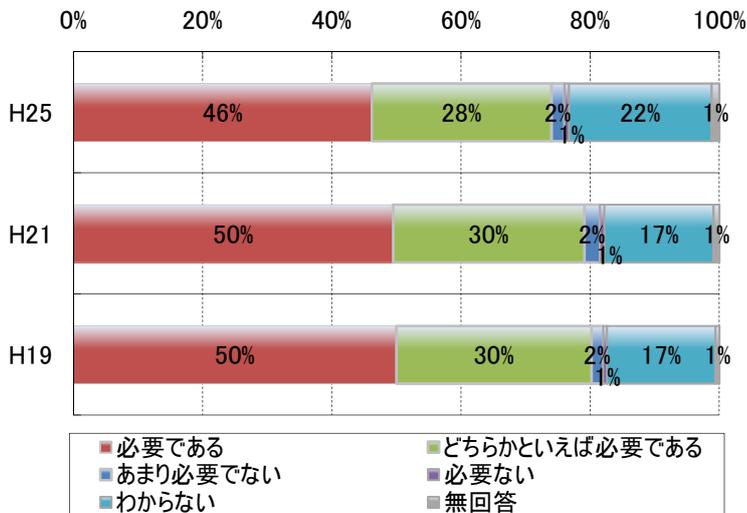


問49.「問47」で「学会へ参加したことがある」と回答された方にご質問します



Ⅷ. 渉外活動について

問50. 法改正(業務認証、身分確立)運動の推進



「必要である」の内訳

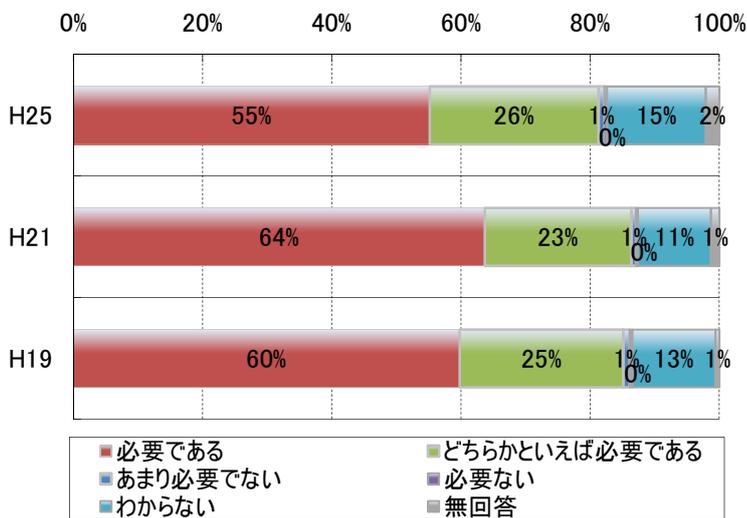
		H25	H21	H19
性別	男性	62%	66%	66%
	女性	39%	42%	42%
役職	技師長	70%	72%	71%
	主任	56%	58%	59%
	一般技師	39%	43%	44%
	教授	69%	-	-
	准教授	68%	-	-
	非常勤	38%	44%	38%
年齢	20代	30%	34%	35%
	30代	43%	49%	49%
	40代	50%	55%	57%
	50代	60%	59%	58%
	60代以上	69%	69%	68%

【コメント】

法改正(業務認証、身分確立)運動の推進に関しては、「必要である」が46%(H21:50%、H19:50%)と最も多く、次いで、「どちらかといえば必要である」は28%(H21:30%、H19:30%)となっている。

「必要である」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

問51. 診療報酬点数の改正に向けての行動



「必要である」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	69%	77%	73%
	女性	48%	58%	53%
役職	技師長	79%	82%	81%
	主任	67%	73%	70%
	一般技師	47%	58%	54%
	教授	69%	-	-
	准教授	77%	-	-
	非常勤	43%	55%	43%
年齢	20代	35%	48%	43%
	30代	56%	65%	60%
	40代	61%	70%	67%
	50代	67%	73%	68%
	60代以上	67%	77%	75%

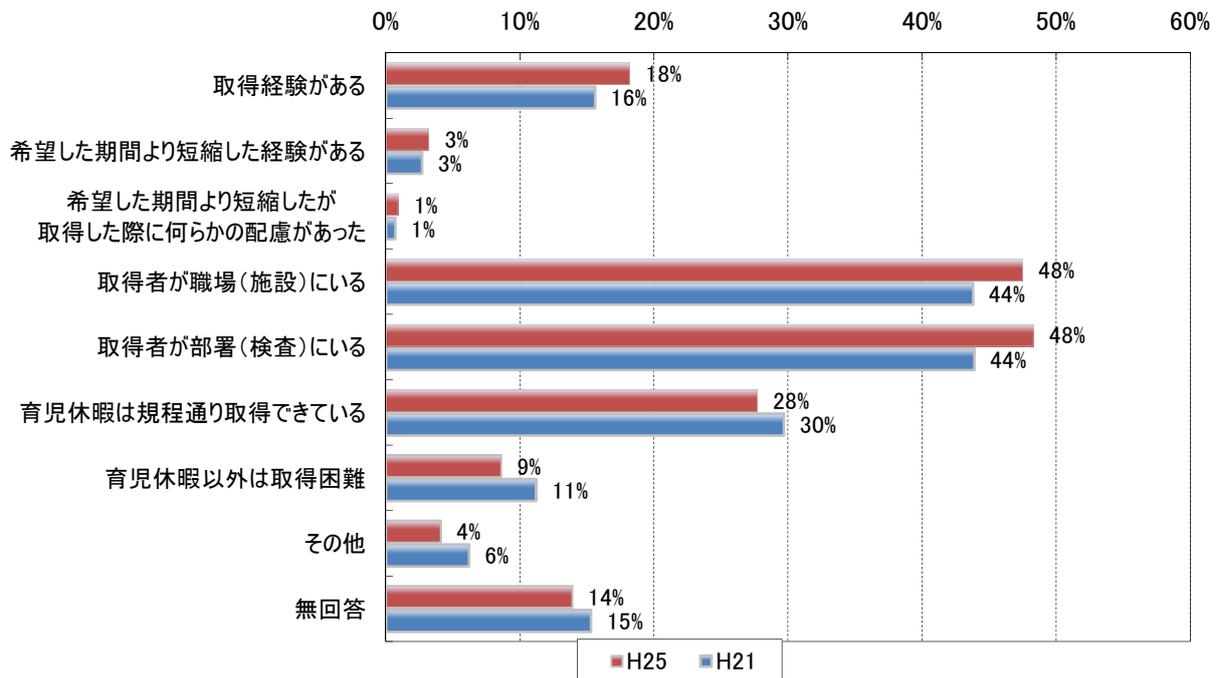
【コメント】

診療報酬点数の改正に向けての行動に関しては、「必要である」が55%(H21:64%、H19:60%)と最も多く、次いで、「どちらかといえば必要である」は26%(H21:23%、H19:25%)となっている。

「必要である」との回答者の属性をみると、性別では「男性」、役職では上位者、年齢では年長者で多い傾向がある。

Ⅷ. 休暇等・転職について

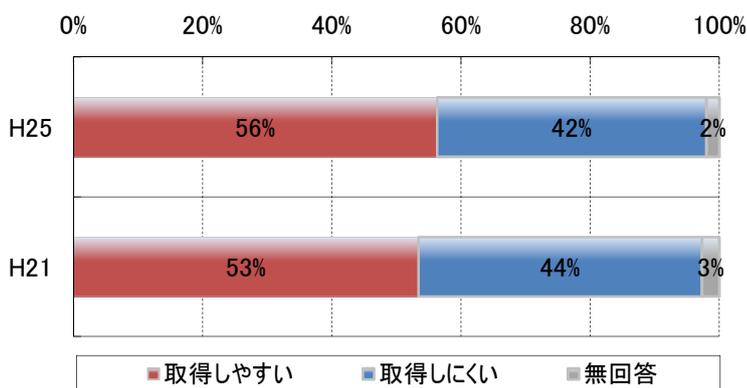
問52. 育児・介護休暇など長期休暇(留学など含む)の取得状況をお聞かせください



【コメント】

育児・介護休暇など長期休暇の取得状況は、「取得者が部署(検査)にいる」が48%(H21: 44%)、「取得者が職場(施設)にいる」が48%(H21: 44%)となっている。

問53. 職場では「有給休暇」を取得しやすい環境ですか



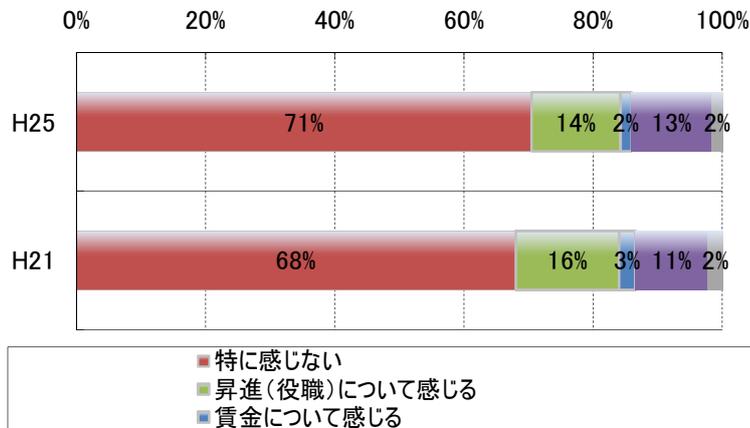
「取得しやすい」の内訳

		H25	H21
性別	男性	59%	56%
	女性	55%	52%
役職	技師長	61%	59%
	主任	53%	50%
	一般技師	56%	53%
	教授	68%	—
	准教授	68%	—
	非常勤	70%	68%
年齢	20代	59%	55%
	30代	56%	54%
	40代	56%	52%
	50代	55%	53%
	60代以上	61%	62%

【コメント】

職場での「有給休暇」を取得しやすいさは、「取得しやすい」が56%(H21: 53%)と過半数を占め、「取得しにくい」は42%(H21: 44%)となっている。「取得しやすい」との回答者については、属性による差は顕著ではない。

問54.仕事をする上で男女の格差を感じますか



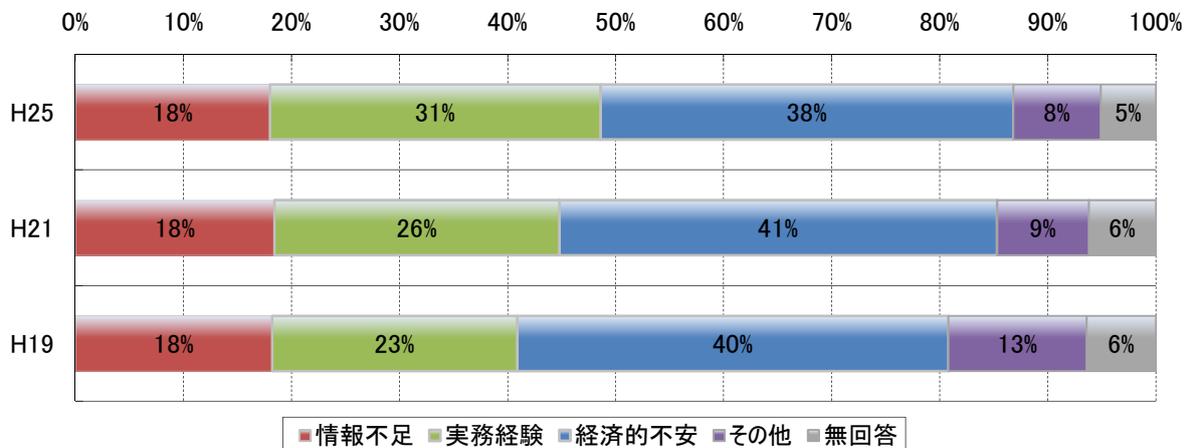
「格差を感じる」(特に感じない以外)の内訳

		H25	H21
性別	男性	27%	26%
	女性	29%	32%
役職	技師長	28%	27%
	主任	31%	33%
	一般技師	27%	29%
	教授	32%	-
	准教授	35%	-
	非常勤	24%	26%
年齢	20代	22%	24%
	30代	28%	30%
	40代	31%	33%
	50代	31%	32%
	60代以上	27%	22%

【コメント】

仕事をする上で男女の格差は、「特に感じない」が71%(H21:68%)と大半を占めている。
格差を感じる(「特に感じない」以外)との回答者については、属性による差は顕著ではない。

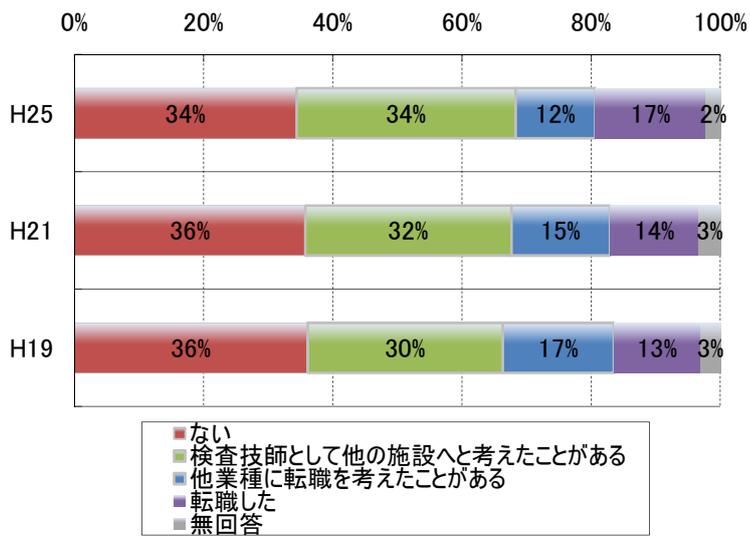
問55.転職・再就職を希望する際の問題点は何ですか



【コメント】

転職・再就職を希望する際の問題点としては、「経済的不安」が38%(H21:41%、H19:40%)と最も多く、次いで、「実務経験」が31%(H21:26%、H19:23%)となっている。

問56. 転職を考えたことがありますか



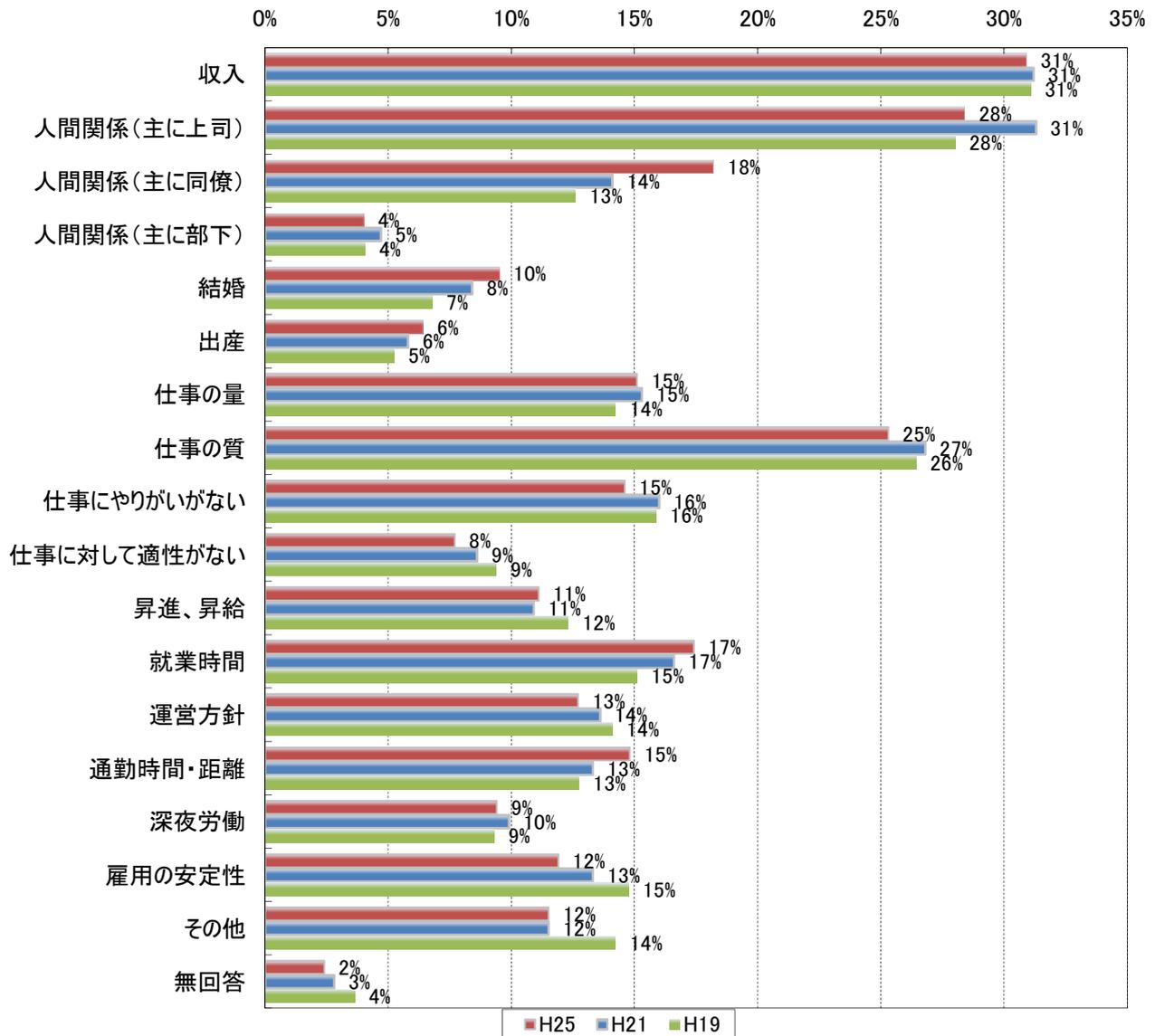
「転職を考えたことがある&転職した」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	62%	60%	59%
	女性	64%	62%	62%
役職	技師長	54%	50%	53%
	主任	58%	54%	53%
	一般技師	67%	65%	65%
	教授	68%	-	-
	准教授	71%	-	-
	非常勤	73%	77%	78%
年齢	20代	60%	66%	68%
	30代	78%	73%	70%
	40代	67%	61%	60%
	50代	52%	44%	44%
	60代以上	38%	36%	28%

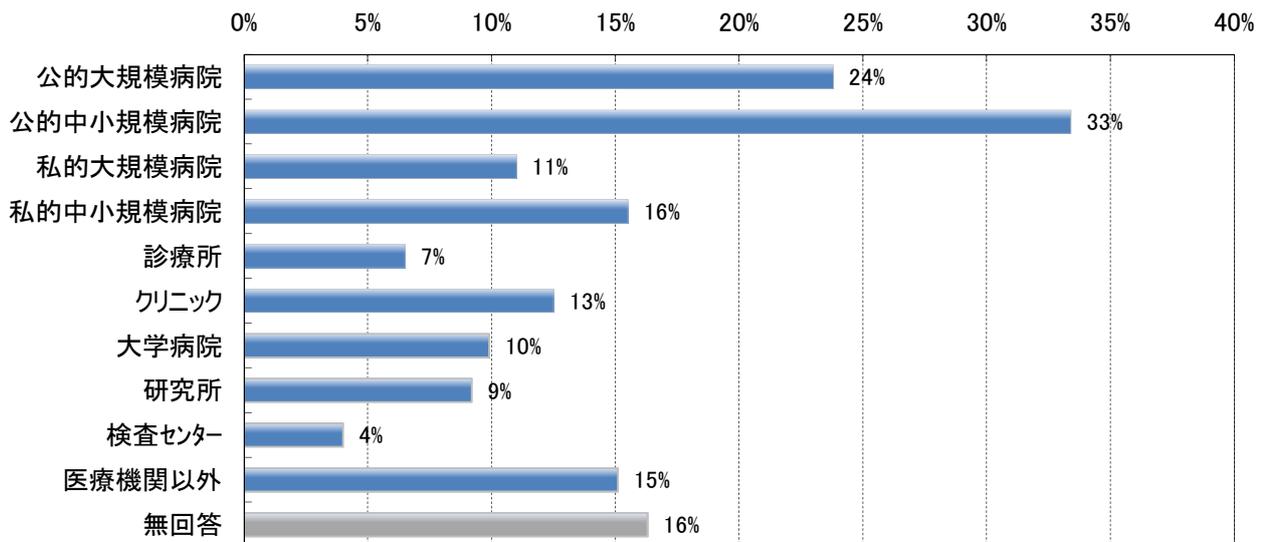
【コメント】

転職に関しては、考えたことが「ない」が34% (H21:36%、H19:36%)、「検査技師として他の施設へと考えたことがある」が34% (H21:32%、H19:30%)となっている。

問57. 転職を考えたことがある方、あるいは転職された方、その理由をお答えください



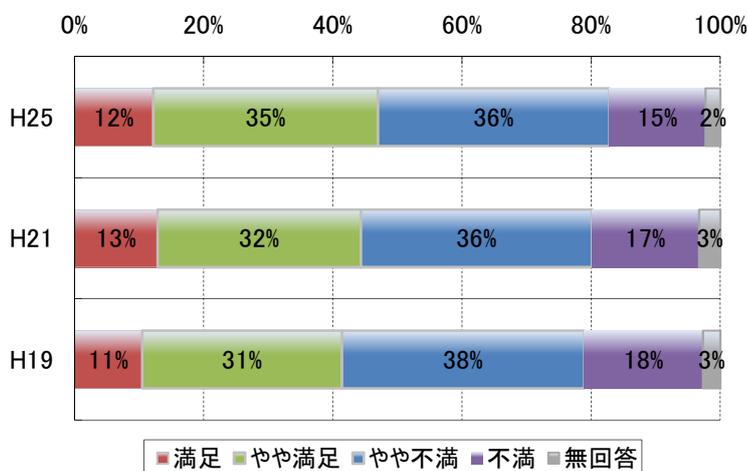
問58.転職するならば、どのようなところがいいですか



【コメント】

希望する転職先としては、「公的中小規模病院」が21%（H21:21%、H19:20%）と最も多く、次いで、「公的大規模病院」が15%（H21:18%、H19:14%）となっている。

問59.現在のあなたの賃金について



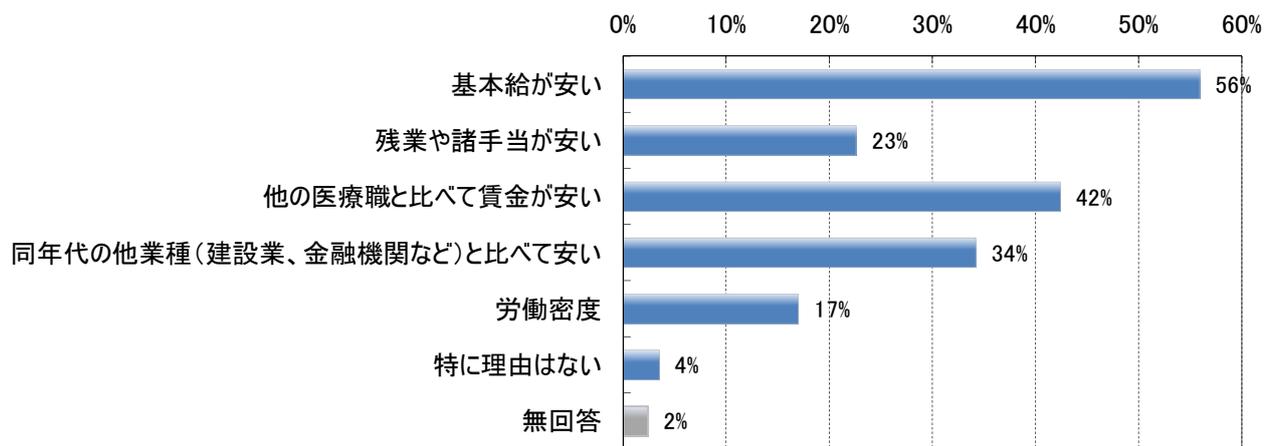
「満足 & やや満足」の内訳

		H25	H21	H19
性別	男性	43%	40%	36%
	女性	49%	47%	44%
役職	技師長	45%	44%	42%
	主任	49%	45%	43%
	一般技師	47%	45%	41%
	教授	49%	-	-
	准教授	47%	-	-
	非常勤	47%	41%	39%
年齢	20代	49%	46%	41%
	30代	45%	43%	39%
	40代	48%	44%	41%
	50代	46%	44%	45%
	60代以上	45%	51%	49%

【コメント】

現在の賃金については、「やや不満」が36%（H21:36%、H19:38%）と最も多く、次いで、「やや満足」が35%（H21:32%、H19:31%）となっている。
 経年的には、「満足」あるいは「やや満足」との回答が拡大しつつある。
 「満足」あるいは「やや満足」との回答者の属性をみると、性別で若干「女性」の比率が高いほかは、顕著な差異はみられない。

問60.「問59」で「やや不満」または「不満」と回答された方に伺います
その理由に該当するものがあればお答えください

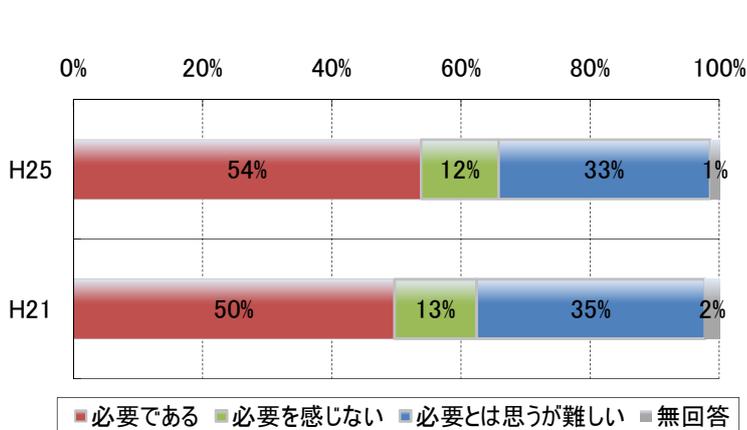


【コメント】

現在の賃金に不満を持っている場合の理由としては、「基本給が安い」が56% (H21: 51%、H19: 38%)と最も多く、次いで、「他の医療職と比べて賃金が安い」が42% (H21: 17%、H19: 20%)となっている。

X.女性会員への方におたずねします

問61.現在会員の6割以上が女性技師で、今後ますます女性技師の割合が高くなります
女性技師が都道府県技師会や日臨技役員として参画する必要性を感じますか



「必要である」の内訳

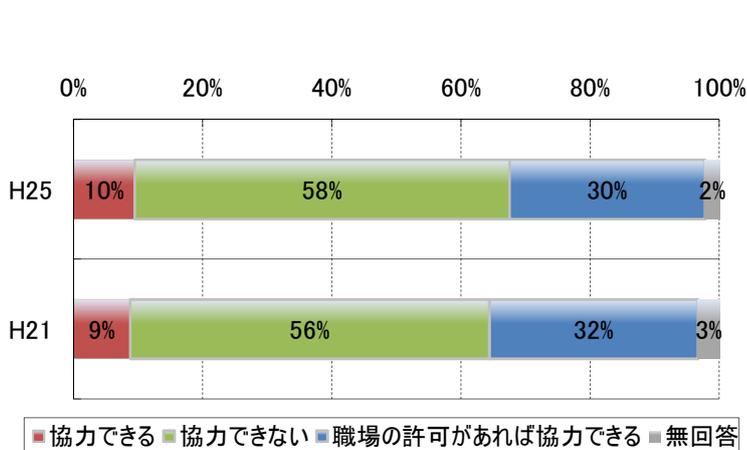
		H25	H21
役職	技師長	69%	63%
	主任	57%	50%
	一般技師	52%	48%
	教授	61%	-
	准教授	62%	-
	非常勤	57%	56%
年齢	20代	53%	51%
	30代	49%	46%
	40代	51%	45%
	50代	64%	59%
	60代以上	74%	68%

【コメント】

女性技師が都道府県技師会や日臨技役員として参画する必要性については、「必要である」が54% (H21:50%)と最も多く過半数を占め、次いで、「必要とは思いますが難しい」が33% (H21:35%)となっている。

「必要である」との回答者は、属性による差異はあまりみられない。

問62.都道府県技師会役員や日臨技役員として要請があれば協力できますか



「協力できる&職場の許可があれば協力できる」の内訳

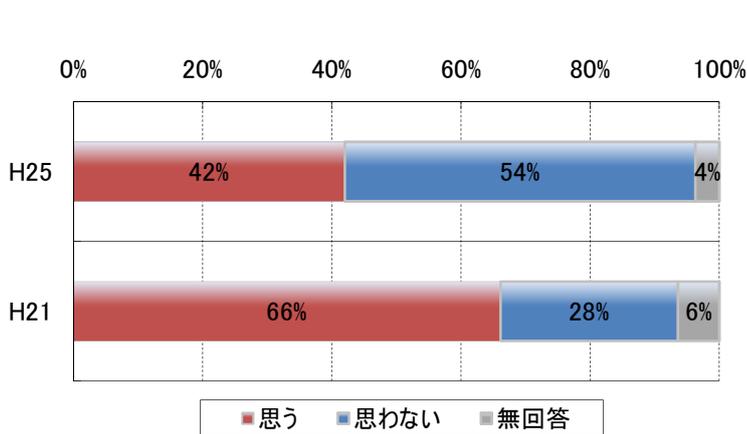
		H25	H21
役職	技師長	48%	51%
	主任	38%	41%
	一般技師	40%	41%
	教授	39%	-
	准教授	62%	-
	非常勤	31%	40%
年齢	20代	53%	51%
	30代	38%	37%
	40代	32%	36%
	50代	37%	41%
	60代以上	34%	39%

【コメント】

都道府県技師会役員や日臨技役員として要請への協力については、「協力できない」が58% (H21:56%)と最も多く過半数を占め、次いで、「職場の許可があれば協力できる」が30% (H21:32%)となっている。

「協力できる」あるいは「職場の許可があれば協力できる」との回答者は、年齢の「20代」で比率が高いほかは、顕著な差異はみられない。

問63.女性会員が増えている中で、女性部会は必要だと思いますか



「思う」の内訳

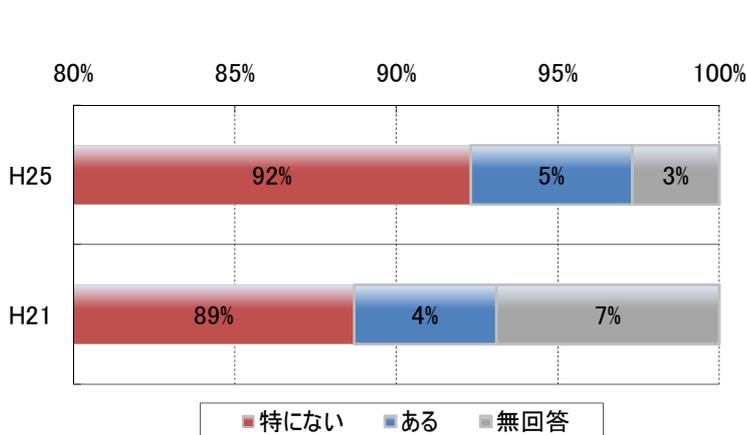
		H25	H21
役職	技師長	38%	55%
	主任	35%	59%
	一般技師	44%	69%
	教授	45%	—
	准教授	54%	—
	非常勤	48%	73%
年齢	20代	52%	78%
	30代	42%	68%
	40代	36%	57%
	50代	38%	60%
	60代以上	46%	63%

【コメント】

女性部会は必要だと、「思わない」が54%（H21：28%）と過半数を占め、「思う」は42%（H21：66%）となっている。経年的には、「思わない」の比率がH21年度に比べてほぼ倍増している。

女性部会は必要だ「思う」との回答者は、年齢の「20代」で比率が高いほかは、顕著な差異はみられない。

問64.「女性部会」で取り上げて欲しいことがありますか



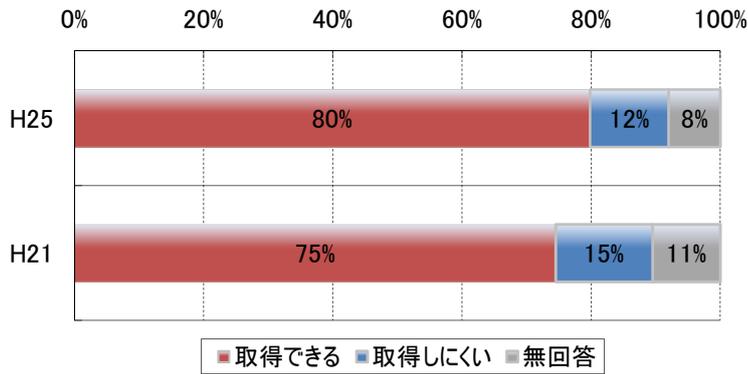
「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	7%	6%
	主任	5%	5%
	一般技師	5%	4%
	教授	6%	—
	准教授	23%	—
	非常勤	6%	5%
年齢	20代	4%	3%
	30代	6%	5%
	40代	5%	5%
	50代	5%	5%
	60代以上	5%	4%

【コメント】

「女性部会」で取り上げて欲しいことについては、「特にない」が92%（H21：39%）と大部分を占めている。

問65.職場では「育児休暇」は規定どおり取得できていますか



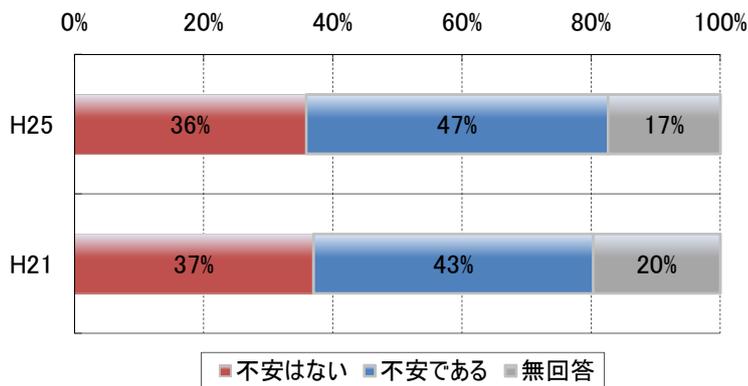
「取得できる」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	84%	77%
	主任	81%	77%
	一般技師	79%	74%
	教授	75%	-
	准教授	85%	-
	非常勤	75%	65%
年齢	20代	80%	74%
	30代	80%	74%
	40代	79%	75%
	50代	81%	76%
	60代以上	78%	67%

【コメント】

職場では「育児休暇」が、規定どおり「取得できる」が80%（H21：75%）と大半を占めている。「取得できる」との回答者は、属性による差異はみられない。

問66.「育児休暇」後、職場に復帰する場合に不安がありますか



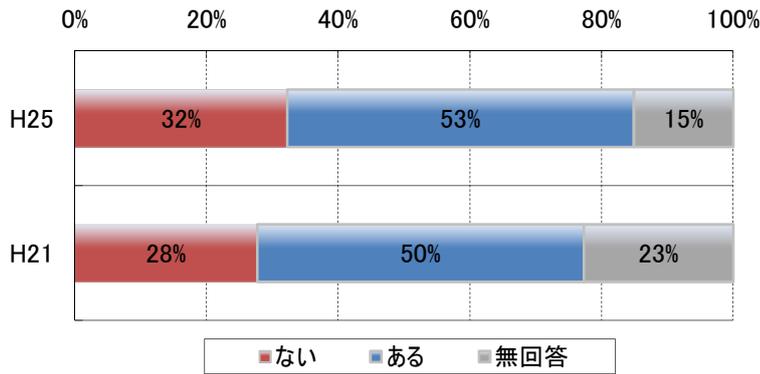
「不安である」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	28%	24%
	主任	39%	34%
	一般技師	51%	48%
	教授	17%	-
	准教授	46%	-
	非常勤	40%	38%
年齢	20代	55%	54%
	30代	61%	54%
	40代	42%	38%
	50代	28%	22%
	60代以上	19%	13%

【コメント】

「育児休暇」後、職場に復帰する場合の不安については、「不安である」が47%（H21：43%）、「不安はない」が36%（H21：37%）となっている。「不安である」との回答者の属性をみると、役職では下位者、年齢では「20代」、「30代」の若年者で比率が高くなっている。

問67.育児支援がありますか



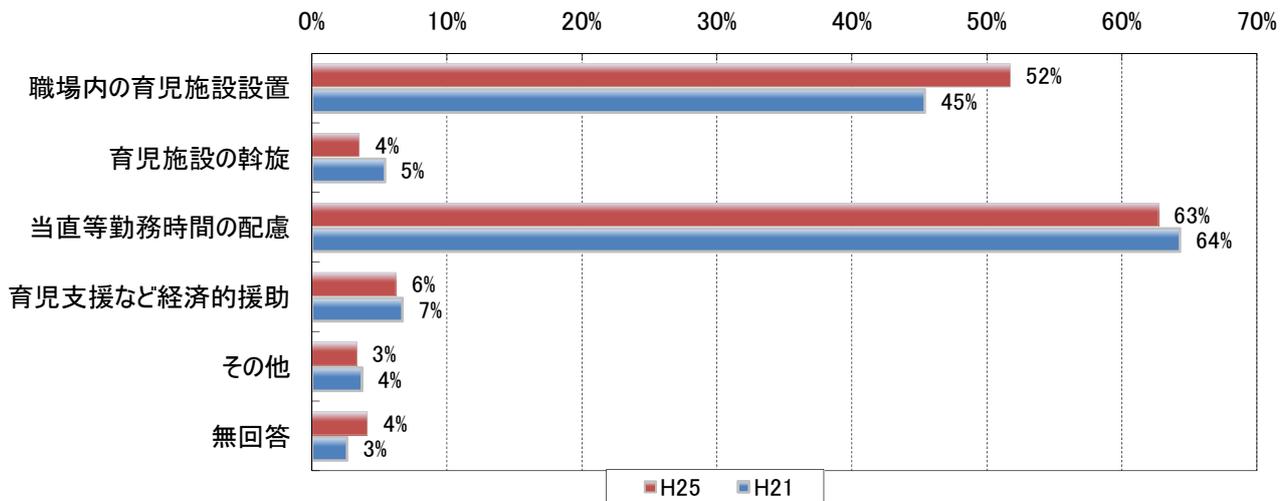
「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	51%	47%
	主任	52%	49%
	一般技師	54%	51%
	教授	32%	—
	准教授	39%	—
年齢	非常勤	43%	44%
	20代	56%	53%
	30代	57%	51%
	40代	51%	49%
	50代	47%	45%
	60代以上	40%	31%

【コメント】

育児支援が、「ある」が53%（H21:50%）、「ない」が32%（H21:28%）となっている。

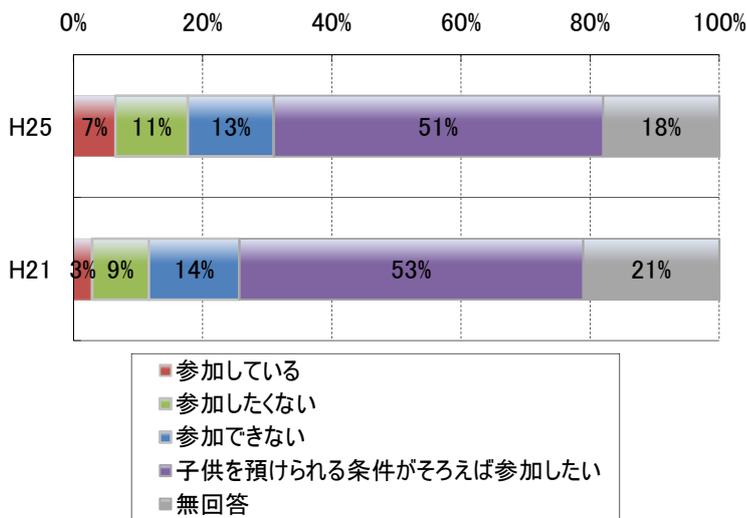
問68.「問67」で「ある」と回答された方に伺います
どのような育児支援がありますか



【コメント】

育児支援がある場合の内容としては、「当直等勤務時間の配慮」が63%（H21:64%）、「職場内の育児施設設置」が52%（H21:45%）などとなっている。

問69.「休暇」期間でも、研修会・勉強会に参加したいと思いますか



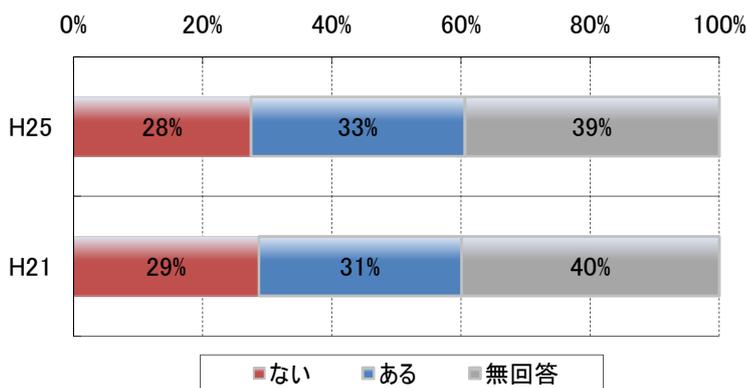
「参加している&子どもを預けられる条件がそろえば参加したい」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	46%	41%
	主任	50%	46%
	一般技師	61%	61%
	教授	35%	-
	准教授	39%	-
	非常勤	53%	57%
年齢	20代	69%	71%
	30代	69%	67%
	40代	52%	50%
	50代	38%	32%
	60代以上	26%	22%

【コメント】

「休暇」期間中の、研修会・勉強会への参加については、「子供を預けられる条件がそろえば参加したい」が51% (H21:53%)と過半数を占めている。「参加している」あるいは「子供を預けられる条件がそろえば参加したい」との回答者の属性をみると、役職では下位者、年齢では「20代」、「30代」の若年者で比率が高くなっている。

問70.産・育児中に知識・技術の維持に不安を感じたことはありますか



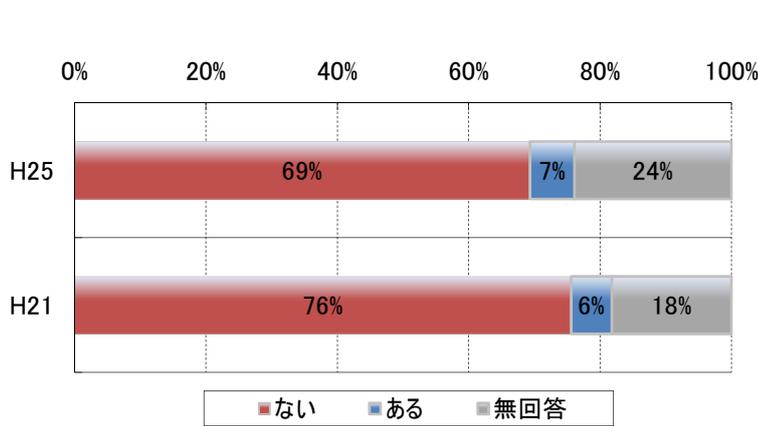
「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	27%	28%
	主任	35%	32%
	一般技師	33%	31%
	教授	28%	-
	准教授	39%	-
	非常勤	35%	32%
年齢	20代	22%	24%
	30代	41%	39%
	40代	39%	36%
	50代	30%	26%
	60代以上	17%	15%

【コメント】

産・育児中に知識・技術の維持に不安は、感じたことが「ある」が33% (H21:31%)、「ない」が28% (H21:29%)となっている。不安を感じたことが「ある」との回答者の属性をみると、年齢では「30代」、「40代」で比率が高くなっている。

問71.育児休暇中もしくは復帰後、知識・技術維持に関する支援がありますか



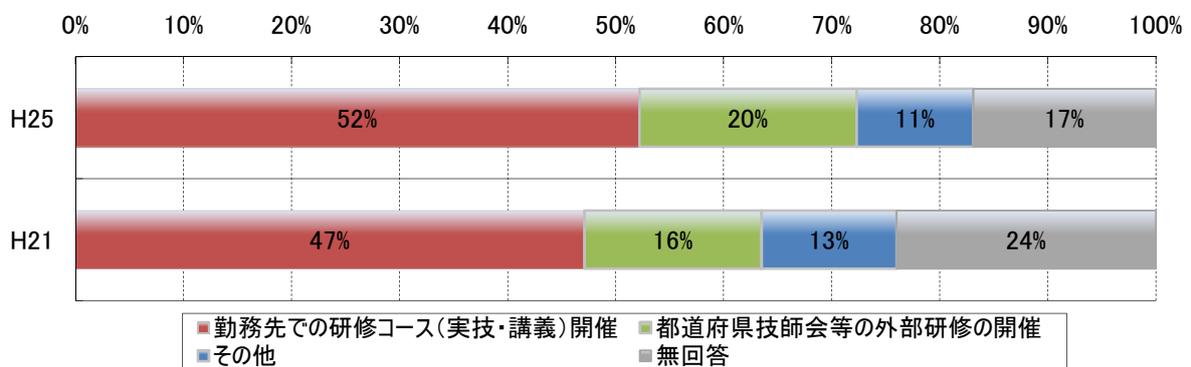
「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	9%	8%
	主任	7%	7%
	一般技師	7%	6%
	教授	4%	-
	准教授	0%	-
年齢	非常勤	8%	6%
	20代	6%	6%
	30代	7%	6%
	40代	7%	6%
	50代	7%	7%
	60代以上	8%	7%

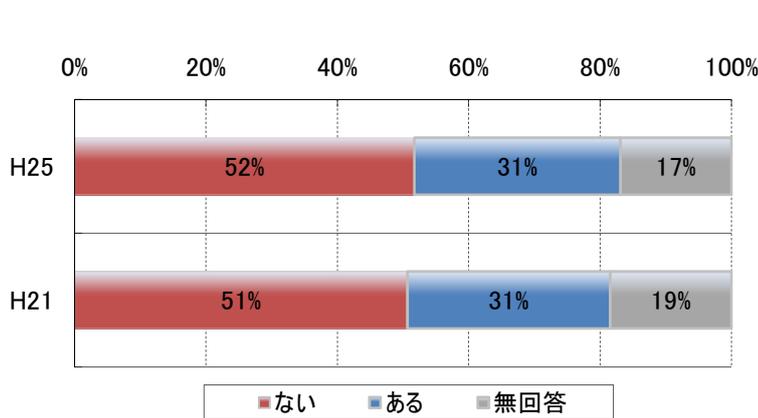
【コメント】

育児休暇中もしくは復帰後の、知識・技術維持に関する支援については、「ない」が69%（H21：76%）と大半を占めている。

問72.「問71」で「ある」と回答された方に伺います
ある場合どのような支援ですか



問73.女性技師に対する特別な支援の必要性があると思いますか



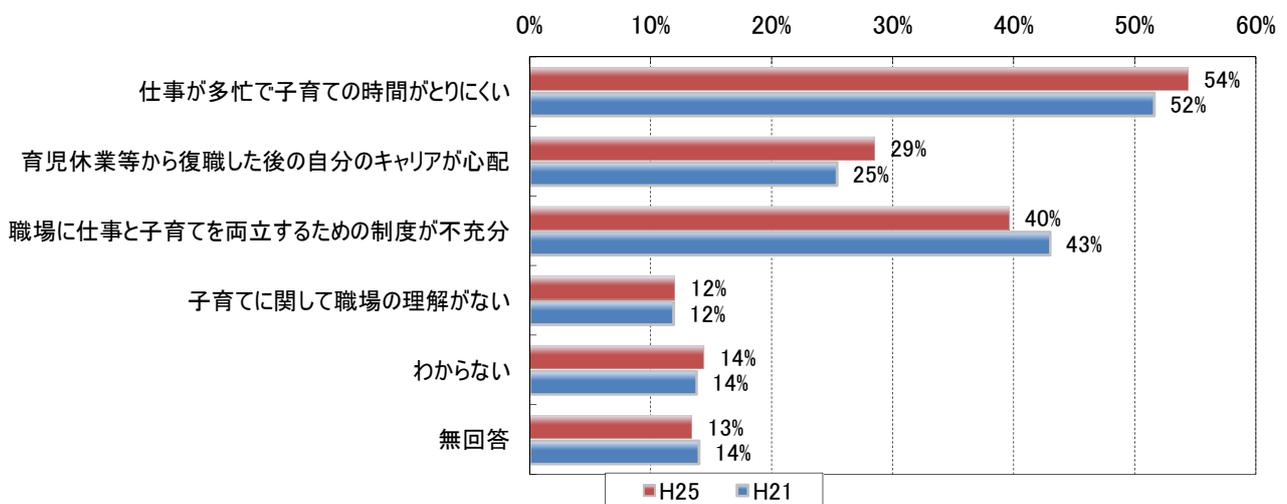
「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	25%	23%
	主任	28%	27%
	一般技師	33%	33%
	教授	29%	-
	准教授	46%	-
年齢	非常勤	33%	33%
	20代	33%	34%
	30代	37%	35%
	40代	29%	30%
	50代	26%	23%
	60代以上	17%	19%

【コメント】

女性技師に対する特別な支援の必要性については、必要性が「ない」が52%（H21：51%）と過半数を占めている。
 必要性が「ある」との回答者の属性をみると、役職では下位者、年齢では「20代」、「30

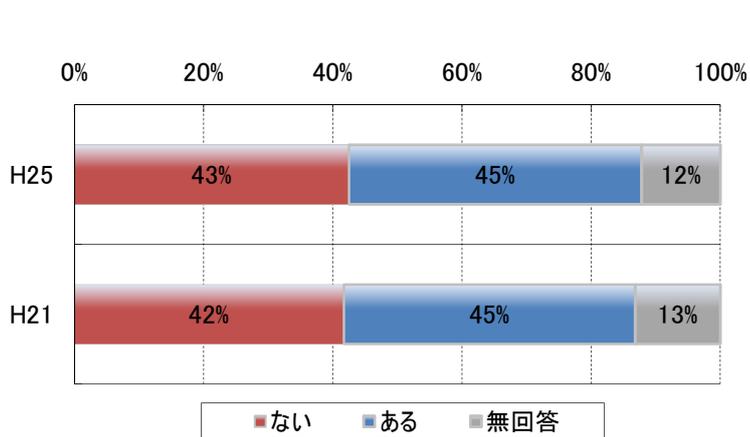
問74.子育てをしながら働くうえで、どのような点が障害になると考えますか



【コメント】

子育てをしながら働くうえでの障害については、「仕事が多忙で子育ての時間がとりにくい」が54%（H21：52%）、「職場に仕事と子育てを両立するための制度が不十分」が40%（H21：43%）との回答が多い。

問75.女性が育児休暇等で休暇をとることにより、役職(昇進)に影響があると感じますか



「ある」の内訳

		H25	H21
役職	技師長	37%	34%
	主任	43%	44%
	一般技師	47%	46%
	教授	48%	—
	准教授	54%	—
年齢	非常勤	46%	49%
	20代	49%	48%
	30代	50%	49%
	40代	44%	46%
	50代	39%	35%
	60代以上	33%	30%

【コメント】

女性が育児休暇等で休暇をとることによる、役職(昇進)に影響については、「ある」が45%(H21:45%)、「ない」が43%(H21:42%)となっている。
 「ある」との回答者の属性をみると、役職では下位者、年齢では若年者で若干比率が高くなっている。

総 括

平成25年度「組織実態調査および会員の意識調査」は、会員にとって利用価値のあるデータベースとなるよう調査内容についても検討し実施した。本調査は、隔年度事業として展開されているものである。設問内容によっては、隔年度（H19・H21）ごとに実施された調査結果をグラフ化し、今年度調査結果と対比させ比較検討できるように掲載した。また、今回の調査では、チーム医療、精度保証、生涯教育制度、認定技師制度、メディカルスタッフとしての業務認証拡大などに対する設問を新たに設け、組織としての取り組み状況、意識調査についても実施した。

アンケート調査の回収率を都道府県別にみると43%から74%で平均回収率は62%であり、隔年の平均回収率はH19:54%、H21:50%であった。会員の意識調査の回答数は29、206名で、男性32%、女性68%であり、職種として女性が優位である（隔年女性比率:H19・65%、H21・66%）。回答者の年齢構成は、20歳代が23%、50歳以上が24%と両世代で全体の約半数を占めている。隔年推移をみると50歳以上が増加傾向を示している。担当業務は、検体分析系業務従事者に比べて生体検査業務従事者が増加し、今回調査では比較的人員配置の少ない部門での人員増加がうかがえる傾向となっている。細菌、病理、輸血、一般検査、営業販売業務などがあげられる。最終学歴については、隔年推移をみると4年制大学卒が増加している。

日臨技活動、事業展開に対する参加、認知度については会員、施設間での温度差の違いをうかがわせる結果となっている。検査部門実態調査の「I検査部門の管理体制について」設問6:施設内における日臨技非会員の比率についての調査では、施設内で把握できている臨床検査技師の内23%が非会員であるという集計結果となっている。隔年推移をみるとH19:16%、H21:17%に比較し、著しい増加を示している。この結果を真摯に受け止め、日臨技の組織強化に向けた事業展開に結び付ける必要性を強く感じる。学術活動、精度管理事業を通して「臨床検査技師」の認知度を上げる事業展開、チーム医療を通し「メディカルスタッフ」として業務認証拡大に向けた事業展開など、その他の調査結果についても今後の事業展開に生かしていきたい。日臨技事業活動、認知度、会員の参加する姿勢は、緩徐ではあるが増加の傾向があり、会員の意識が着実に定着し成果を上げているものと推測できる。なお、本調査における各々の設問に対する調査結果の受け止め方については、会員一人ひとりに委ねさせていただきます。

この調査の目的は、日臨技事業活動の参考資料とするため、また本調査結果を踏まえ、今後の活動方針として有効に活用し、併せて会員の皆様方に業務に関する情報提供することにある。最後に、本調査にご理解、ご協力いただいた会員各位、ならびに各都道府県技師会、関係各位に心より感謝申し上げます。

平成26年3月

(一社)日臨技 総務委員会

担当理事 上原 昭浩 横地 常広